

世論調査結果報告書  
令和6年8月調査

# 都民生活に関する世論調査

令和7年1月

 東京都政策企画局



## ま え が き

「都民生活に関する世論調査」は、都民の日常生活に関わる意識や、都政に何を望んでいるかなどを調査し、今後の都政運営に役立てることを目的として実施しています。

経年調査の項目（「暮らし」「住んでいる地域」「東京」「都政への要望」）では、過去の調査結果をもとに意識の変化を把握しています。

今回、附帯テーマとして「食生活と食育」を取り上げました。食生活と食育をめぐる都民の意識・価値観、食育に関する学校・地域や行政の取組等への意見・要望を把握し、今後の東京都における食育推進施策の参考とするため、実施しました。

この世論調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の生活意識に関心のあるの方々のお役に立てれば幸いです。

この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

令和7年1月

東京都政策企画局戦略広報部



## 目 次

※印は過去の調査結果を掲載する質問項目

調査実施の概要	①～⑥
調査結果の詳細	1
1 暮らし	3
※1-1 暮らしむきの変化	3
※1-2 暮らしの余裕	9
※1-3 生活程度	14
※1-4 これからの暮らしむき	18
※1-5 今後切りつめていくもの	23
※1-6 生活満足度	26
※1-7 満足の理由	30
※1-8 不満の理由	33
※1-9 今後の生活の不安	36
※1-10 税金への関心度とその内容	40
2 住んでいる地域	46
※2-1 地域の住みよさ	46
※2-2 地域定住意向	50
3 東京	60
※3-1 東京の住みよさ	60
※3-2 東京定住意向	66
4 都政への要望	79
※4-1 これからの都政の進め方	79
※4-2 都政への要望	82
4-3 具体的な要望施策	86
5 食生活と食育	92
※5-1 朝食の摂取状況	92
※5-2 朝食を食べない理由	95
※5-3 家族との食事の頻度	98
※5-4 食品を選ぶときに重視すること	104
5-5 食品を購入している場所	108
※5-6 地元や東京の産物の購入意向	111
5-7 東京産の食材の優先的な購入有無	114
5-8 東京産の食材を購入していない理由	117
※5-9 食事のとり方で気をつけていること	119
※5-10 健全で豊かな食生活のための取組意向	123
※5-11 「食育」の認知度	127
※5-12 食育活動への参加経験	131
6 学校、地域での食育	135
※6-1 保育園・幼稚園・小学校及び地域に望む取組	135
7 行政への要望	139
※7-1 都や区市町村が重点的に推進すべき取組	139
調査票及び単純集計結果	143



# 調査実施の概要

## 1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は付帯テーマとして、食生活と食育をめぐる都民の意識、学校・地域の取組や行政への要望等を調査した。

## 2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 食生活と食育
- (6) 学校、地域での食育
- (7) 行政への要望

## 3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）  
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和6年8月20日～9月16日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人中央調査社

## 4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,994標本（49.9%）〔うち郵送1,223標本、インターネット771標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,006標本（50.2%）

未完了標本内訳

	無効回収	転居	拒否	高齢・ 病気等	死亡	宛先不明	未回収
2,006標本	3	2	2	8	2	102	1,887
比率(%)	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%	0.1%	5.1%	94.1%

### (3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			無回答 回収数	合計		
	標本数	回収数	回収率 (%)	標本数	回収数	回収率 (%)		標本数	回収数	回収率 (%)
18・19歳	29	6	20.7%	21	6	28.6%	1	50	13	26.0%
20代	270	67	24.8%	288	93	32.3%	-	558	160	28.7%
30代	304	99	32.6%	278	126	45.3%	9	582	234	40.2%
40代	348	131	37.6%	359	195	54.3%	13	707	339	47.9%
50代	369	169	45.8%	365	212	58.1%	2	734	383	52.2%
60代	258	136	52.7%	274	180	65.7%	1	532	317	59.6%
70歳以上	329	208	63.2%	508	292	57.5%	5	837	505	60.3%
無回答	-	-	-	-	2	-	41	-	43	-
合計	1,907	816	42.8%	2,093	1,106	52.8%	72	4,000	1,994	49.9%

（注）平成28年より、選挙年齢の引下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=1,994)

上段：実数  
下段：(%)

(1) 性別

男	女	無回答	計
816	1,106	72	1,994
40.9	55.5	3.6	100.0

(2) 年齢

	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢無回答	計
男	6	67	99	131	169	136	208	-	816
	0.3	3.4	5.0	6.6	8.5	6.8	10.4	-	40.9
女	6	93	126	195	212	180	292	2	1,106
	0.3	4.7	6.3	9.8	10.6	9.0	14.6	0.1	55.5
性別無回答	1	-	9	13	2	1	5	*41	72
	0.1	-	0.5	0.7	0.1	0.1	0.3	2.1	3.6
計	13	160	234	339	383	317	505	43	1,994
	0.7	8	11.7	17	19.2	15.9	25.3	2.2	100.0

\*性・年齢とも無回答

(3) 職業 ※ 年齢別職業分布はP⑤参照

自営・家族従業 (計)			勤め (計)								無職			無回答	計
自営業主	家族従業 (業主手伝い)		経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	サービス職	販売・その他	無回答	主婦・主夫	学生	その他の無職			
200	171	29	1,114	145	352	302	105	185	21	4	366	37	196	81	1,994
10.0	8.6	1.5	55.9	7.3	17.7	15.1	5.3	9.3	1.1	0.2	18.4	1.9	9.8	4.1	100.0

(4) 雇用形態 (勤めのみ：n=1,114)

正社員、正規職員				派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど				無回答	計
男	女	無回答		男	女	無回答			
730	418	296	16	384	84	295	5	-	1,114
65.5	37.5	26.6	1.4	34.5	7.5	26.5	0.4	-	100.0

(5) 住居形態

持家 (計)	持家以外 (計)			無回答	計						
	持家 (一戸建)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)	持家以外 (民間の借家 (一戸建) アパートなど集合住宅) (賃貸マンション・アパート) UR都市機構・公社・公営の賃貸住宅・給与住宅 住宅・公務員住宅などの住み込み・寮・寄宿舎など			その他					
1,254	847	407	715	33	462	128	51	6	35	25	1,994
62.9	42.5	20.4	35.9	1.7	23.2	6.4	2.6	0.3	1.8	1.3	100.0



## (6) 未・既婚

未婚 (計)				既婚 (計)						無回答	計
男	女	無回答	配偶者あり		離別・死別		無回答				
			男	女	男	女	男	女			
454	214	227	13	1,503	509	649	85	219	41	37	1,994
22.8	10.7	11.4	0.7	75.4	25.5	32.5	4.3	11.0	2.1	1.9	100.0

## (7) 共働き状況（「配偶者あり」のみ：性別無回答を含む n=1,190）

共働きをしている（計）				共働きをしていない（計）				無回答	計
男	女	無回答	男	女	無回答				
668	293	359	16	517	215	286	16	5	1,190
56.1	24.6	30.2	1.3	43.4	18.1	24.0	1.3	0.4	100.0

## (8) 世帯構成

単身 (本人のみ)	夫婦のみ (1世代世帯)	親と子 (2世代世帯)	親と子と孫 (3世代世帯)	その他の世帯	無回答	計
432	490	868	89	79	36	1,994
21.7	24.6	43.5	4.5	4.0	1.8	100.0

## (9) 居住地域生まれか否か

居住地域 生まれ	居住地域 以外生まれ	無回答	計
473	1,492	29	1,994
23.7	74.8	1.5	100.0

## (10) 東京生まれか否か

東京生まれ	東京以外 からきた	無回答	計
858	1,105	31	1,994
43.0	55.4	1.6	100.0

## (11) 地域居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
54	117	114	196	185	151	295	854	28	1,994
2.7	5.9	5.7	9.8	9.3	7.6	14.8	42.8	1.4	100.0

## (12) 東京居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	無回答	計
24	42	56	109	115	130	249	1,241	28	1,994
1.2	2.1	2.8	5.5	5.8	6.5	12.5	62.2	1.4	100.0

## (13) 世帯年収

200万円 未満	200～ 300万円 未満	300～ 400万円 未満	400～ 500万円 未満	500～ 700万円 未満	700～ 900万円 未満	900～ 1,100 万円 未満	1,100～ 1,300 万円 未満	1,300～ 1,500 万円 未満	1,500～ 2,000 万円 未満	2,000 万円 以上	わから ない	無回答	計
229	227	189	157	251	228	164	83	70	80	72	194	50	1,994
11.5	11.4	9.5	7.9	12.6	11.4	8.2	4.2	3.5	4.0	3.6	9.7	2.5	100.0

## (14) インターネットの利用

利用している (計)	利用している		利用していない (計)	利用していない		無回答	計
	よく利用している	ときどき利用している		あまり利用していない	利用していない		
1,573	1,267	306	390	148	242	31	1,994
78.9	63.5	15.3	19.6	7.4	12.1	1.6	100.0

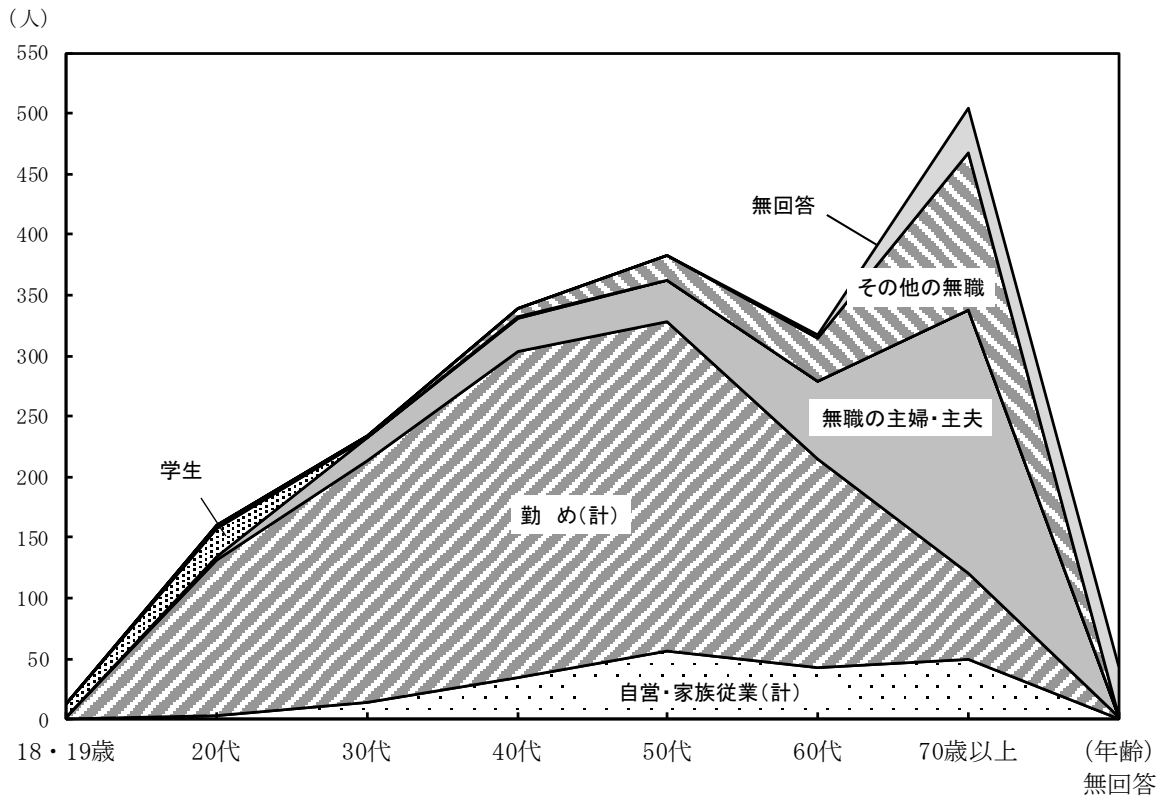
## (15) SNSの利用

X (旧Twitter) (エックス)	LINE (ライン)	Facebook (フェイスブック)	Instagram (インスタグラム)	YouTube (ユーチューブ)	TikTok (ティックトック)	その他	利用していない	無回答	計
602	1,463	357	689	1,088	224	12	351	55	1,994
30.2	73.4	17.9	34.6	54.6	11.2	0.6	17.6	2.8	100.0

## (16) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑥参照

区部 (計)	区部			市町村部 (計)	多摩				計
	センター ・コア	区部東部 ・北部	区部西部 ・南部		多摩東部	多摩 中央部北	多摩 中央部南	多摩西部 ・島しょ	
1,339	375	410	554	655	253	90	272	40	1,994
67.2	18.8	20.6	27.8	32.8	12.7	4.5	13.6	2.0	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計
自営・家族従業(計)	—	3	14	35	56	43	49	—	200
勤め(計)	2	128	199	268	272	172	71	2	1,114
無職の主婦・主夫	—	3	19	28	34	64	218	—	366
学生	11	24	1	1	—	—	—	—	37
その他の無職	—	2	1	7	21	36	129	—	196
無回答	—	—	—	—	—	2	38	41	81
計	13	160	234	339	383	317	505	43	1,994

※ 層（エリア）

〔区 部〕

- センター・コア・エリア ----- 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川区
- 区部東部・北部エリア ----- 北・板橋・足立・葛飾・江戸川区
- 区部西部・南部エリア ----- 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬区

〔市町村部〕

- 多摩東部エリア ----- 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京市
- 多摩中央部北エリア ----- 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村市、瑞穂町
- 多摩中央部南エリア ----- 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城市
- 多摩西部・島しょエリア ----- 青梅・あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩・大島町、利島・新島・神津島・三宅・御蔵島村、八丈町、青ヶ島・小笠原村



(注) 上記、世論調査における7つのエリアは、東京構想2000の9つのエリアを基に、従前の世論調査との継続性を考慮して、行政区域単位に便宜上、区分した。

# 調査結果の詳細

## 【報告書を読む際の注意】

注1) 用語・符号等

- n ——— Number of case の略  
質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- M. A. ——— Multiple Answers の略  
回答者に2つ以上の回答を認める質問
- M. T. ——— Multiple Total の略  
M. A. の場合に、回答の合計を回答者数 (n) で割った比率で、通常100%を超える。
- 図中「0」 }  
表中「-」 } ——— 皆無の結果を示す。
- 図中「0.0」 }  
表中「0.0」 } ——— 0.05%未満の結果を示す。

注2) 結果数値 (%) ——— 数値は、各実数を基に比率表示し、小数第2位を四捨五入している。  
したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。  
また、結果の説明においては、小数第1位を四捨五入している。

注3) 調査結果には、統計上多少誤差 (標本誤差) が生じることがある。なお、層化二段無作為抽出法による標本誤差は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

Nは母集団数 (人)、nは回答者数 (人)、Pは回答率 (%) を表す。

注4) 調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。 (信頼度 : 95%)

回答の比率 (P) 基数 (n)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,994	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
1,500	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.7%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

注5) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。  
なお、誤差を考慮し、nが50未満のものについてはふれていない場合が多い。

注6) 一部の図表では、対比を明確にするために選択肢の順序を入れ替えている。

注7) 性・年齢・職業などの属性又は他の質問項目とのクロス分析において、無回答を除いているため、各項目のnの合計が全体のnに一致しないことがある。



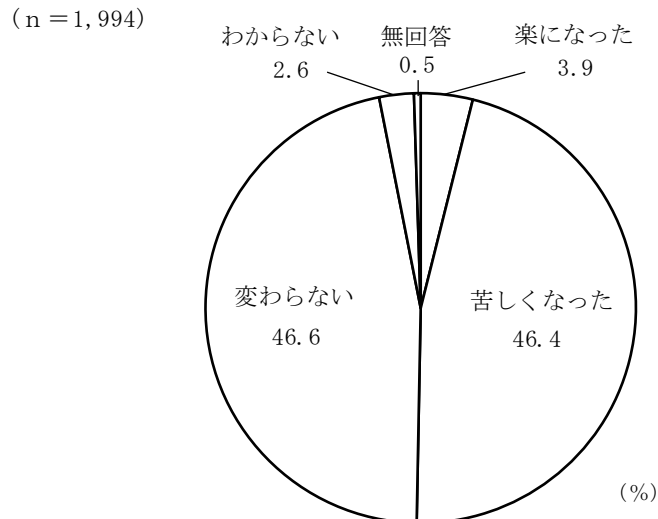
# 1 暮らし

## ※1-1 暮らしむきの変化

図1-1-1

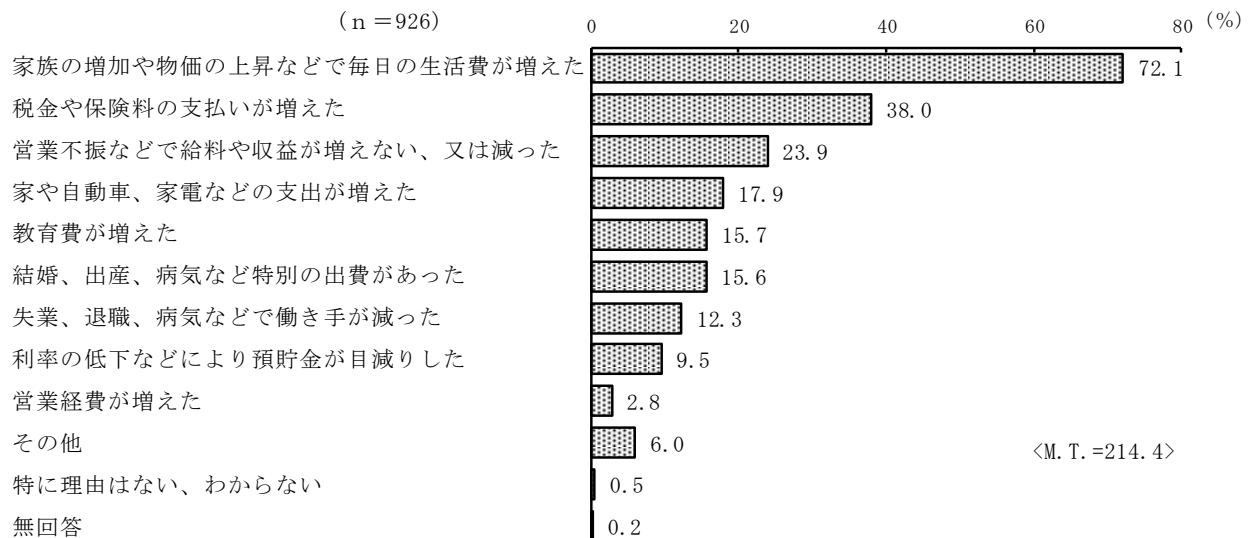
(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、去年の今ごろと比べて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(〇は1つ)



(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)



暮らしは、昨年今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いたところ、「楽になった」4%、「苦しくなった」46%、「変わらない」47%となっている。

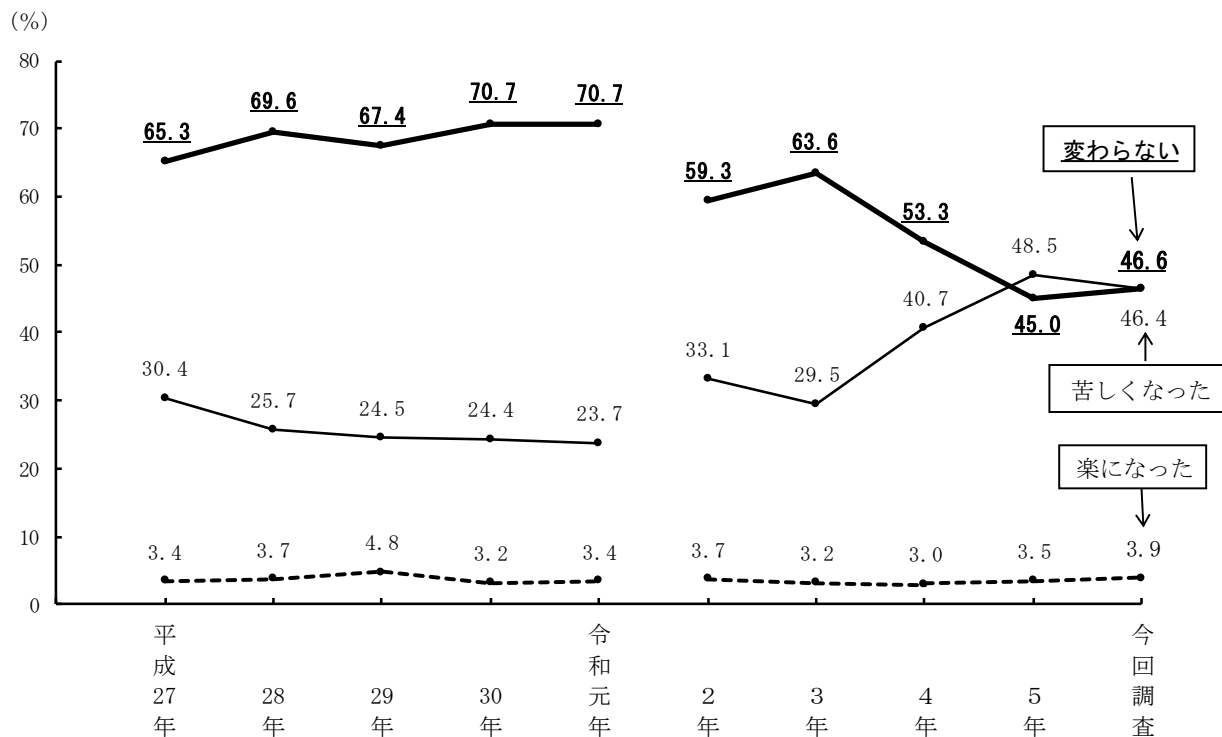
暮らしむきが「苦しくなった」と答えた人(926人)にその理由を聞いたところ、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が72%と最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」38%、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」24%などの順となっている。

(図1-1-1)

暮らしむきの変化を過去の調査結果と比較すると、「苦しくなった」は昨年より2ポイント減少している。(図1-1-2)

なお、暮らしむきの変化の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P165 図1)に掲載している。

図1-1-2 暮らしむきの変化—過去の調査結果



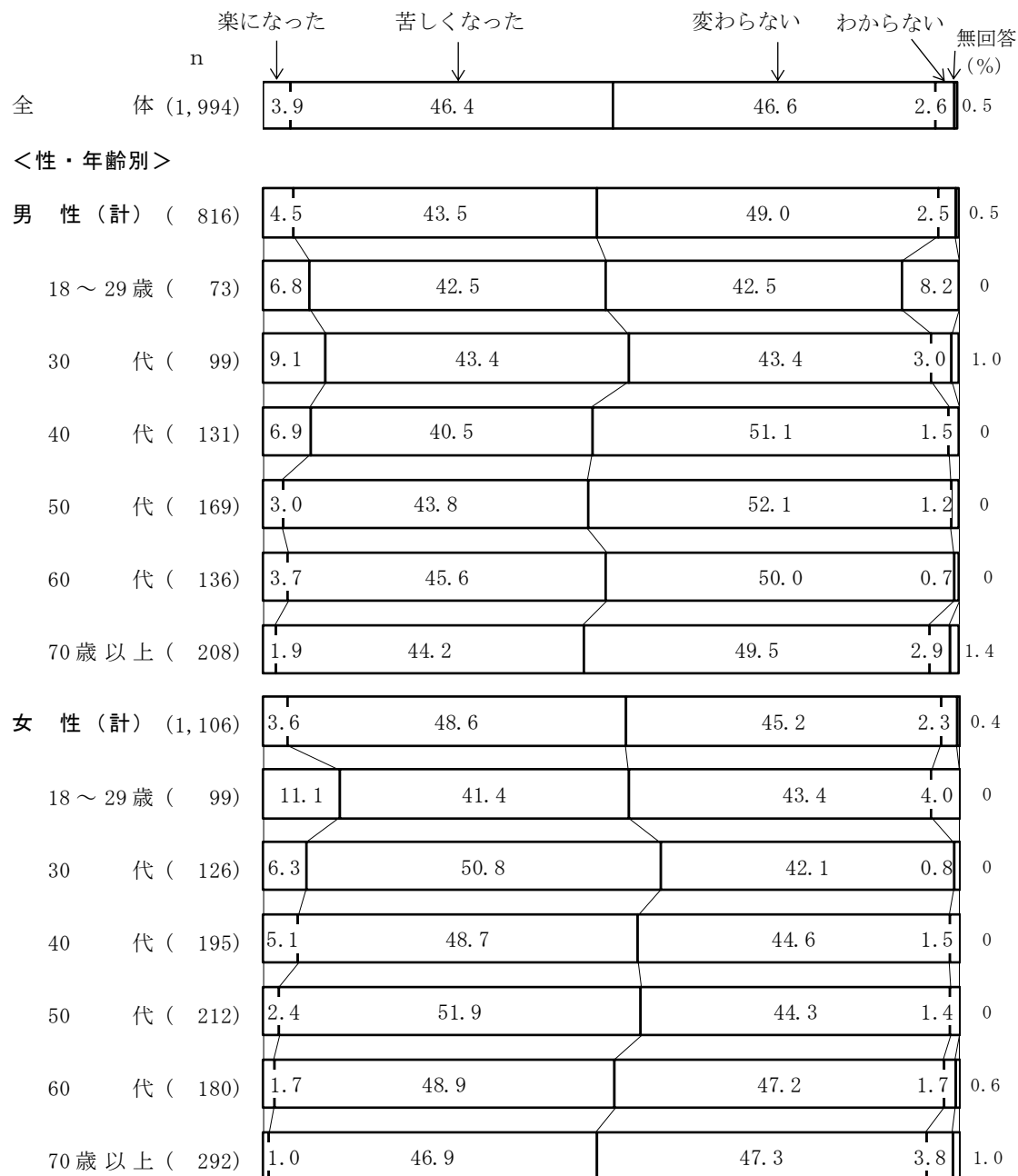
(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要



性・年齢別にみると、「苦しくなった」は女性50代、女性30代で5割を超えて多くなっている。

(図1-1-3)

図1-1-3 暮らしむきの変化－性・年齢別



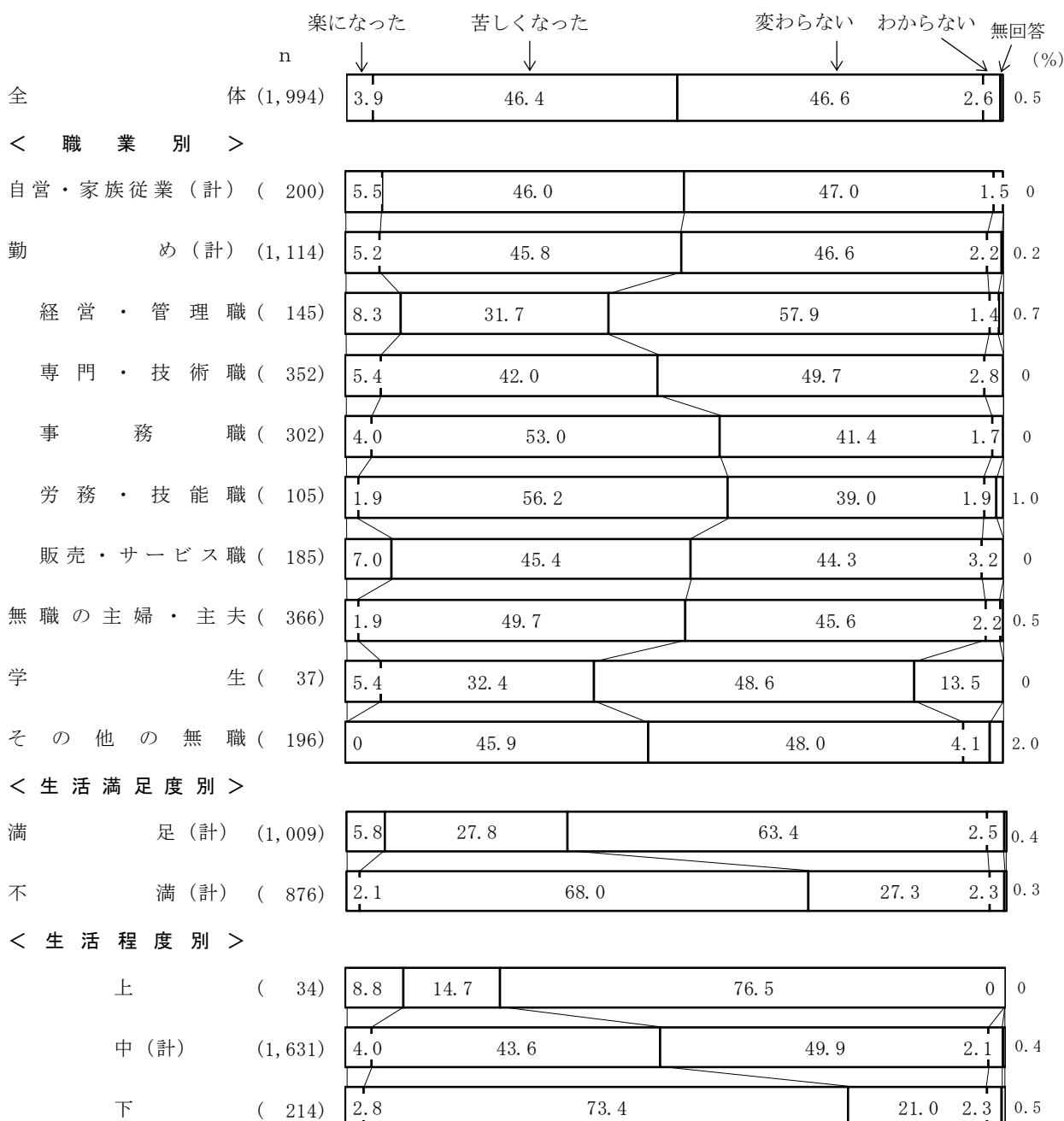
(注) 性・年齢の無回答者を除く (以下同様)。

職業別にみると、「苦しくなった」は労務・技能職と事務職で5割台と多く、経営・管理職では「変わらない」が6割近い。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、「苦しくなった」は『不満（計）』で7割近く多く、一方、「変わらない」は『満足（計）』で6割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「苦しくなった」は“下”で7割を超えて多くなっている。  
 (図1-1-4)

図1-1-4 暮らしむきの変化－職業別、生活満足度別、生活程度別



(注1) 職業別等の各区分で無回答者を除く（以下同様）。

(注2) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

暮らしむきが苦しくなった理由を過去の調査結果と比較すると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は7割を超え昨年とほぼ同様である。「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は、昨年より5ポイント減少している。(表1-1-1)

表1-1-1 暮らしむきが苦しくなった理由—過去の調査結果

(%)

	n	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	教育費が増えた	結婚、出産、病気など特別の費用があつた	失業、退職、病気などで働き手が減った	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答
今回調査	926	72.1	38.0	23.9	17.9	15.7	15.6	12.3	9.5	2.8	6.0	0.5	0.2
令和5年	865	72.3	40.8	29.2	18.7	15.6	14.1	14.5	9.8	3.5	2.9	1.0	0.1
4年	766	56.1	36.7	35.5	19.6	14.4	14.4	17.4	16.1	2.7	4.2	1.3	0.4
3年	545	30.1	29.7	49.5	16.3	14.3	17.1	22.2	11.4	3.3	4.4	1.7	-
2年	752	27.1	28.3	55.6	10.9	12.5	14.9	19.5	10.8	2.9	5.6	1.5	0.1
元年	438	28.3	32.9	37.7	16.2	19.9	14.2	18.9	11.2	3.7	7.3	2.1	-
平成30年	453	26.7	37.5	35.1	13.7	19.2	16.6	19.0	10.6	4.4	11.9	2.4	-
29年	444	30.4	34.0	33.1	14.0	24.1	16.9	20.0	13.1	3.8	14.0	1.4	-
28年	463	33.0	33.9	37.8	12.3	17.9	13.6	18.4	12.7	3.7	7.8	1.9	-
27年	578	40.3	39.6	36.3	12.5	16.3	16.1	19.2	10.2	4.2	8.8	1.2	-

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

年齢別にみると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は40代で8割を超えて多くなっている。また、「教育費が増えた」も40代で4割を超えている。「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は50代と60代で3割を超えている。

職業別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は自営・家族従業（計）で5割を超えて多くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は専門・技術職と事務職で8割前後となっている。（表1-1-2）

表1-1-2 暮らしむきが苦しくなった理由—年齢別、職業別

		(%)												
	n	家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた	税金や保険料の支払いが増えた	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	教育費が増えた	結婚、出産、病気など特別の支出があった	失業、退職、病気などで働き手が減った	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない	無回答	
全	体	926	72.1	38.0	23.9	17.9	15.6	12.3	9.5	2.8	6.0	0.5	0.2	
< 年 齢 別 >														
18	～ 29 歳	72	79.2	48.6	19.4	19.4	6.9	18.1	11.1	9.7	1.4	4.2	-	-
30	代	113	77.9	42.5	22.1	20.4	23.9	25.7	9.7	6.2	1.8	4.4	-	-
40	代	155	82.6	38.7	27.1	21.9	41.3	3.9	5.8	4.5	5.8	3.2	-	-
50	代	184	74.5	35.3	31.5	16.3	22.3	10.9	9.2	7.1	1.6	6.0	1.1	0.5
60	代	150	69.3	35.3	32.7	17.3	2.7	12.7	21.3	8.7	2.7	6.7	-	-
70	歳 以 上	232	61.2	34.5	11.6	14.7	0.9	23.7	15.1	16.4	1.7	8.2	1.3	0.4
< 職 業 別 >														
自営・家族従業（計）		92	60.9	38.0	51.1	14.1	8.7	16.3	9.8	9.8	18.5	6.5	1.1	-
勤 め（計）		510	75.3	40.8	27.6	20.6	21.4	13.9	8.0	7.3	1.0	4.1	0.2	0.2
経営・管理職		46	71.7	32.6	26.1	21.7	32.6	6.5	4.3	6.5	-	6.5	-	-
専門・技術職		148	80.4	43.9	27.7	17.6	22.3	18.9	7.4	6.8	0.7	2.7	-	-
事務職		160	78.8	44.4	29.4	21.3	27.5	12.5	8.8	3.8	1.3	3.1	0.6	-
労務・技能職		59	55.9	35.6	33.9	28.8	1.7	10.2	11.9	15.3	1.7	5.1	-	-
販売・サービス職		84	73.8	38.1	20.2	16.7	19.0	13.1	6.0	7.1	1.2	7.1	-	1.2
無職の主婦・主夫		182	72.0	40.1	7.7	14.3	10.4	20.3	22.5	14.8	-	6.0	-	0.5
学 生		12	75.0	16.7	16.7	8.3	58.3	-	16.7	-	8.3	8.3	-	-
その他の無職		90	76.7	21.1	8.9	12.2	-	12.2	21.1	11.1	-	12.2	2.2	-

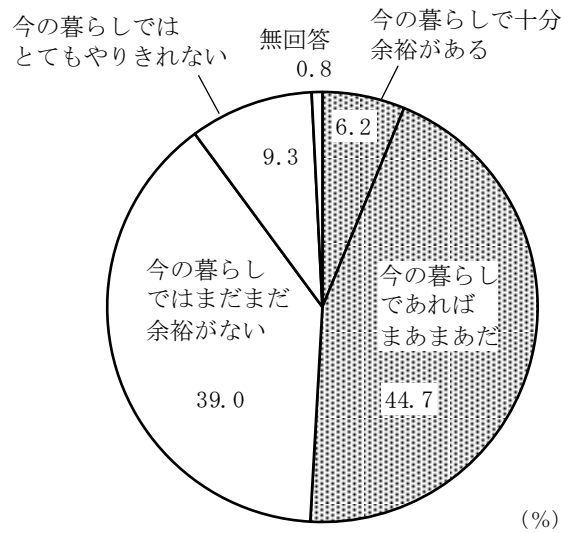
※1-2 暮らしの余裕

図1-2-1

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(○は1つ)

(n = 1,994)



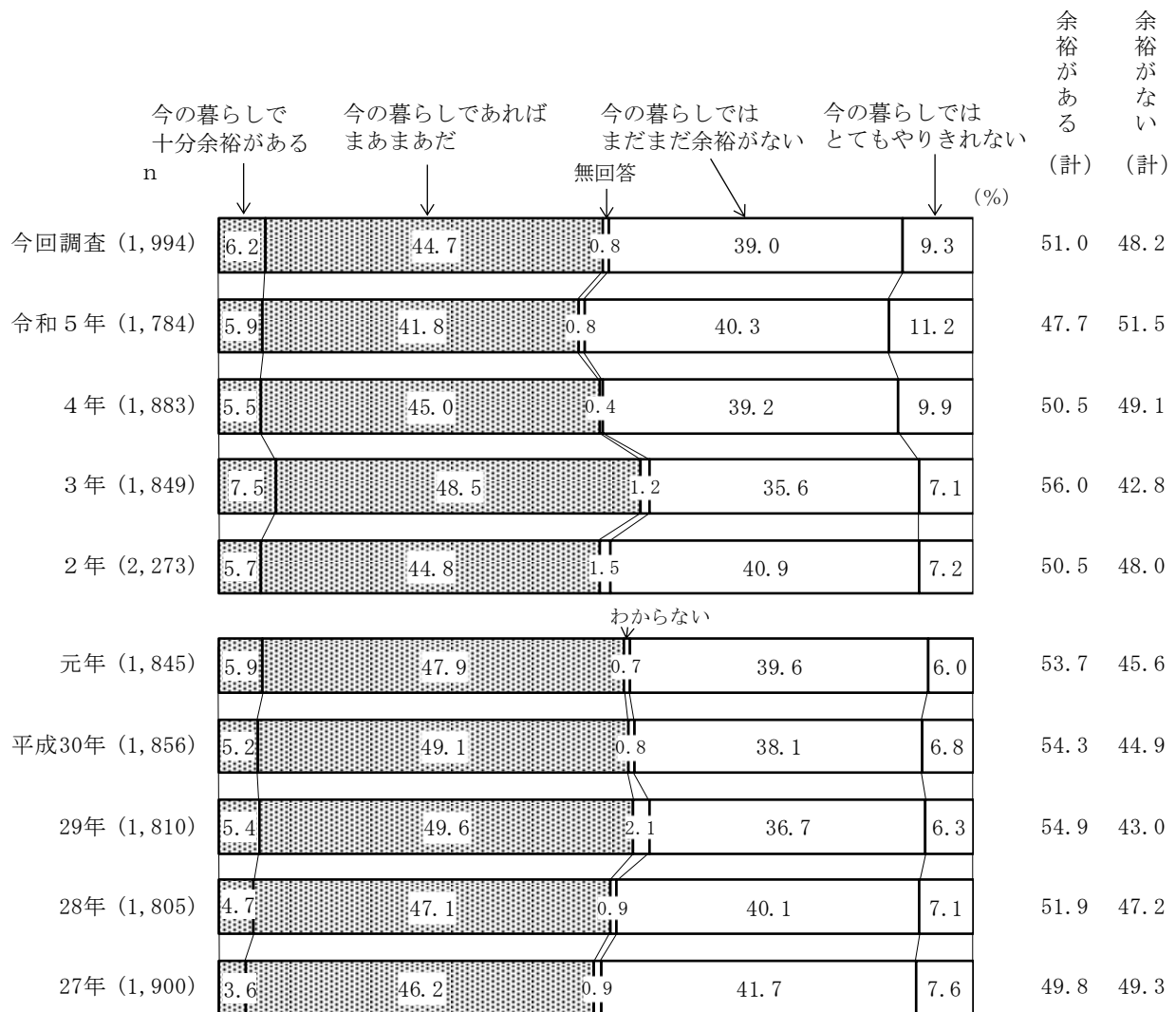
(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計  
 『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

暮らしの余裕について聞いたところ、『余裕がある (計)』51%、『余裕がない (計)』48%となっている。(図1-2-1)

暮らしの余裕を過去の調査結果と比較すると、『余裕がある（計）』は昨年より3ポイント増加している。一方、『余裕がない（計）』は昨年より3ポイント減少している。（図1-2-2）

なお、暮らしの余裕の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P167 表1）に掲載している。

図1-2-2 暮らしの余裕－過去の調査結果



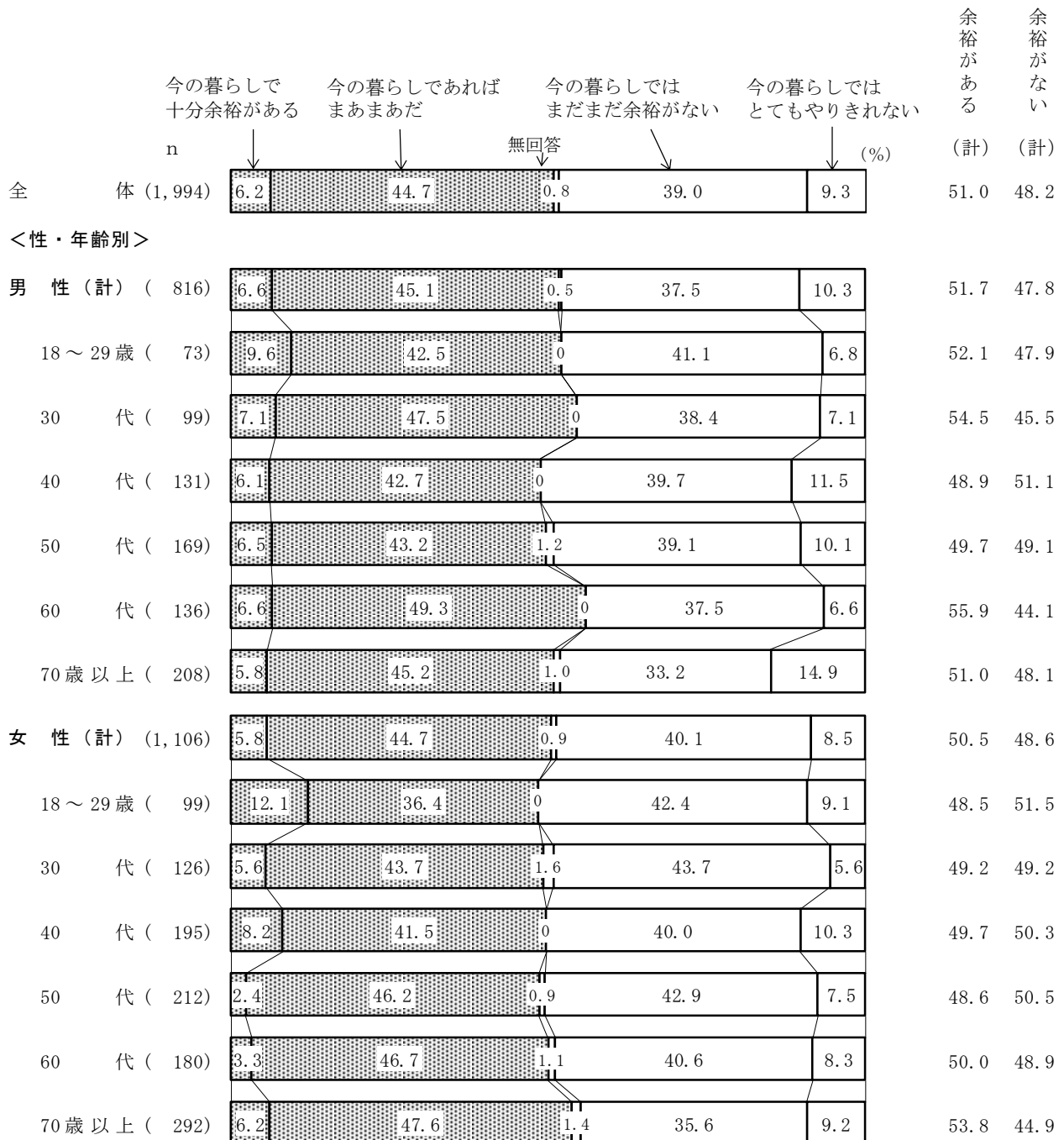
(注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、男性70歳以上で「今の暮らしではとてもやりきれない」が1割半ばと多くなっている。(図1-2-3)

図1-2-3 暮らしの余裕－性・年齢別

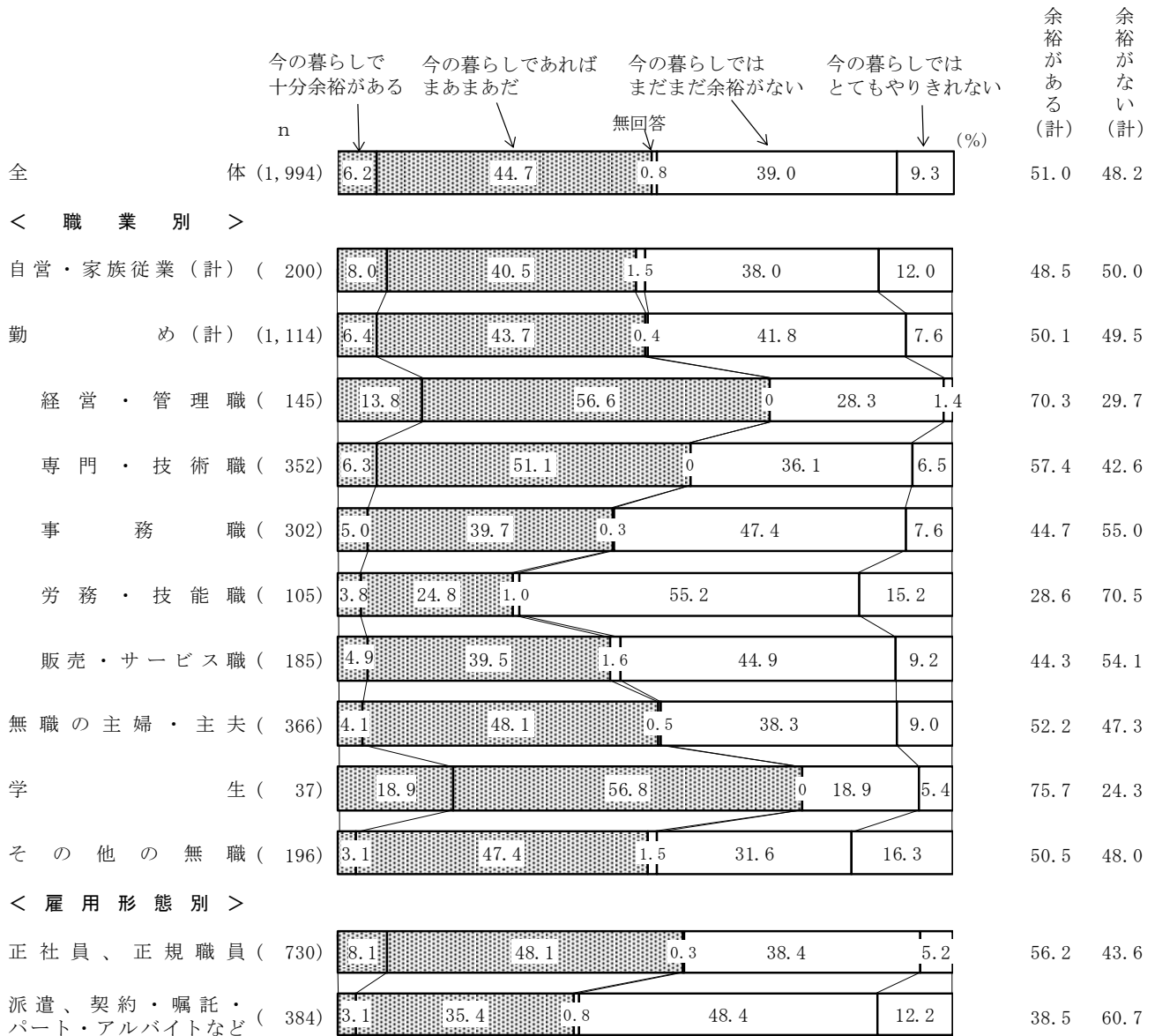


(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計  
『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

職業別にみると、『余裕がある（計）』は経営・管理職で約7割と多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は労務・技能職で約7割と多くなっている。

雇用形態別にみると、『余裕がない（計）』は派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなどで6割を超えている。（図1-2-4）

図1-2-4 暮らしの余裕－職業別、雇用形態別



（注）『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

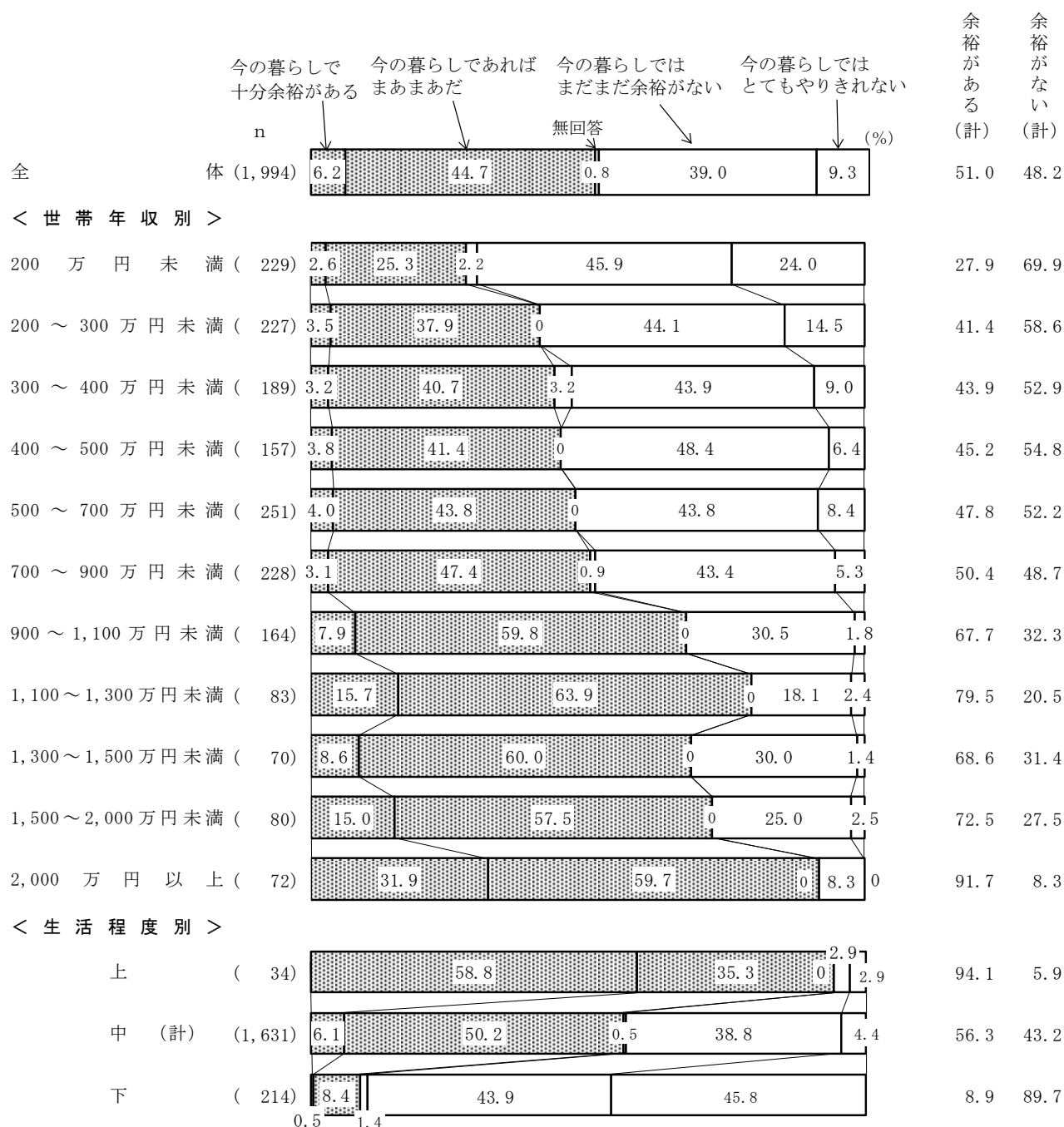
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計



世帯年収別にみると、『余裕がある（計）』は世帯年収が多いほど割合が高く、年収900万円以上の世帯はいずれも7割近く、あるいはそれ以上の割合を占めている。一方、『余裕がない（計）』は年収200万円未満の世帯で約7割、年収200万円以上700万円未満の世帯はいずれも5割を超えて多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、“下”と答えた人で『余裕がない（計）』は約9割と多くなっている。（図1-2-5）

図1-2-5 暮らしの余裕—世帯年収別、生活程度別



(注1) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(注2) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

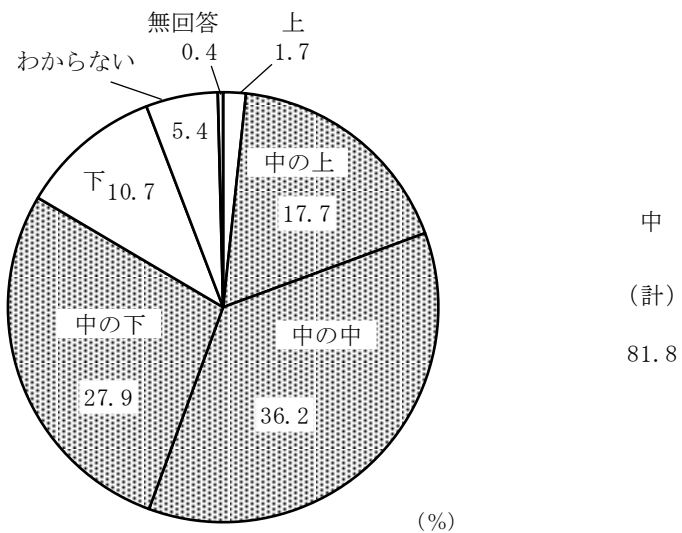
※1-3 生活程度

図1-3-1

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入りますか。(○は1つ)

(n = 1,994)



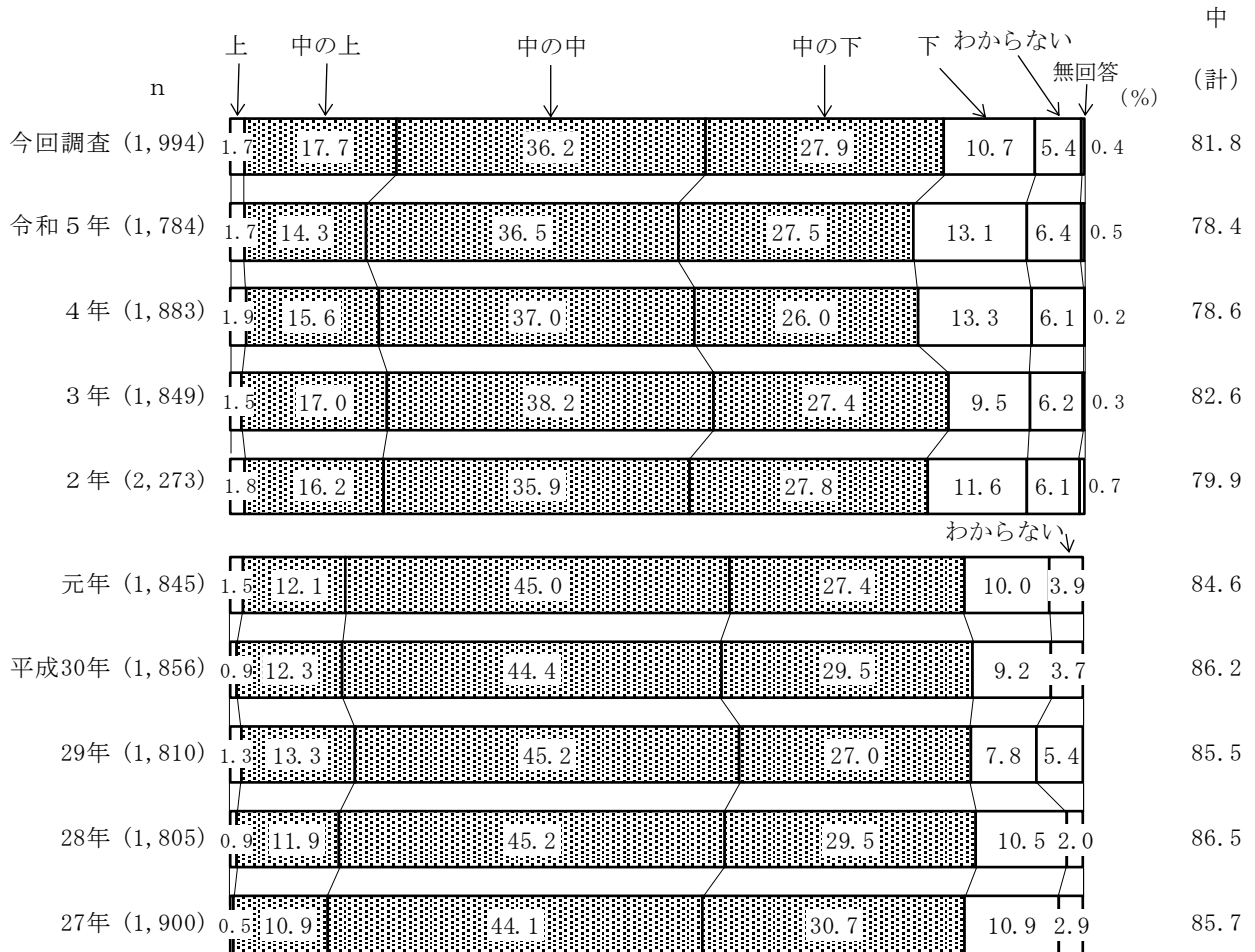
(注) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いたところ、「上」2%、「中の上」18%、「中の中」36%、「中の下」28%、「下」11%となっている。「中の上」「中の中」「中の下」を合わせた『中 (計)』は82%となっている。(図1-3-1)

生活程度を過去の調査結果と比較すると、『中（計）』は昨年より3ポイント増加している。

(図1-3-2)

図1-3-2 生活程度－過去の調査結果

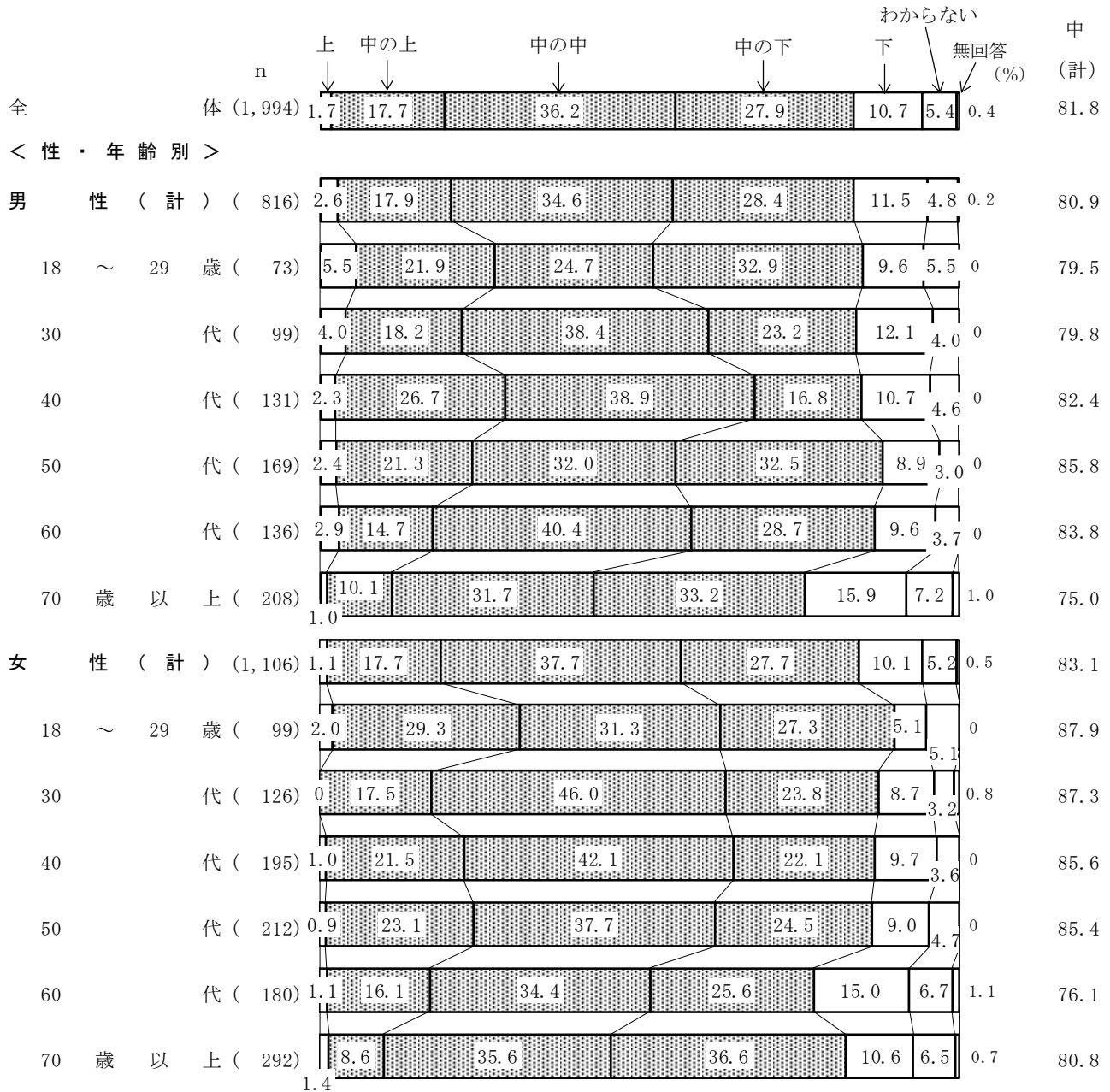


(注1) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『中（計）』は女性18～29歳と30代で9割近くと多くなっている。一方、「下」は男性70歳以上と女性60代で1割半ばと多くなっている。（図1-3-3）

図1-3-3 生活程度—性・年齢別

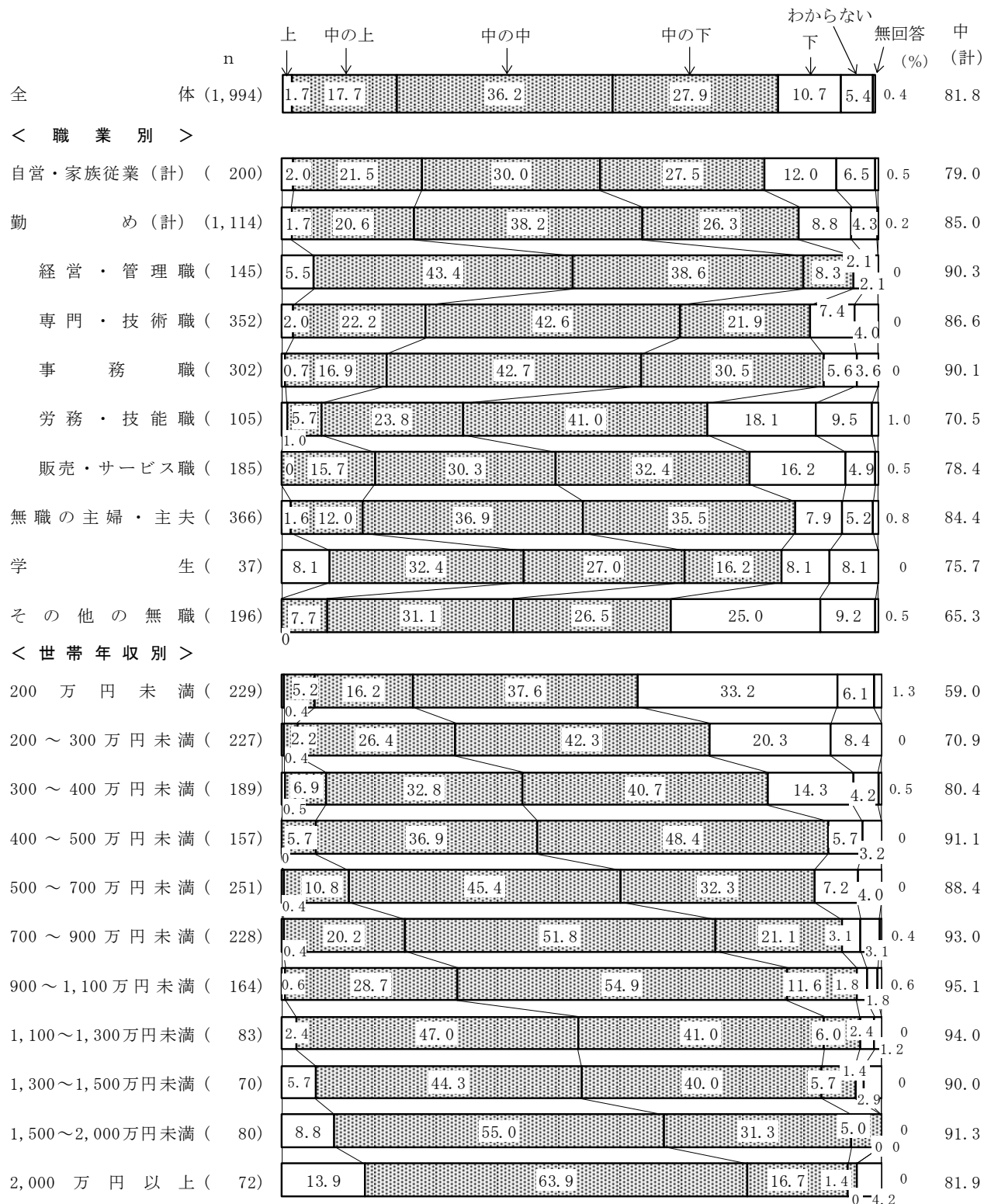


(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

職業別にみると、『中（計）』は経営・管理職と事務職で約9割と多くなっている。一方、「下」はその他の無職で2割半ばとなっている。

世帯年収別にみると、『中（計）』は年収700万円以上2,000万円未満の世帯で9割台と多くなっている。一方、「下」は年収200～300万円未満の世帯で約2割、200万円未満の世帯では3割を超えて多くなっている。（図1-3-4）

図1-3-4 生活程度－職業別、世帯年収別



(注) 『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

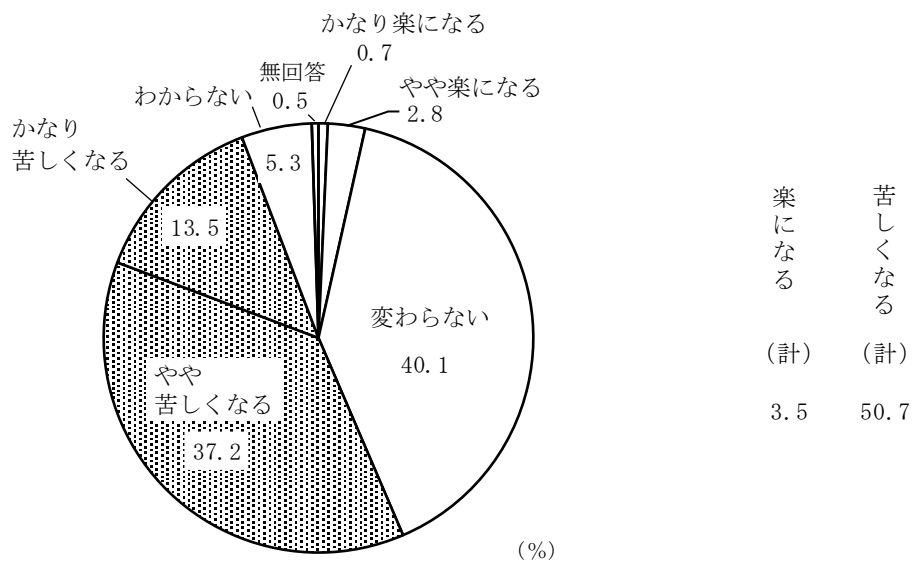
※1-4 これからの暮らしむき

図1-4-1

(全員の方に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると感じますか、苦しくなると感じますか。それとも変わらないと感じますか。(○は1つ)

(n = 1,994)



(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計  
 『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

これから1年間の暮らしむきを聞いたところ、『楽になる (計)』4%、『苦しくなる (計)』51%となっており、「変わらない」が40%となっている。(図1-4-1)

これからの暮らしむきを過去の調査結果と比較すると、昨年と特に大きな差はみられない。

(図1-4-2)

なお、これからの暮らしむきの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P167 表2)に掲載している。

図1-4-2 これからの暮らしむき—過去の調査結果

調査年 (n)	変化の程度 (%)					『楽になる (計)』 (%)	『苦しくなる (計)』 (%)	
	かなり楽になる	やや楽になる	変わらない	わからない	無回答			
今回調査 (1,994)	2.8	40.1	5.3	0.5	37.2	13.5	3.5	50.7
令和5年 (1,784)	3.5	38.1	5.5	0.4	36.7	15.3	4.0	52.0
4年 (1,883)	3.8	40.6	5.9	1.2	34.3	13.8	4.3	48.0
3年 (1,849)	3.4	49.6	8.7	0.8	28.3	8.7	3.9	37.0
2年 (2,273)	2.9	41.7	8.6	0.9	34.4	11.0	3.3	45.4
元年 (1,845)	4.5	54.5	5.4	29.0	6.3	4.8	35.3	
平成30年 (1,856)	4.3	56.3	5.4	27.6	6.3	4.4	33.9	
29年 (1,810)	5.6	54.2	7.3	25.7	6.6	6.2	32.3	
28年 (1,805)	3.9	55.8	4.8	28.3	6.7	4.4	35.0	
27年 (1,900)	3.6	53.2	4.7	29.3	8.8	3.9	38.2	

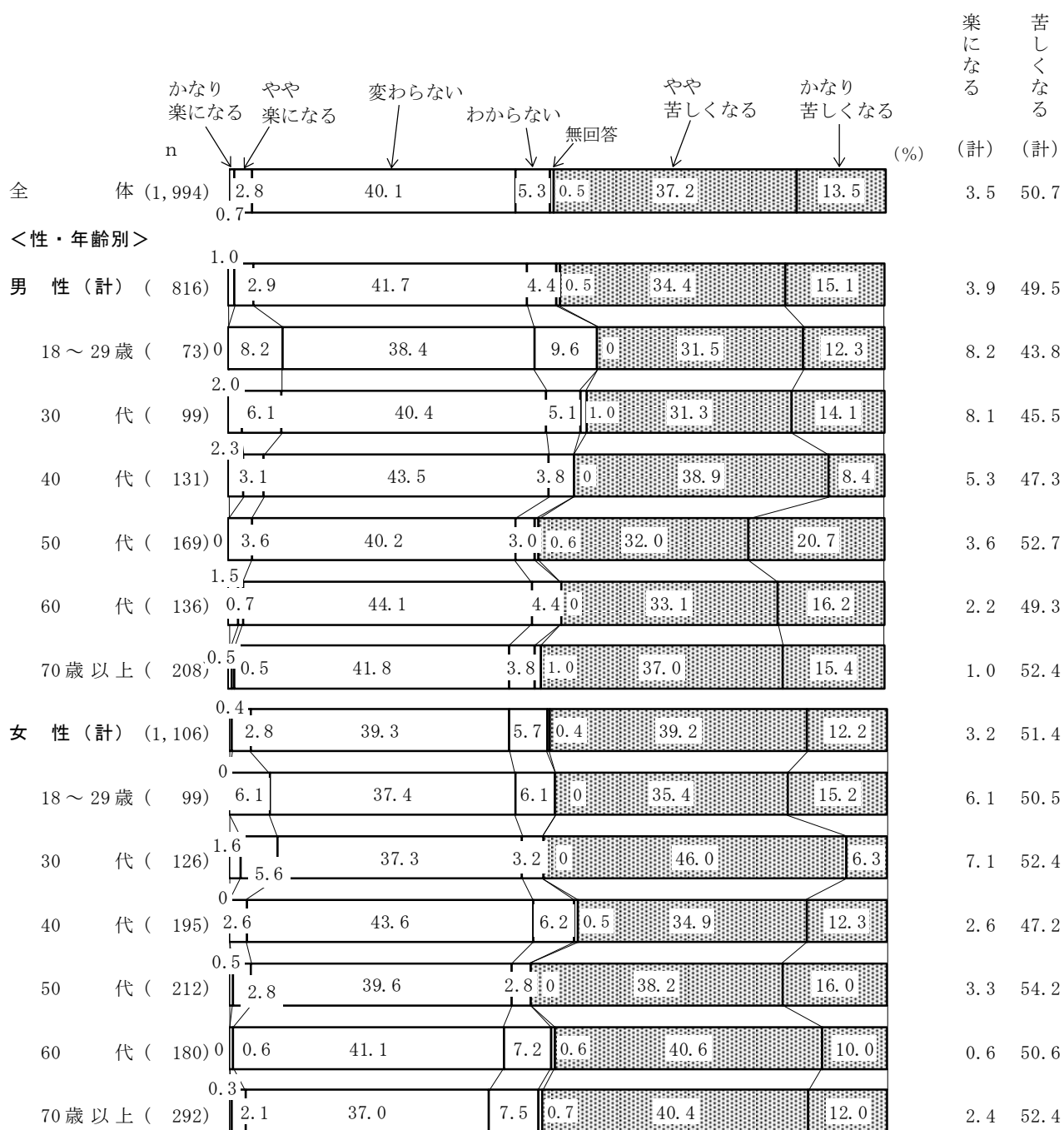
(注1) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『楽になる（計）』は男性の18～29歳と男性30代で1割近くとなっており、それ以外の性・年齢では『苦しくなる（計）』がおおむね5割前後となっている。（図1-4-3）

図1-4-3 これからの暮らしむき－性・年齢別



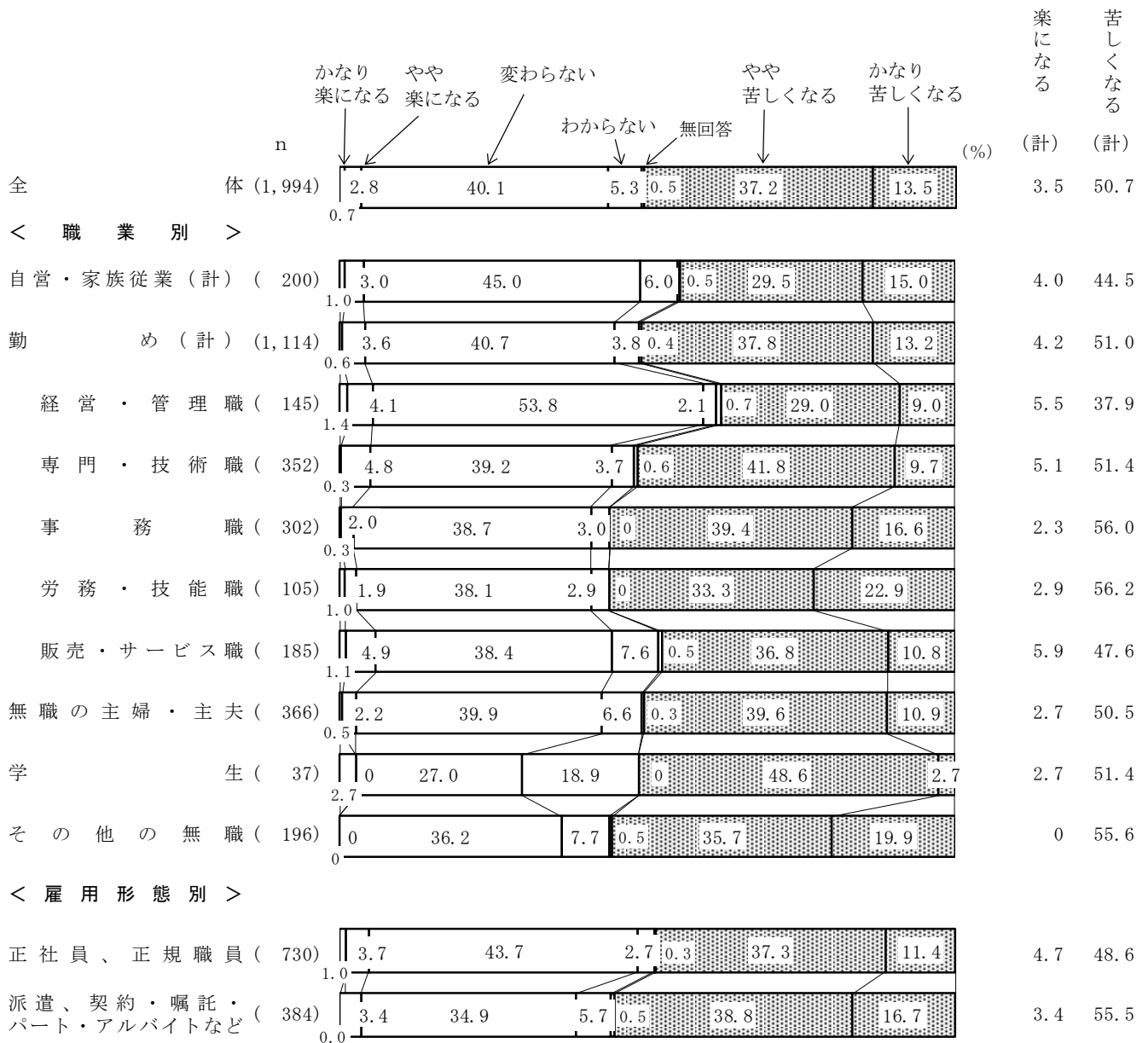
(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計  
『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計



職業別にみると、『苦しくなる（計）』は労務・技能職、事務職、その他の無職で5割半ばと多くなっている。

雇用形態別にみると、『苦しくなる（計）』は派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなどで5割半ばと多くなっている。（図1-4-4）

図1-4-4 これからの暮らしむき—職業別、雇用形態別



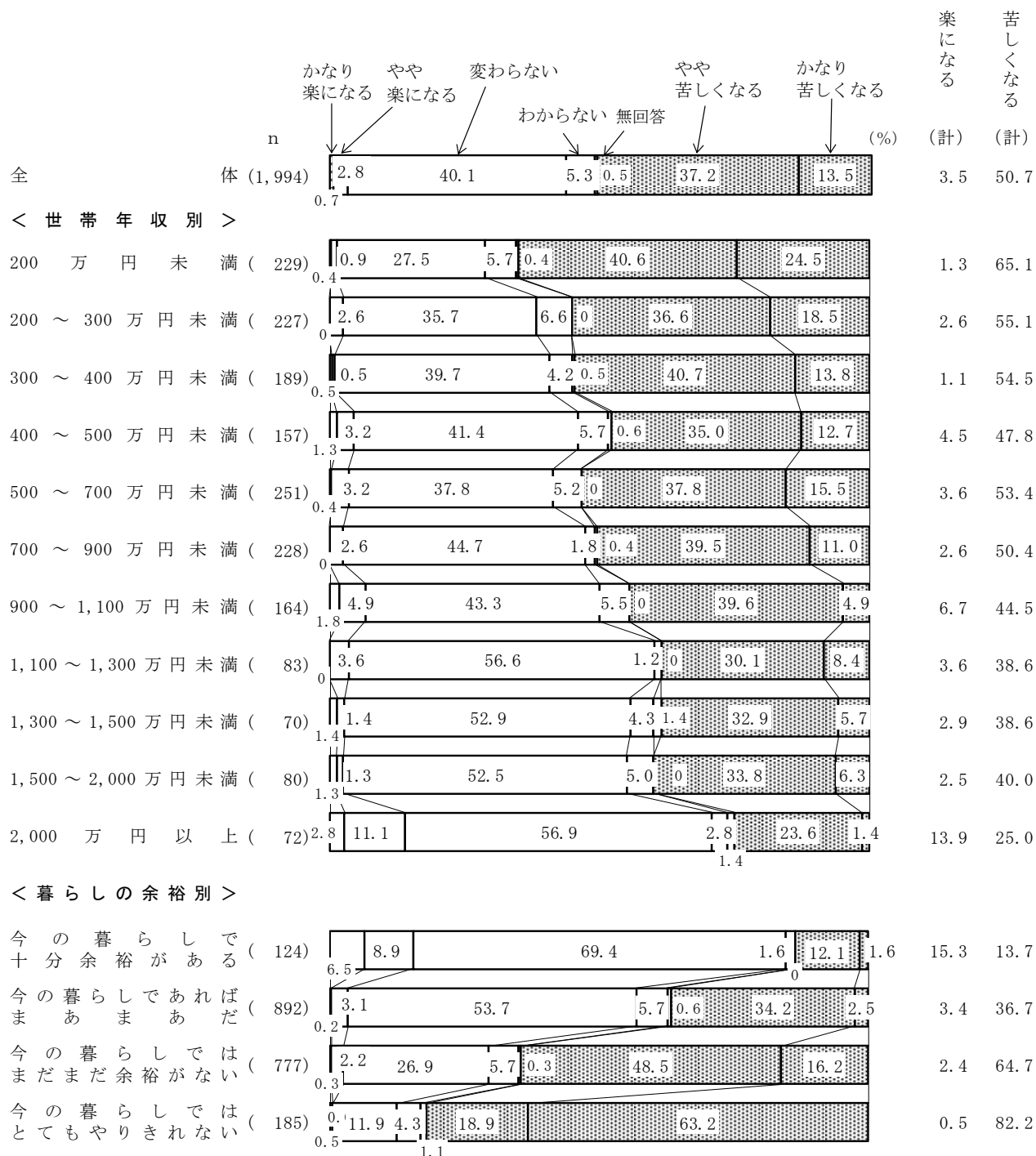
(注) 『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

世帯年収別にみると、『苦しくなる（計）』は年収200万円未満の世帯で6割半ばと多くなっている。

暮らしの余裕（問2 P9）との関係でみると、『苦しくなる（計）』は余裕の度合いが低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、“今の暮らしではとてもやりきれない”と答えた人では8割を超え、“今の暮らしではまだまだ余裕がない”と答えた人では6割半ばと多くなっている。（図1-4-5）

図1-4-5 これからの暮らしむき—世帯年収別、暮らしの余裕別



(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計  
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

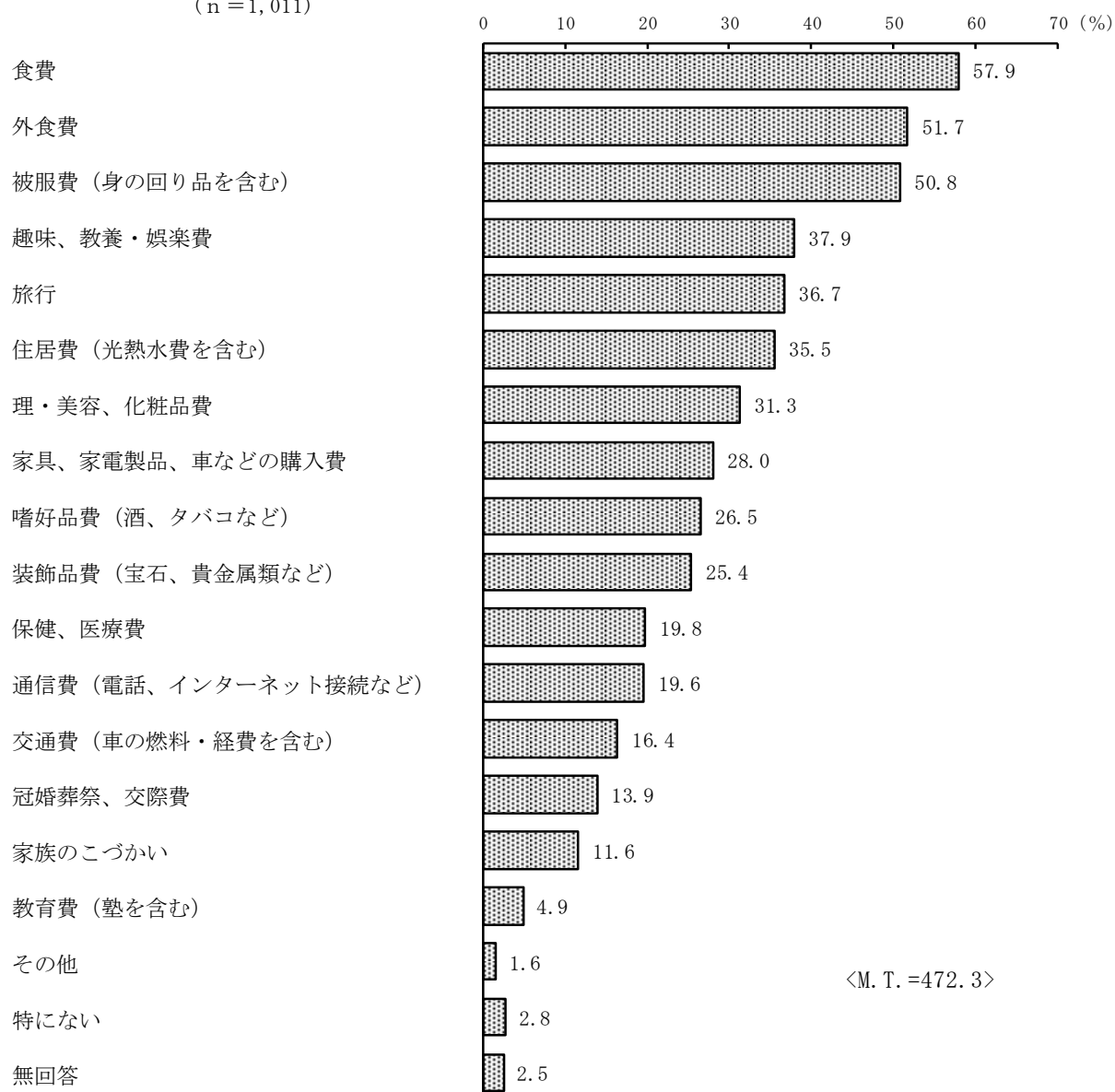
※1-5 今後切りつめていくもの

図1-5-1

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

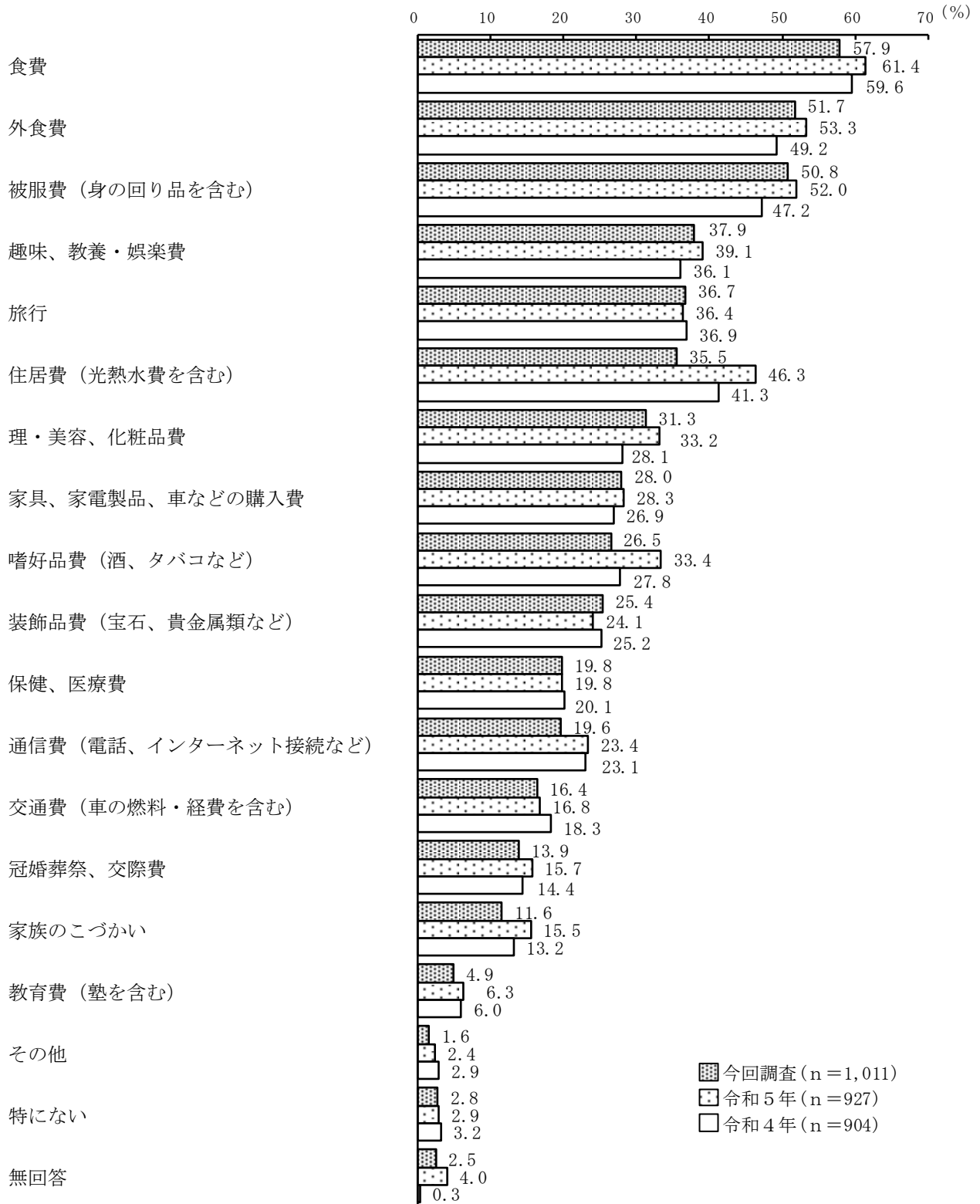
(n=1,011)



これから1年間の暮らしむきが苦しくなると答えた人(1,011人)に、今後切りつめていこうと思うものを聞いたところ、「食費」が58%と最も多く、次いで「外食費」52%、「被服費(身の回り品を含む)」51%、「趣味、教養・娯楽費」38%、「旅行」37%、「住居費(光熱水費を含む)」36%などの順となっている。(図1-5-1)

今後切りつめていくものを過去の調査結果と比較すると、昨年より割合が低くなっている項目が多い。  
 (図1-5-2)

図1-5-2 今後切りつめていくもの—過去の調査結果



性・年齢別にみると、「被服費（身の回り品を含む）」は女性（計）が5割半ばと男性（計）よりも9ポイント高くなっている。また、「理・美容、化粧品費」は女性（計）が4割近くと男性（計）よりも18ポイント高くなっている。「住居費（光熱水費を含む）」は男女ともに60代で5割近く、70歳以上で4割半ばと多い。また「保健、医療費」は男女ともに70歳以上で3割以上と多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、「食費」は“下”と答えた人で約8割と多くなっている。また、「被服費（身の回り品を含む）」と「住居費（光熱水費を含む）」も“下”と答えた人で5割を超えている。（表1-5-1）

表1-5-1 今後切りつめていくもの一性・年齢別、生活程度別

	n	食費	外食費	被服費（身の回り品を含む）	趣味、教養・娯楽費	旅行	住居費（光熱水費を含む）	理・美容、化粧品費	家具、家電製品、車などの購入費	嗜好品費（酒、タバコなど）	装飾品費（宝石、貴金属類など）	保健、医療費	通信費（電話、インターネット接続など）	交通費（車の燃料・経費を含む）	冠婚葬祭、交際費	家族のこづかい	教育費（塾を含む）	その他	特になし	無回答
全体	1,011	57.9	51.7	50.8	37.9	36.7	35.5	31.3	28.0	26.5	25.4	19.8	19.6	16.4	13.9	11.6	4.9	1.6	2.8	2.5
<性・年齢別>																				
男性（計）	404	59.4	51.5	45.3	42.1	36.9	37.4	20.5	30.9	30.2	18.8	21.5	21.5	20.5	12.1	12.9	5.4	0.7	4.7	1.7
18～29歳	32	46.9	56.3	37.5	50.0	21.9	40.6	25.0	21.9	28.1	18.8	3.1	28.1	18.8	9.4	6.3	6.3	-	-	-
30代	45	48.9	53.3	42.2	46.7	40.0	26.7	24.4	35.6	26.7	28.9	22.2	17.8	13.3	8.9	11.1	6.7	-	8.9	2.2
40代	62	59.7	59.7	50.0	46.8	38.7	32.3	21.0	40.3	38.7	25.8	14.5	27.4	21.0	11.3	16.1	14.5	-	4.8	3.2
50代	89	57.3	49.4	50.6	48.3	42.7	29.2	25.8	30.3	36.0	23.6	13.5	18.0	22.5	9.0	13.5	6.7	2.2	6.7	-
60代	67	64.2	55.2	53.7	37.3	38.8	47.8	19.4	34.3	31.3	13.4	28.4	28.4	31.3	19.4	14.9	-	-	3.0	1.5
70歳以上	109	66.1	44.0	36.7	33.0	33.0	44.0	13.8	24.8	22.0	10.1	33.0	16.5	15.6	12.8	11.9	1.8	0.9	3.7	2.8
女性（計）	569	58.0	51.3	54.7	35.5	36.6	35.0	38.8	25.8	23.7	29.9	18.1	18.1	13.4	14.4	10.5	4.6	2.3	1.2	3.0
18～29歳	50	56.0	52.0	58.0	36.0	36.0	22.0	42.0	30.0	18.0	20.0	18.0	16.0	14.0	8.0	4.0	2.0	-	-	-
30代	66	45.5	62.1	45.5	36.4	31.8	27.3	40.9	25.8	24.2	30.3	7.6	18.2	10.6	6.1	6.1	9.1	1.5	1.5	1.5
40代	92	55.4	57.6	53.3	33.7	41.3	23.9	38.0	25.0	33.7	32.6	7.6	16.3	12.0	9.8	14.1	6.5	3.3	2.2	4.3
50代	115	60.9	51.3	60.0	48.7	35.7	31.3	41.7	34.8	26.1	37.4	13.0	18.3	19.1	14.8	9.6	6.1	1.7	0.9	1.7
60代	91	65.9	46.2	58.2	33.0	36.3	48.4	41.8	26.4	27.5	33.0	23.1	22.0	14.3	14.3	15.4	4.4	4.4	-	3.3
70歳以上	153	58.8	46.4	52.3	28.1	37.3	44.4	34.0	18.3	15.7	23.5	30.1	17.6	10.5	22.9	10.5	1.3	2.0	2.0	4.6
<生活程度別>																				
上	7	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	-	14.3	-	-	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	28.6	-
中の上	119	34.5	43.7	36.1	36.1	27.7	21.0	26.1	28.6	23.5	28.6	6.7	14.3	6.7	9.2	6.7	5.0	1.7	6.7	3.4
中の中	315	49.8	52.4	51.1	34.6	37.8	27.6	27.9	26.0	24.4	27.0	15.2	17.5	16.2	11.4	9.8	4.4	1.3	2.2	1.9
中の下	354	63.3	54.8	51.7	41.8	39.5	40.4	34.7	27.7	30.8	23.7	21.5	18.9	16.4	14.7	11.6	5.4	0.8	1.7	2.5
下	159	78.6	54.7	58.5	39.0	35.8	50.9	34.6	35.2	25.8	25.2	31.4	28.3	23.3	21.4	18.2	5.7	3.1	1.9	2.5

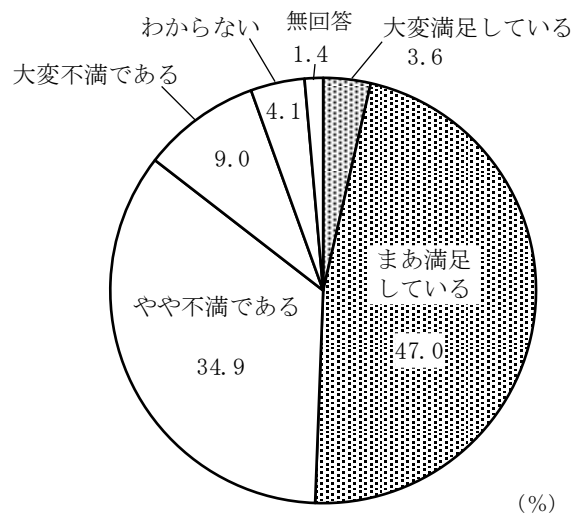
※1-6 生活満足度

図1-6-1

(全員の方に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(○は1つ)

(n = 1,994)



満足	不満
足	満
(計)	(計)
50.6	43.9

(注) 『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計  
 『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

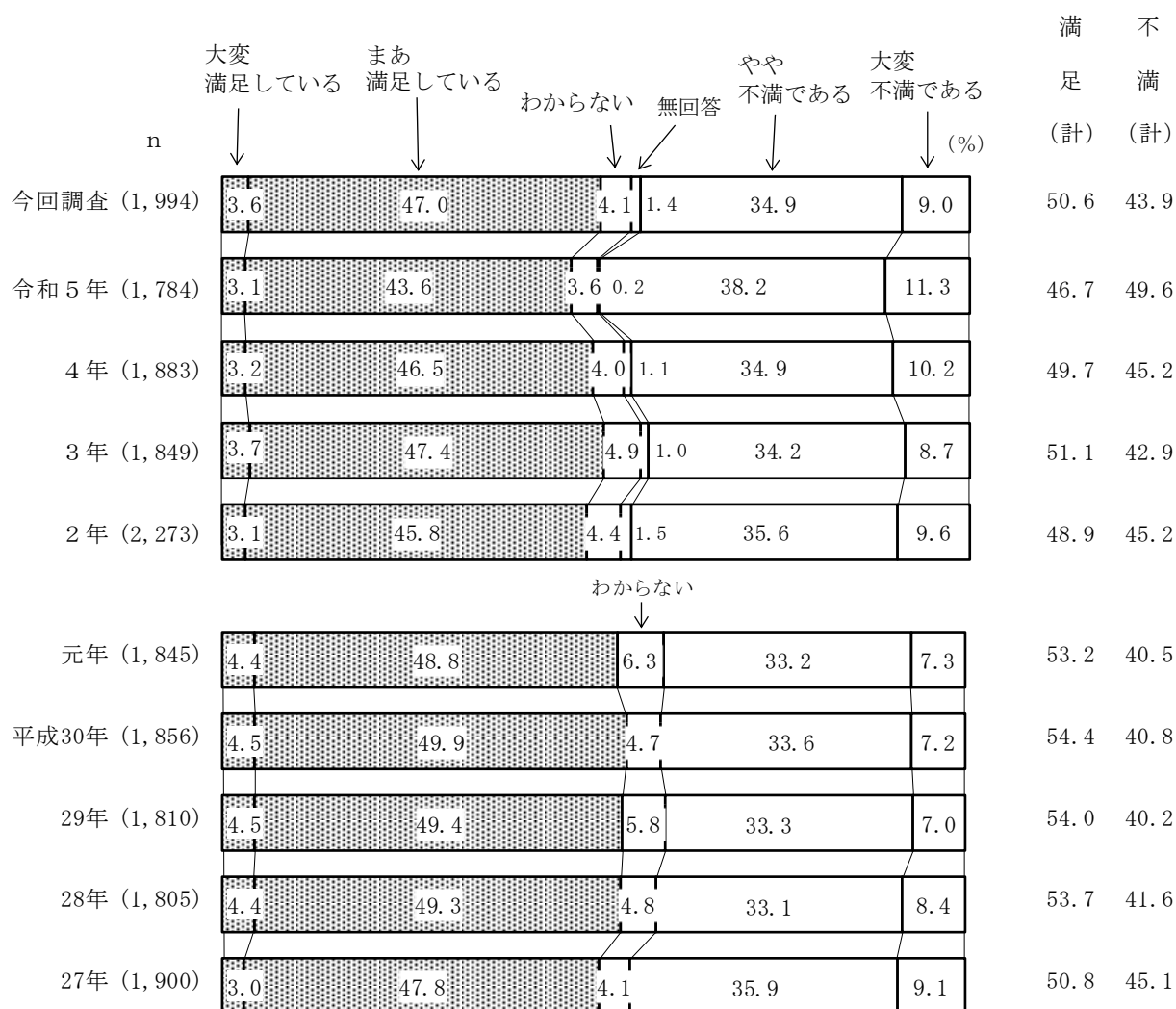
現在の生活に満足しているか聞いたところ、『満足 (計)』は51%、『不満 (計)』は44%となっている。  
 (図1-6-1)

生活満足度を過去の調査結果と比較すると、『満足（計）』は昨年より4ポイント増加している。

(図1-6-2)

なお、生活満足度の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P168 表3、P169 図4）に掲載している。

図1-6-2 生活満足度—過去の調査結果



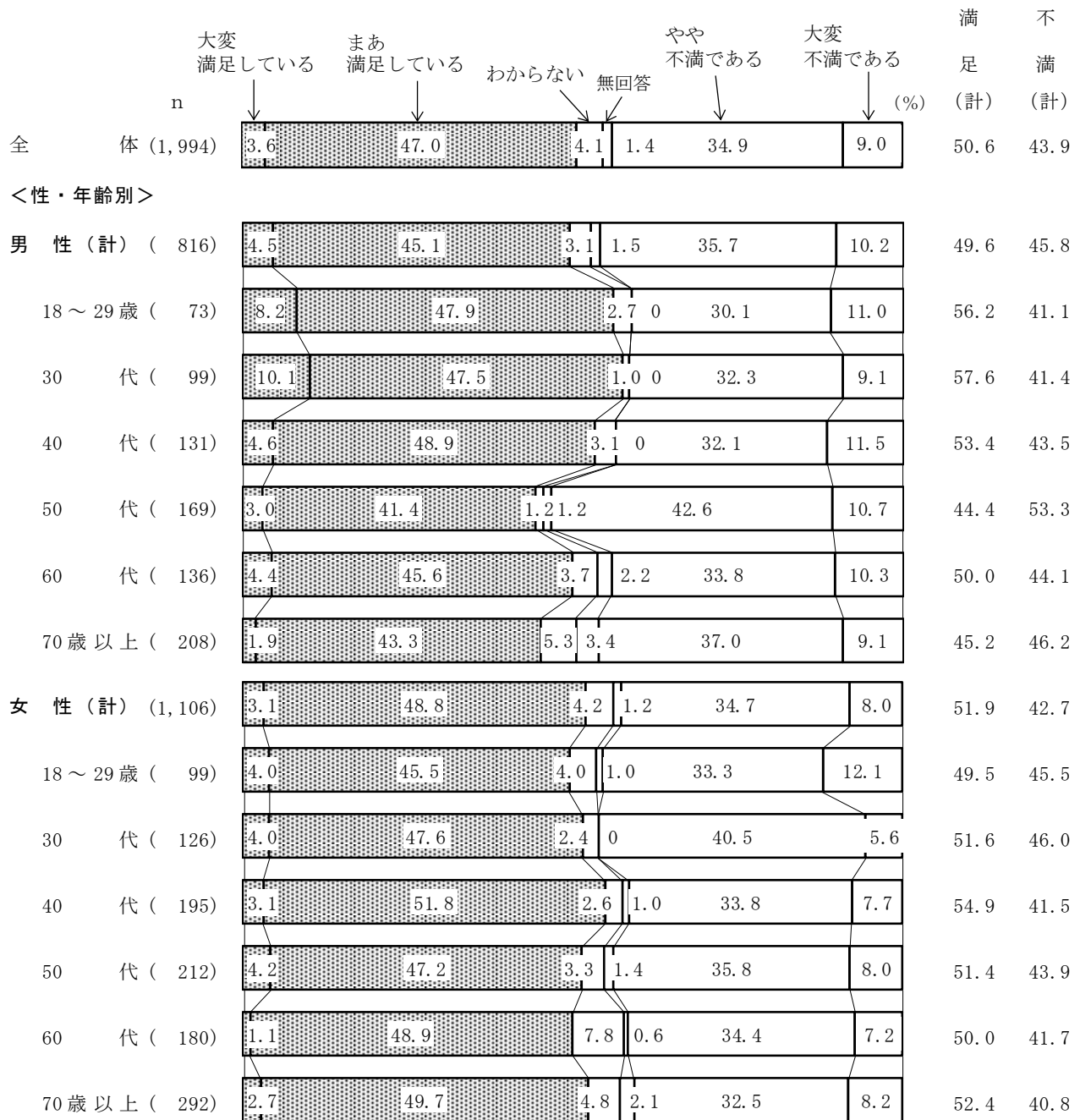
(注1) 『満足（計）』は「大満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『不満（計）』は男性50代で5割を超えて多くなっている。（図1-6-3）

図1-6-3 生活満足度－性・年齢別



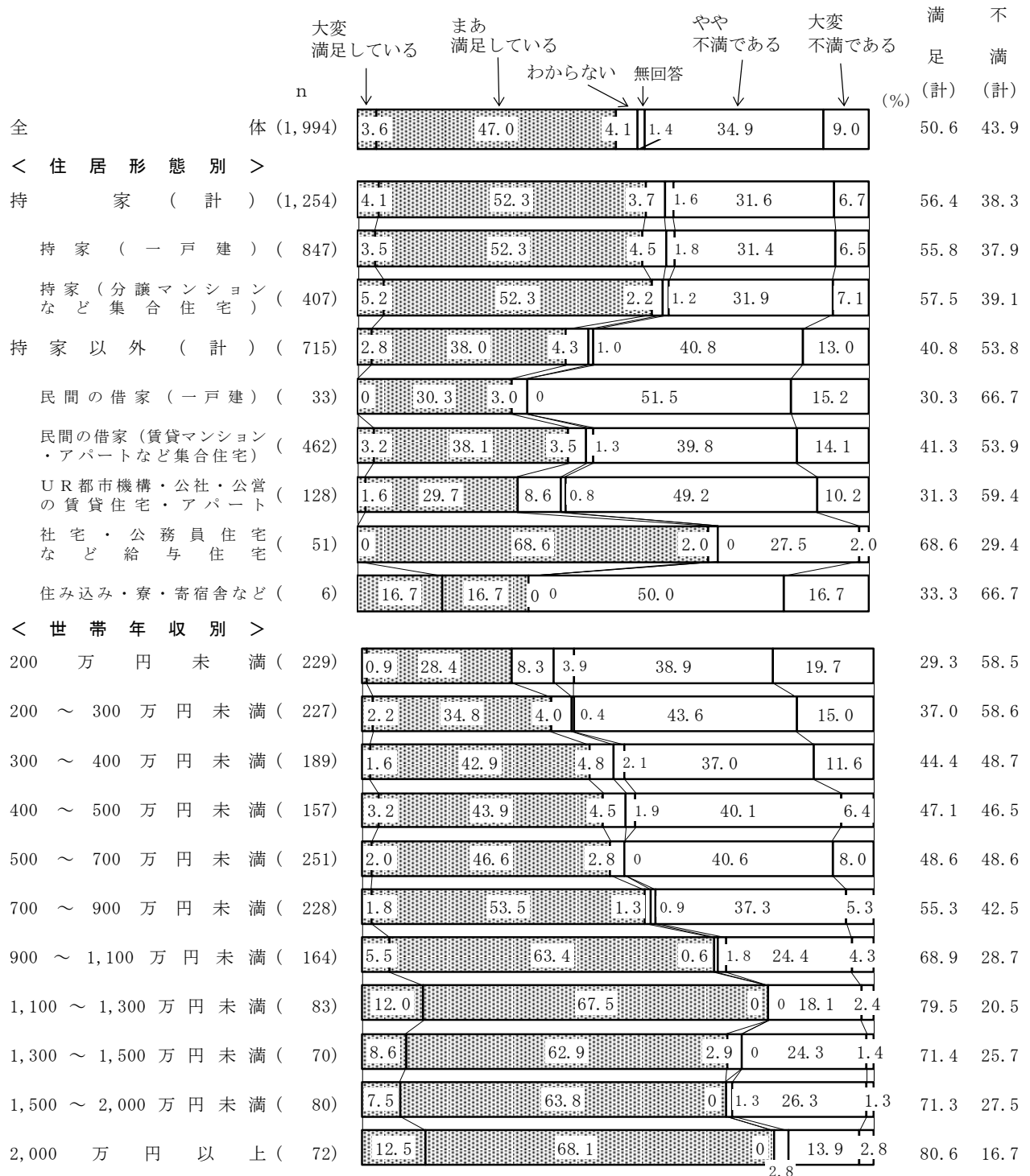
(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計  
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計



住居形態別にみると、『満足（計）』は持家（計）で5割半ばと、持家以外（計）より16ポイント高くなっている。一方、『不満（計）』は持家以外（計）で5割半ばと多くなっている。

世帯年収別にみると、『満足（計）』はおおむね年収が多いほど割合が高くなる傾向がある。年収900万円以上で『満足（計）』が約7割、もしくはそれ以上と多くなっている。一方、『不満（計）』は年収300万円未満の世帯で約6割と多くなっている。（図1-6-4）

図1-6-4 生活満足度－住居形態別、世帯年収別



(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計  
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

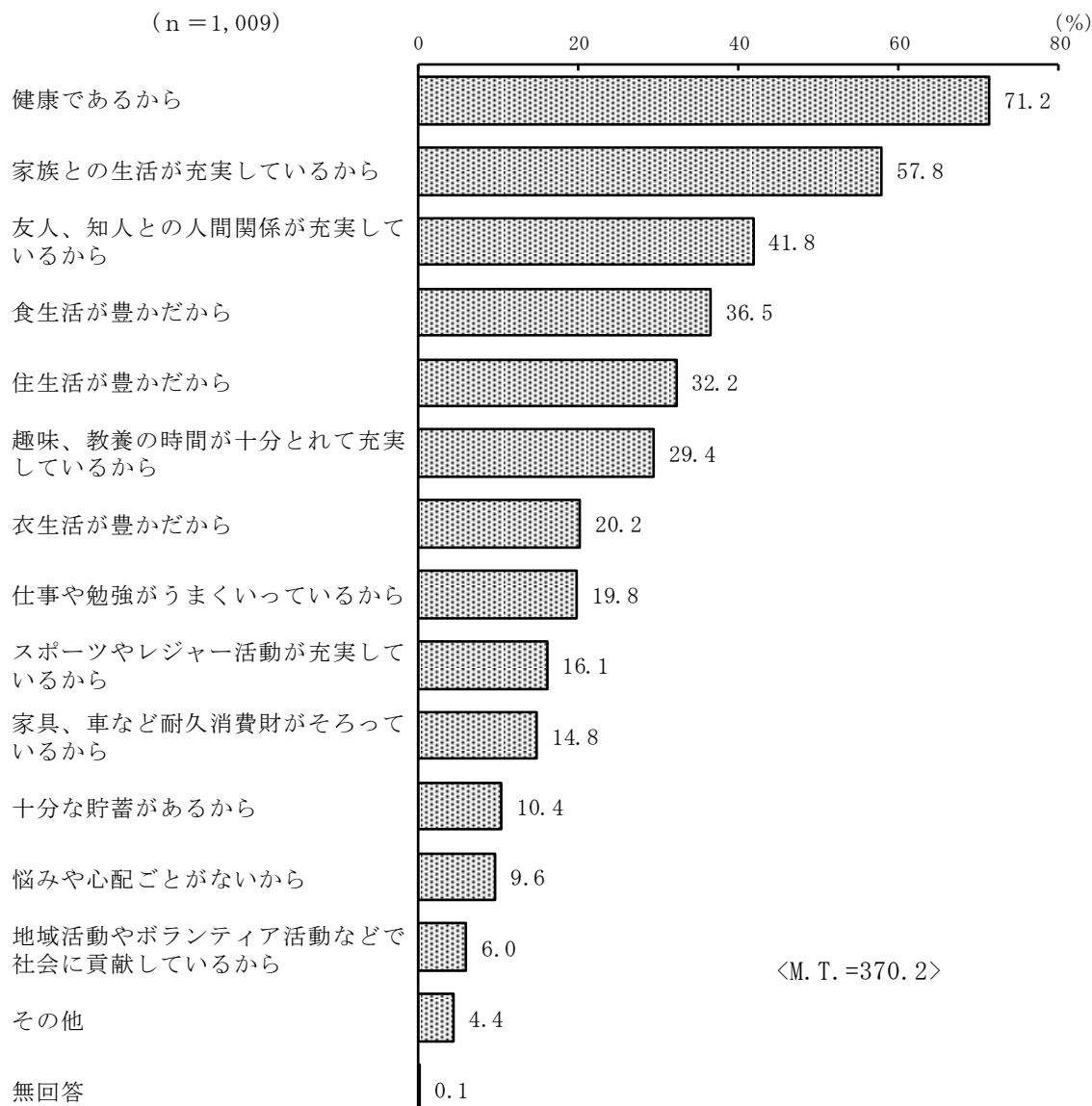
※1-7 満足の原因

図1-7-1

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)

(n = 1,009)

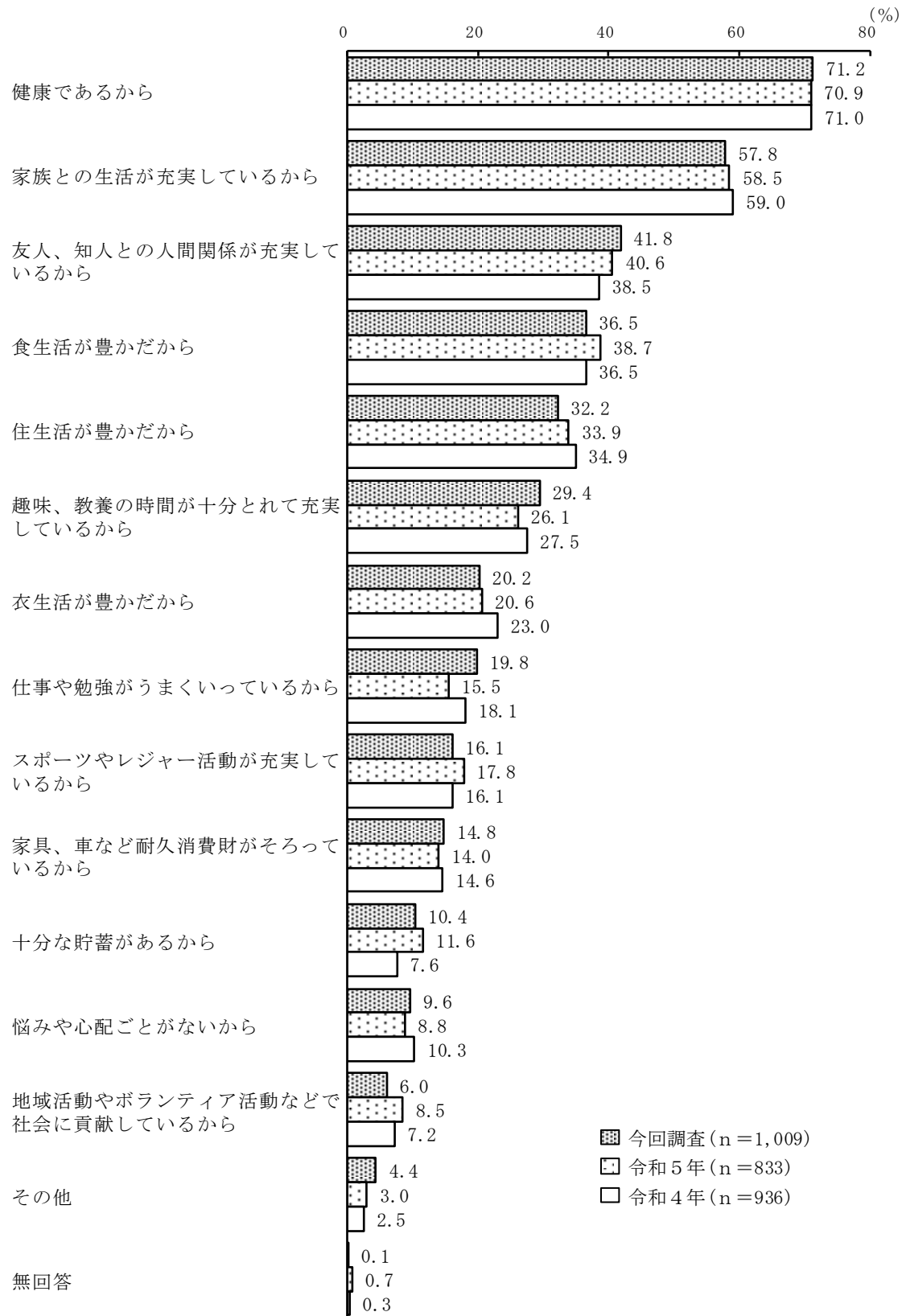


現在の生活に満足しているという人 (1,009人) にその理由を聞いたところ、「健康であるから」71%と最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」58%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」42%、「食生活が豊かだから」37%、「住生活が豊かだから」32%、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」29%などの順となっている (図1-7-1)

満足の理由を過去の調査結果と比較すると、「仕事や勉強がうまくいっているから」は昨年より4ポイント、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」が昨年より3ポイント増加している。

(図1-7-2)

図1-7-2 満足の理由－過去の調査結果



性・年齢別にみると、「健康であるから」は男性60代と女性40代で8割を超えて多くなっている。「家族との生活が充実しているから」は女性30代で約7割と多くなっている。「友人、知人との人間関係が充実しているから」は女性（計）が5割近くと男性（計）より10ポイント高くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が高いほど割合も高い傾向がみられる。（表1-7-1）

表1-7-1 満足の理由－性・年齢別、生活程度別

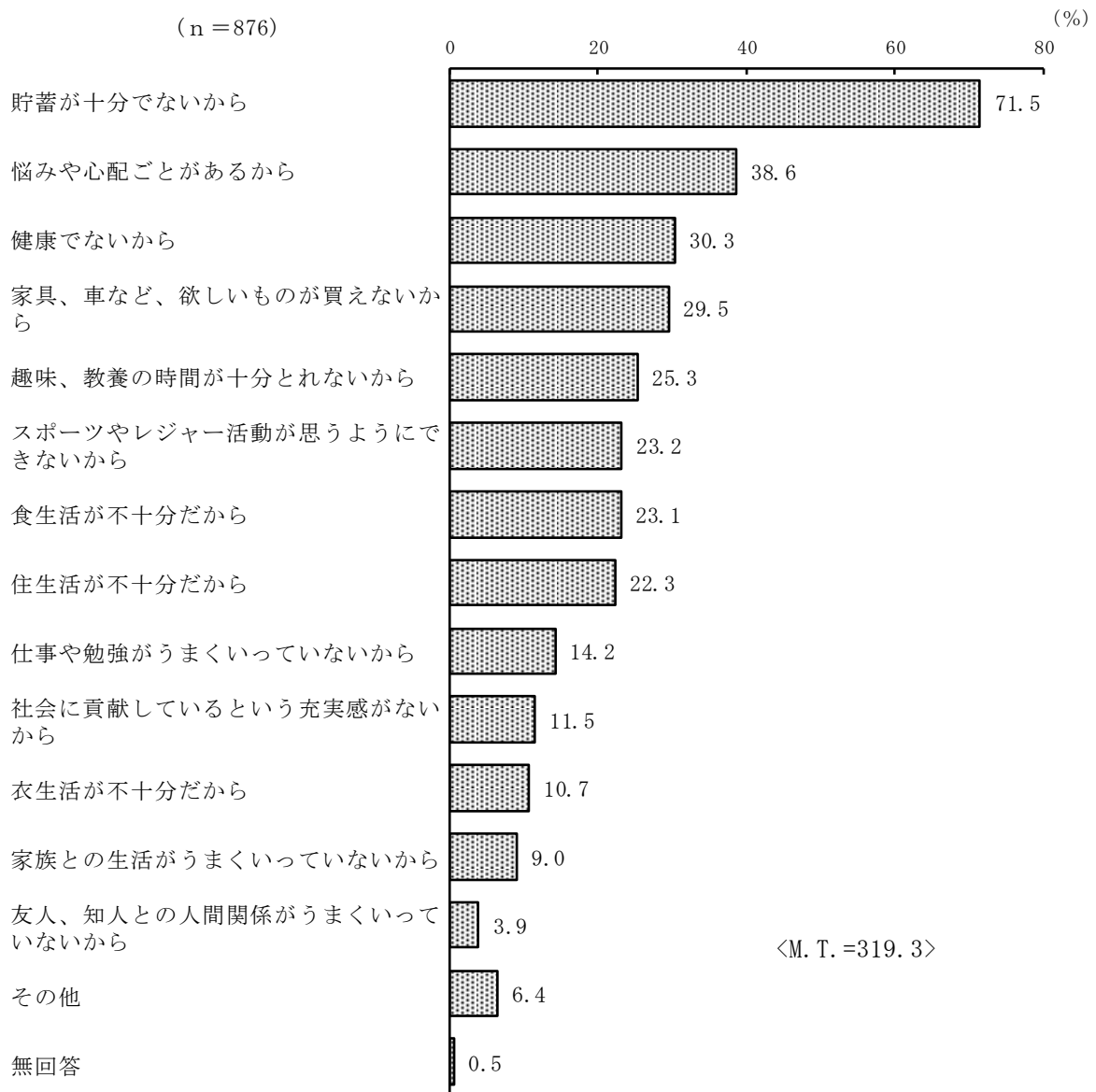
		n	健康であるから	家族との生活が充実しているから	友人、知人との人間関係が充実しているから	食生活が豊かだから	住生活が豊かだから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	衣生活が豊かだから	仕事や勉強がうまくいっているから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	十分な貯蓄があるから	悩みや心配ごとがないから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	その他	無回答
全	体	1,009	71.2	57.8	41.8	36.5	32.2	29.4	20.2	19.8	16.1	14.8	10.4	9.6	6.0	4.4	0.1
＜性・年齢別＞																	
男	性（計）	405	69.1	55.6	35.1	34.8	30.1	32.8	19.5	24.2	17.3	15.6	13.8	9.6	6.2	2.5	-
18	～29歳	41	75.6	46.3	41.5	48.8	43.9	48.8	36.6	29.3	9.8	12.2	19.5	7.3	2.4	-	-
30	代	57	68.4	56.1	31.6	45.6	31.6	40.4	33.3	38.6	15.8	15.8	17.5	8.8	7.0	1.8	-
40	代	70	61.4	65.7	30.0	41.4	31.4	25.7	17.1	25.7	14.3	10.0	10.0	4.3	2.9	2.9	-
50	代	75	70.7	57.3	30.7	36.0	26.7	28.0	20.0	34.7	18.7	22.7	16.0	8.0	1.3	4.0	-
60	代	68	85.3	55.9	32.4	25.0	23.5	32.4	10.3	16.2	20.6	13.2	8.8	13.2	5.9	1.5	-
70	歳以上	94	59.6	50.0	43.6	23.4	29.8	30.9	11.7	9.6	20.2	17.0	13.8	13.8	13.8	3.2	-
女	性（計）	574	72.8	58.7	46.7	37.3	33.4	27.4	21.1	16.9	15.3	13.9	8.2	9.8	5.6	5.9	0.2
18	～29歳	49	77.6	65.3	44.9	55.1	46.9	32.7	40.8	16.3	14.3	12.2	6.1	6.1	-	-	-
30	代	65	76.9	70.8	36.9	36.9	32.3	26.2	18.5	26.2	15.4	15.4	7.7	6.2	4.6	1.5	-
40	代	107	80.4	64.5	50.5	43.9	31.8	21.5	25.2	22.4	15.9	10.3	10.3	5.6	2.8	5.6	-
50	代	109	73.4	64.2	45.9	47.7	33.0	26.6	24.8	22.0	18.3	19.3	6.4	4.6	7.3	9.2	-
60	代	90	74.4	53.3	44.4	31.1	30.0	31.1	17.8	15.6	12.2	18.9	5.6	15.6	6.7	3.3	1.1
70	歳以上	153	62.7	47.1	51.0	23.5	33.3	28.8	12.4	6.5	15.0	9.8	10.5	15.7	7.8	9.2	-
＜生活程度別＞																	
	上	29	72.4	79.3	37.9	86.2	72.4	34.5	51.7	37.9	34.5	34.5	55.2	17.2	10.3	-	-
	中の上	299	75.9	64.9	43.1	54.8	49.2	33.8	35.5	27.8	19.7	24.7	21.1	8.7	5.4	4.3	-
	中の中	468	71.2	58.1	42.7	30.1	24.4	27.1	13.7	15.4	13.9	9.8	4.5	10.5	5.1	3.2	0.2
	中の下	154	67.5	42.2	39.6	17.5	19.5	32.5	9.1	13.6	14.3	9.1	2.6	7.8	7.8	5.8	-
	下	20	50.0	45.0	25.0	10.0	20.0	25.0	-	30.0	-	5.0	5.0	5.0	5.0	10.0	-

※1-8 不満の理由

図1-8-1

(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

問5-2 どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



現在の生活に不満であるという人(876人)にその理由を聞いたところ、「貯蓄が十分でないから」が72%と最も多く、次いで「悩みや心配ごとがあるから」39%、「健康でないから」30%、「家具、車など、欲しいものが買えないから」30%、「趣味、教養の時間が十分とれないから」25%などの順となっている。(図1-8-1)

不満の理由を過去の調査結果と比較すると、昨年と特に大きな差は見られない。(表1-8-1)

表1-8-1 不満の理由—過去の調査結果

		(%)														
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	健康でないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	食生活が不十分だから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいっていないから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答 (令和元年以前は「わからない」)
今回調査	876	71.5	38.6	30.3	29.5	25.3	23.2	23.1	22.3	14.2	11.5	10.7	9.0	3.9	6.4	0.5
令和5年	884	69.3	35.7	29.6	27.7	27.9	21.2	22.2	21.6	16.0	13.0	12.3	10.2	3.3	8.7	0.6
4年	851	71.1	38.3	28.4	26.3	29.3	23.4	19.3	23.6	19.9	12.6	12.3	8.7	4.9	5.2	0.5
3年	794	68.0	37.0	24.9	25.2	30.5	31.2	13.9	21.0	20.7	13.4	8.3	8.1	3.9	8.9	-
2年	1,028	69.1	36.6	26.1	25.1	31.9	32.0	14.7	19.9	23.4	15.7	10.5	8.9	5.8	7.3	0.2
元年	747	68.0	26.0	22.9	20.9	25.8	15.4	12.4	18.1	15.7	9.5	8.6	5.4	1.9	6.8	0.9
平成30年	758	64.0	26.1	26.6	21.6	27.8	18.9	9.9	16.8	13.9	7.7	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9
29年	728	64.0	30.1	23.2	22.5	29.7	21.0	9.6	15.4	19.9	8.4	7.8	6.2	2.5	5.1	1.4
28年	750	63.1	24.1	24.9	19.2	27.1	16.5	12.4	21.5	15.2	9.9	10.1	6.1	2.0	5.2	1.1
27年	856	65.5	24.1	23.1	19.9	28.2	17.4	13.8	17.8	14.6	10.0	7.6	5.1	2.7	5.3	1.3

(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「貯蓄が十分でないから」は女性40代で8割半ばと多くなっている。「悩みや心配ごとがあるから」は女性（計）が4割を超え、男性（計）より10ポイント高い。「健康でないから」は男女ともに70歳以上で約5割と多くなっている。

生活程度（問3 P14）との関係でみると、多くの項目で、生活程度が低いほど割合が高くなる傾向にある。（表1-8-2）

表1-8-2 不満の理由－性・年齢別、生活程度別

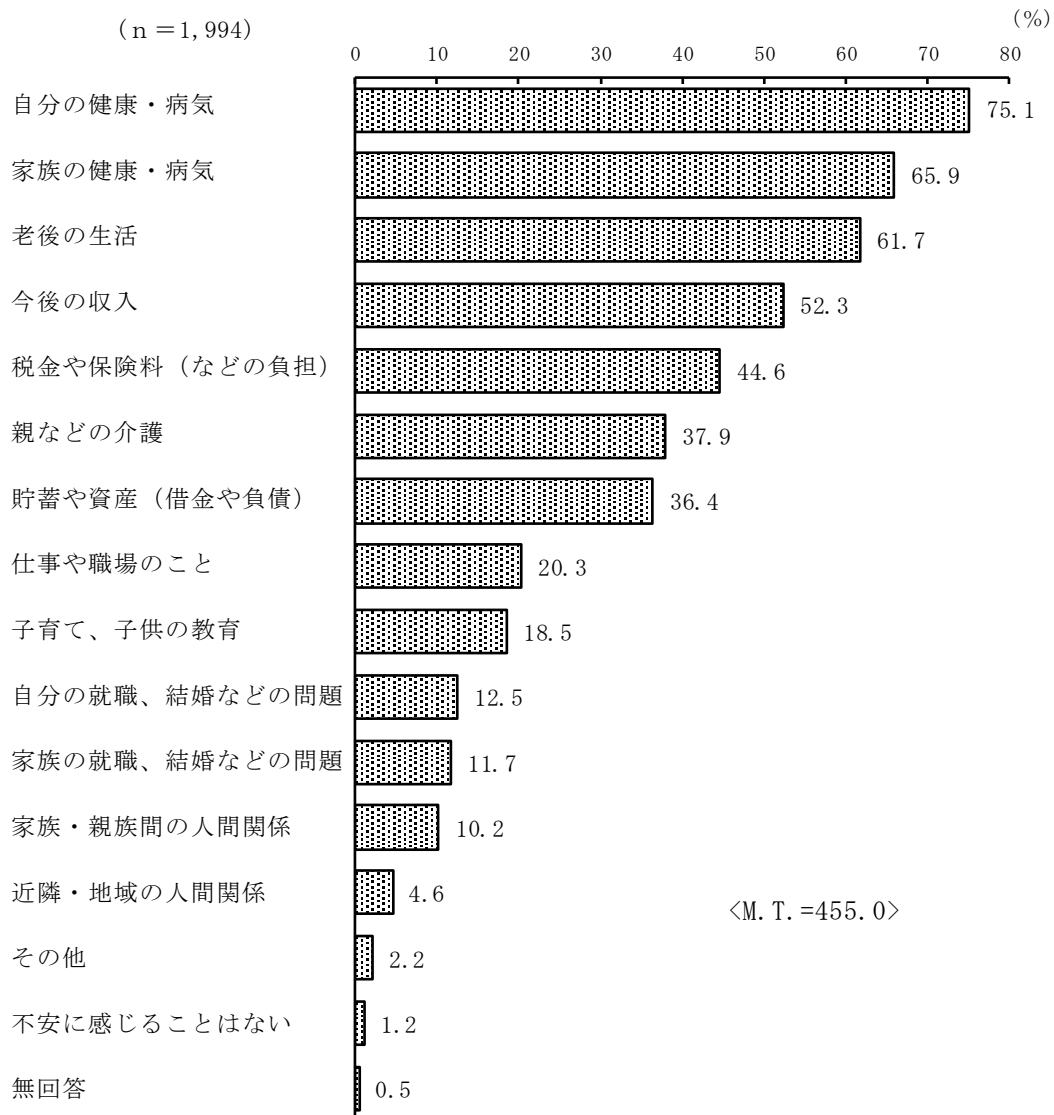
		(%)														
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	健康でないから	家具、車など、欲しいものが買えないから	趣味、教養の時間が十分とれないから	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	食生活が不十分だから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいっていないから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいっていないから	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	無回答
全体	876	71.5	38.6	30.3	29.5	25.3	23.2	23.1	22.3	14.2	11.5	10.7	9.0	3.9	6.4	0.5
<b>&lt; 性・年齢別 &gt;</b>																
男性（計）	374	70.9	33.4	30.5	29.7	27.0	24.9	27.5	21.7	15.8	11.8	10.7	7.0	4.3	7.0	0.5
18～29歳	30	83.3	36.7	13.3	46.7	30.0	23.3	30.0	23.3	13.3	20.0	6.7	3.3	10.0	3.3	-
30代	41	73.2	22.0	9.8	39.0	34.1	19.5	22.0	24.4	14.6	4.9	12.2	9.8	4.9	4.9	-
40代	57	75.4	47.4	21.1	33.3	42.1	28.1	22.8	26.3	38.6	19.3	15.8	7.0	12.3	7.0	-
50代	90	75.6	28.9	25.6	27.8	28.9	21.1	20.0	20.0	20.0	8.9	7.8	8.9	2.2	8.9	-
60代	60	73.3	33.3	36.7	31.7	28.3	33.3	25.0	26.7	8.3	11.7	10.0	8.3	1.7	8.3	-
70歳以上	96	57.3	33.3	51.0	18.8	11.5	24.0	40.6	15.6	4.2	10.4	11.5	4.2	1.0	6.3	2.1
女性（計）	472	72.2	43.4	30.9	28.0	23.1	21.4	19.1	22.0	12.7	11.4	10.4	10.4	3.6	5.9	0.4
18～29歳	45	80.0	33.3	13.3	44.4	42.2	8.9	20.0	17.8	22.2	15.6	6.7	8.9	-	-	-
30代	58	79.3	44.8	25.9	53.4	34.5	22.4	17.2	22.4	13.8	17.2	15.5	15.5	6.9	3.4	-
40代	81	85.2	50.6	21.0	28.4	29.6	23.5	17.3	27.2	18.5	13.6	9.9	11.1	3.7	4.9	-
50代	93	75.3	37.6	28.0	34.4	23.7	26.9	17.2	28.0	12.9	8.6	11.8	11.8	6.5	4.3	-
60代	75	66.7	42.7	29.3	16.0	16.0	26.7	13.3	20.0	14.7	14.7	9.3	10.7	4.0	12.0	-
70歳以上	119	58.0	46.2	50.4	11.8	10.1	16.8	26.1	16.8	3.4	5.9	9.2	5.9	0.8	7.6	1.7
<b>&lt; 生活程度別 &gt;</b>																
上	4	25.0	25.0	-	-	75.0	75.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-
中の上	48	62.5	33.3	29.2	25.0	33.3	25.0	10.4	22.9	16.7	16.7	6.3	14.6	10.4	6.3	-
中の中	224	57.6	40.6	23.7	30.4	27.7	25.9	12.5	14.3	11.2	8.9	5.4	11.2	3.6	8.0	-
中の下	370	76.5	35.7	31.4	31.6	26.8	24.1	21.9	25.1	15.9	13.0	9.5	6.5	3.2	5.9	0.8
下	179	79.9	41.9	38.5	28.5	16.8	19.0	44.1	28.5	14.5	11.2	22.9	10.1	4.5	6.1	0.6

※1-9 今後の生活の不安

図1-9-1

(全員の方に)

問6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

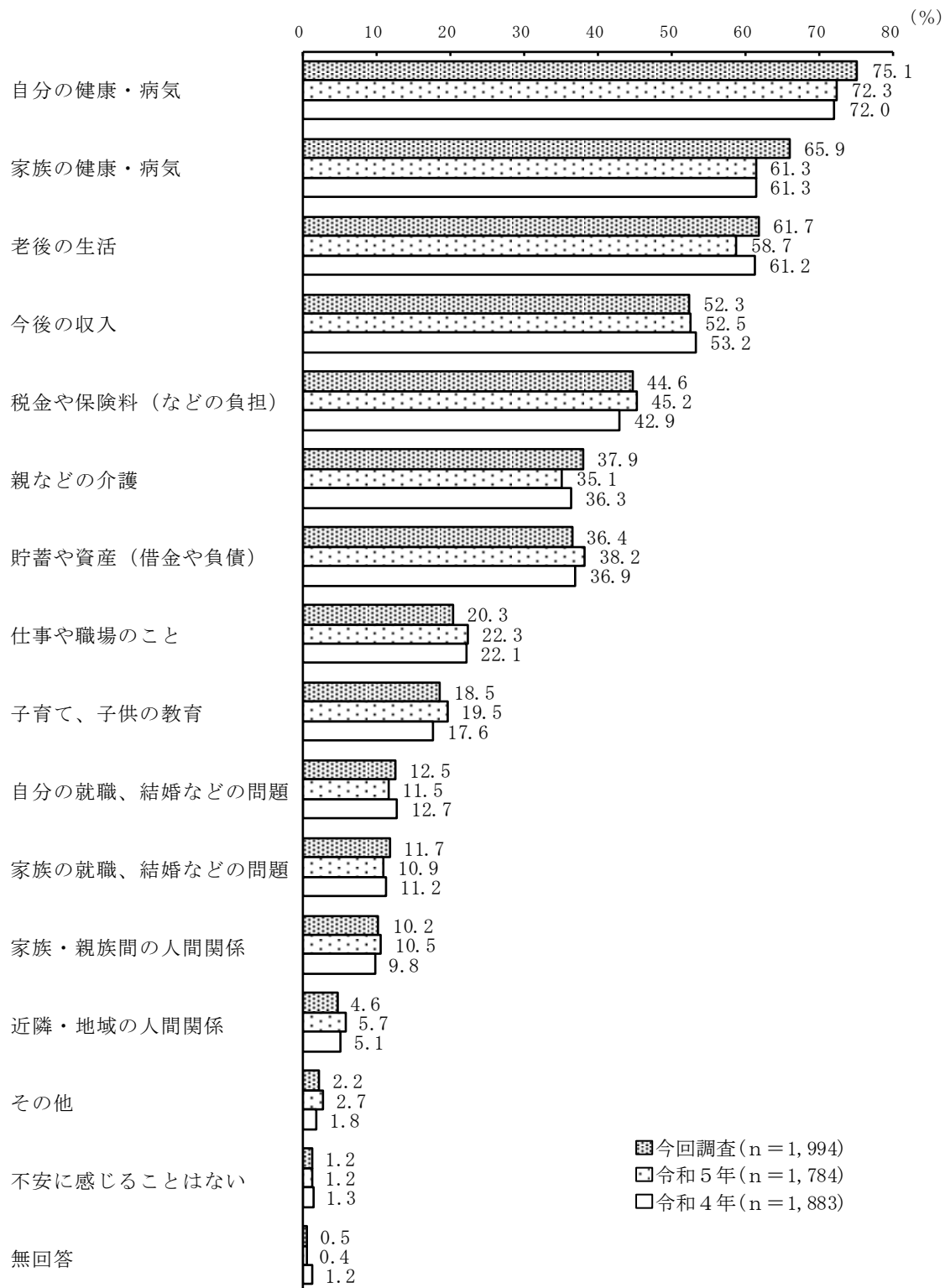


今後の生活で不安に感じることを聞いたところ、「自分の健康・病気」が75%と最も多く、次いで「家族の健康・病気」66%、「老後の生活」62%、「今後の収入」52%、「税金や保険料 (などの負担)」45%、「親などの介護」38%、「貯蓄や資産 (借金や負債)」36%などの順となっている。(図1-9-1)



今後の生活の不安を過去の調査結果と比較すると、「家族の健康・病気」が5ポイント、「自分の健康・病気」「老後の生活」「親などの介護」がそれぞれ3ポイント昨年よりも増えている。(図1-9-2)

図1-9-2 今後の生活の不安－過去の調査結果



性・年齢別にみると、「自分の健康・病気」は年齢が高くなるほど割合が高くなっており、男女とも60代以上でいずれも8割を超えて多くなっている。「家族の健康・病気」は女性（計）で約7割と、男性（計）を6ポイント高くなっている。「老後の生活」は女性50代と60代で8割を超えて多くなっている。

（表1-9-1）

表1-9-1 今後の生活の不安－性・年齢別

(%)

	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料（などの負担）	親などの介護	貯蓄や資産（借金や負債）	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	1,994	75.1	65.9	61.7	52.3	44.6	37.9	36.4	20.3	18.5	12.5	11.7	10.2	4.6	2.2	1.2	0.5
<b>&lt; 性・年齢別 &gt;</b>																	
男 性（計）	816	74.1	62.7	56.9	51.3	42.6	36.3	38.1	21.6	16.9	12.4	9.6	7.7	4.4	1.6	1.7	0.2
18 ～ 29 歳	73	39.7	46.6	19.2	63.0	47.9	34.2	50.7	32.9	21.9	41.1	6.8	8.2	2.7	-	4.1	1.4
30 代	99	55.6	51.5	37.4	56.6	49.5	46.5	51.5	29.3	43.4	24.2	9.1	11.1	6.1	1.0	2.0	-
40 代	131	75.6	67.2	57.3	63.4	48.9	61.1	54.2	36.6	35.1	18.3	15.3	9.9	6.1	2.3	1.5	-
50 代	169	72.8	65.7	68.6	59.2	42.6	60.9	46.7	23.7	17.2	8.3	13.0	8.3	4.7	3.0	1.2	-
60 代	136	89.0	64.7	64.0	49.3	37.5	25.0	30.9	19.1	1.5	3.7	7.4	8.1	6.6	1.5	1.5	-
70 歳以上	208	85.6	67.3	64.9	32.2	37.0	3.8	14.9	4.3	1.0	1.9	5.8	3.8	1.4	1.0	1.4	0.5
女 性（計）	1,106	76.3	68.8	65.8	53.1	46.5	39.5	35.4	19.6	19.9	12.7	13.3	12.1	4.2	2.5	0.5	0.5
18 ～ 29 歳	99	62.6	64.6	30.3	66.7	56.6	42.4	52.5	35.4	33.3	53.5	10.1	14.1	4.0	-	1.0	-
30 代	126	60.3	63.5	46.0	69.8	59.5	51.6	52.4	31.7	54.0	24.6	9.5	13.5	7.1	1.6	0.8	-
40 代	195	69.2	69.2	69.2	61.0	54.4	70.8	51.3	26.7	41.5	17.4	11.3	14.4	3.1	2.6	-	0.5
50 代	212	77.8	72.6	82.5	65.1	49.1	60.8	40.6	26.4	17.0	6.1	21.2	13.2	4.2	3.3	0.5	0.9
60 代	180	83.3	72.8	80.6	50.6	52.2	29.4	27.8	13.3	-	4.4	21.1	10.6	5.6	1.1	0.6	-
70 歳以上	292	87.0	67.5	62.7	28.4	26.7	3.1	12.7	3.1	0.7	0.7	6.8	9.6	3.1	4.1	0.7	1.0

世帯年収別にみると、「自分の健康・病気」は年収200万円未満で8割半ばと多くなっている。

生活満足度（問5 P26）との関係でみると、『不満（計）』は『満足（計）』よりも「今後の収入」と貯蓄や資産（借金や負債）」が25ポイント、「税金や保険料（などの負担）」が22ポイント高くなっている。

（表1-9-2）

表1-9-2 今後の生活の不安－世帯年収別、生活満足度別

(%)

	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料（などの負担）	親などの介護	貯蓄や資産（借金や負債）	仕事や職場のこと	子育て、子供の教育	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない	無回答
全 体	1,994	75.1	65.9	61.7	52.3	44.6	37.9	36.4	20.3	18.5	12.5	11.7	10.2	4.6	2.2	1.2	0.5
<b>&lt; 世帯年収別 &gt;</b>																	
200 万 円 未 満	229	84.7	50.7	63.3	45.0	38.0	14.0	24.9	13.1	5.7	12.7	7.0	10.0	8.3	3.5	0.4	0.4
200～300万円未満	227	79.7	65.6	67.8	51.5	47.6	19.8	32.2	17.6	4.0	11.5	5.3	8.4	2.6	0.9	1.8	-
300～400万円未満	189	77.8	73.0	65.1	51.3	46.0	30.7	33.3	21.2	9.5	14.3	11.6	8.5	3.2	2.1	-	0.5
400～500万円未満	157	79.6	61.8	65.0	59.2	51.6	38.2	34.4	21.7	10.8	16.6	14.0	13.4	5.7	3.8	1.3	-
500～700万円未満	251	76.1	70.1	64.5	60.2	47.4	42.6	47.4	23.5	17.5	12.7	12.4	10.8	5.2	2.4	-	-
700～900万円未満	228	75.0	71.1	63.2	57.5	54.8	51.3	49.6	21.5	34.2	11.8	13.2	13.6	4.8	1.8	0.4	0.9
900～1,100万円未満	164	65.2	66.5	54.9	59.8	39.0	51.8	39.6	20.1	33.5	7.3	13.4	7.3	3.7	2.4	3.0	-
1,100～1,300万円未満	83	72.3	74.7	56.6	44.6	43.4	68.7	33.7	20.5	41.0	10.8	21.7	9.6	3.6	1.2	3.6	-
1,300～1,500万円未満	70	74.3	74.3	61.4	50.0	45.7	58.6	54.3	30.0	38.6	5.7	8.6	14.3	4.3	1.4	-	-
1,500～2,000万円未満	80	60.0	58.8	55.0	51.3	43.8	53.8	40.0	28.8	42.5	15.0	21.3	6.3	2.5	1.3	1.3	-
2,000 万 円 以 上	72	70.8	68.1	48.6	29.2	29.2	44.4	16.7	13.9	23.6	1.4	16.7	5.6	1.4	1.4	1.4	1.4
<b>&lt; 生活満足度別 &gt;</b>																	
大変満足している	72	62.5	54.2	31.9	22.2	26.4	30.6	16.7	13.9	22.2	11.1	8.3	5.6	2.8	2.8	12.5	2.8
まあ満足している	937	76.5	70.0	57.4	42.5	35.3	37.5	25.9	16.2	19.4	9.4	10.4	7.9	3.3	2.1	1.2	0.4
やや不満である	696	74.6	65.5	68.1	64.1	54.7	40.9	48.7	25.4	19.5	15.7	14.1	12.6	5.7	1.7	0.1	-
大変不満である	180	74.4	54.4	70.6	72.8	62.8	37.8	57.2	28.3	15.6	21.7	12.8	16.7	7.8	3.3	-	0.6
満 足（計）	1,009	75.5	68.9	55.6	41.0	34.7	37.0	25.3	16.1	19.6	9.5	10.2	7.7	3.3	2.2	2.0	0.6
不 満（計）	876	74.5	63.2	68.6	65.9	56.4	40.3	50.5	26.0	18.7	16.9	13.8	13.5	6.2	2.1	0.1	0.1

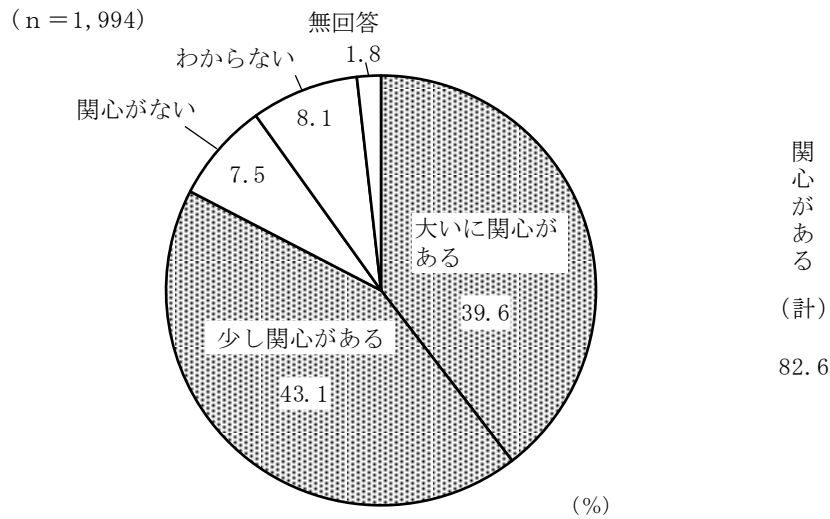
（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

※1-10 税金への関心度とその内容

図1-10-1  
(全員の方に)

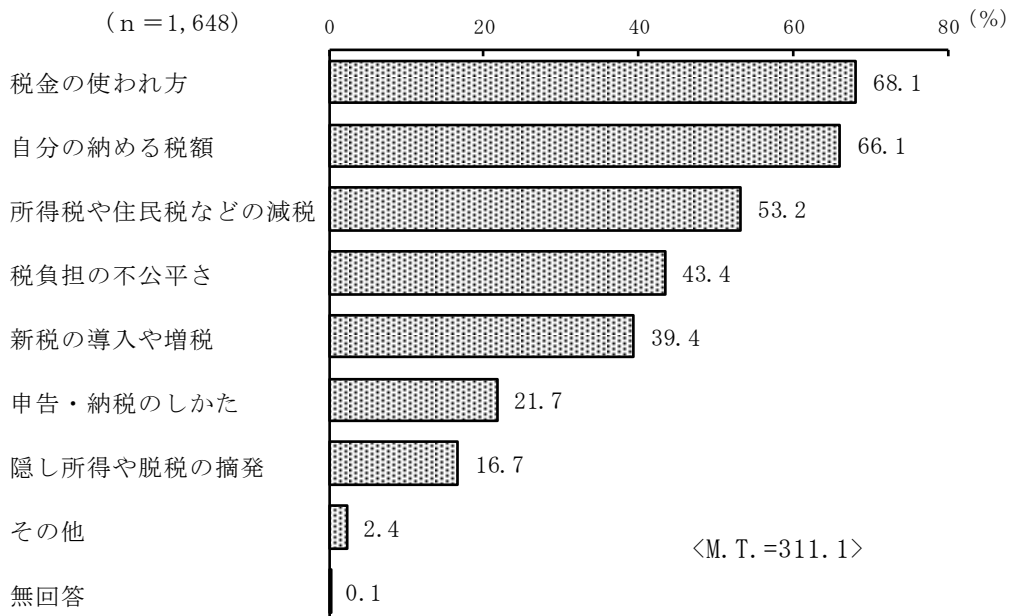
問7 あなたは、税金について関心がありますか。(○は1つ)



(注)『関心がある (計)』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

問7-1 では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも) (M. A.)

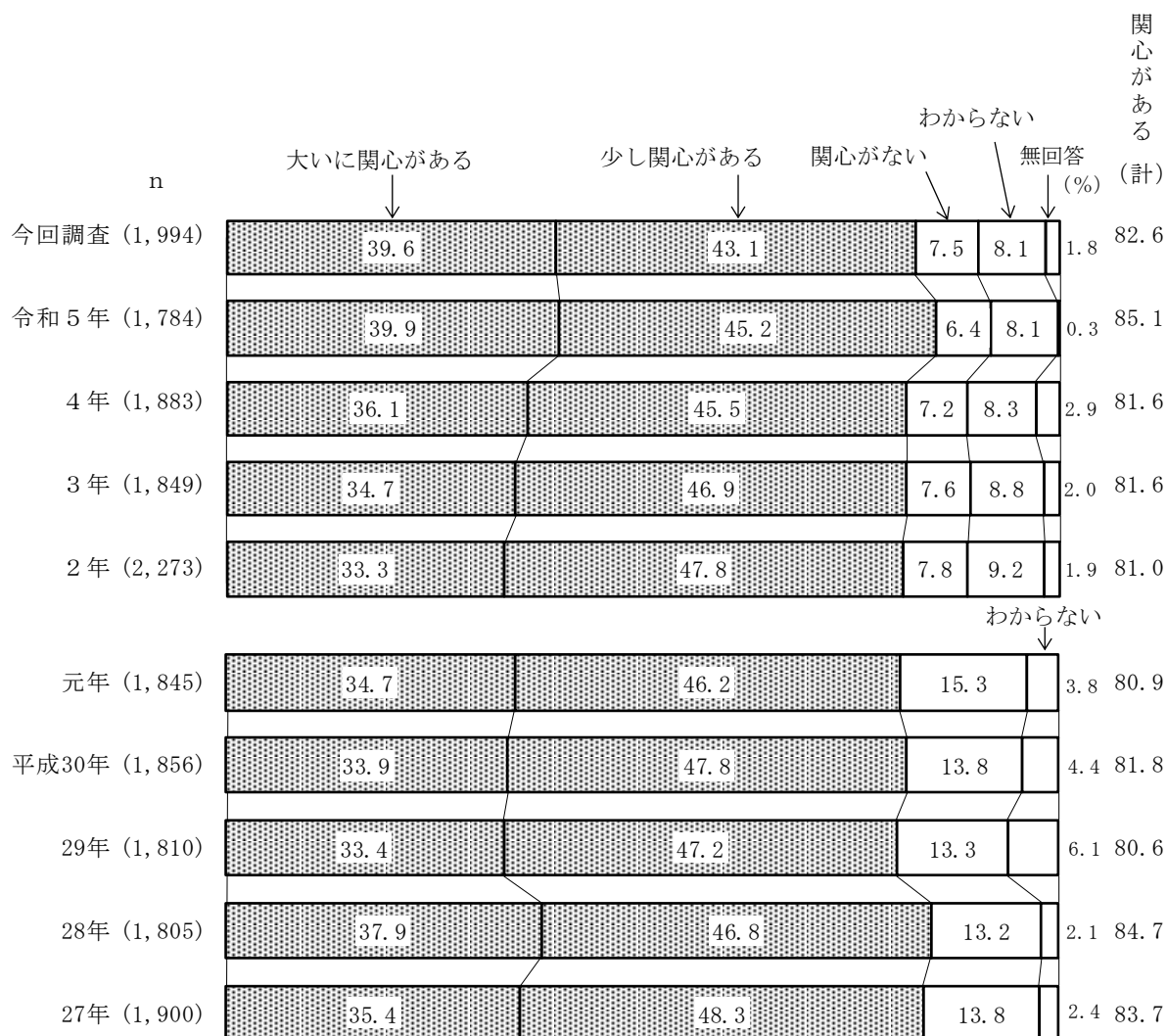


税金について関心があるか聞いたところ、『関心がある (計)』は83%、「関心がない」は8%となっている。

税金に『関心がある (計)』と答えた人 (1,648人) にその内容を聞いたところ、「税金の使われ方」68%が最も多く、次いで「自分の納める税額」66%、「所得税や住民税などの減税」53%などの順となっている。(図1-10-1)

税金への関心度を過去の調査結果と比較すると、『関心がある（計）』は昨年より3ポイント減少している。（図1-10-2）

図1-10-2 税金への関心度－過去の調査結果



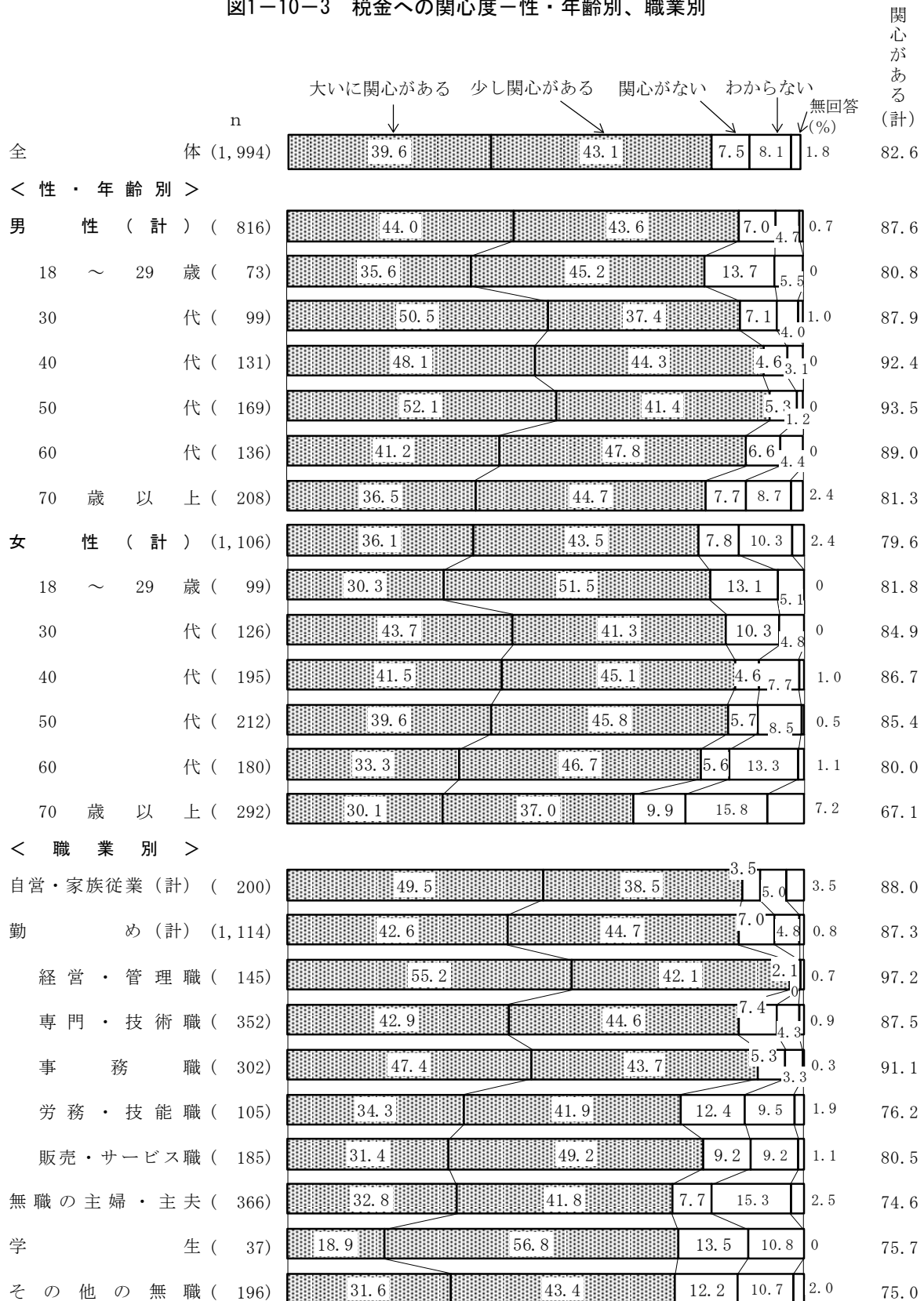
(注1) 『関心がある（計）』は「大に関心がある」「少し関心がある」の合計

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「大いに興味がある」は男性（計）で4割半ばと女性（計）より8ポイント高く、男性50代と30代で5割を超えている。

職業別にみると、『関心がある（計）』は経営・管理職と事務職で9割を超えている。（図1-10-3）

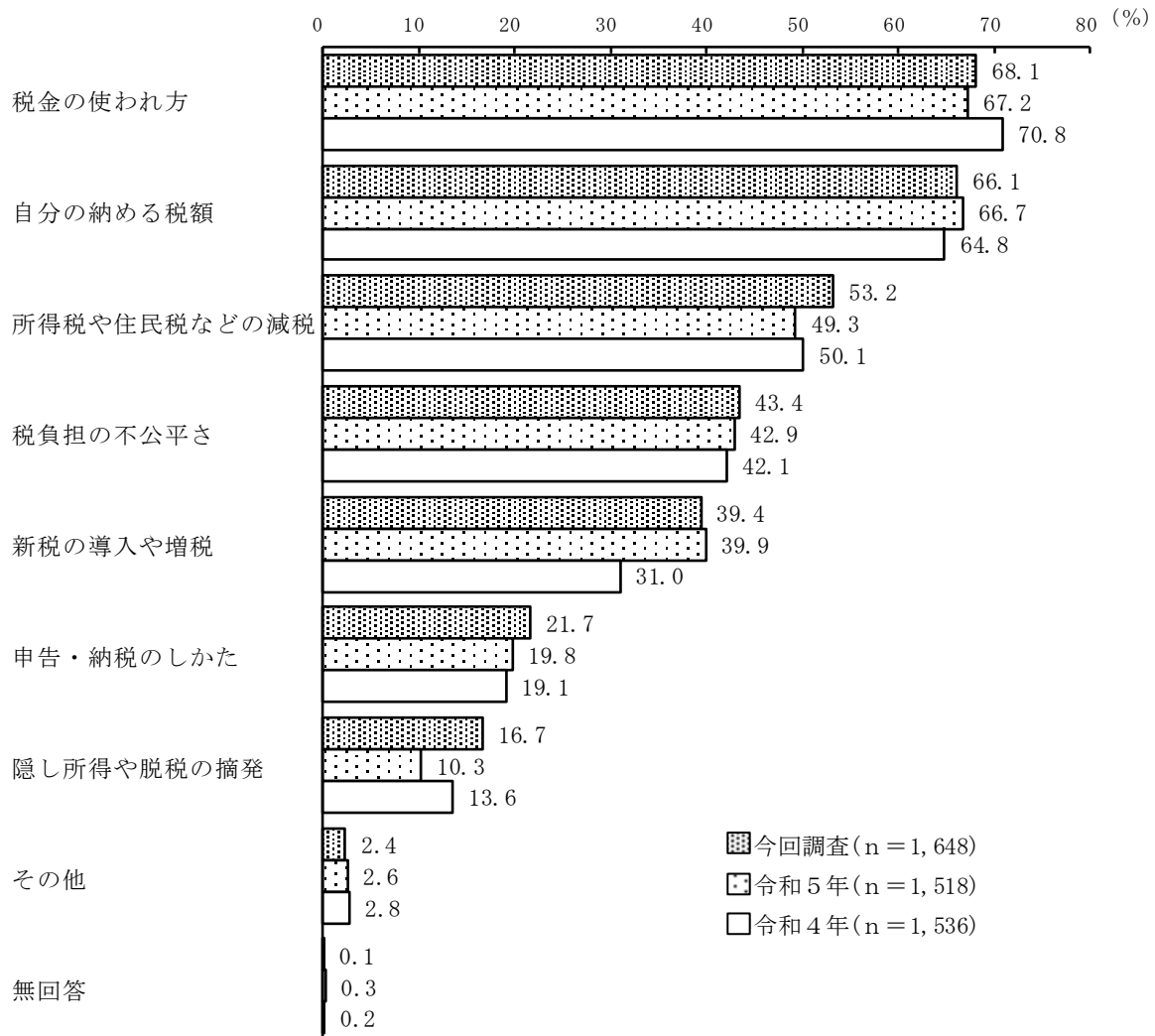
図1-10-3 税金への関心度－性・年齢別、職業別



(注) 『関心がある (計)』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

税金について関心がある内容を過去の調査結果と比較すると、「所得税や住民税などの減税」が昨年より4ポイント増加している。(図1-10-4)

図1-10-4 税金への関心の内容－過去の調査結果



性・年齢別にみると、「税金の使われ方」は女性30代で8割を超えて多くなっている。「自分の納める税額」は男性（計）で7割を超えて女性（計）より9ポイント高くなっている。（表1-10-1）

表1-10-1 税金への関心の内容－性・年齢別

(%)

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	税所得税や住民税などの減	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	無回答
全 体	1,648	68.1	66.1	53.2	43.4	39.4	21.7	16.7	2.4	0.1
< 性・年齢別 >										
男 性（計）	715	64.9	70.8	54.5	42.9	39.9	20.0	16.9	3.1	0.1
18 ～ 29 歳	59	71.2	78.0	61.0	35.6	30.5	30.5	20.3	-	-
30 代	87	66.7	70.1	65.5	48.3	50.6	26.4	23.0	1.1	-
40 代	121	68.6	72.7	57.9	50.4	44.6	22.3	19.0	5.0	-
50 代	158	67.1	70.3	54.4	48.1	38.0	17.7	20.9	3.8	-
60 代	121	57.0	72.7	52.1	30.6	38.0	15.7	9.1	2.5	0.8
70 歳 以 上	169	62.7	66.3	46.2	41.4	37.3	16.6	13.0	3.6	-
女 性（計）	880	70.6	62.2	51.6	43.3	39.0	23.0	16.5	1.9	-
18 ～ 29 歳	81	74.1	79.0	63.0	35.8	38.3	29.6	25.9	-	-
30 代	107	82.2	70.1	67.3	52.3	44.9	30.8	23.4	-	-
40 代	169	64.5	62.7	53.8	53.3	39.1	25.4	18.3	2.4	-
50 代	181	74.6	67.4	58.6	48.6	44.8	21.0	12.7	2.2	-
60 代	144	65.3	56.3	43.1	39.6	36.1	20.8	9.7	2.8	-
70 歳 以 上	196	67.9	49.5	36.2	30.1	32.7	17.3	15.3	2.0	-



職業別にみると、「自分の納める税額」は経営・管理職、事務職、専門・技術職で7割を超えて多くなっている。

世帯年収別にみると、「自分の納める税額」は年収1,300～1,500万円未満で7割半ばと多くなっている。

(表1-10-2)

表1-10-2 税金への関心の内容－職業別、世帯年収別

(%)

	n	税金の 使われ方	自分の 納める 税額	所得 税や 住民 税な どの 減	税 負 担 の 不 公 平 さ	新 税 の 導 入 や 増 税	申 告 ・ 納 税 の し か た	隠 し 所 得 や 脱 税 の 摘 発	そ の 他	無 回 答
全 体	1,648	68.1	66.1	53.2	43.4	39.4	21.7	16.7	2.4	0.1
< 職 業 別 >										
自営・家族従業(計)	176	68.8	64.2	48.3	47.7	35.8	26.1	13.1	5.1	-
勤 め(計)	973	68.6	70.7	58.2	45.8	40.7	21.5	17.5	2.1	0.1
経営・管理職	141	66.0	74.5	46.8	48.2	34.8	10.6	15.6	2.1	0.7
専門・技術職	308	70.1	71.1	56.8	43.8	39.6	25.0	15.9	1.9	-
事 務 職	275	68.4	73.1	62.2	48.7	42.5	23.3	17.1	1.5	-
労務・技能職	80	58.8	67.5	56.3	41.3	35.0	18.8	18.8	5.0	-
販売・サービス職	149	73.2	66.4	65.8	45.6	48.3	24.2	22.1	0.7	-
無職の主婦・主夫	273	68.9	53.8	45.8	40.3	35.5	16.8	16.5	2.2	-
学 生	28	75.0	71.4	39.3	35.7	35.7	35.7	25.0	-	-
そ の 他 の 無 職	147	65.3	63.9	45.6	34.0	44.2	23.8	15.6	3.4	-
< 世 帯 年 収 別 >										
200 万 円 未 満	159	63.5	54.1	39.0	32.1	35.8	20.8	20.1	5.0	-
200～300万円未満	179	67.6	63.1	45.8	35.2	37.4	23.5	14.5	3.4	-
300～400万円未満	143	64.3	67.1	59.4	41.3	42.7	25.2	15.4	2.8	-
400～500万円未満	146	66.4	71.9	54.8	41.8	37.0	18.5	13.7	2.1	-
500～700万円未満	218	68.8	68.8	52.8	39.0	36.7	27.1	17.9	2.3	-
700～900万円未満	208	68.3	69.2	61.1	51.0	42.3	20.7	16.3	1.9	-
900～1,100万円未満	147	74.8	70.7	57.1	49.0	44.2	17.0	19.7	2.0	-
1,100～1,300万円未満	81	71.6	56.8	61.7	58.0	39.5	22.2	22.2	1.2	-
1,300～1,500万円未満	62	72.6	75.8	54.8	56.5	48.4	16.1	14.5	-	-
1,500～2,000万円未満	74	60.8	71.6	63.5	45.9	29.7	20.3	18.9	2.7	-
2,000 万 円 以 上	65	67.7	69.2	36.9	58.5	32.3	15.4	12.3	1.5	1.5

## 2 住んでいる地域

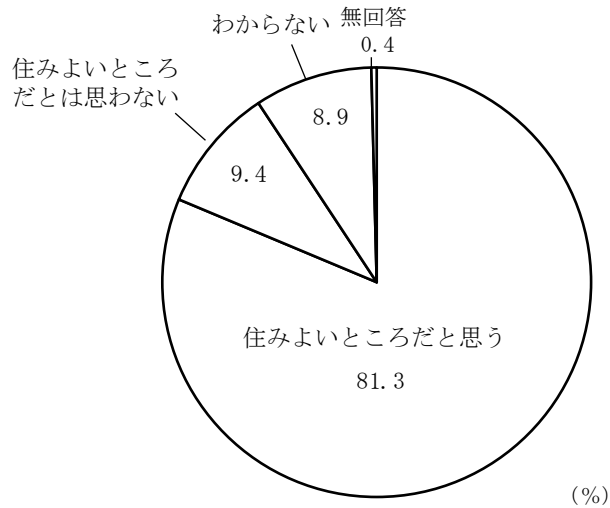
### ※2-1 地域の住みよさ

図2-1-1

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(○は1つ)

(n = 1,994)

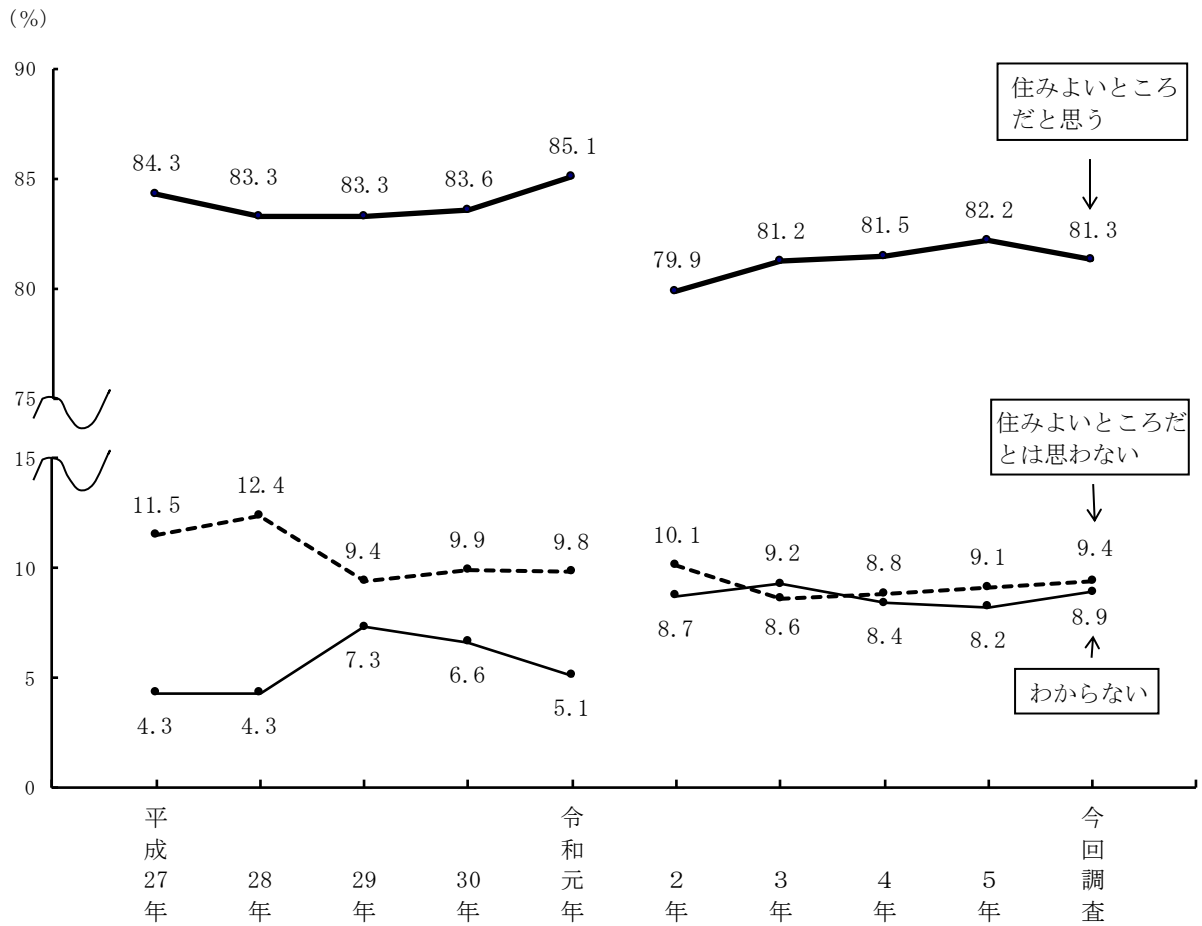


今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよいところだと思う」は81%、「住みよいところだとは思わない」は9%、「わからない」は9%となっている。(図2-1-1)

地域の住みよさを過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差はみられない。(図2-1-2)

なお、地域の住みよさの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P170 図5)に掲載している。

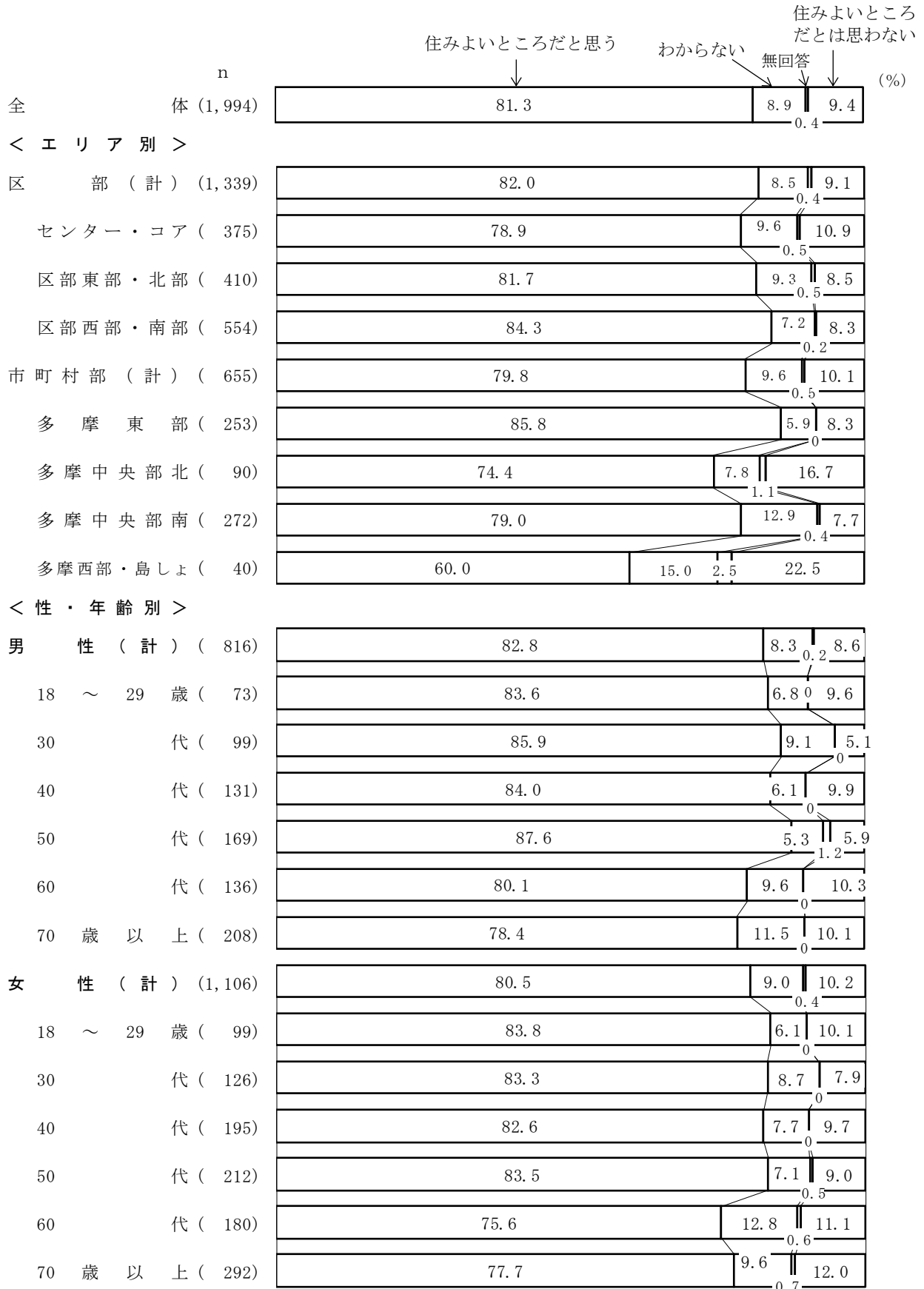
図2-1-2 地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

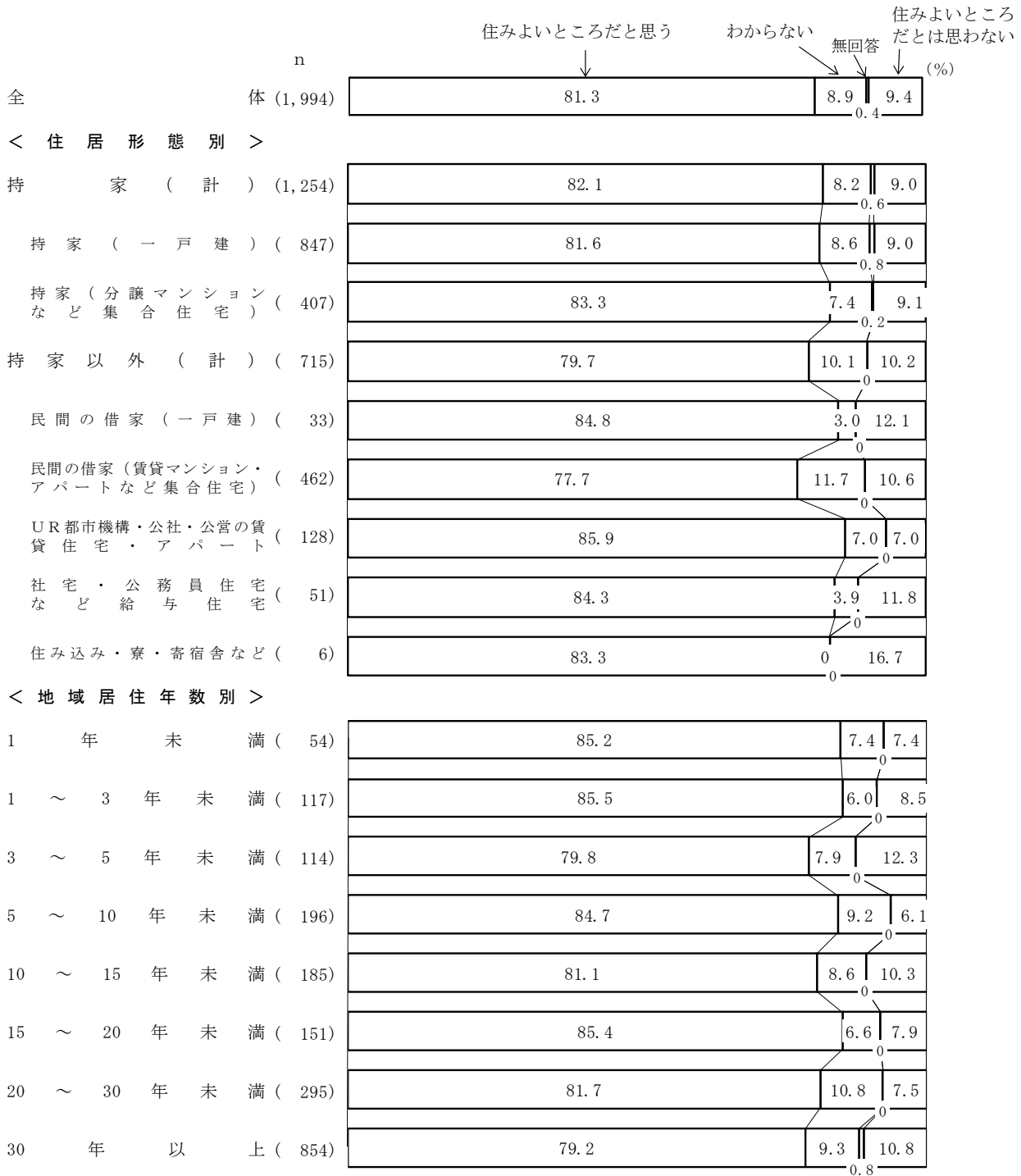
エリア別にみると、「住みよいところだと思う」ほどのエリアもおおむね7～8割台となっている。  
 性・年齢別にみると、特に大きな差はみられない（図2-1-3）

図2-1-3 地域の住みよさーエリア別、性・年齢別



住居形態別にみると、「住みよいところだと思う」が占める割合にはあまり差がない。  
 地域居住年数別にみても、大きな差はみられない。(図2-1-4)

図2-1-4 地域の住みよさー住居形態別、地域居住年数別

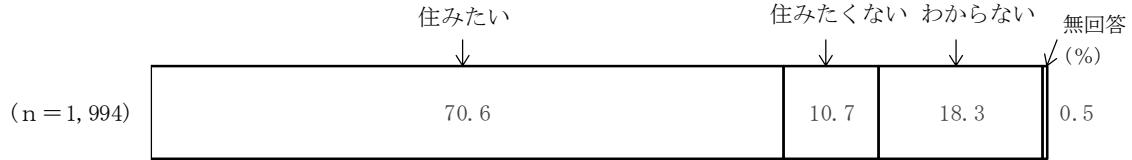


※2-2 地域定住意向

図2-2-1

(全員の方に)

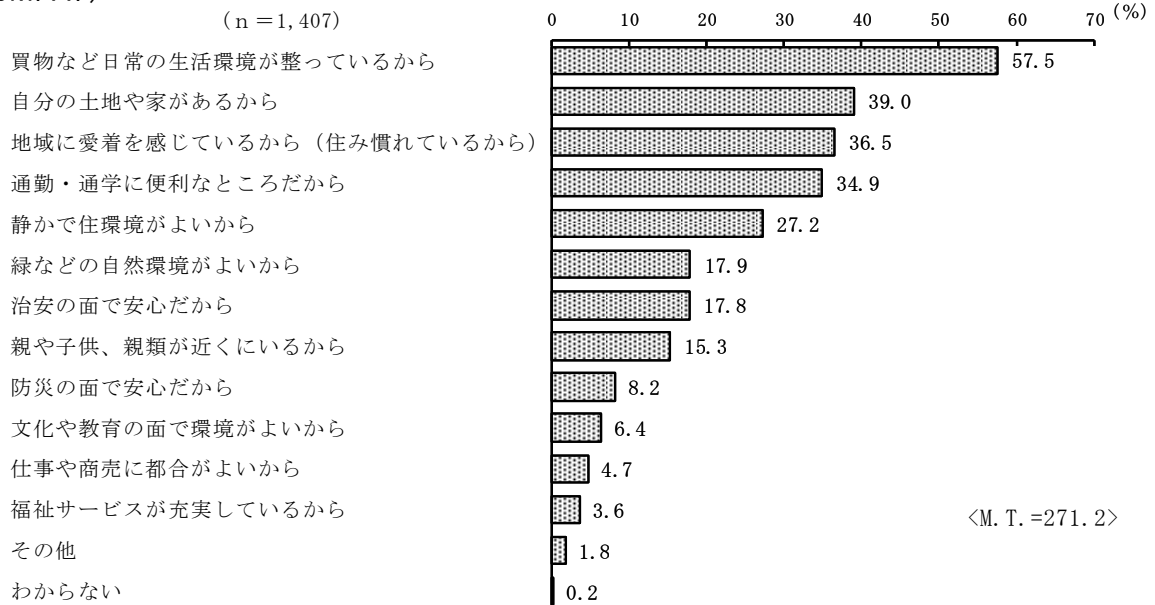
問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)



(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

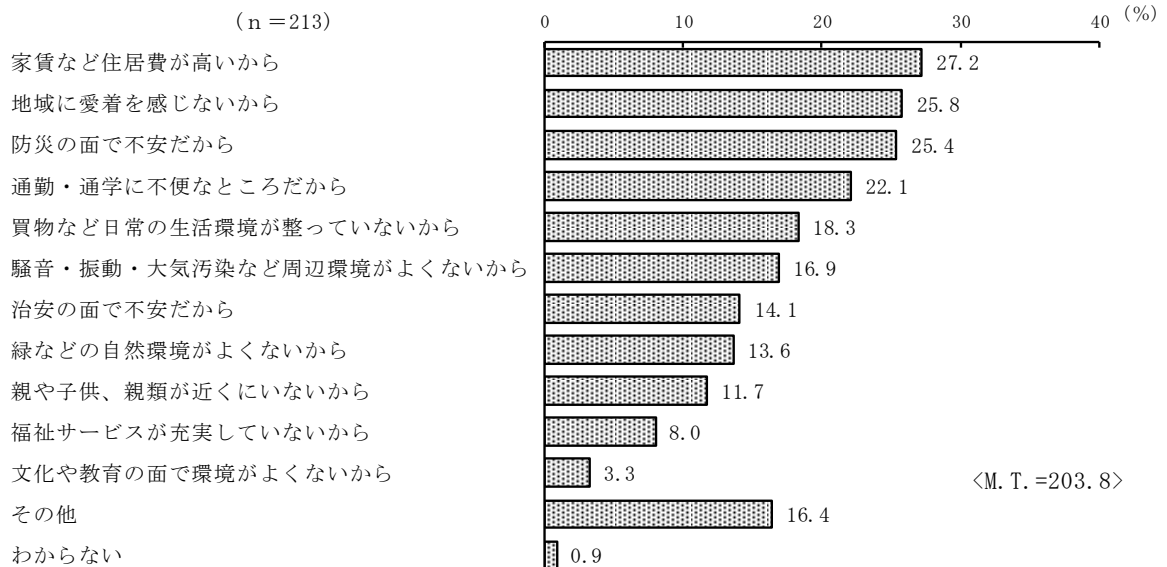
(3M. A.)



(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)



今住んでいる地域に今後も住みたいと思うかどうか聞いたところ、「住みたい」は71%、「住みたくない」は11%となっている。

「住みたい」と答えた人（1,407人）に、その理由を聞いたところ、「買物など日常の生活環境が整っているから」が58%と最も多く、次いで「自分の土地や家があるから」39%、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」37%、「通勤・通学に便利なところだから」35%などの順となっている。

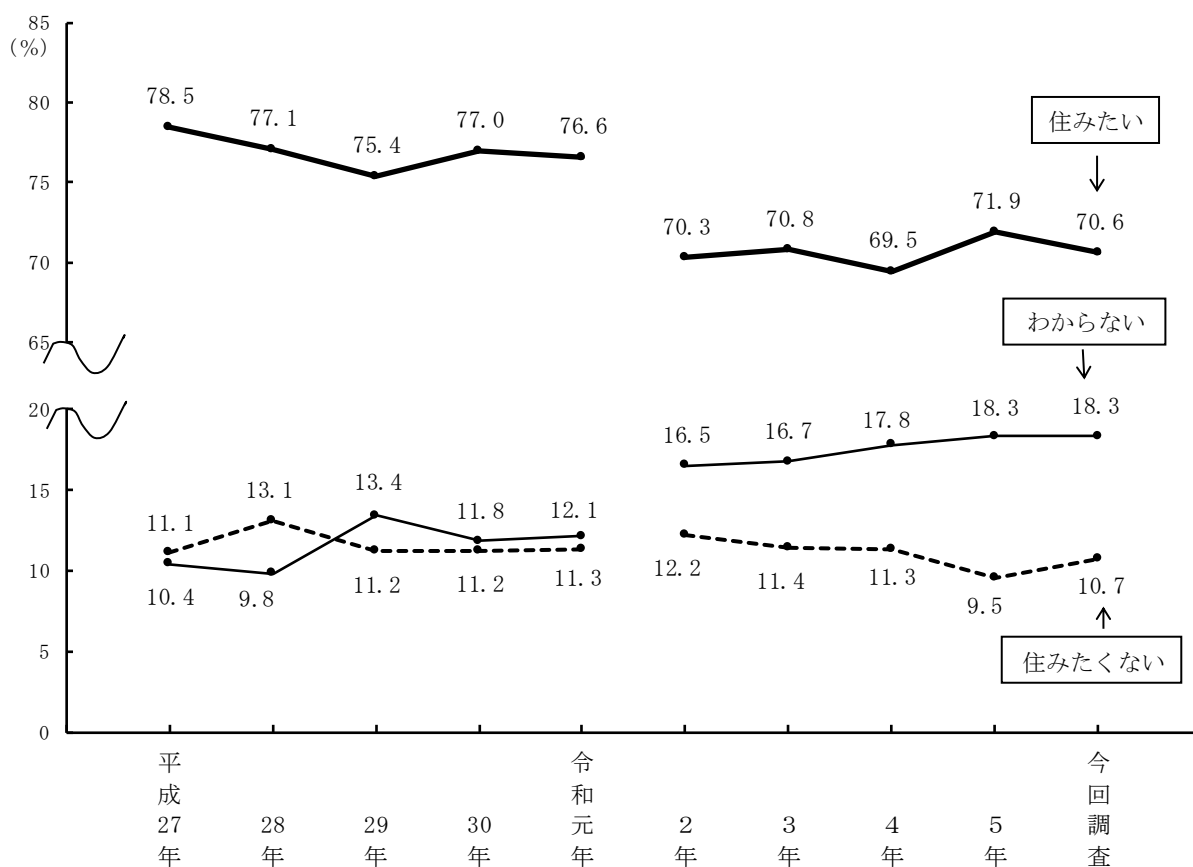
「住みたくない」と答えた人（213人）に、その理由を聞いたところ、「家賃など住居費が高いから」が27%と最も多く、次いで「地域に愛着を感じないから」26%、「防災の面で不安だから」25%、「通勤・通学に不便なところだから」22%などの順となっている。（図2-2-1）

地域定住意向を過去の調査結果と比較すると、「住みたい」は昨年より1ポイント減少している。

（図2-2-2）

なお、地域定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P171 図6）に掲載している。

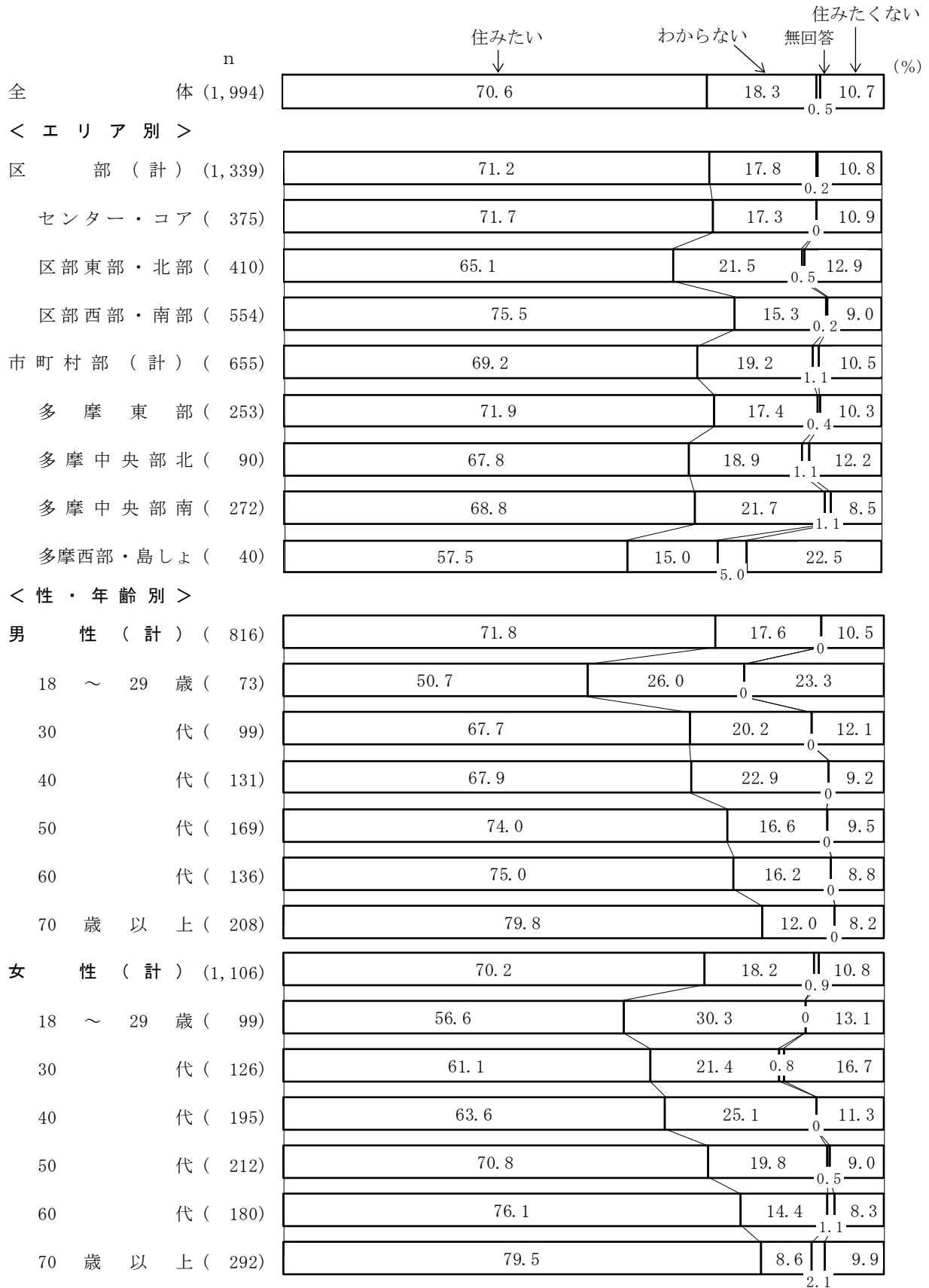
図2-2-2 地域定住意向—過去の調査結果



（注）令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みたい」は区部西部・南部で7割半ばと高くなっている。  
 性・年齢別にみると、「住みたい」は男女ともに70歳以上で約8割と高くなっている。(図2-2-3)

図2-2-3 地域定住意向－エリア別、性・年齢別



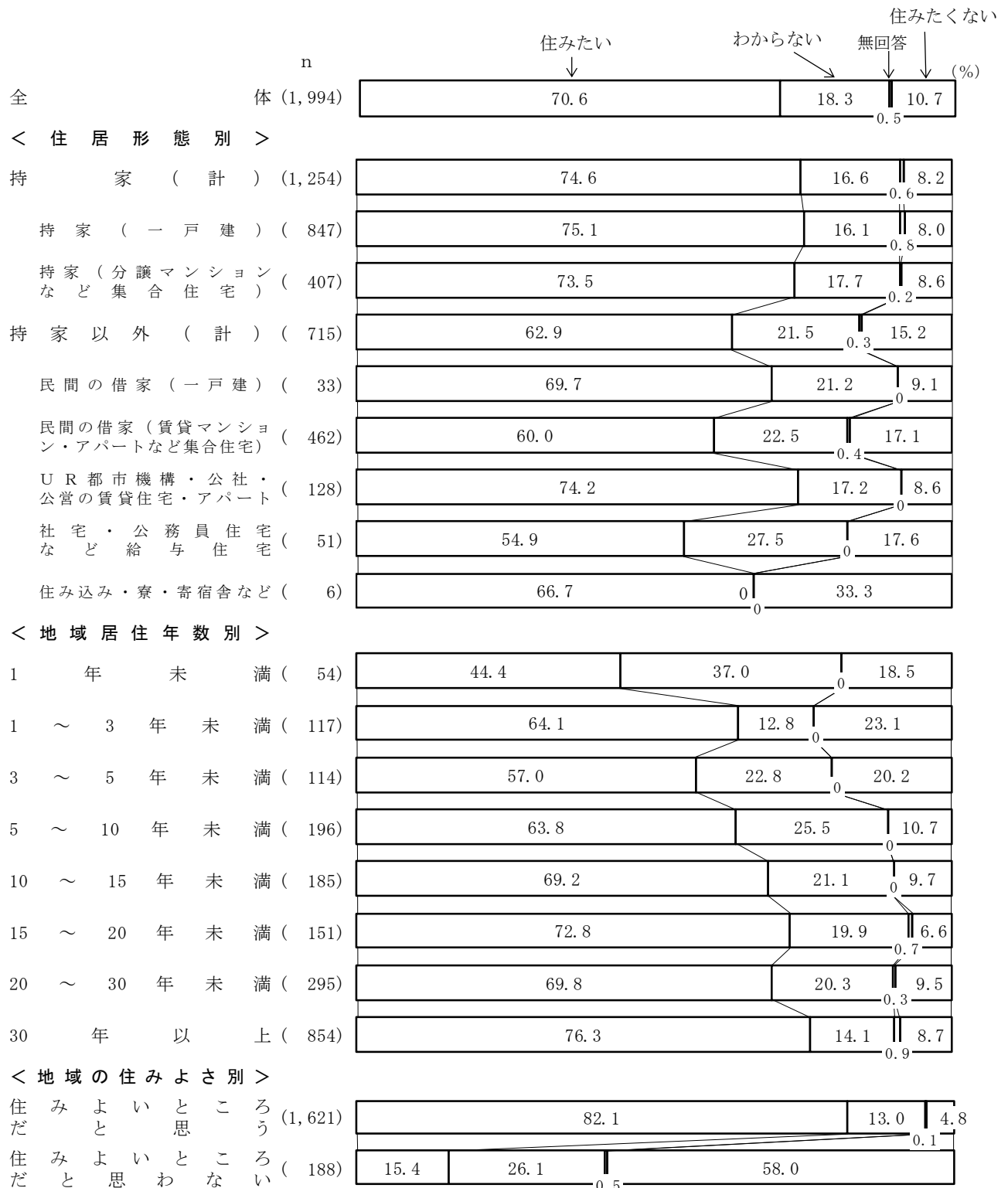


住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で7割半ばと持家以外（計）より12ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高く、30年以上で7割半ばと最も多くなっている。一方、「住みたくない」は1～3年未満と3～5年未満で2割を超えている。

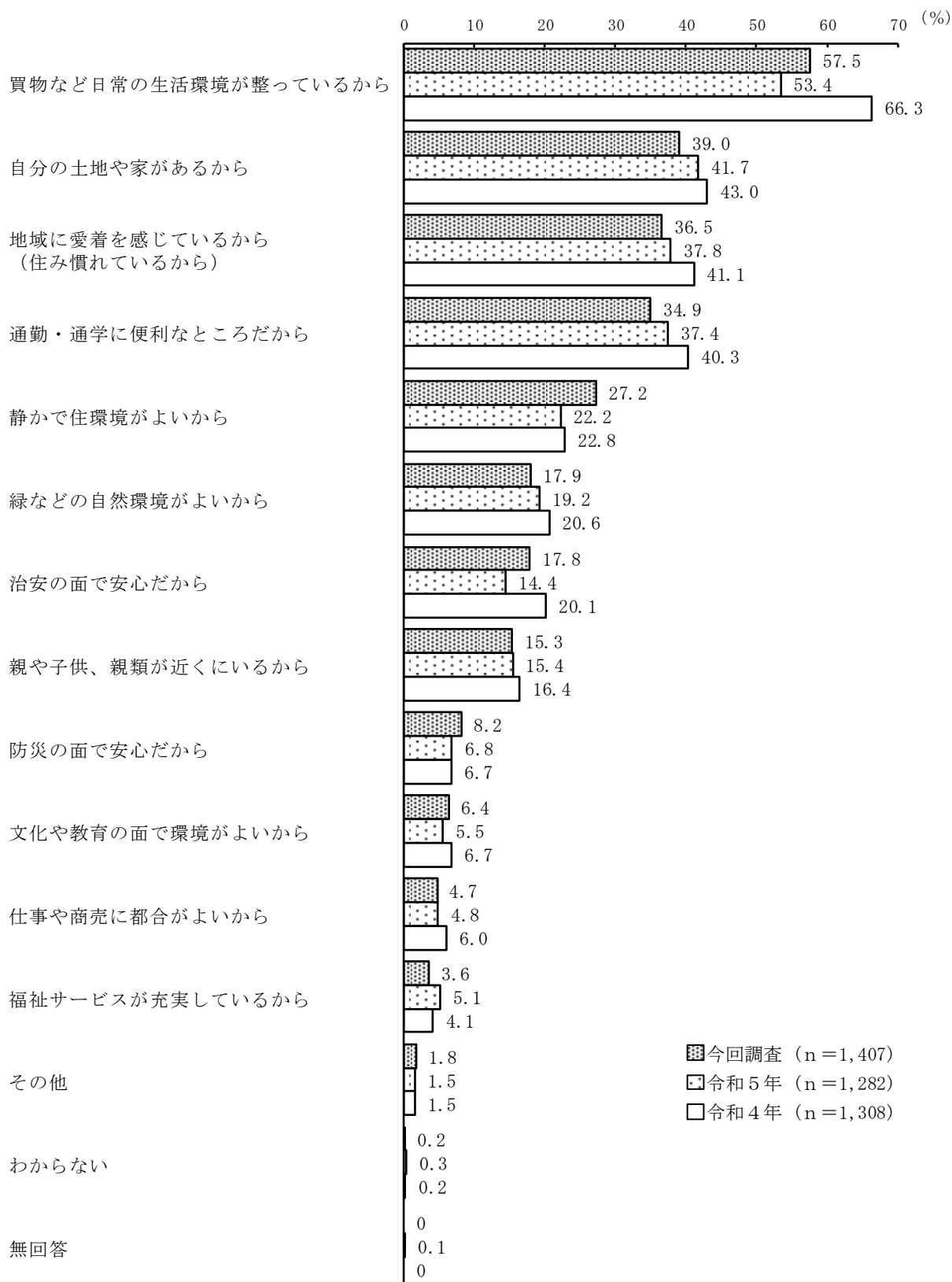
地域の住みよさ（問8 P46）との関係でみると、「住みたい」は住んでいる地域が“住みよいところだと思う”と答えた人で8割を超えて多くなっている。一方、「住みたくない」は“住みよいところだとは思わない”と答えた人で6割近くと多くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 地域定住意向－住居形態別、地域居住年数別、地域の住みよさ別



居住地域に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、「買物など日常の生活環境が整っているから」が昨年より4ポイント、「静かで住環境がよいから」が5ポイント、「治安の面で安心だから」が3ポイント増加している。(図2-2-5)

図2-2-5 居住地域に住みたい理由—過去の調査結果



居住地域に住みたい理由をエリア別にみると、「通勤・通学に便利なところだから」は区部（計）で4割を超えており、市町村部（計）より18ポイント高くなっている。一方、市町村部（計）は「静かで住環境がよいから」が4割近く、「緑などの自然環境がよいから」が3割近くと、区部（計）よりそれぞれ15ポイント以上高くなっている。

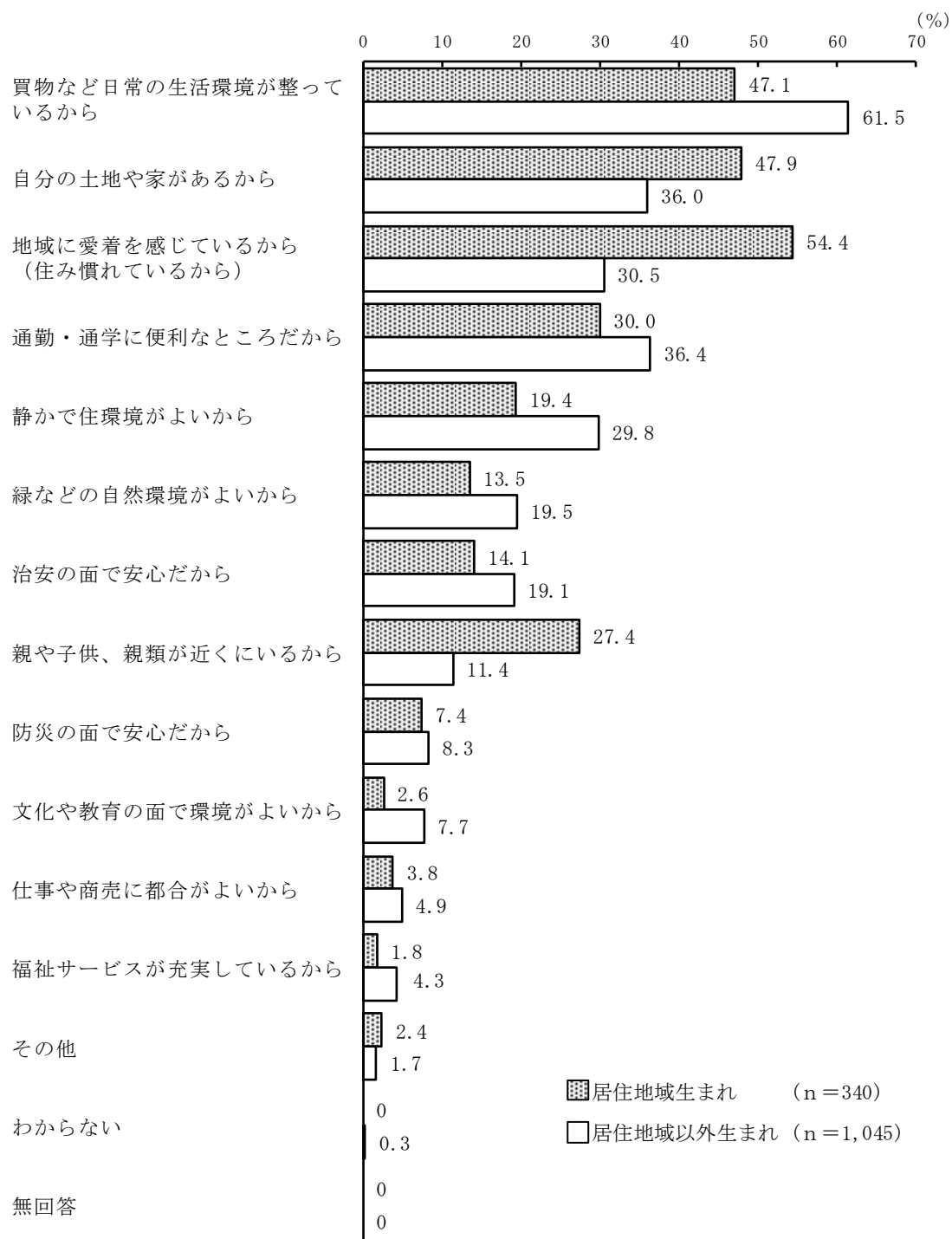
性・年齢別にみると、「買物など日常の生活環境が整っているから」は女性（計）で約6割と男性（計）より7ポイント多くなっている。「通勤・通学に便利なところだから」は男性18～29歳で6割を超えて多くなっている。（表2-2-1）

表2-2-1 居住地域に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)																
	n	買物など日常の生活環境が整っているから	自分の土地や家があるから	地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）	通勤・通学に便利なところだから	静かで住環境がよいから	緑などの自然環境がよいから	治安の面で安心だから	親や子供、親類が近くにいますから	防災の面で安心だから	文化や教育の面で環境がよいから	仕事や商売に都合がよいから	福祉サービスが充実しているから	その他	わからない	無回答
全体	1,407	57.5	39.0	36.5	34.9	27.2	17.9	17.8	15.3	8.2	6.4	4.7	3.6	1.8	0.2	-
<b>&lt; エリア別 &gt;</b>																
区部（計）	954	58.6	36.2	38.4	40.8	21.8	12.8	19.2	15.2	6.9	8.2	6.0	3.8	2.0	0.1	-
センター・コア	269	55.4	32.3	36.4	49.4	20.8	10.0	19.3	12.6	6.3	11.9	8.9	4.1	3.3	-	-
区部東部・北部	267	58.1	40.8	40.4	35.2	18.7	12.0	14.6	20.6	5.6	4.9	5.6	4.5	2.2	0.4	-
区部西部・南部	418	61.0	35.6	38.3	38.8	24.4	15.1	22.0	13.4	8.1	7.9	4.3	3.1	1.0	-	-
市町村部（計）	453	55.2	45.0	32.7	22.5	38.6	28.7	15.0	15.5	11.0	2.6	2.0	3.3	1.5	0.4	-
多摩東部	182	57.1	42.3	35.7	21.4	43.4	27.5	14.8	13.7	11.5	4.4	2.2	2.2	1.1	-	-
多摩中央部北	61	55.7	41.0	39.3	23.0	32.8	31.1	9.8	21.3	4.9	-	-	8.2	3.3	-	-
多摩中央部南	187	55.1	48.7	26.2	24.6	36.9	28.3	16.6	12.8	13.4	2.1	2.7	3.2	1.6	0.5	-
多摩西部・島しょ	23	39.1	47.8	43.5	13.0	30.4	34.8	17.4	34.8	4.3	-	-	-	-	4.3	-
<b>&lt; 性・年齢別 &gt;</b>																
男性（計）	586	54.1	41.8	33.4	36.2	30.4	17.2	16.9	13.3	8.7	6.5	4.3	3.9	1.4	0.2	-
18～29歳	37	64.9	5.4	27.0	62.2	32.4	8.1	24.3	10.8	8.1	5.4	2.7	-	-	-	-
30代	67	56.7	20.9	26.9	46.3	38.8	20.9	26.9	6.0	9.0	19.4	1.5	3.0	1.5	-	-
40代	89	42.7	38.2	27.0	50.6	32.6	16.9	20.2	18.0	4.5	12.4	4.5	2.2	1.1	-	-
50代	125	47.2	45.6	36.0	48.8	24.8	16.8	11.2	14.4	3.2	4.0	6.4	3.2	3.2	-	-
60代	102	55.9	44.1	34.3	31.4	33.3	10.8	20.6	11.8	9.8	2.9	4.9	3.9	1.0	-	-
70歳以上	166	60.8	56.0	38.6	12.0	27.7	22.3	11.4	14.5	14.5	2.4	3.6	6.6	0.6	0.6	-
女性（計）	776	60.7	37.0	38.5	33.8	24.9	18.3	18.6	16.8	7.7	6.1	5.0	3.6	2.3	0.1	-
18～29歳	56	67.9	10.7	33.9	55.4	17.9	8.9	26.8	23.2	3.6	7.1	5.4	3.6	1.8	-	-
30代	77	51.9	31.2	26.0	42.9	19.5	19.5	24.7	18.2	7.8	14.3	6.5	2.6	1.3	-	-
40代	124	59.7	23.4	32.3	52.4	25.8	13.7	18.5	17.7	4.8	8.1	8.9	1.6	2.4	-	-
50代	150	61.3	36.0	35.3	43.3	24.0	22.0	20.0	14.0	7.3	9.3	4.0	0.7	4.0	0.7	-
60代	137	65.0	49.6	41.6	27.7	23.4	20.4	17.5	12.4	5.8	3.6	5.1	5.1	1.5	-	-
70歳以上	232	59.5	45.7	47.4	12.9	29.3	19.0	14.2	18.5	11.6	1.3	3.0	6.0	2.2	-	-

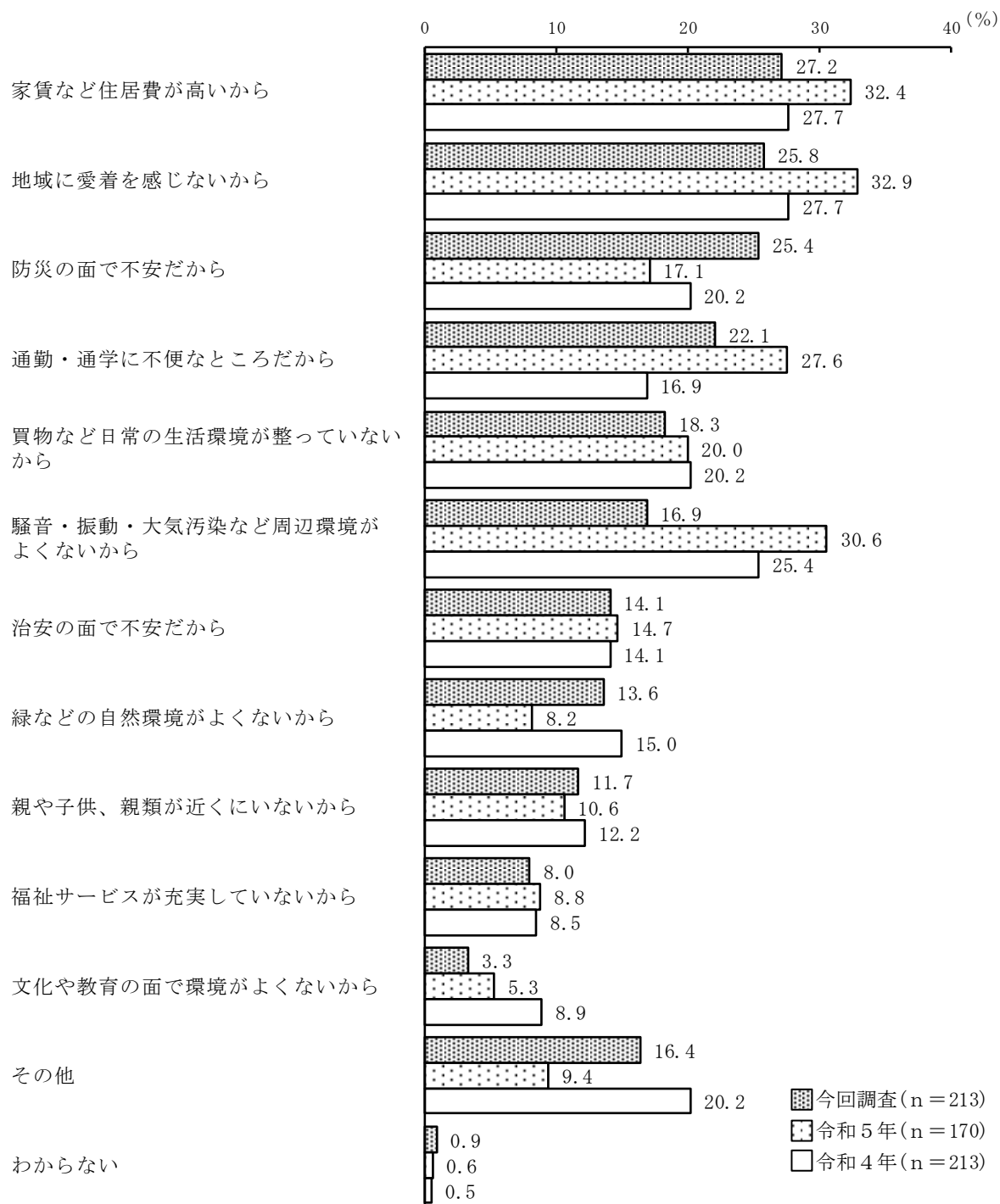
地域生まれか否か別にみると、居住地域生まれの人は居住地域以外生まれの人よりも「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」が24ポイント高くなっている。一方、居住地域以外生まれの人は居住地域生まれの人よりも「買物など日常の生活環境が整っているから」が14ポイント高くなっている。（図2-2-6）

図2-2-6 居住地域に住みたい理由—地域生まれか否か別



居住地域に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「防災の面で不安だから」が昨年より8ポイント増加している。一方、「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」は昨年より14ポイント減少している。(図2-2-7)

図2-2-7 居住地域に住みたくない理由—過去の調査結果



エリア別にみると「通勤・通学に不便なところだから」は多摩中央部北で6割半ばと多くなっている。  
「家賃など住居費が高いから」は区部西部・南部で約4割と多い。  
性別にみると、大きな差はみられない。  
年齢別にみると、「防災の面で不安だから」が40代で4割を超えて多くなっている。(表2-2-2)

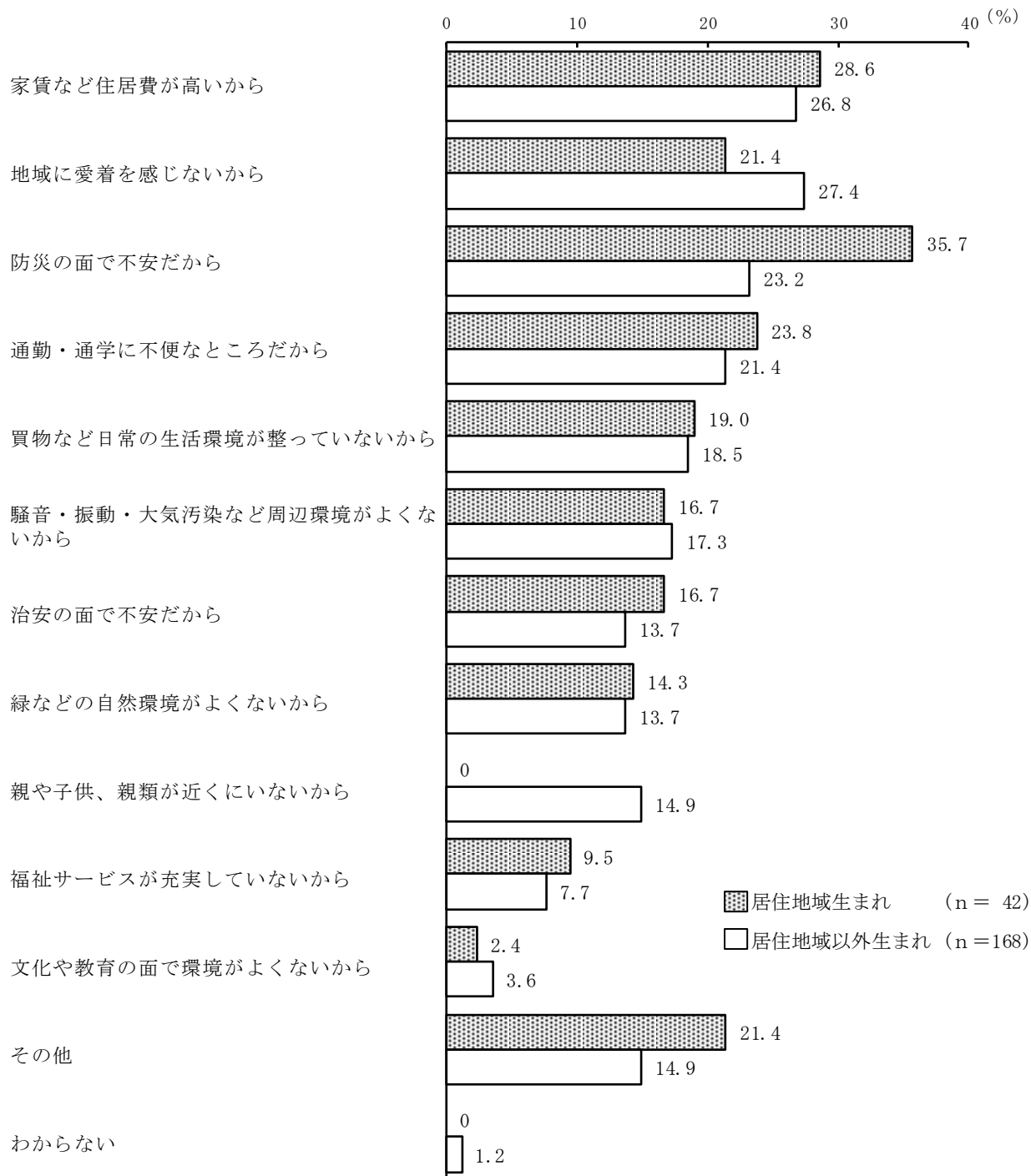
表2-2-2 居住地域に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	家賃など住居費が高いから	地域に愛着を感じないから	防災の面で不安だから	通勤・通学に不便なところだから	買物など日常生活環境が整っていないから	騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから	治安の面で不安だから	緑などの自然環境がよくないから	親や子供、親類が近くにいないから	福祉サービスが充実していないから	文化や教育の面で環境がよくないから	その他	わからない
全 体	213	27.2	25.8	25.4	22.1	18.3	16.9	14.1	13.6	11.7	8.0	3.3	16.4	0.9
<b>&lt; エリア別 &gt;</b>														
区 部 (計)	144	30.6	25.0	27.1	15.3	15.3	19.4	18.1	19.4	9.7	4.9	4.2	14.6	0.7
センター・コア	41	31.7	26.8	29.3	9.8	19.5	19.5	14.6	17.1	7.3	9.8	4.9	17.1	-
区部東部・北部	53	20.8	26.4	32.1	13.2	9.4	11.3	30.2	18.9	13.2	3.8	3.8	15.1	1.9
区部西部・南部	50	40.0	22.0	20.0	22.0	18.0	28.0	8.0	22.0	8.0	2.0	4.0	12.0	-
市町村部 (計)	69	20.3	27.5	21.7	36.2	24.6	11.6	5.8	1.4	15.9	14.5	1.4	20.3	1.4
多摩東部	26	34.6	38.5	7.7	23.1	11.5	15.4	-	3.8	23.1	19.2	3.8	23.1	-
多摩中央部北	11	18.2	-	27.3	63.6	36.4	27.3	18.2	-	18.2	-	-	18.2	-
多摩中央部南	23	13.0	30.4	30.4	39.1	17.4	4.3	8.7	-	13.0	13.0	-	17.4	4.3
多摩西部・島しょ	9	-	22.2	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	22.2	-	22.2	-
<b>&lt; 性別 &gt;</b>														
男 性	86	30.2	27.9	27.9	20.9	17.4	18.6	14.0	14.0	8.1	3.5	1.2	16.3	-
女 性	119	24.4	25.2	23.5	23.5	19.3	16.0	14.3	13.4	15.1	10.1	5.0	16.8	0.8
<b>&lt; 年齢別 &gt;</b>														
18 ～ 29 歳	31	32.3	19.4	6.5	32.3	3.2	12.9	12.9	19.4	12.9	-	3.2	19.4	3.2
30 代	33	33.3	27.3	27.3	18.2	6.1	21.2	15.2	12.1	15.2	6.1	6.1	21.2	3.0
40 代	37	32.4	24.3	43.2	24.3	21.6	16.2	18.9	16.2	13.5	10.8	2.7	10.8	-
50 代	35	22.9	28.6	28.6	17.1	20.0	20.0	20.0	8.6	11.4	5.7	-	22.9	-
60 代	28	39.3	10.7	21.4	32.1	25.0	14.3	14.3	-	10.7	10.7	7.1	25.0	-
70 歳 以 上	47	12.8	38.3	21.3	12.8	29.8	17.0	6.4	19.1	8.5	12.8	2.1	6.4	-

地域生まれか否か別にみると、「防災の面で不安だから」で居住地生まれの人が居住地以外生まれの人よりも13ポイント高くなっている。(図2-2-8)

図2-2-8 居住地に住みたくない理由－地域生まれか否か別



### 3 東京

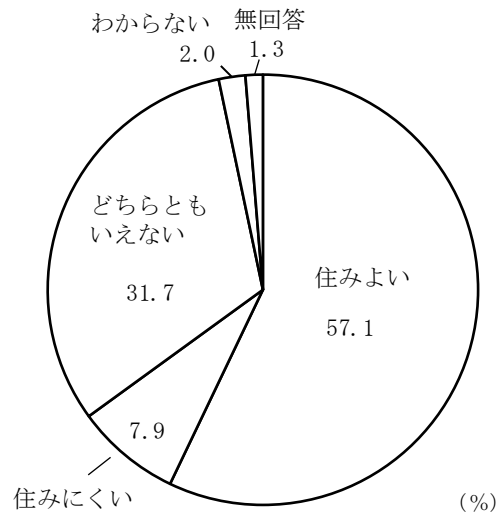
#### ※3-1 東京の住みよさ

図3-1-1

(全員の方に)

問10 あなたにとって東京は、一般的にみて住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。(○は1つ)

(n = 1,994)



東京は一般的にみて住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよい」は57%、「住みにくい」は8%、「どちらともいえない」は32%となっている。(図3-1-1)

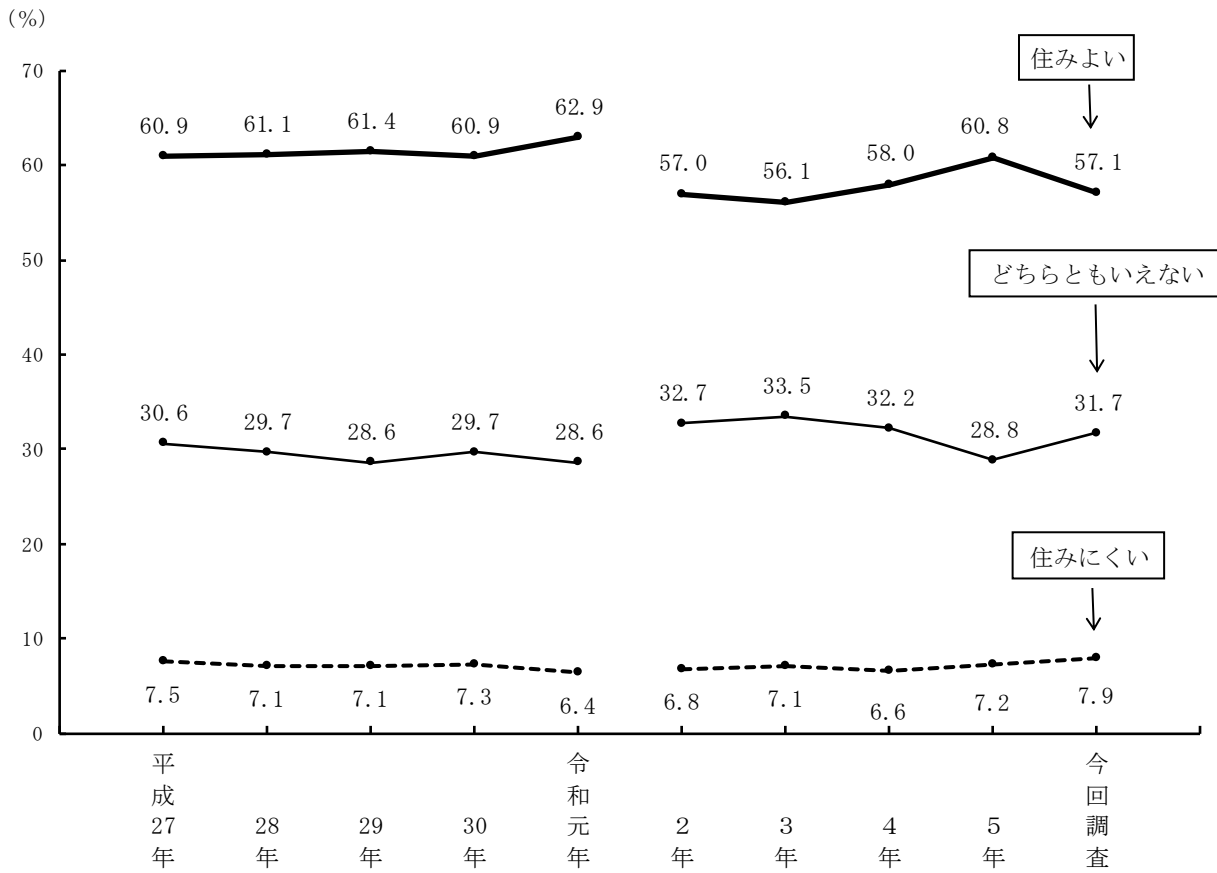


東京の住みよさを過去の調査結果と比較すると、「住みよい」は昨年より4ポイント減少している。

(図3-1-2)

なお、東京の住みよさの平成元年からの調査結果を巻末の付属資料（P172 図7）に掲載している。

図3-1-2 東京の住みよさー過去の調査結果

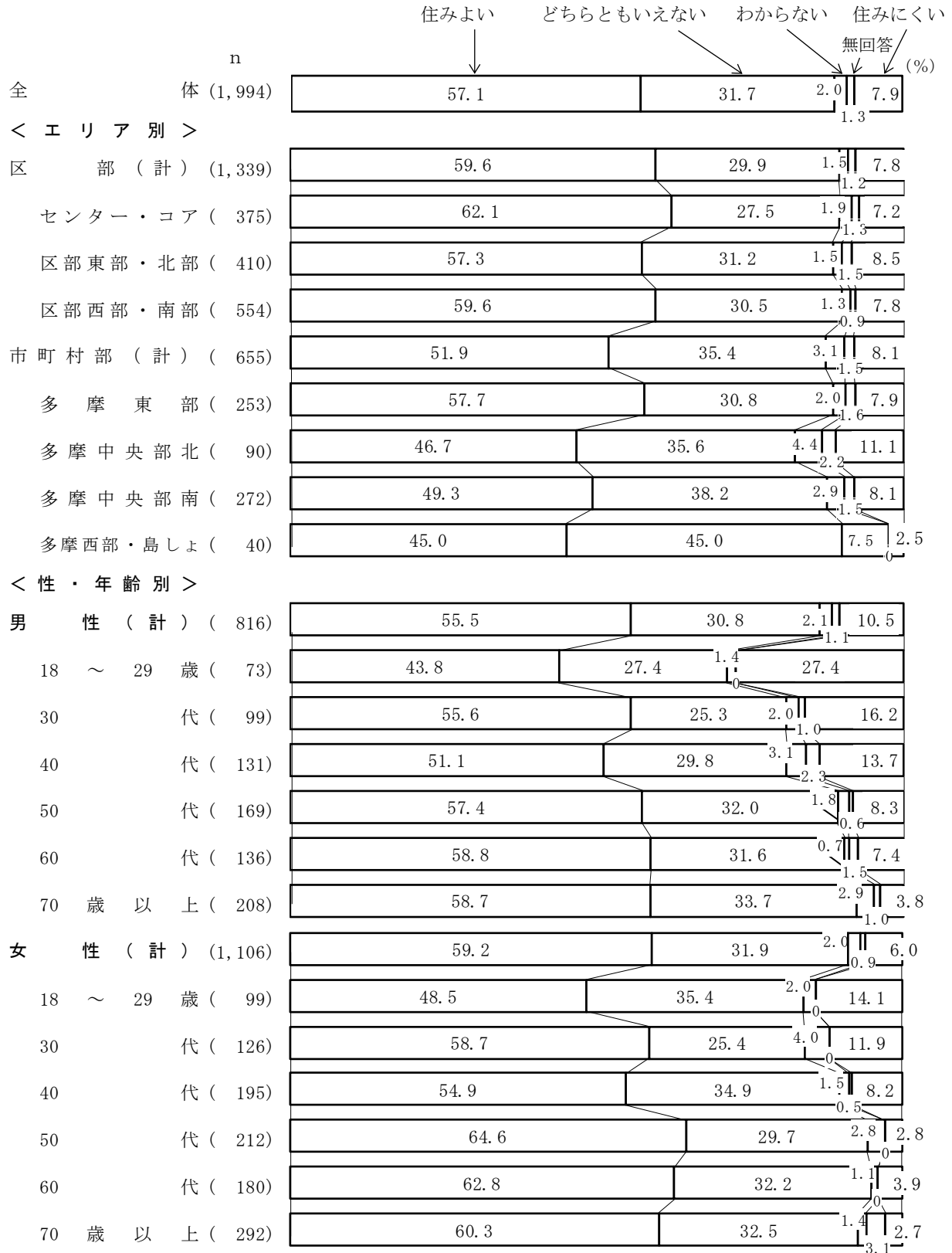


(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「住みよい」はセンターコアで6割を超えている。

性・年齢別にみると、「住みにくい」は男性18～29歳で3割近くと多くなっている。(図3-1-3)

図3-1-3 東京の住みよさ-エリア別、性・年齢別

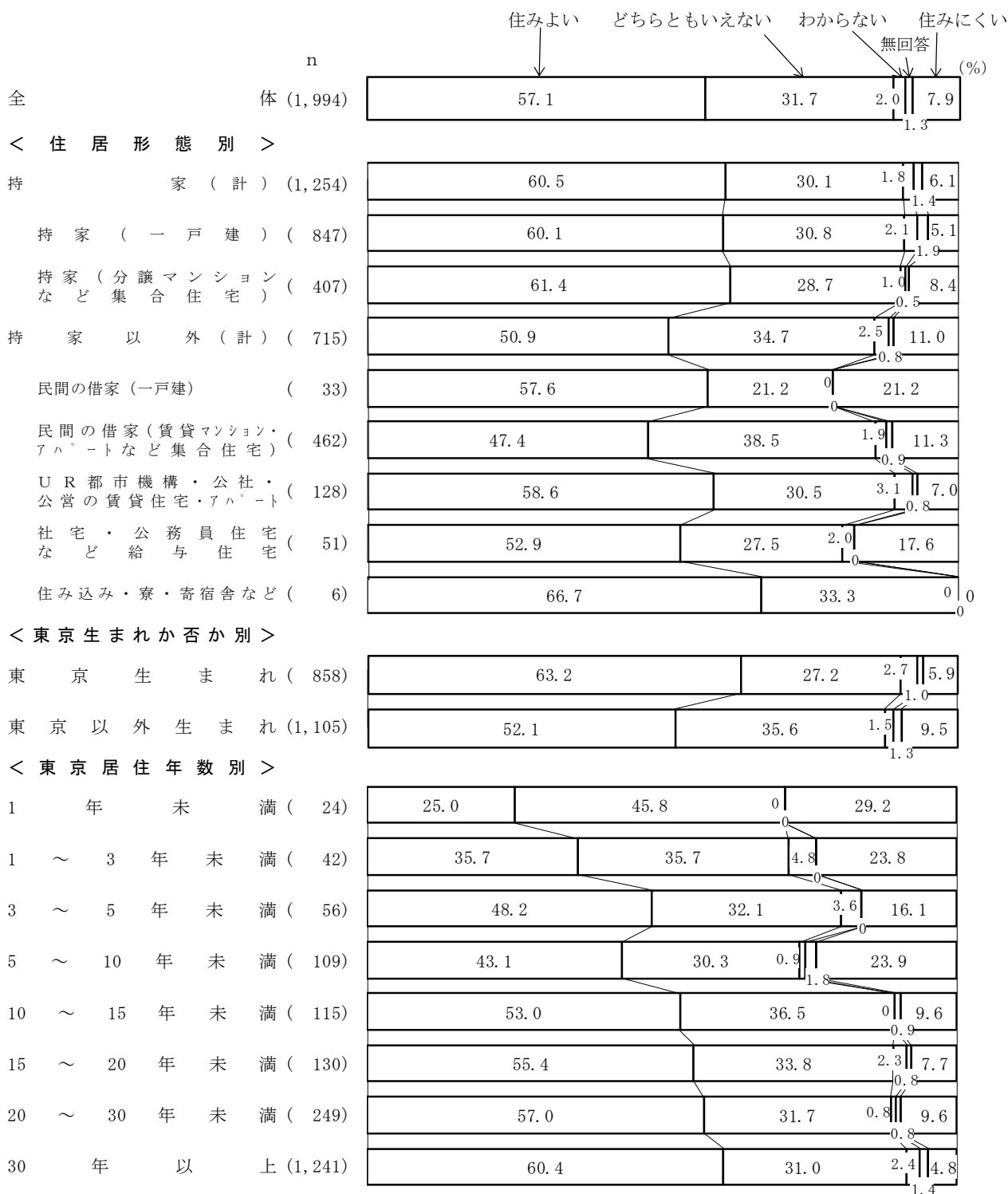


住居形態別にみると、「住みよい」は持家（計）で6割を超え、持家以外（計）より10ポイント高くなっている。

東京生まれか否か別にみると、「住みよい」は東京生まれの人で6割を超えており、東京以外生まれの人より11ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みよい」は30年以上で約6割と多くなっている。（図3-1-4）

図3-1-4 東京の住みよさー住居形態別、東京生まれか否か別、東京居住年数別



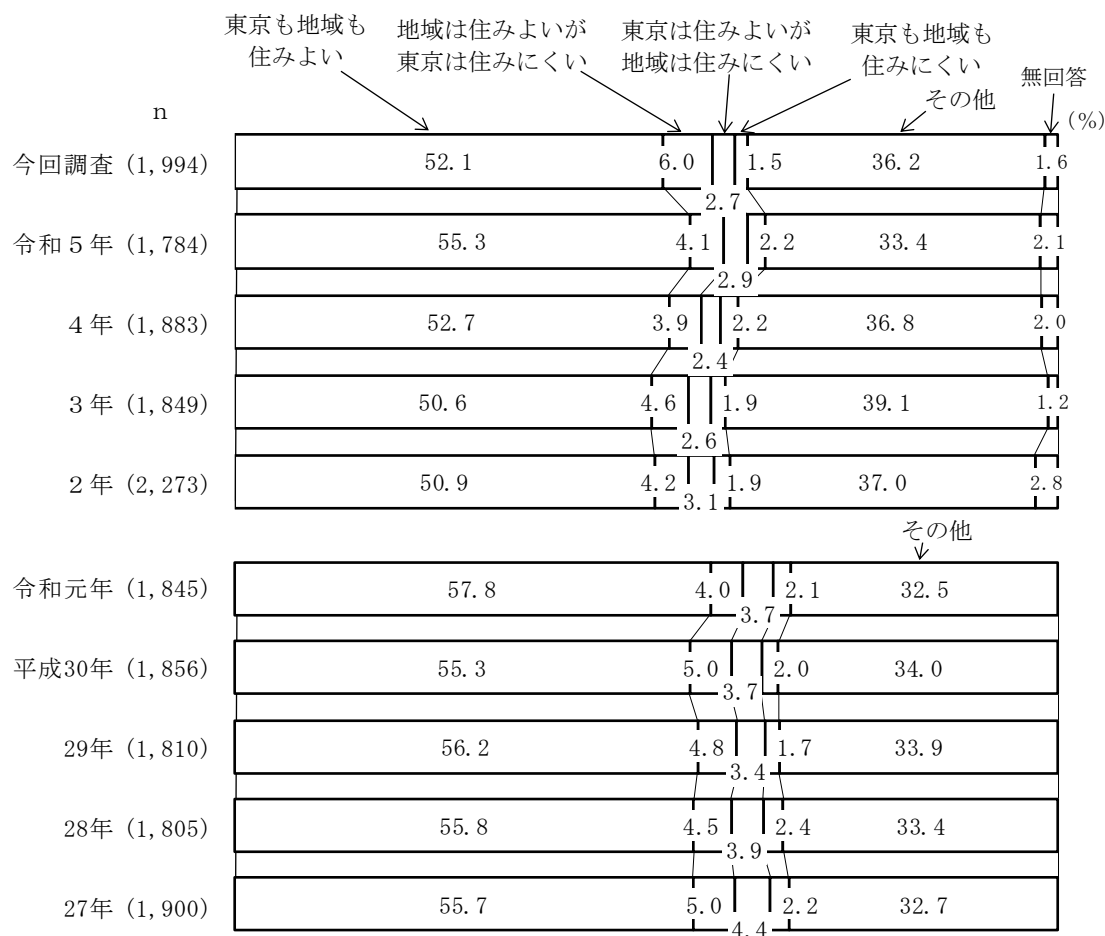
東京の住みよさと地域の住みよさ（問8 P46）を組み合わせると、「東京も地域も住みよい」52%、「地域は住みよいが東京は住みにくい」6%、「東京は住みよいが、地域は住みよいところだとは思わない」3%、「東京も地域も住みよいとは思わない」2%となっている。（表3-1-1）

表3-1-1 東京と地域の住みよさ

(n=1,994)		(%)			
東京の住みよさ 地域の住みよさ	住みよい	住みにくい	どちらともいえない わからない	無回答	
住みよいところだと思う	52.1	6.0	22.3	1.0	
住みよいところだとは思わない	2.7	1.5	5.2	0.1	
わからない	2.3	0.5	6.0	0.1	
無回答	0.1	0	0.3	0.1	

東京の住みよさと地域の住みよさの組み合わせを過去と比較すると、「東京も地域も住みよい」が昨年より3ポイント減少している。（図3-1-5）

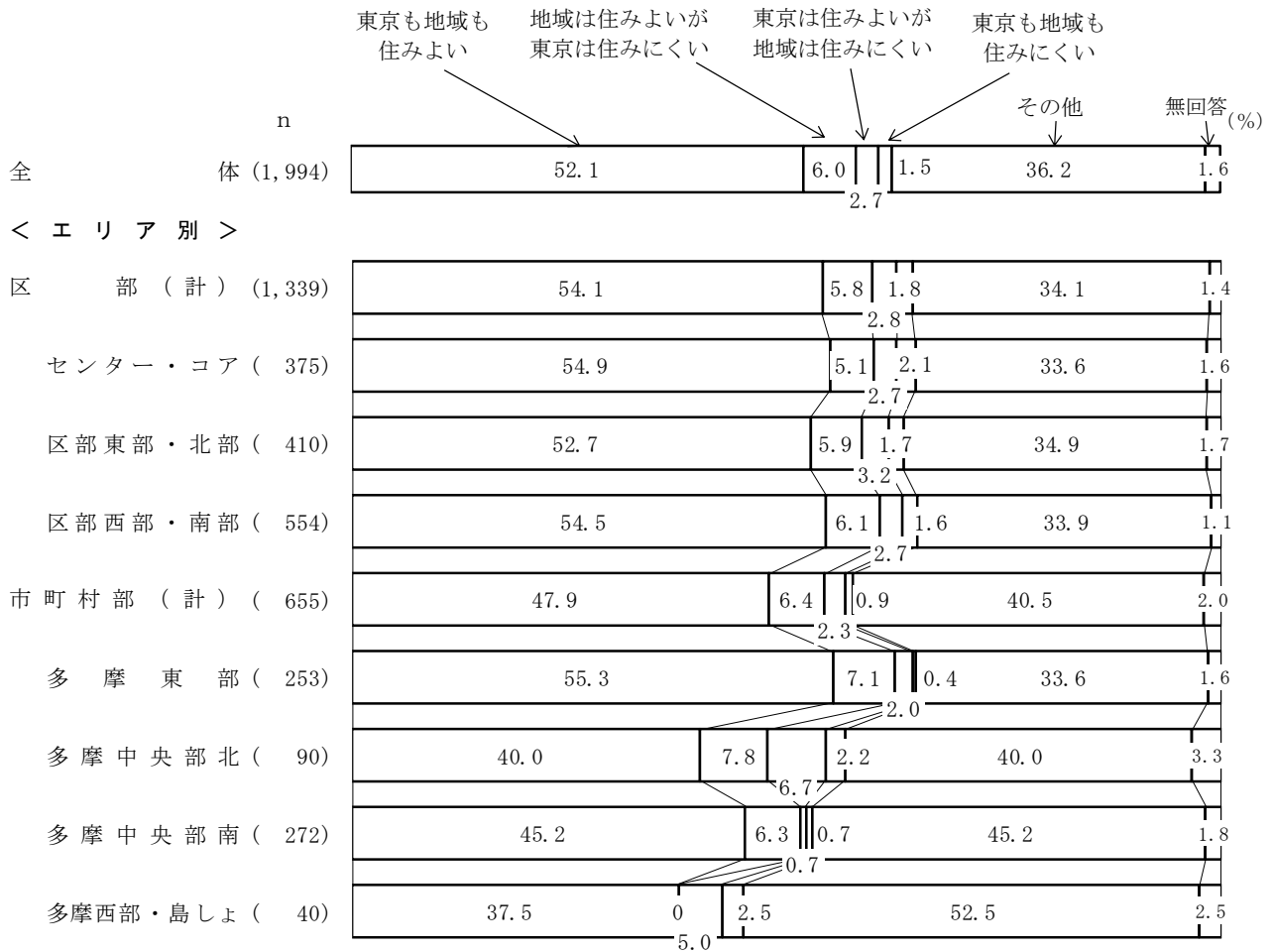
図3-1-5 東京と地域の住みよさー過去の調査結果



(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

エリア別にみると、「東京も地域も住みよい」はセンターコア、区部西部・南部、多摩東部で5割半ばと多くなっている。(図3-1-6)

図3-1-6 東京と地域の住みよさ－エリア別

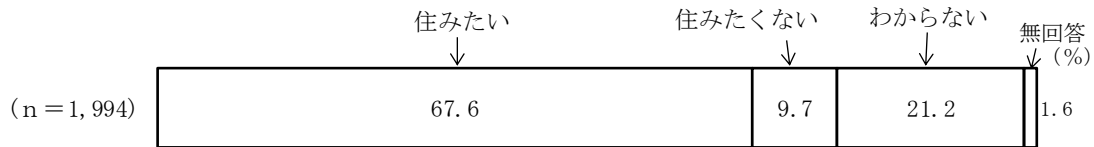


※3-2 東京定住意向

図3-2-1

(全員の方に)

問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ)

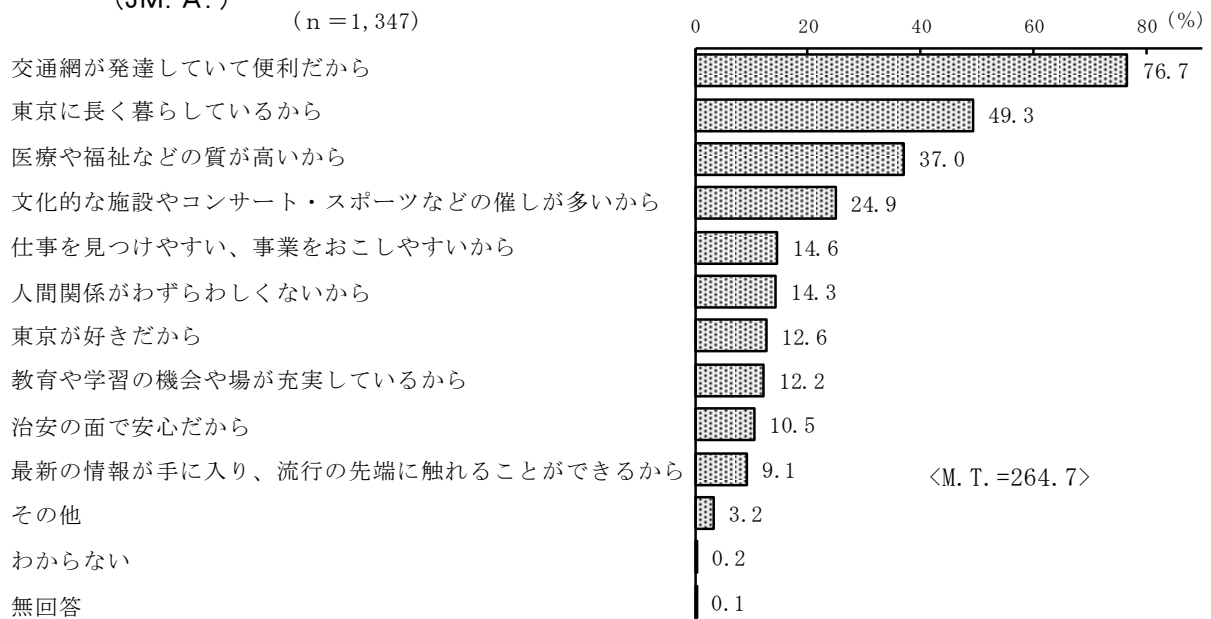


(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)

(n=1,347)

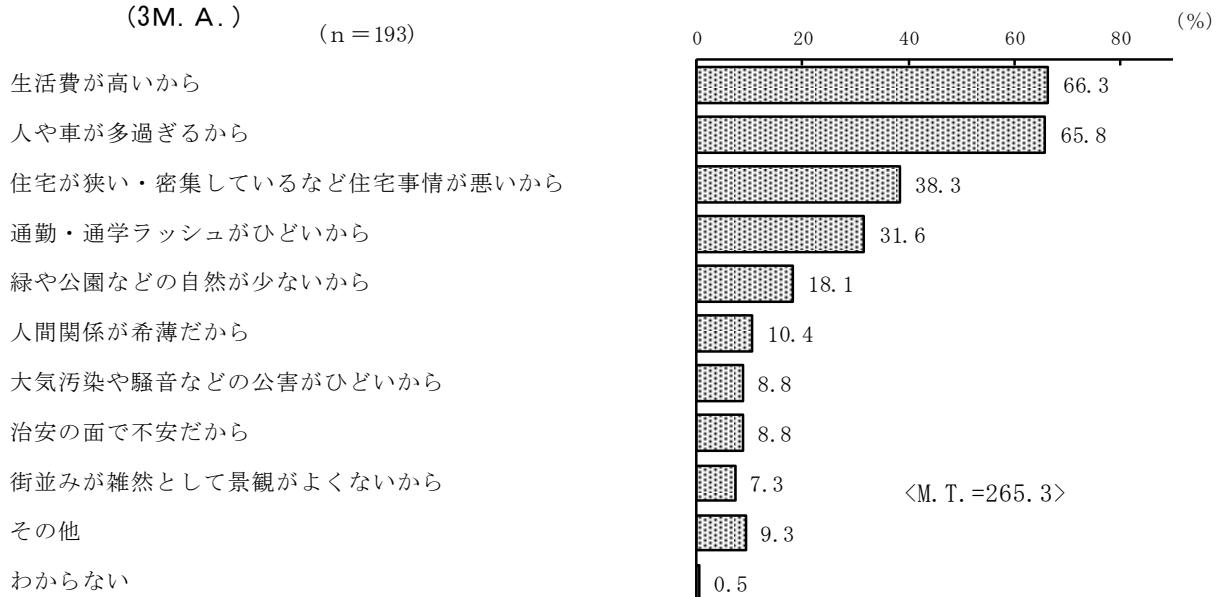


(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜですか。次の中から3つまでお答えください。(○は3つまで)

(3M. A.)

(n=193)



東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いたところ、「住みたい」は68%、「住みたくない」は10%となっている。

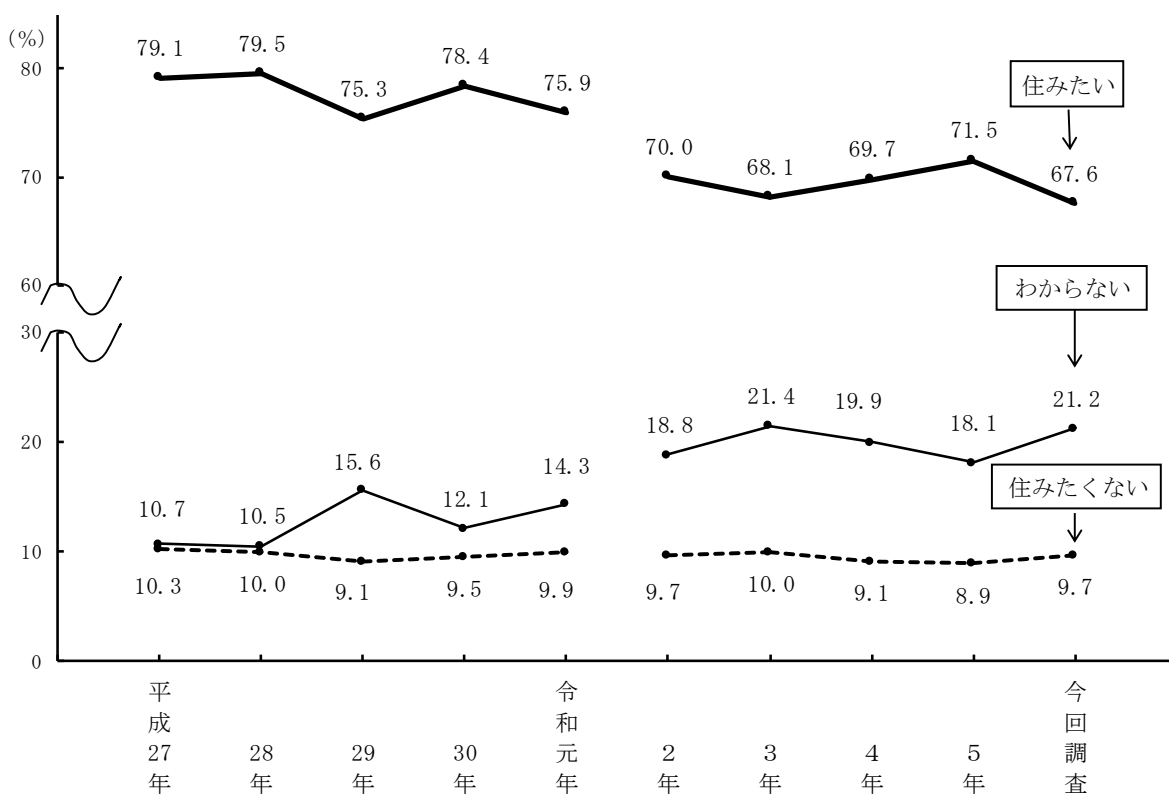
「住みたい」と答えた人(1,347人)にその理由を聞いたところ、「交通網が発達していて便利だから」が77%と最も多く、次いで「東京に長く暮らしているから」49%、「医療や福祉などの質が高いから」37%、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」25%などの順となっている。

「住みたくない」と答えた人(193人)にその理由を聞いたところ、「生活費が高いから」と「人や車が多過ぎるから」が66%と最も多く、次いで「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」38%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」32%などの順となっている。(図3-2-1)

東京定住意向を過去の調査結果と比較すると、「住みたい」は昨年より4ポイント減少している。  
(図3-2-2)

なお、東京定住意向の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P173 図8)に掲載している。

図3-2-2 東京定住意向—過去の調査結果



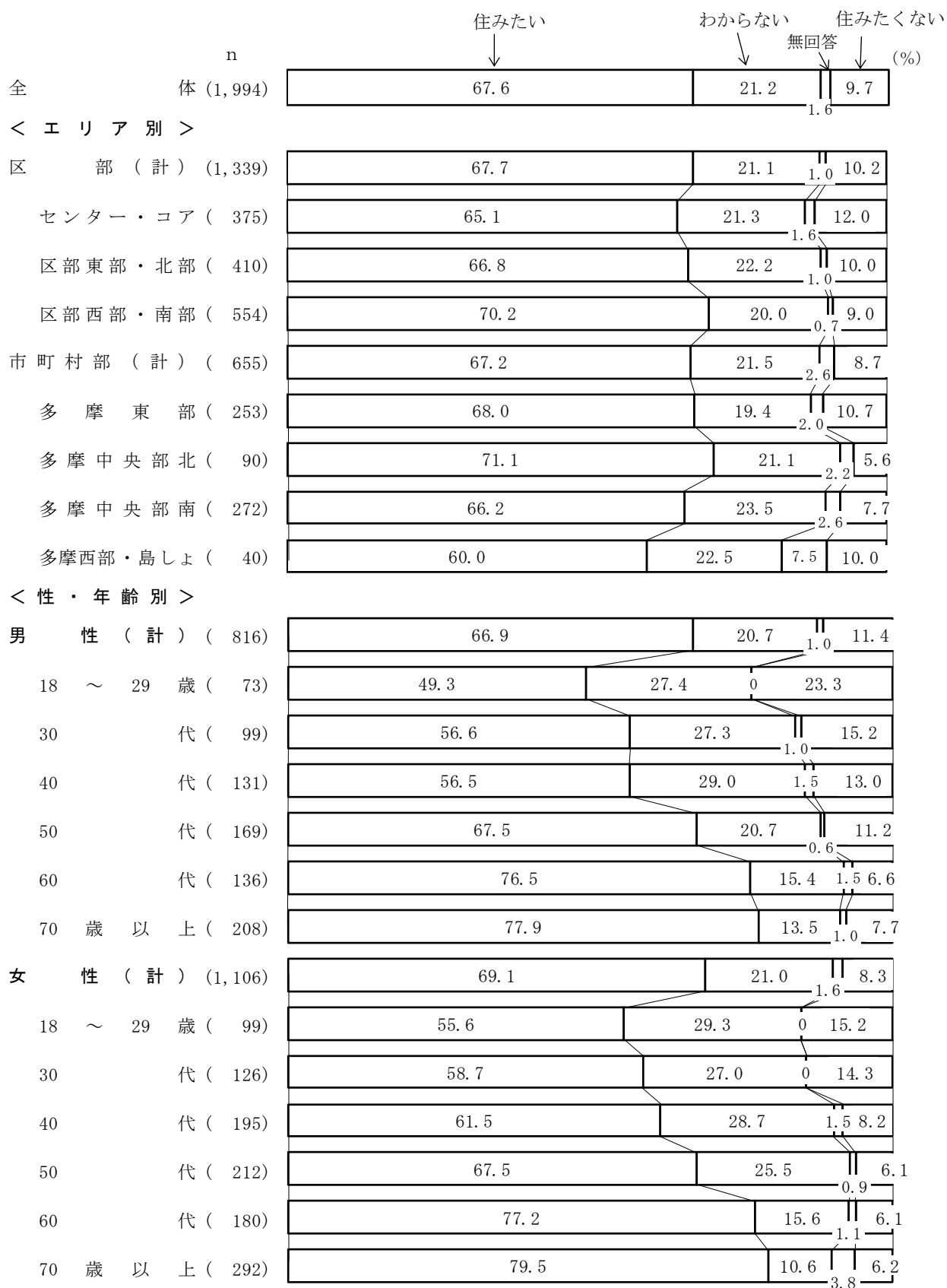
(注) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「住みたい」は男女とも60代、70歳以上で7割半ばを超えて多くなっている。

(図3-2-3)

図3-2-3 東京定住意向－エリア別、性・年齢別





住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で7割を超えており、持家以外（計）より15ポイント高くなっている。一方、「住みたくない」は持家以外（計）で1割半ばとなっている。（図3-2-4）

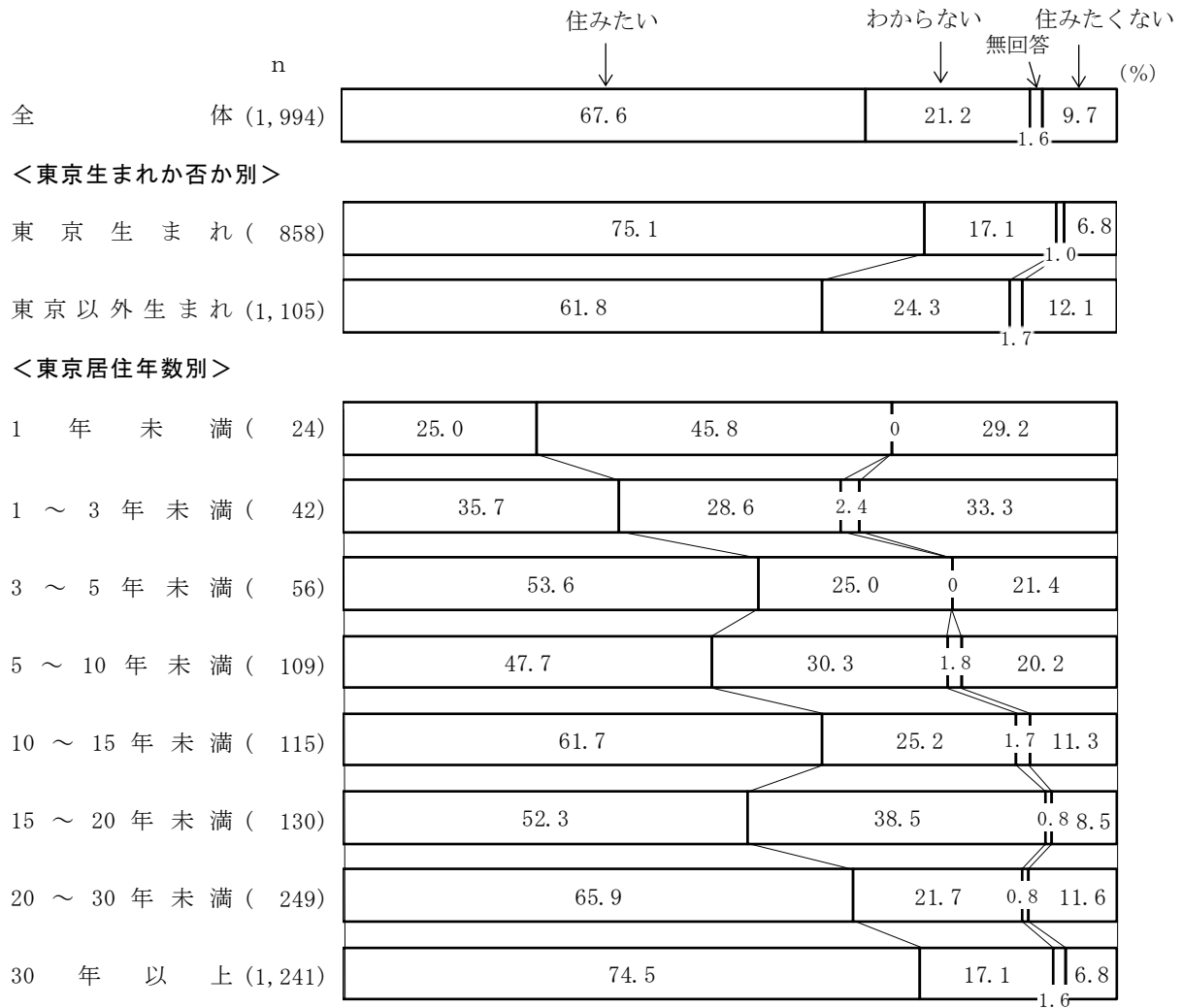
図3-2-4 東京定住意向－住居形態別

		住みたい	わからない	無回答	住みたくない
n					(%)
全	体 (1,994)	67.6	21.2	1.6	9.7
< 住居形態別 >					
持	家 (計) (1,254)	73.1	18.5	1.3	7.1
	持家 (一戸建) (847)	75.7	17.1	1.5	5.7
	持家 (分譲マンション など集合住宅) (407)	67.8	21.4	0.7	10.1
持	家以外 (計) (715)	57.9	26.0	1.7	14.4
	民間の借家 (一戸建) (33)	54.5	24.2	3.0	18.2
	民間の借家 (賃貸マンション ・アパートなど集合住宅) (462)	55.2	27.7	1.7	15.4
	UR都市機構・公社・公営の 賃貸住宅・アパート (128)	71.1	17.2	1.6	10.2
	社宅・公務員住宅 など給与住宅 (51)	45.1	37.3	0	17.6
	住み込み・寮・寄宿舎など (6)	66.7	33.3	0	0

東京生まれか否か別にみると、「住みたい」は東京生まれの人で7割半ばと東京以外生まれの人より13ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね年数が長いほど増加する傾向があり、30年以上で7割半ばと多くなっている。(図3-2-5)

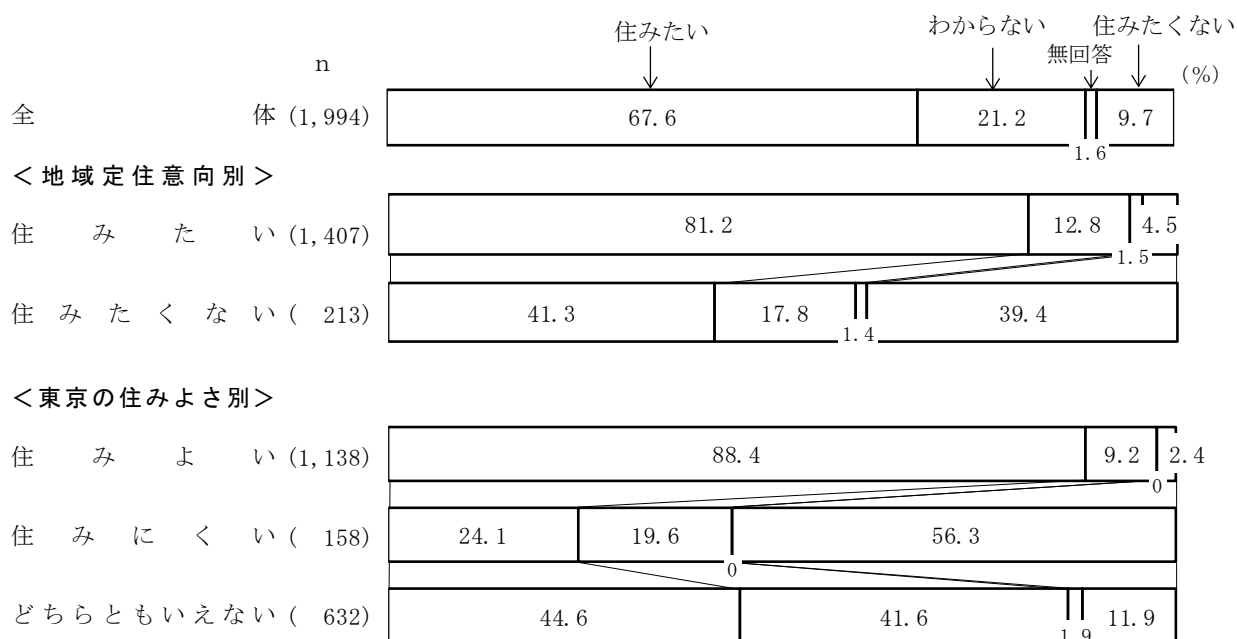
図3-2-5 東京定住意向－東京生まれか否か別、東京居住年数別



地域定住意向（問9 P50）別との関係でみると、住んでいる地域に「住みたい」と答えた人で東京に「住みたい」と思っている人は8割を超えて多くなっている。一方、地域に「住みたくない」と答えた人で東京にも「住みたくない」と思っている人は4割を超えている。

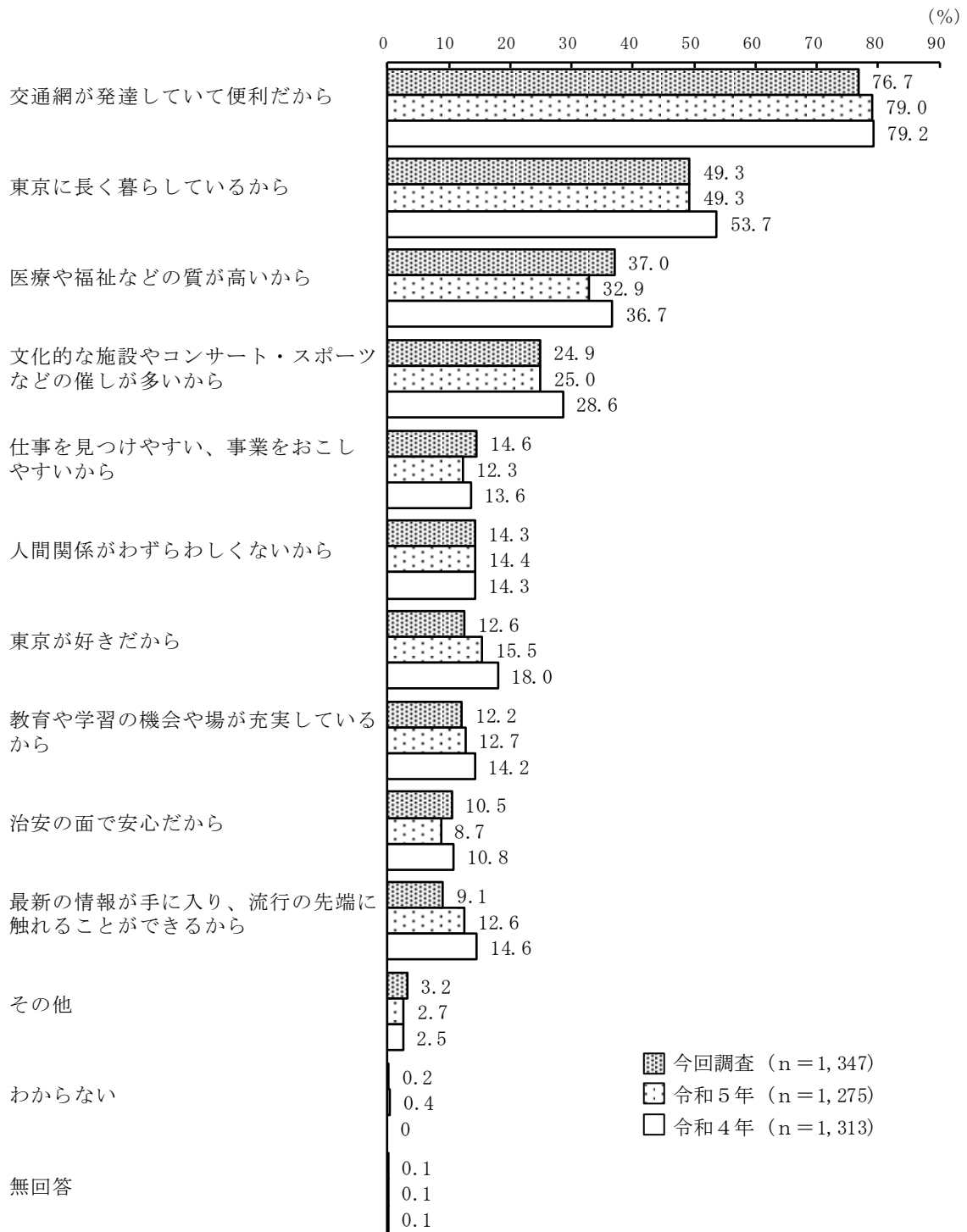
東京の住みよさ（問10 P60）別との関係でみると、東京は「住みよい」と答えた人で東京に「住みたい」と思っている人は9割近くへのぼる。一方、東京は「住みにくい」と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は5割半ばと多くなっている。（図3-2-6）

図3-2-6 東京定住意向－地域定住意向別、東京の住みよさ別



東京に住みたい理由を過去の調査結果と比較すると、昨年と大きな差は見られない。(図3-2-7)

図3-2-7 東京に住みたい理由－過去の調査結果



東京に住みたい理由をエリア別にみると、「医療や福祉などの質が高いから」は区部（計）で約4割と、市町村部（計）より9ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「東京に長く暮らしているから」は男女とも70歳以上で6割を超えている。「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は女性18～29歳で5割近く、男性18～29歳で4割を超えて多くなっている。（表3-2-1）

表3-2-1 東京に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

														(%)
	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮らして いるから	医療や福祉などの質 が高いから	文化的な施設やコンサ ート・スポーツなどの催 しが多いから	仕事をみつけやすい、 事業をおこしやすいから	人間関係がわずらわし くないから	東京が好きだから	教育や学習の機会や場 が充実しているから	治安の面で安心だから	最新の情報が手に入り、 流行の先端に触れること ができるから	その他	わからない	無回答
全 体	1,347	76.7	49.3	37.0	24.9	14.6	14.3	12.6	12.2	10.5	9.1	3.2	0.2	0.1
<b>&lt; エリア別 &gt;</b>														
区 部（計）	907	78.2	47.5	39.9	25.0	14.9	13.5	13.5	12.1	10.7	8.7	3.3	-	0.2
センター・コア	244	79.5	43.0	41.8	25.4	15.2	14.8	14.3	15.2	10.2	9.4	4.1	-	0.8
区部東部・北部	274	77.7	51.8	39.1	20.1	13.5	12.0	15.3	10.2	13.9	9.1	3.3	-	-
区部西部・南部	389	77.6	47.3	39.3	28.3	15.7	13.6	11.6	11.6	8.7	8.0	2.8	-	-
市町村部（計）	440	73.6	53.0	31.1	24.8	13.9	16.1	10.9	12.3	10.2	9.8	3.0	0.7	-
多摩東部	172	76.7	52.9	33.7	25.6	10.5	14.0	14.5	8.7	12.8	13.4	4.1	-	-
多摩中央部北	64	67.2	54.7	28.1	18.8	18.8	15.6	7.8	12.5	10.9	4.7	1.6	1.6	-
多摩中央部南	180	76.1	50.6	31.7	26.1	13.9	18.9	8.3	16.1	6.7	9.4	2.2	1.1	-
多摩西部・島しょ	24	50.0	66.7	16.7	25.0	25.0	12.5	12.5	8.3	16.7	-	4.2	-	-
<b>&lt; 性・年齢別 &gt;</b>														
男 性（計）	546	75.8	47.3	37.2	22.0	16.1	12.8	12.5	10.4	12.1	9.9	3.3	0.2	0.2
18～29歳	36	75.0	33.3	8.3	41.7	30.6	13.9	8.3	11.1	-	16.7	2.8	-	-
30代	56	66.1	21.4	25.0	32.1	42.9	10.7	10.7	19.6	7.1	14.3	7.1	1.8	-
40代	74	82.4	33.8	24.3	23.0	27.0	13.5	14.9	23.0	8.1	20.3	-	-	-
50代	114	71.9	46.5	30.7	17.5	18.4	9.6	13.2	9.6	7.0	13.2	6.1	-	-
60代	104	76.0	51.0	45.2	24.0	8.7	14.4	15.4	7.7	12.5	5.8	1.9	-	-
70歳以上	162	79.0	63.6	53.1	15.4	1.9	14.2	10.5	3.7	21.6	2.5	2.5	-	0.6
女 性（計）	764	77.4	50.4	37.6	26.8	13.7	14.9	12.7	13.1	9.3	8.8	3.3	0.3	0.1
18～29歳	55	87.3	47.3	10.9	49.1	29.1	12.7	7.3	12.7	3.6	18.2	-	1.8	-
30代	74	73.0	32.4	23.0	24.3	37.8	13.5	16.2	31.1	6.8	14.9	5.4	1.4	-
40代	120	71.7	40.8	27.5	28.3	20.8	10.0	11.7	28.3	9.2	13.3	4.2	-	-
50代	143	76.2	44.1	38.5	30.1	16.8	13.3	13.3	14.7	4.9	9.8	4.2	-	-
60代	139	82.7	54.7	48.9	28.1	5.8	12.9	12.9	5.8	10.8	5.0	2.2	-	-
70歳以上	232	76.7	62.9	46.6	18.5	1.7	20.7	12.9	3.0	13.4	3.9	3.0	-	0.4

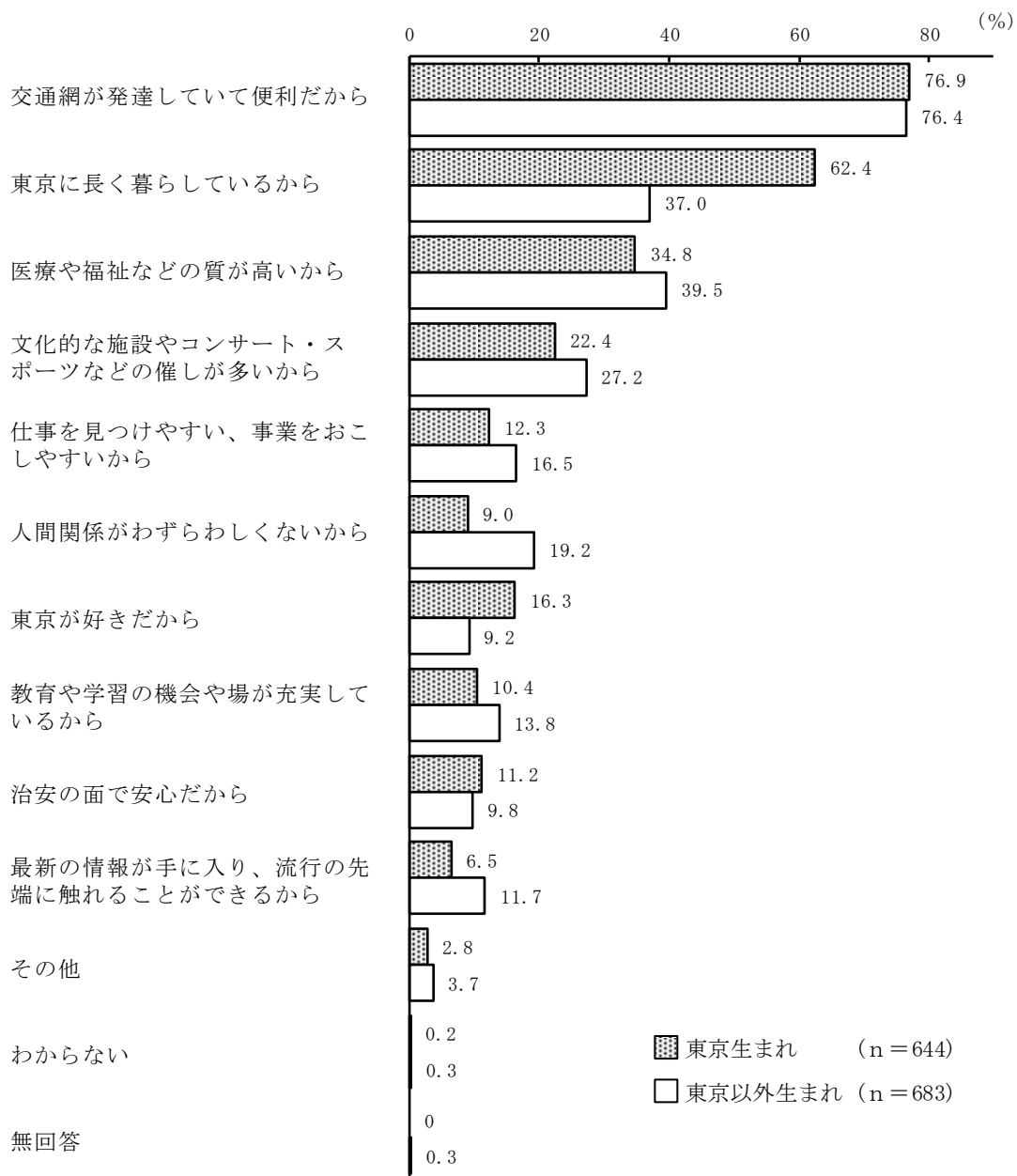
職業別にみると、「医療や福祉などの質が高いから」は、無職の主婦・主夫が5割を超えて多く、その他の無職も4割半ばとなっている。「仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから」は専門・技術職と事務職で2割半ばと多くなっている。(表3-2-2)

表3-2-2 東京に住みたい理由－職業別

		(%)													
	n	交通網が発達していて便利だから	東京に長く暮らしているから	医療や福祉などの質が高いから	文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから	仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから	人間関係がわずらわしくないから	東京が好きだから	教育や学習の機会や場が充実しているから	治安の面で安心だから	最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから	その他	わからない	無回答	
全 体	1,347	76.7	49.3	37.0	24.9	14.6	14.3	12.6	12.2	10.5	9.1	3.2	0.2	0.1	
< 職 業 別 >															
自営・家族従業(計)	140	75.7	49.3	43.6	20.7	17.9	10.7	17.9	6.4	10.7	5.0	4.3	-	-	
勤 め(計)	700	76.9	42.9	29.1	27.4	22.0	12.9	12.9	16.0	9.3	12.9	3.3	0.1	0.3	
経営・管理職	98	73.5	34.7	38.8	25.5	18.4	10.2	9.2	18.4	11.2	18.4	3.1	-	1.0	
専門・技術職	221	79.2	38.5	25.8	29.0	24.0	11.3	14.0	18.1	10.4	14.0	2.3	-	-	
事務職	189	75.7	43.4	25.9	32.8	24.3	14.3	10.6	22.2	4.8	10.1	3.2	-	-	
労務・技能職	66	75.8	53.0	27.3	16.7	15.2	16.7	21.2	4.5	15.2	9.1	4.5	-	-	
販売・サービス職	114	78.9	54.4	31.6	21.1	20.2	14.0	12.3	6.1	9.6	14.0	4.4	0.9	0.9	
無職の主婦・主夫	276	77.5	52.9	52.5	21.7	2.5	17.8	10.1	10.1	11.6	4.7	2.5	0.7	-	
学 生	24	83.3	50.0	4.2	54.2	20.8	8.3	8.3	16.7	8.3	12.5	-	-	-	
そ の 他 の 無 職	149	74.5	65.8	46.3	20.1	1.3	16.1	11.4	4.7	12.1	6.0	4.7	-	-	

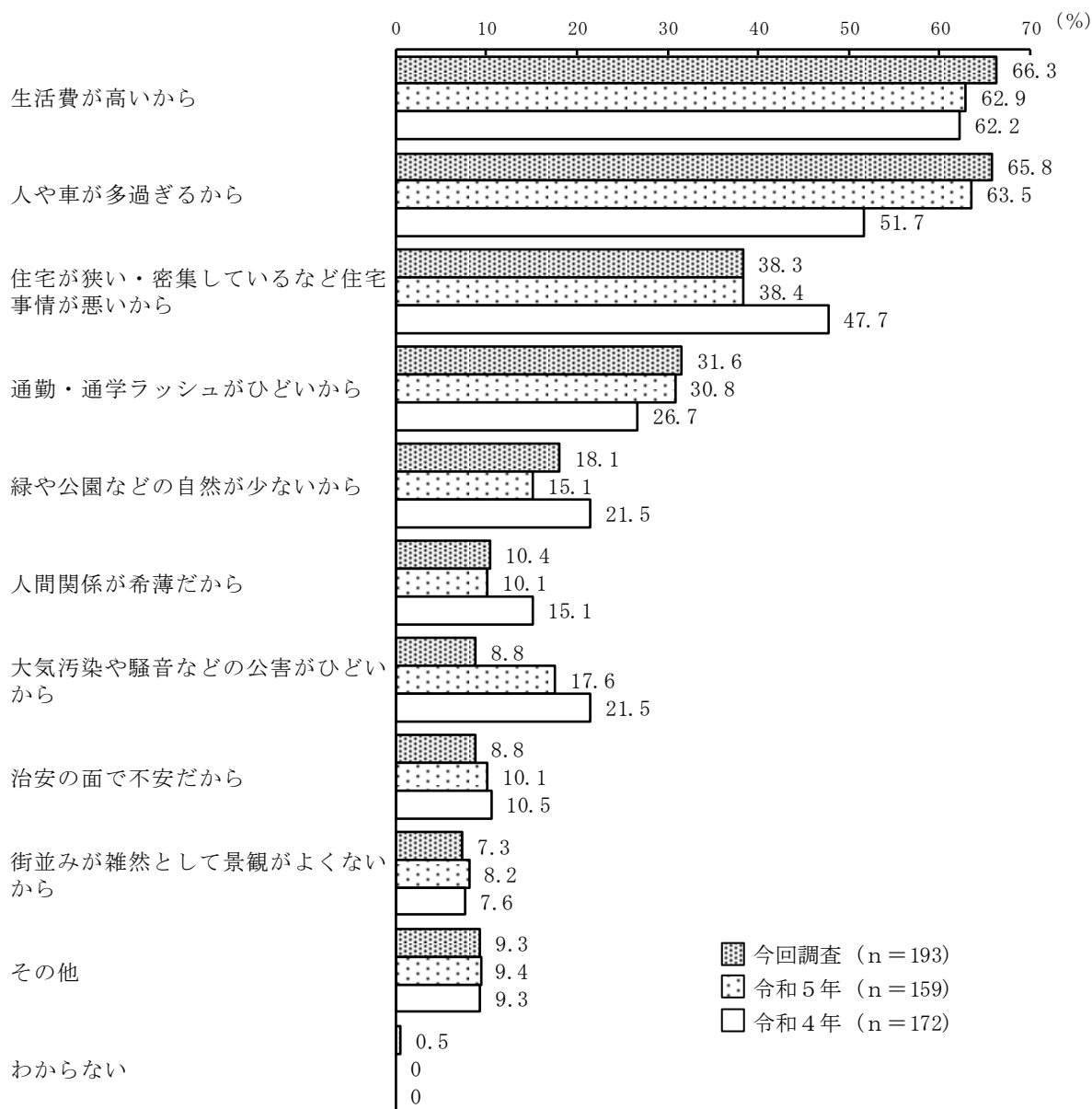
東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「東京に長く暮らしているから」が25ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「人間関係がわずらわしくないから」が10ポイント高くなっている。(図3-2-8)

図3-2-8 東京に住みたい理由－東京生まれか否か別



東京に住みたくない理由を過去の調査結果と比較すると、「生活費が高いから」と「緑や公園などの自然が少ないから」が昨年より3ポイント増加している。一方、「大気汚染や騒音などの公害がひどいから」は昨年より9ポイント減少している。(図3-2-9)

図3-2-9 東京に住みたくない理由—過去の調査結果





エリア別にみると、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は区部（計）で4割を超え、市町村部（計）を17ポイント上回っている。

性別にみると、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」は女性で4割を超えて男性より9ポイント高くなっている。

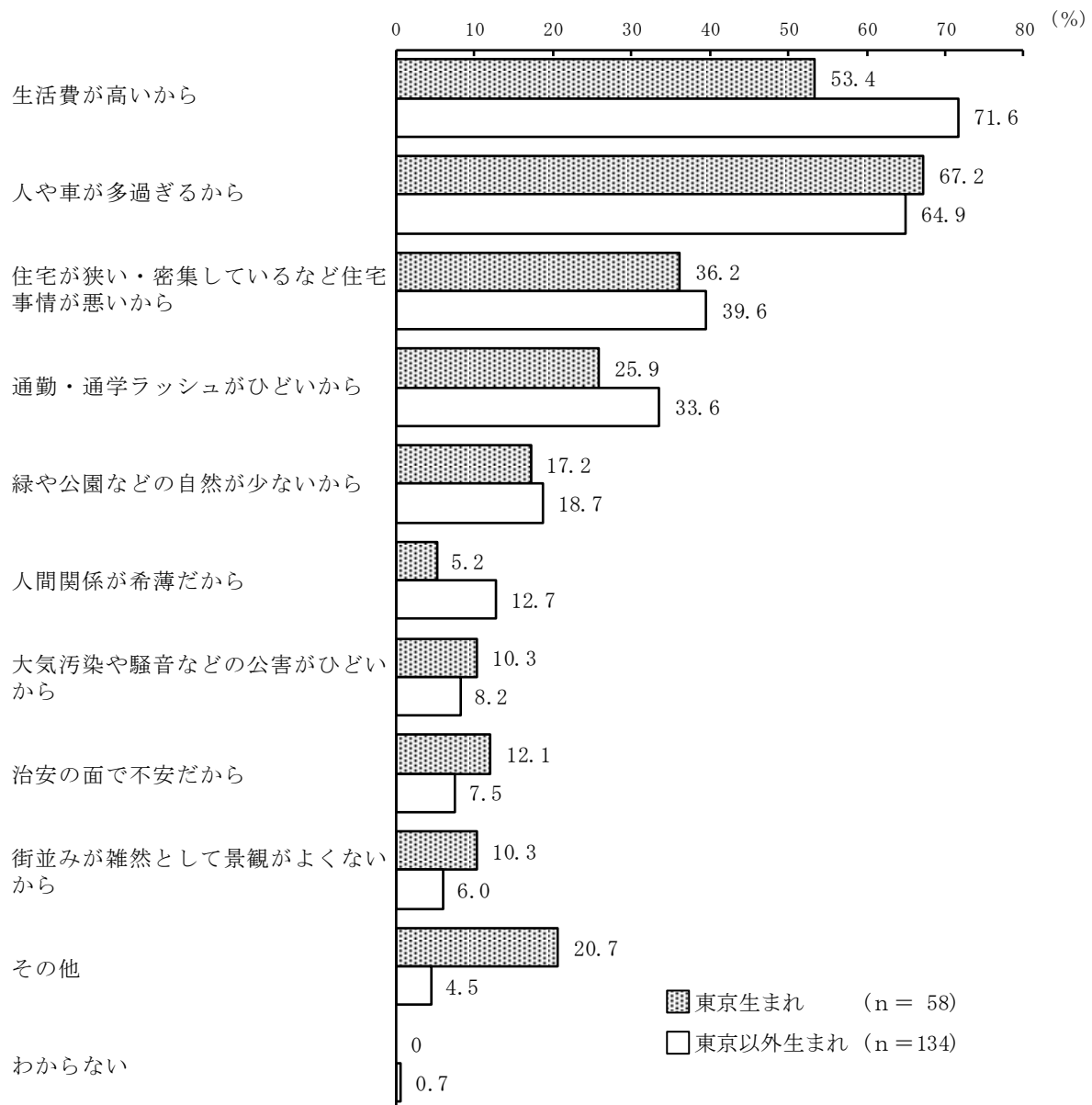
年齢別にみると、「生活費が高いから」が18～29歳で8割半ばと多くなっている。「通勤・通学ラッシュがひどいから」は30代で5割近くと多くなっている。（表3-2-3）

表3-2-3 東京に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

	n	生活費が高いから	人や車が多過ぎるから	住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから	通勤・通学ラッシュがひどいから	緑や公園などの自然が少ないから	人間関係が希薄だから	から大気汚染や騒音などの公害がひどい	治安の面で不安だから	から街並みが雑然として景観がよくない	その他	わからない
全体	193	66.3	65.8	38.3	31.6	18.1	10.4	8.8	8.8	7.3	9.3	0.5
< エリア別 >												
区部（計）	136	66.2	68.4	43.4	29.4	21.3	7.4	8.8	8.8	8.1	8.1	-
センター・コア	45	55.6	60.0	40.0	31.1	17.8	11.1	8.9	11.1	6.7	15.6	-
区部東部・北部	41	73.2	68.3	41.5	39.0	26.8	4.9	7.3	7.3	12.2	4.9	-
区部西部・南部	50	70.0	76.0	48.0	20.0	20.0	6.0	10.0	8.0	6.0	4.0	-
市町村部（計）	57	66.7	59.6	26.3	36.8	10.5	17.5	8.8	8.8	5.3	12.3	1.8
多摩東部	27	74.1	55.6	25.9	40.7	11.1	14.8	11.1	7.4	7.4	14.8	-
多摩中央部北	5	80.0	20.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	-	40.0	-
多摩中央部南	21	57.1	71.4	28.6	38.1	14.3	23.8	4.8	14.3	4.8	4.8	-
多摩西部・島しょ	4	50.0	75.0	-	25.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0
< 性別 >												
男性	93	66.7	62.4	34.4	32.3	17.2	9.7	8.6	6.5	7.5	9.7	-
女性	92	68.5	68.5	43.5	29.3	17.4	10.9	9.8	12.0	6.5	8.7	-
< 年齢別 >												
18～29歳	32	84.4	78.1	25.0	43.8	21.9	-	6.3	3.1	3.1	3.1	-
30代	34	67.6	76.5	50.0	47.1	14.7	5.9	5.9	11.8	5.9	2.9	-
40代	34	67.6	58.8	41.2	38.2	20.6	-	5.9	11.8	11.8	11.8	-
50代	32	62.5	68.8	34.4	28.1	12.5	6.3	18.8	6.3	-	21.9	-
60代	20	50.0	75.0	45.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	20.0	-
70歳以上	36	63.9	41.7	36.1	8.3	19.4	30.6	5.6	11.1	11.1	-	2.8

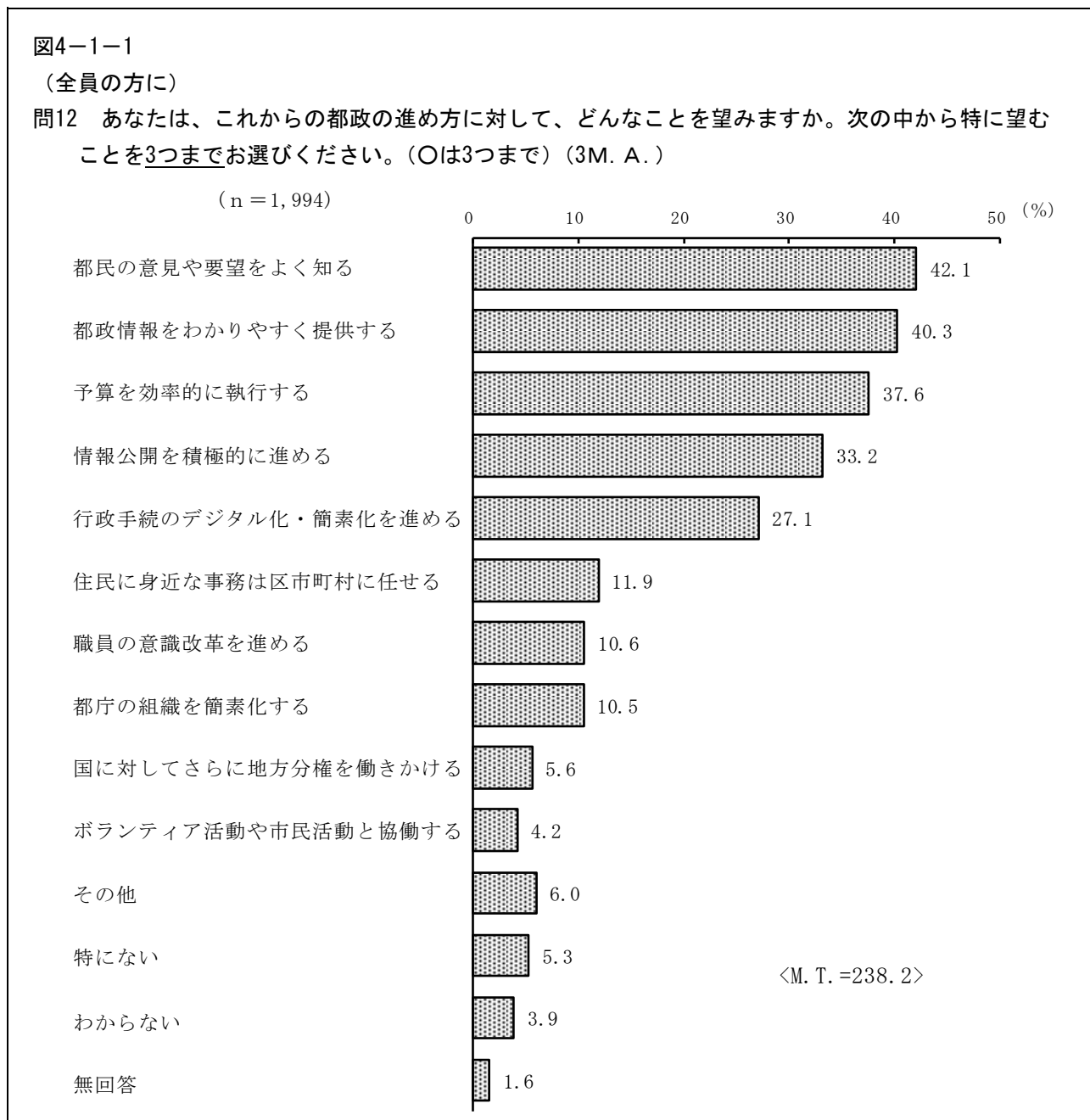
東京生まれか否か別にみると、東京以外生まれの人は東京生まれの人より「生活費が高いから」が18ポイント高くなっている。(図3-2-10)

図3-2-10 東京に住みたくない理由－東京生まれか否か別



## 4 都政への要望

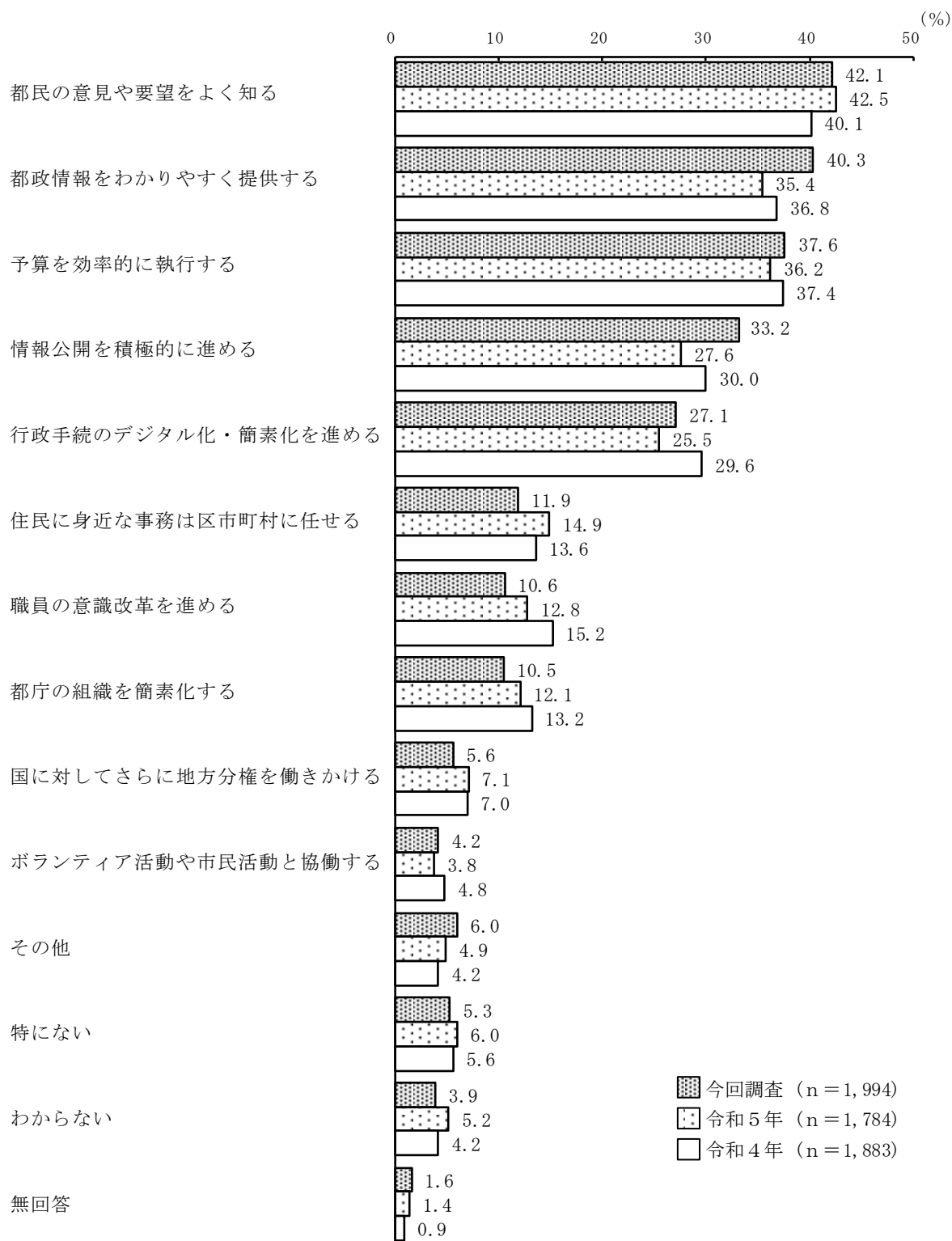
### ※4-1 これからの都政の進め方



これからの都政の進め方に対して、特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「都民の意見や要望をよく知る」が42%と最も多く、次いで「都政情報をわかりやすく提供する」40%、「予算を効率的に執行する」38%、「情報公開を積極的に進める」33%、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」27%などの順となっている。(図4-1-1)

これからの都政の進め方を過去の調査結果と比較すると、「都政情報をわかりやすく提供する」が昨年より5ポイント、「情報公開を積極的に進める」が6ポイント増加した。(図4-1-2)

図4-1-2 これからの都政の進め方—過去の調査結果



エリア別にみると、「情報公開を積極的に進める」は区部西部・南部で4割近くと多くなっている。「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は区部（計）で約3割と市町村部（計）を9ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「都民の意見や要望をよく知る」と「都政情報をわかりやすく提供する」は女性（計）で4割半ばと、男性（計）よりもそれぞれ10ポイント多くなっている。一方、「行政手続のデジタル化・簡素化を進める」は男性（計）で3割を超えて女性（計）より9ポイント上回っており、特に男性18～29歳と男性30代では5割を超えて多くなっている。（表4-1-1）

表4-1-1 これからの都政の進め方—エリア別、性・年齢別

		(%)														
	n	都民の意見や要望をよく知る	都政情報をわかりやすく提供する	予算を効率的に執行する	情報公開を積極的に進める	行政手続のデジタル化・簡素化を進める	住民に身近な事務は区市町村に任せる	職員の意識改革を進める	都庁の組織を簡素化する	国に対してさらに地方分権を働きかける	ボランティア活動や市民活動と協働する	その他	特になし	わからない	無回答	
全体	1,994	42.1	40.3	37.6	33.2	27.1	11.9	10.6	10.5	5.6	4.2	6.0	5.3	3.9	1.6	
＜ エリア別 ＞																
区部（計）	1,339	40.2	39.4	37.5	33.4	29.9	10.7	10.8	11.0	5.0	3.6	6.0	5.8	3.7	1.4	
センター・コア	375	40.5	38.9	38.1	29.6	32.0	10.9	11.5	13.3	5.3	3.2	7.7	5.1	3.5	1.6	
区部東部・北部	410	40.2	38.5	35.1	30.0	26.6	11.0	11.5	12.0	4.6	3.7	4.9	6.8	4.9	1.5	
区部西部・南部	554	39.9	40.3	38.8	38.4	30.9	10.3	9.7	8.7	5.1	3.8	5.8	5.4	3.1	1.3	
市町村部（計）	655	46.0	42.1	37.9	32.8	21.4	14.4	10.4	9.5	6.7	5.5	5.8	4.3	4.3	2.0	
多摩東部	253	45.8	44.3	40.3	31.2	23.7	14.2	9.5	8.3	4.7	4.7	6.3	4.0	4.3	2.0	
多摩中央部北	90	47.8	46.7	34.4	32.2	14.4	12.2	8.9	7.8	4.4	2.2	8.9	4.4	5.6	2.2	
多摩中央部南	272	44.5	37.9	37.9	34.9	21.7	14.7	11.8	11.8	9.2	6.6	4.8	4.0	4.0	2.2	
多摩西部・島しょ	40	52.5	47.5	30.0	30.0	20.0	17.5	10.0	5.0	7.5	10.0	2.5	7.5	2.5	-	
＜ 性・年齢別 ＞																
男性（計）	816	36.5	34.6	40.6	34.7	32.1	12.4	11.2	10.8	8.3	2.8	7.7	5.5	2.8	1.1	
18～29歳	73	43.8	24.7	49.3	34.2	50.7	4.1	12.3	6.8	8.2	5.5	6.8	2.7	2.7	-	
30代	99	31.3	26.3	38.4	37.4	54.5	11.1	5.1	4.0	8.1	2.0	13.1	3.0	5.1	1.0	
40代	131	37.4	35.9	45.8	36.6	45.8	13.0	11.5	6.9	5.3	1.5	8.4	3.1	1.5	2.3	
50代	169	38.5	33.7	40.8	34.3	36.1	7.7	11.8	9.5	8.9	1.2	10.7	3.6	1.8	0.6	
60代	136	33.8	36.0	41.9	30.1	26.5	12.5	11.0	15.4	7.4	2.9	6.6	8.1	1.5	1.5	
70歳以上	208	36.1	40.9	34.1	35.6	6.7	19.2	13.0	15.9	10.6	4.3	3.4	9.1	4.3	1.0	
女性（計）	1,106	46.5	44.5	36.0	32.3	23.2	11.6	10.2	10.1	3.3	5.1	4.6	5.1	4.7	1.6	
18～29歳	99	49.5	41.4	39.4	33.3	42.4	7.1	10.1	9.1	2.0	2.0	1.0	4.0	3.0	-	
30代	126	48.4	38.1	41.3	27.0	41.3	6.3	7.1	11.1	4.8	1.6	7.1	4.0	4.0	-	
40代	195	49.2	49.7	42.1	33.8	36.9	5.1	7.7	8.7	3.6	4.1	6.2	2.6	3.1	1.5	
50代	212	49.5	43.9	39.6	36.8	22.6	14.2	11.3	9.0	3.8	7.5	5.2	2.4	4.7	0.9	
60代	180	42.8	48.3	37.2	41.1	12.8	11.1	10.6	12.2	3.3	3.9	5.0	7.2	2.8	0.6	
70歳以上	292	42.5	42.8	25.0	24.7	6.8	18.2	11.6	10.6	2.7	7.2	3.1	8.2	7.9	4.1	

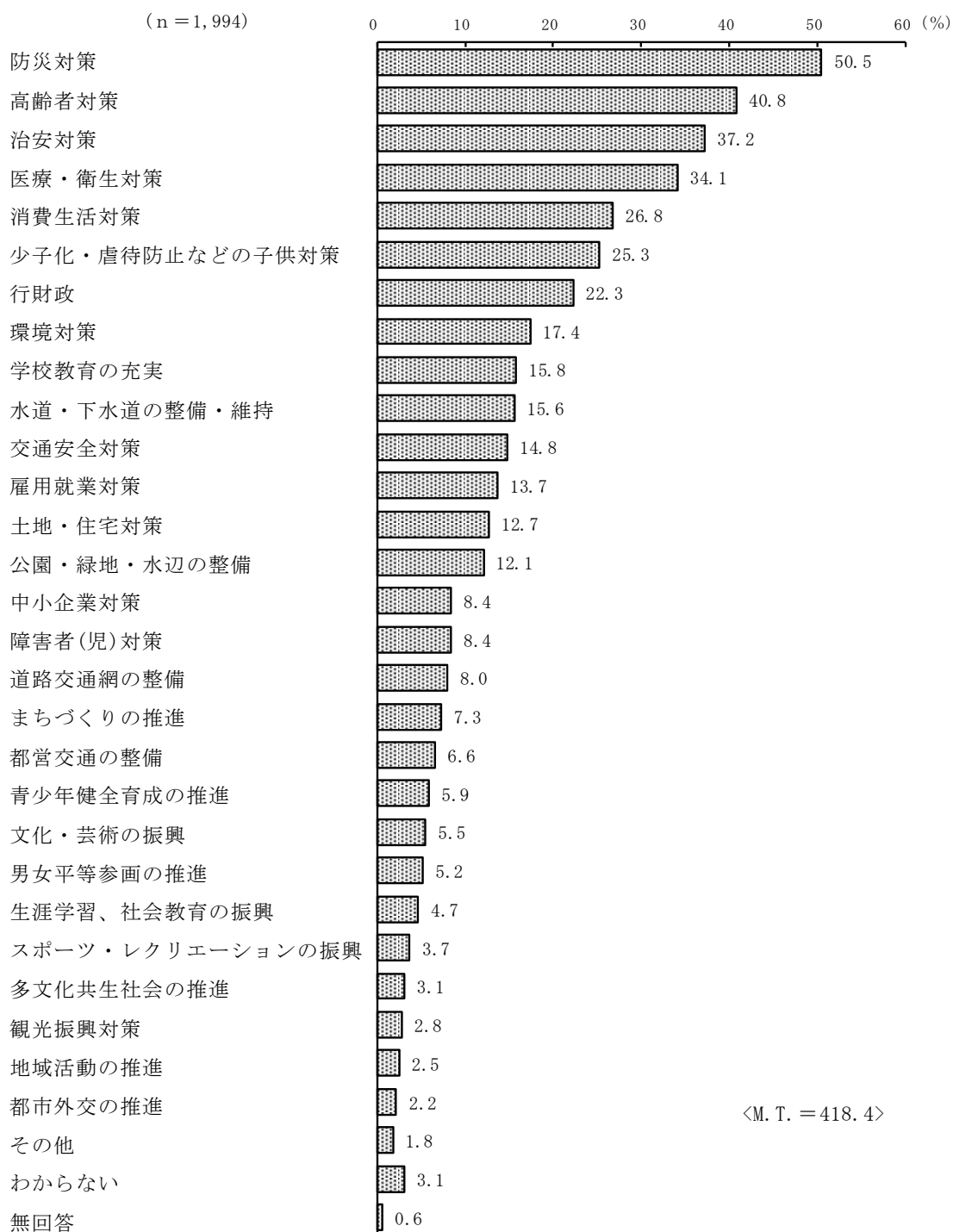
## ※4-2 都政への要望

図4-2-1

(全員の方に)

問13 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

(5M. A.)

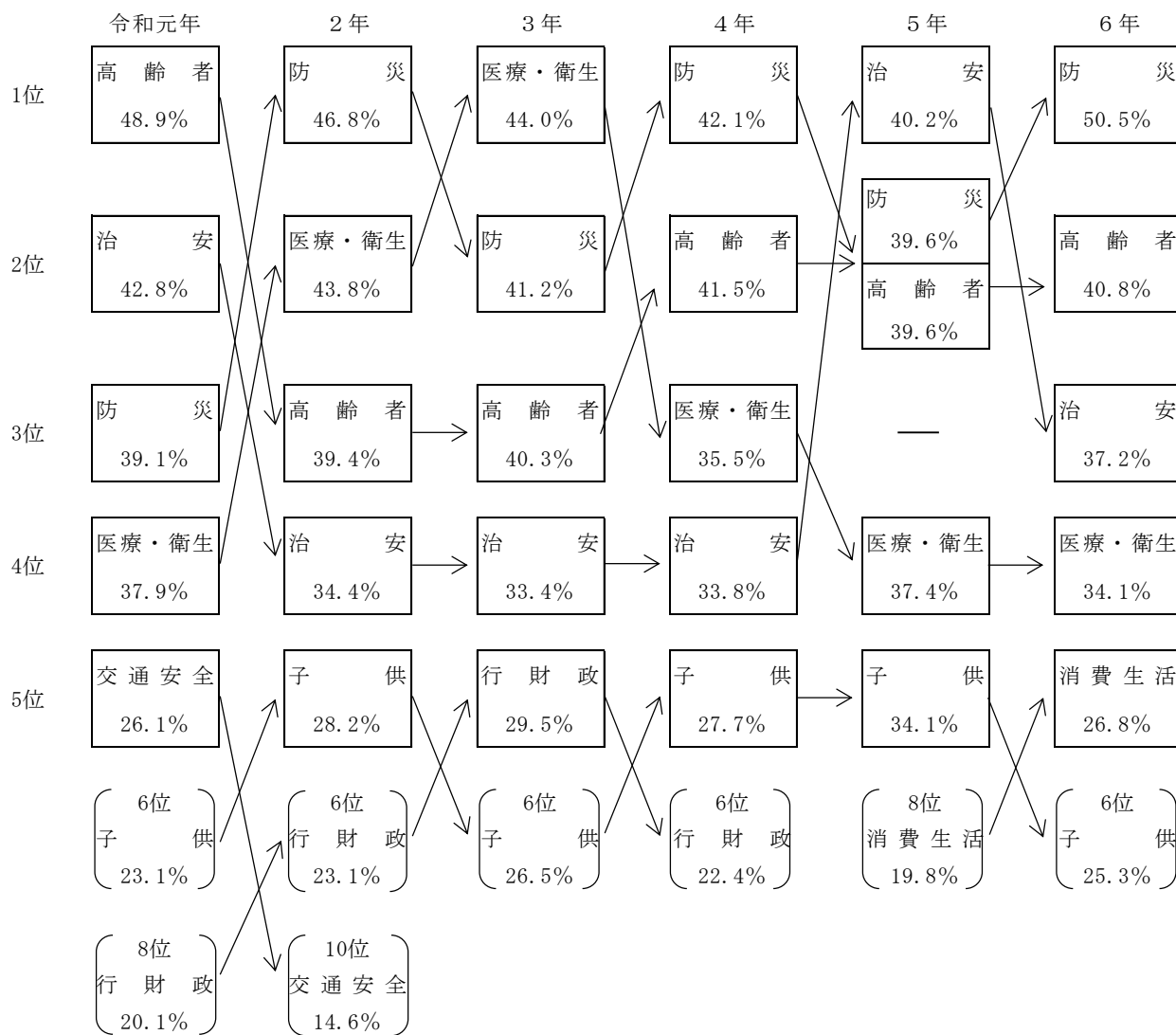


東京都が実施している諸施策をあげ、特に力を入れてほしい施策を5つまで選んでもらった。要望の上位5位は、第1位「防災対策」51%、第2位「高齢者対策」41%、第3位「治安対策」37%、第4位「医療・衛生対策」34%、第5位「消費生活対策」27%などの順となっている。(図4-2-1)

都政への要望の過去の調査結果と比較すると、昨年第2位だった「防災」が11ポイント増加し、第1位となっている。また、昨年までは圏外だった「消費生活」が第5位となった。(図4-2-2)

なお、都政への要望の平成元年からの調査結果を巻末の付属資料(P174~175 表4)に掲載している。

図4-2-2 都政への要望－過去の調査の上位5位推移



(注1) 「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

都政への要望をエリア別にみると、全てのエリアで「防災」が第1位となっている。第2位は、区部（計）では「治安」、市町村部（計）では「高齢者」となっている。（表4-2-1）

表4-2-1 都政への要望上位5位－エリア別

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,994	防 災 50.5	高 齢 者 40.8	治 安 37.2	医 療 ・ 衛 生 34.1	消 費 生 活 26.8
区 部（計）	1,339	防 災 50.6	治 安 38.4	高 齢 者 37.6	医 療 ・ 衛 生 32.0	消 費 生 活 25.8
センター・コア	375	防 災 49.6	治 安 37.9	高 齢 者 36.5	医 療 ・ 衛 生 30.7	消 費 生 活 26.7
区部東部・北部	410	防 災 49.0	治 安 43.2	高 齢 者 39.5	医 療 ・ 衛 生 33.9	消 費 生 活 26.8
区部西部・南部	554	防 災 52.3	高 齢 者 37.0	治 安 35.2	医 療 ・ 衛 生 31.4	子 供 26.9
市町村部（計）	655	防 災 50.2	高 齢 者 47.2	医 療 ・ 衛 生 38.5	治 安 34.7	消 費 生 活 28.9
多摩東部	253	防 災 48.6	高 齢 者 47.0	医 療 ・ 衛 生 35.6	治 安 31.2	子 供 29.6
多摩中央部北	90	防 災 44.4	高 齢 者 43.3	医 療 ・ 衛 生 37.8	治 安 35.6	消 費 生 活 30.0
多摩中央部南	272	防 災 53.3	高 齢 者 48.9	医 療 ・ 衛 生 42.6	治 安 36.0	消 費 生 活 30.5
多摩西部・ 島 しょ	40	防 災 52.5	高 齢 者 / 治 安 45.0		医 療 ・ 衛 生 30.0	消 費 生 活 27.5



性・年齢別にみると、女性は、60代と70歳以上では「高齢者」が第1位だが、それ以外の年齢ではすべて「防災」が第1位となっている。一方、男性は18～29歳は「治安」、30代は「子供」、70歳以上は「高齢者」が第1位となっている。(表4-2-2)

表4-2-2 都政への要望上位5位－性・年齢別

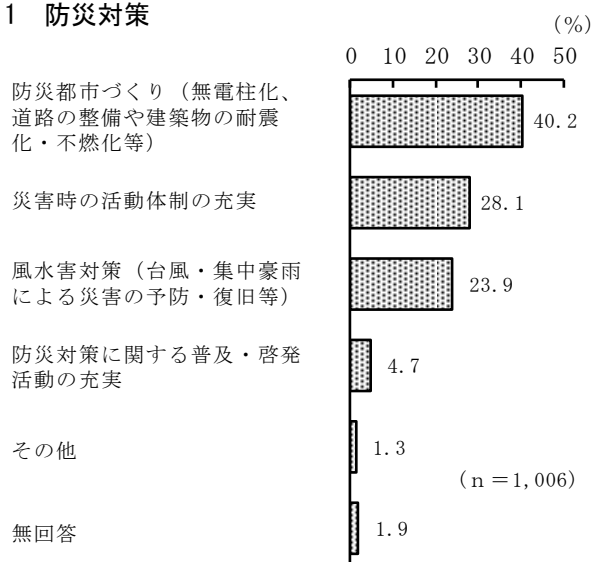
		(%)				
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,994	防 災 50.5	高 齢 者 40.8	治 安 37.2	医 療・衛 生 34.1	消 費 生 活 26.8
男 性 (計)	816	防 災 48.4	治 安 40.3	高 齢 者 37.7	医 療・衛 生 31.3	消 費 生 活 28.7
18 ～ 29 歳	73	治 安 35.6	行 財 政 35.6	防 災 30.1	子 供 28.8	雇 用 就 業 対 策 28.8
30 代	99	子 供 41.4	防 災 38.4	治 安 35.4	消 費 生 活 32.3	行 財 政 28.3
40 代	131	防 災 56.5	治 安 44.3	医 療・衛 生 30.5	子 供 29.0	行 財 政 29.0
50 代	169	防 災 47.9	治 安 43.8	高 齢 者 32.0	行 財 政 31.4	医 療・衛 生 30.8
60 代	136	防 災 60.3	高 齢 者 50.7	治 安 41.9	医 療・衛 生 36.0	消 費 生 活 23.5
70 歳 以 上	208	高 齢 者 68.8	防 災 47.1	治 安 38.0	医 療・衛 生 37.0	消 費 生 活 34.1
女 性 (計)	1,106	防 災 52.2	高 齢 者 43.3	医 療・衛 生 36.6	治 安 35.0	子 供 27.0
18 ～ 29 歳	99	防 災 50.5	子 供 41.4	行 財 政 37.4	治 安 33.3	消 費 生 活 32.3
30 代	126	防 災 48.4	教 育 42.1	子 供 41.3	行 財 政 34.9	治 安 31.7
40 代	195	防 災 49.2	治 安 36.4	子 供 29.7	教 育 28.7	消 費 生 活 28.2
50 代	212	防 災 59.0	高 齢 者 49.5	医 療・衛 生 41.5	治 安 31.6	子 供 23.6
60 代	180	高 齢 者 57.8	防 災 56.7	医 療・衛 生 40.0	治 安 36.1	子 供 22.8
70 歳 以 上	292	高 齢 者 67.8	防 災 48.3	医 療・衛 生 43.8	治 安 37.3	消 費 生 活 28.4

### 4-3 具体的な要望施策

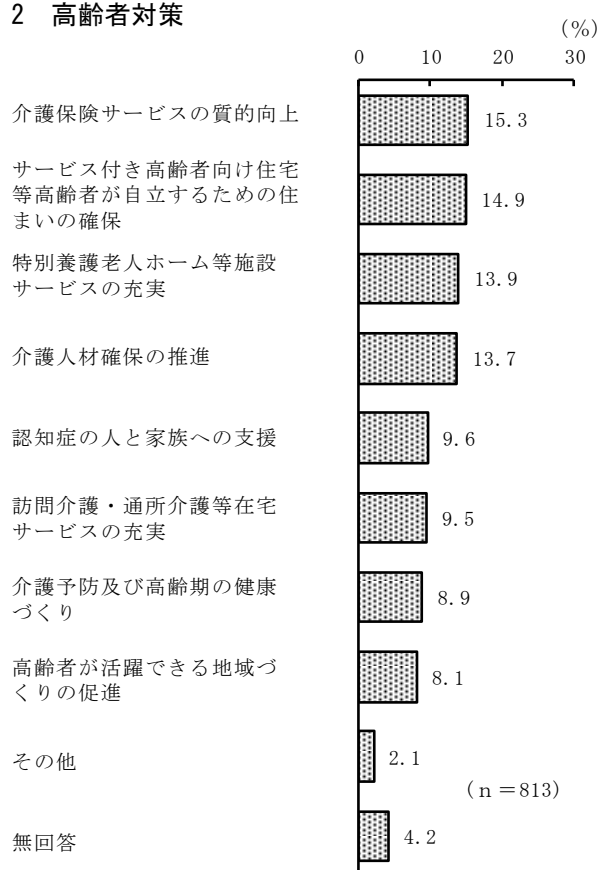
5つまで選んでもらった要望の各分野について、具体的な内容を示して1つだけ答えてもらった結果が図4-3である。(図4-3)

図4-3 具体的な要望施策

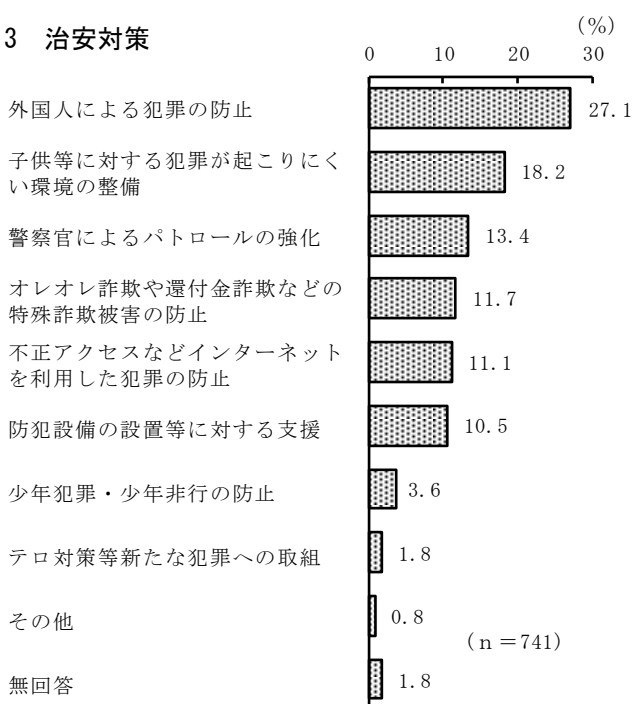
#### 1 防災対策



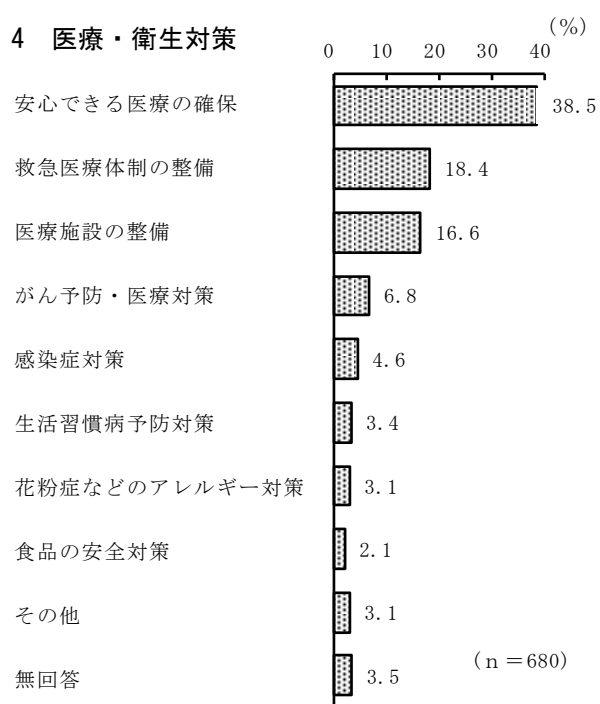
#### 2 高齢者対策



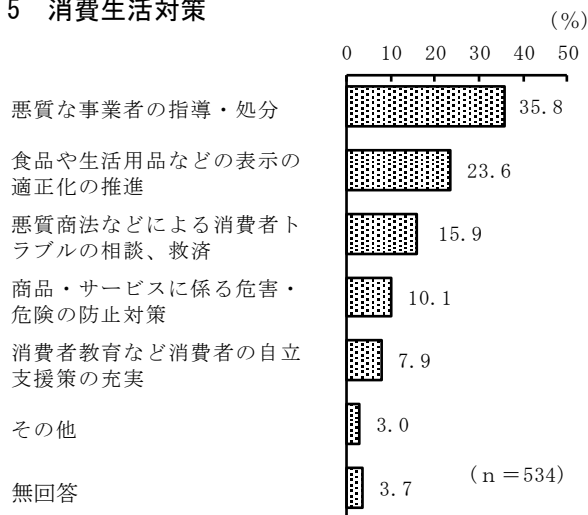
#### 3 治安対策



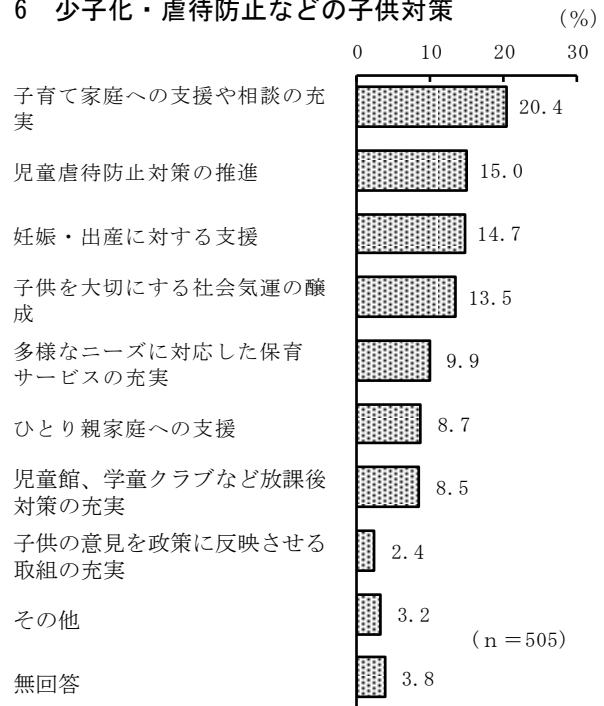
#### 4 医療・衛生対策



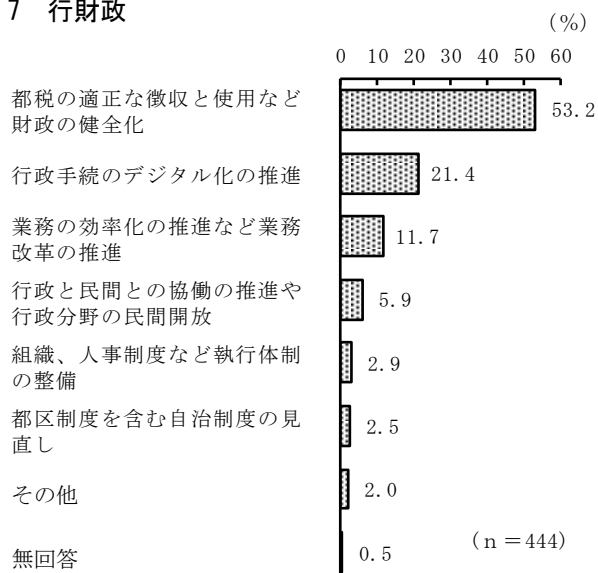
## 5 消費生活対策



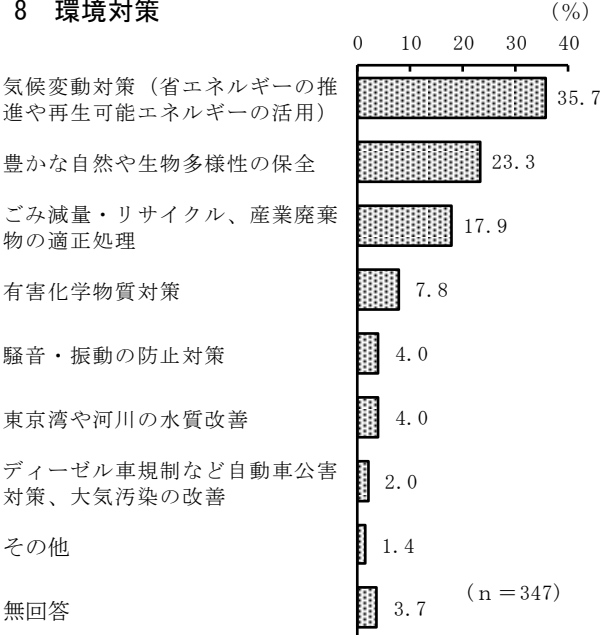
## 6 少子化・虐待防止などの子供対策



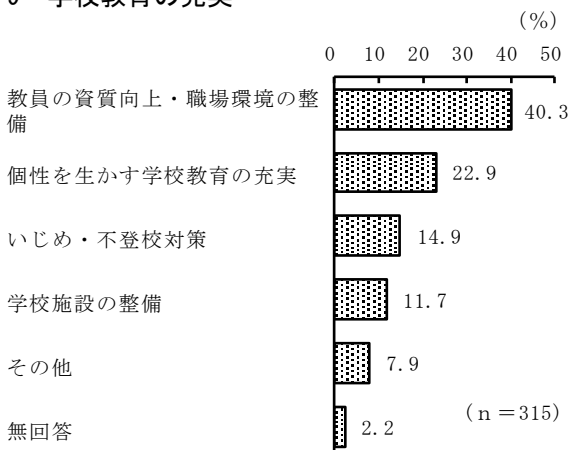
## 7 行財政



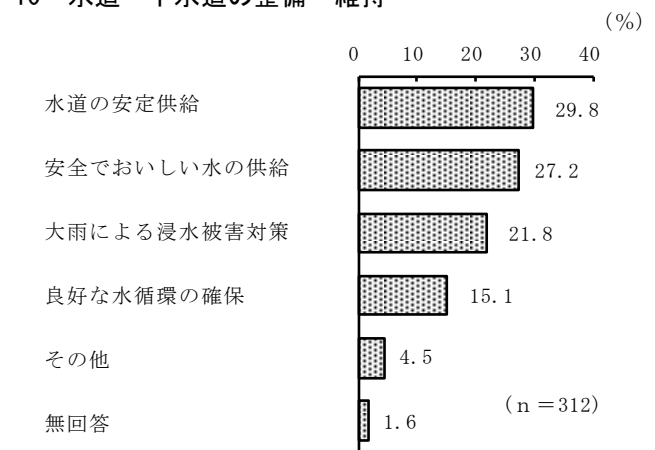
## 8 環境対策



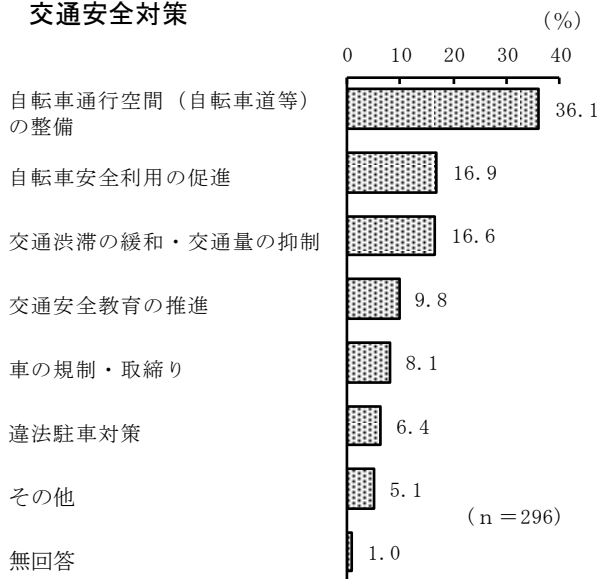
## 9 学校教育の充実



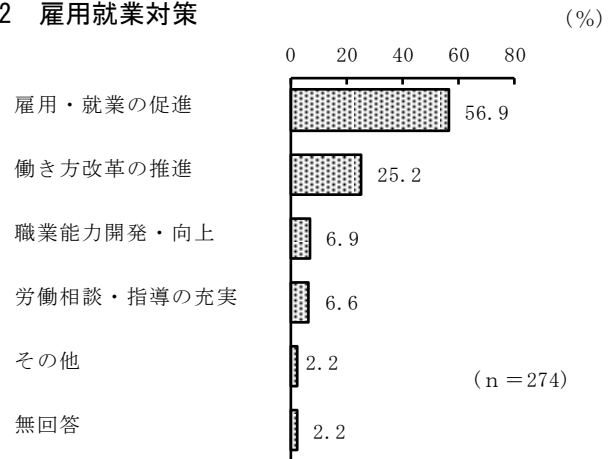
## 10 水道・下水道の整備・維持



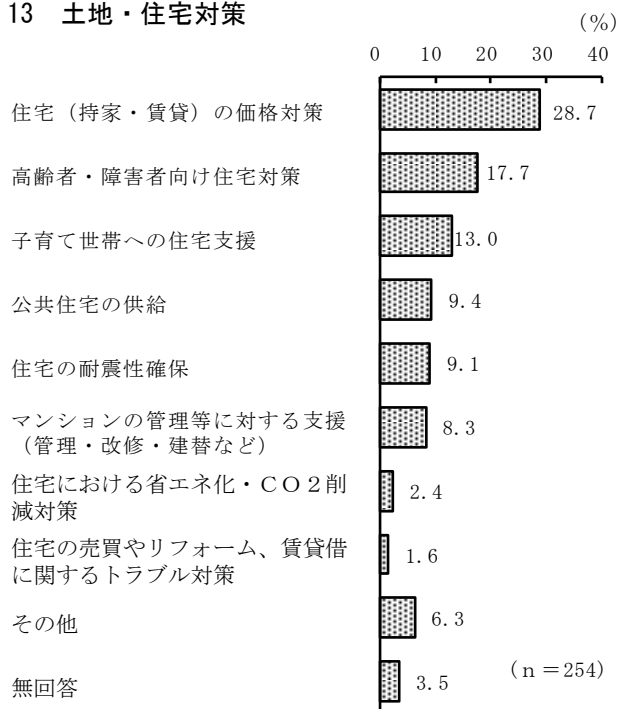
### 11 交通安全対策



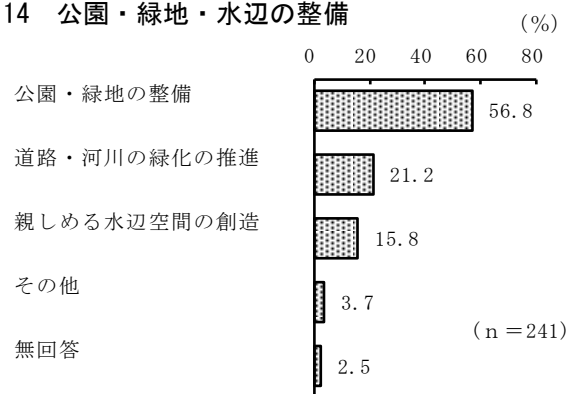
### 12 雇用就業対策



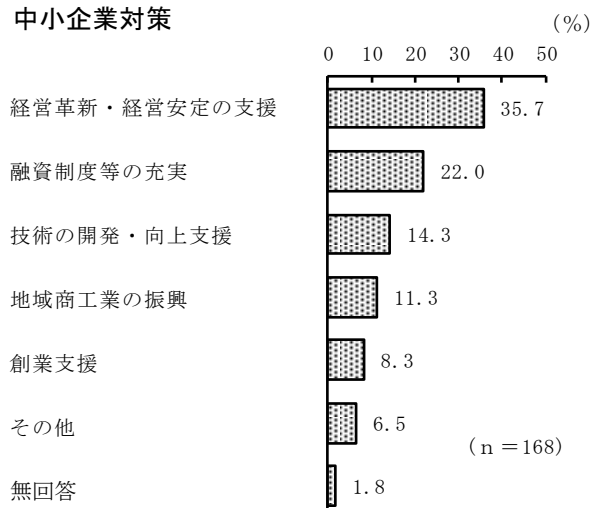
### 13 土地・住宅対策



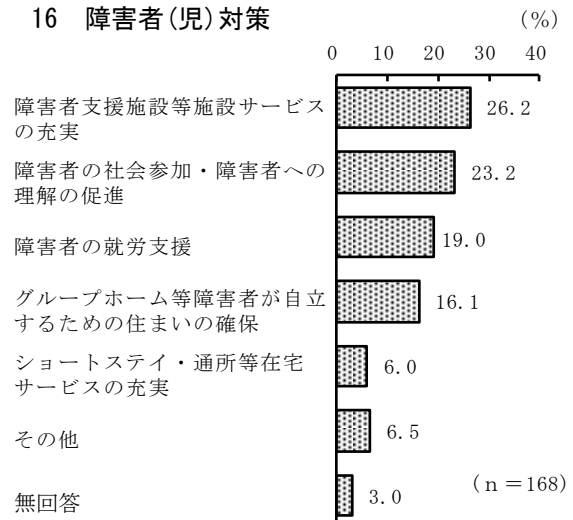
### 14 公園・緑地・水辺の整備



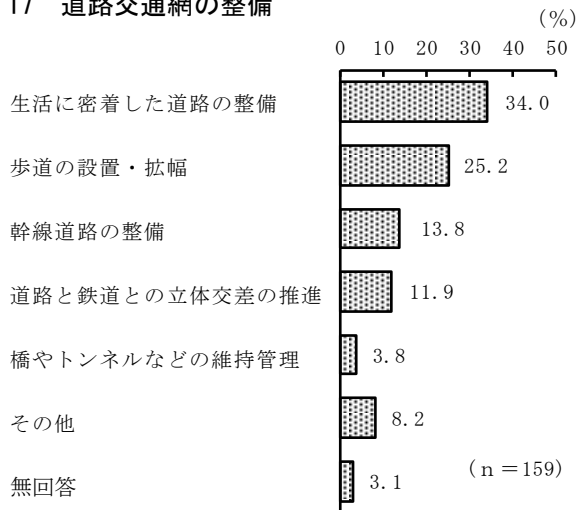
### 15 中小企業対策



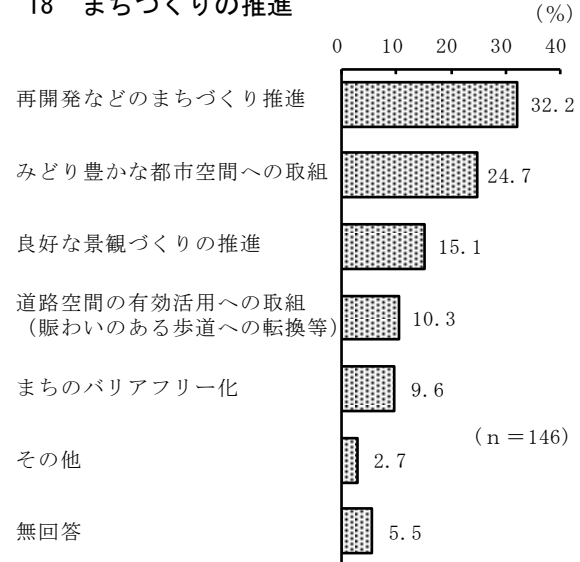
### 16 障害者(児)対策



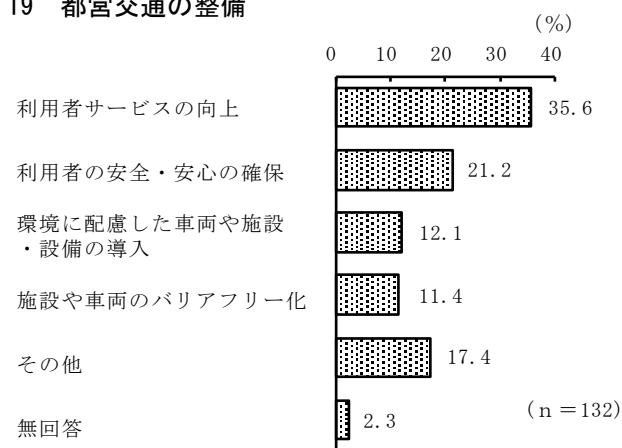
### 17 道路交通網の整備



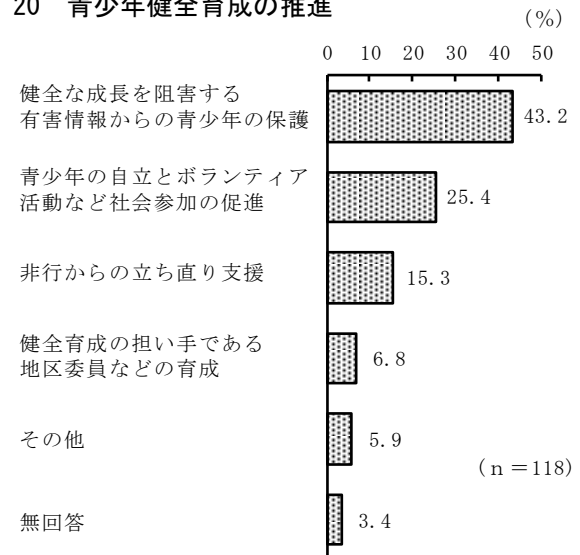
### 18 まちづくりの推進



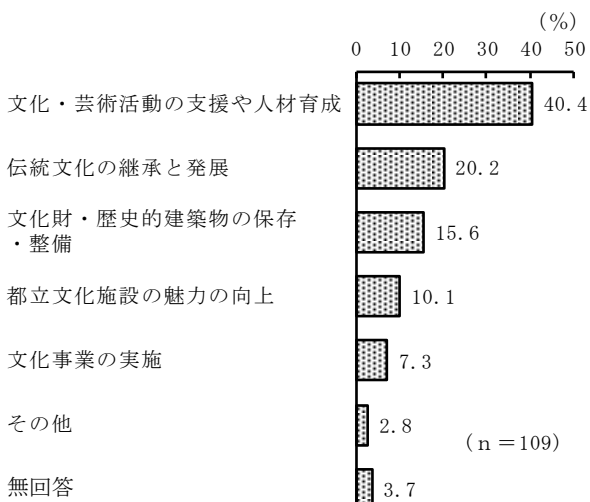
### 19 都営交通の整備



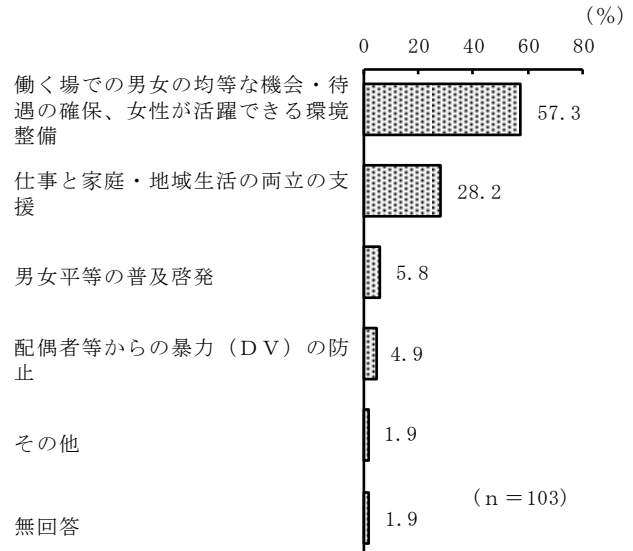
### 20 青少年健全育成の推進



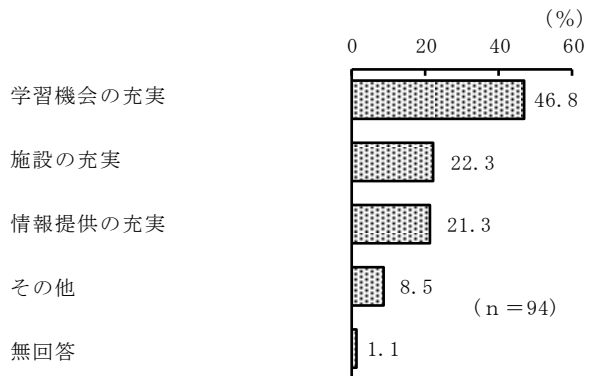
### 21 文化・芸術の振興



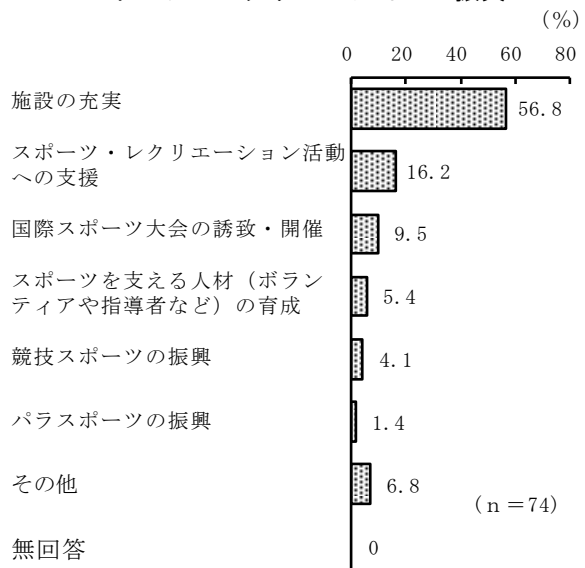
### 22 男女平等参画の推進



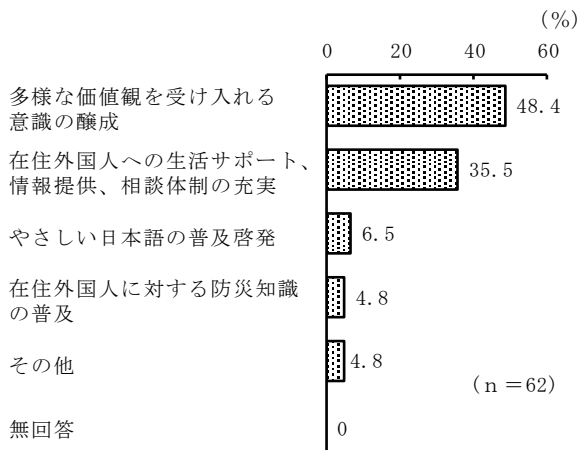
### 23 生涯学習、社会教育の振興



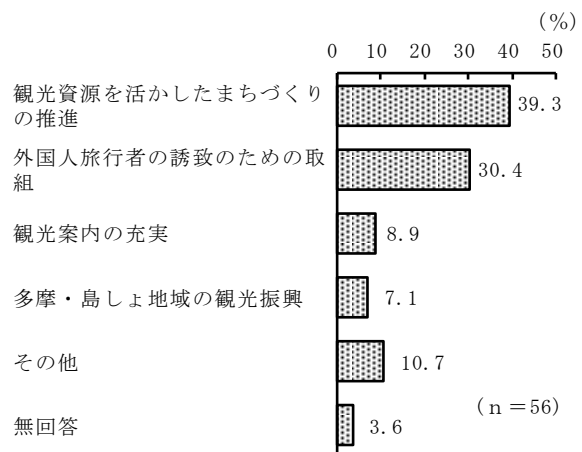
### 24 スポーツ・レクリエーションの振興



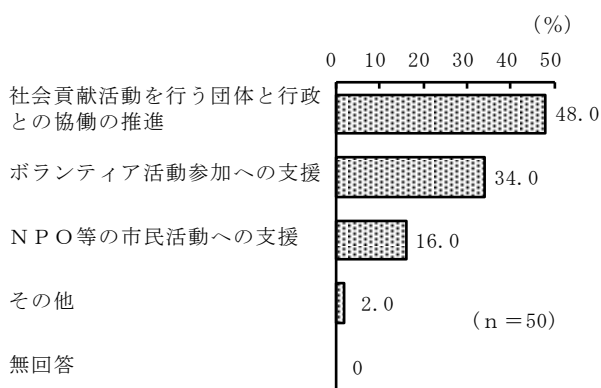
### 25 多文化共生社会の推進



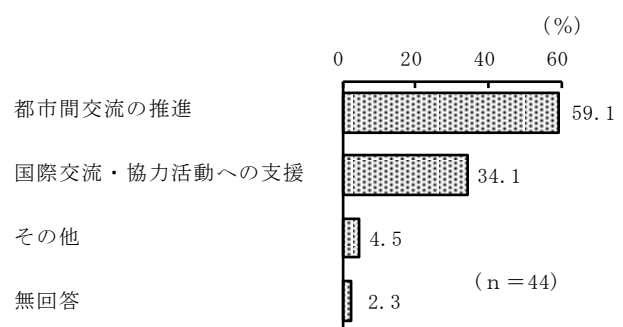
### 26 観光振興対策



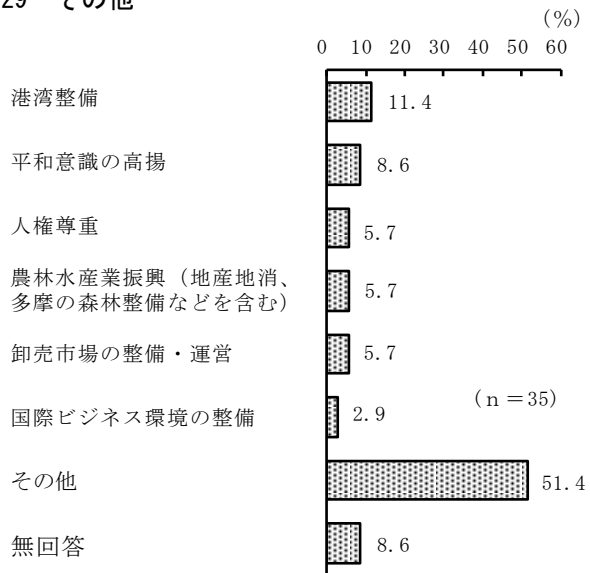
### 27 地域活動の推進



### 28 都市外交の推進

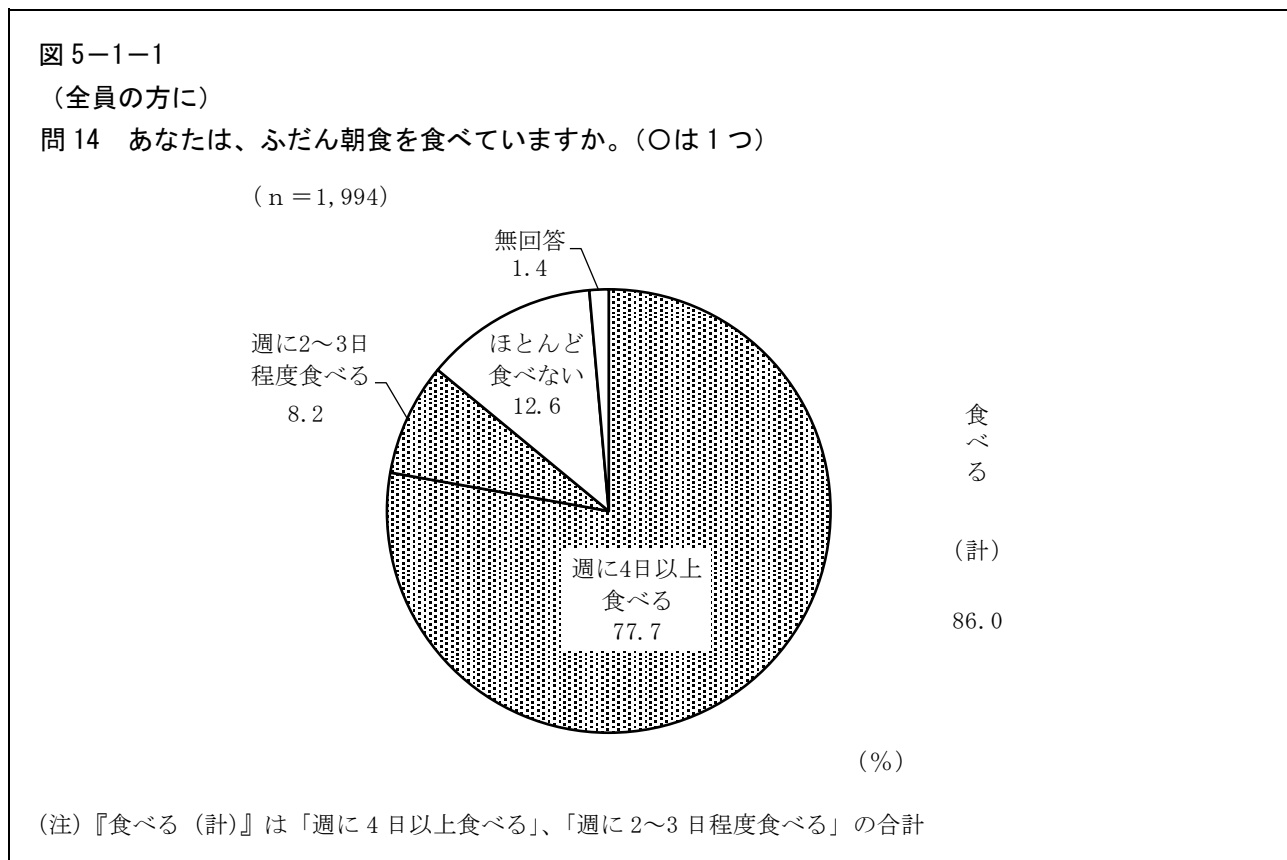


## 29 その他



## 5 食生活と食育

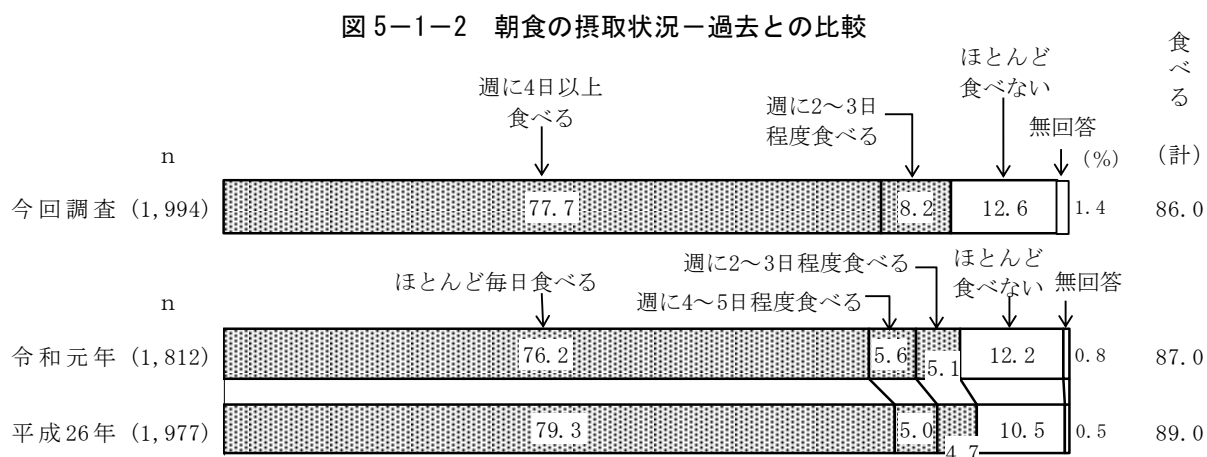
### ※5-1 朝食の摂取状況



ふだん朝食を食べているかを聞いたところ、『食べる (計)』は86%、「ほとんど食べない」は13%となっている。(図5-1-1)

朝食の摂取状況を過去との比較でみると、『食べる (計)』は令和元年とほとんど変わらない。

(図5-1-2)



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査 (令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査 (平成26年7月調査)」

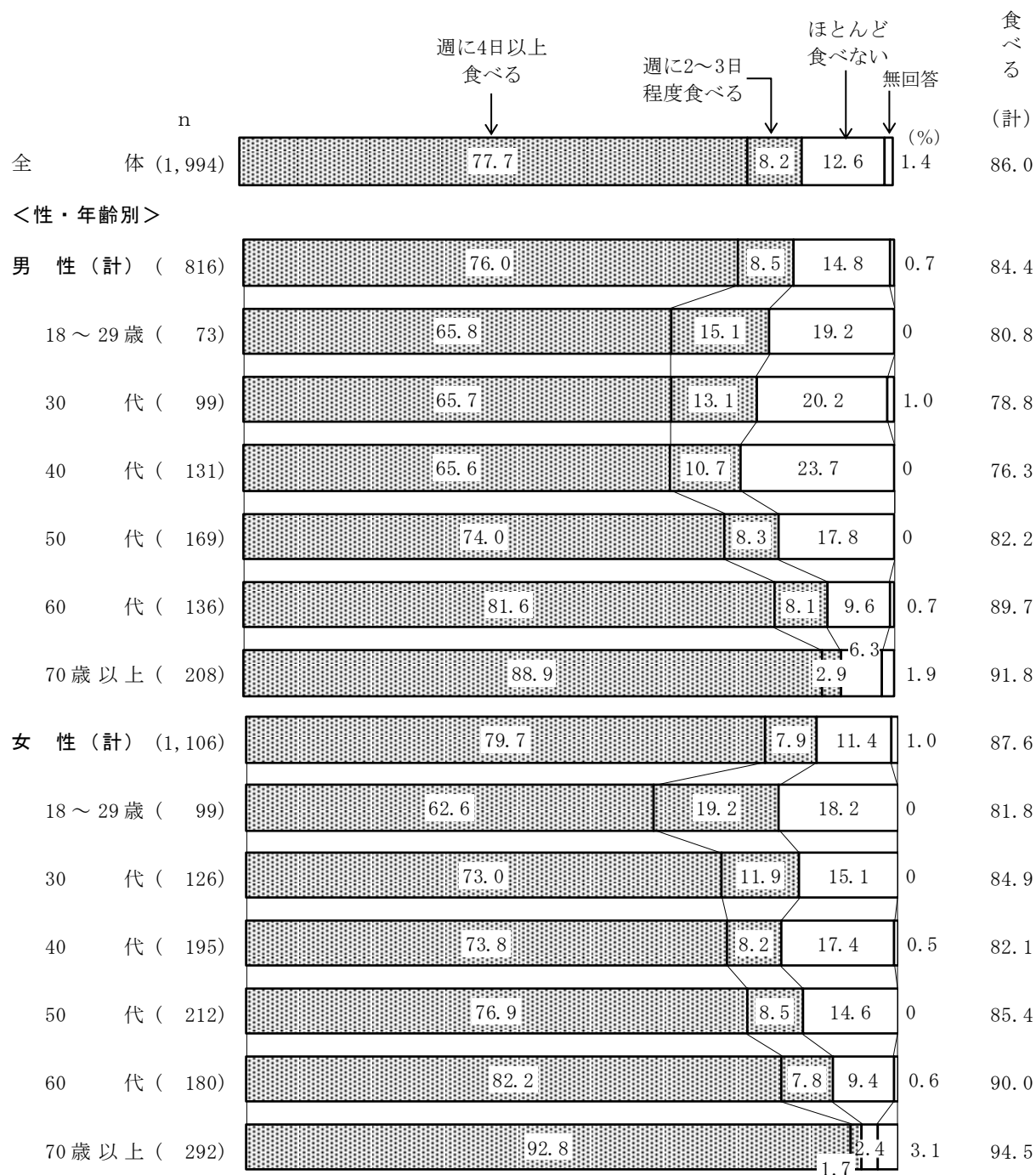
(注2) 『食べる (計)』は、今回調査については「週に4日以上食べる」、「週に2~3日程度食べる」の合計、令和元年と平成26年については「ほとんど毎日食べる」、「週に4~5日程度食べる」、「週に2~3日程度食べる」の合計

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要



性・年齢別にみると、「週に4日以上食べる」は、男女ともにおおむね年齢が上がるほど割合が高く、特に女性の70歳以上では9割を超えている。一方、「ほとんど食べない」は男性30代と40代で2割台と高くなっている。(図5-1-3)

図5-1-3 朝食の摂取状況－性・年齢別

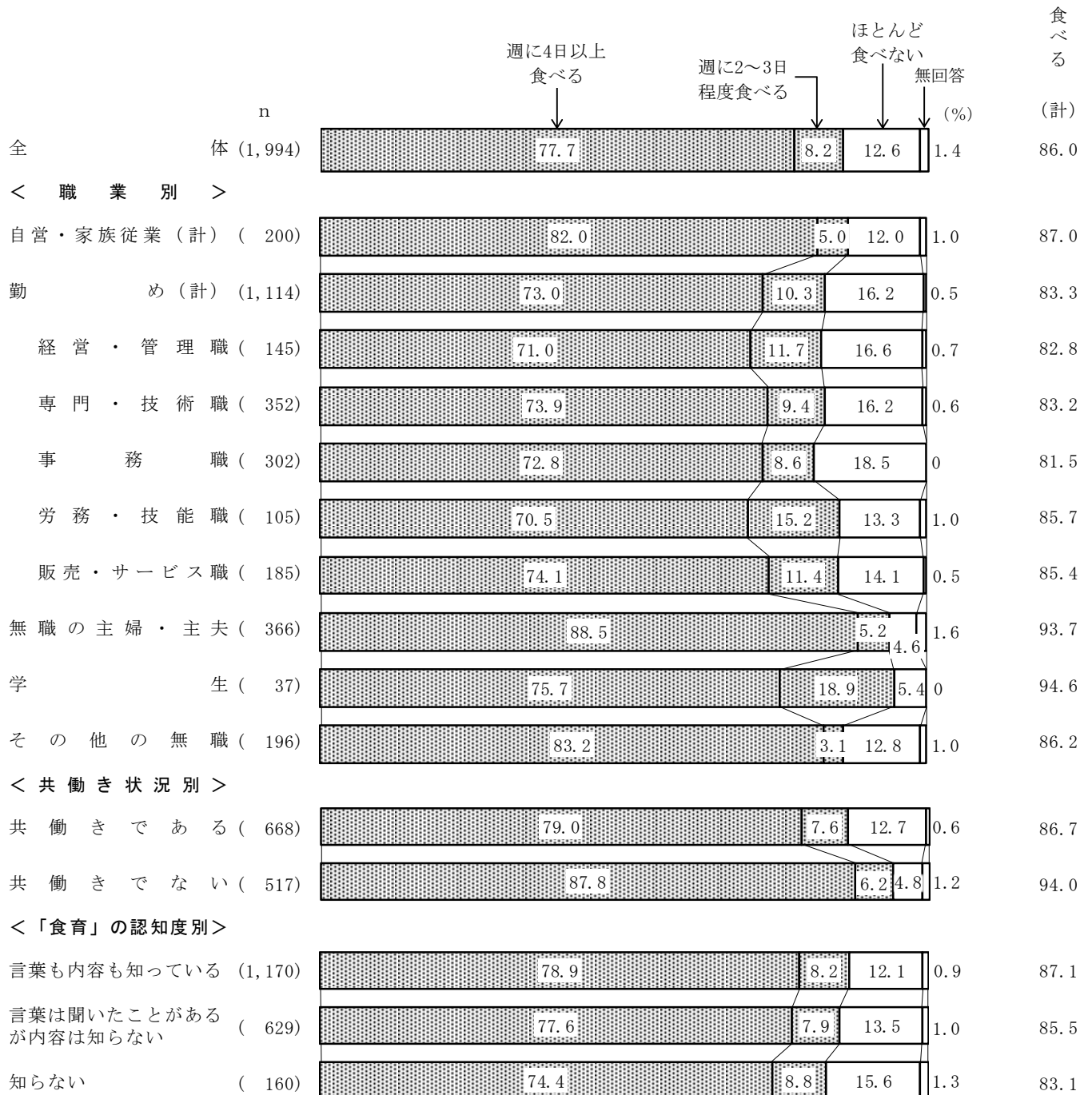


職業別にみると、『食べる（計）』は無職の主婦・主夫で9割半ばと多くなっている。一方、「ほとんど食べない」は、事務職で2割近くと多い。

共働き状況別にみると、「週に4日以上食べる」は“共働きでない”で9割近くと多くなっている。

「食育」の認知度別（問 21 P127）にみると、大きな違いは見られない。（図 5-1-4）

図 5-1-4 朝食の摂取状況－職業別、共働き状況別、「食育」の認知度別



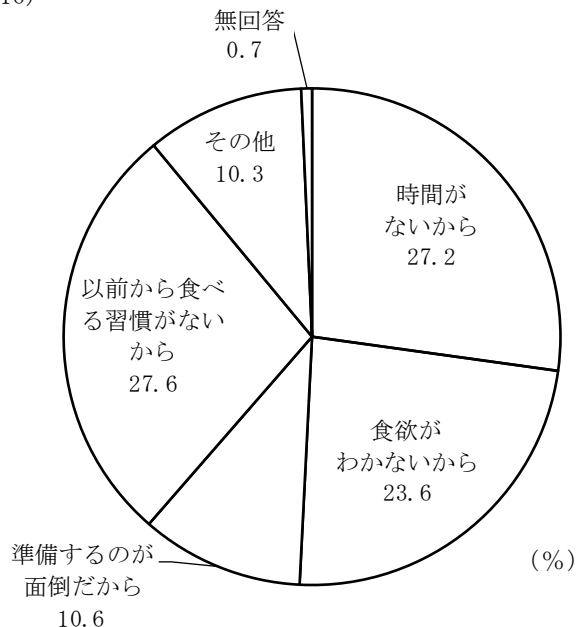
※5-2 朝食を食べない理由

図 5-2-1

(問 14 で「週に 2~3 日程度食べる」「ほとんど食べない」と答えた方に)

問 14-1 朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(○は 1 つ)

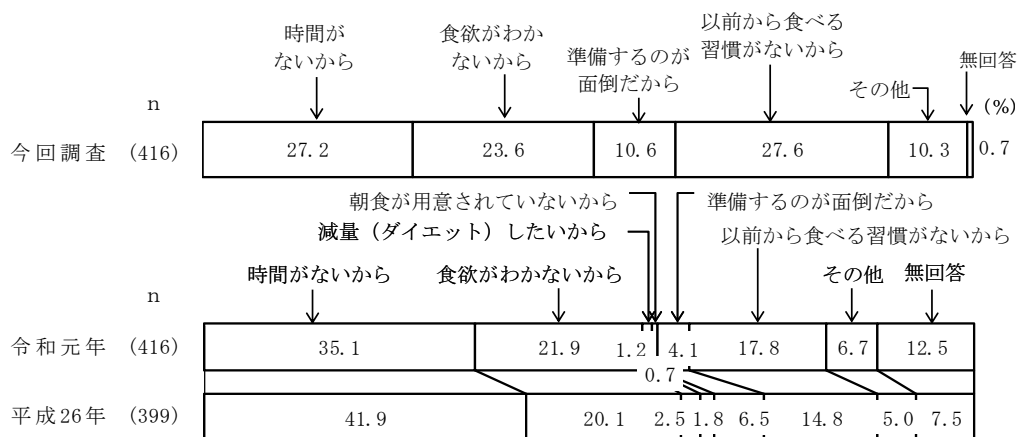
(n = 416)



ふだん朝食を「週に 4 日以上食べる」と答えた人以外（週に 2~3 日程度食べる」「ほとんど食べない」と答えた人、416 人）に、朝食を食べない理由を聞いたところ、「以前から食べる習慣がないから」が 28%と最も多く、次いで「時間が足りないから」27%、「食欲がわからないから」24%、「準備するのが面倒だから」11%などの順となっている。その他では「節約」「お金がないから」があがった。(図 5-2-1)

朝食を食べない理由を過去との比較でみると、選択肢を今回調査から変更したため単純に比較はできないが、「以前から食べる習慣がないから」は令和元年より 10 ポイント増加している。(図 5-2-2)

図 5-2-2 朝食を食べない理由—過去との比較



(注 1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査 (令和元年 9 月調査)」、平成 26 年は「食生活と食育に関する世論調査 (平成 26 年 7 月調査)」

(注 2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

性別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、「時間がないから」は18～29歳で5割近く、「以前から食べる習慣がないから」は50代で4割近くと多くなっている。(図5-2-3)

図5-2-3 朝食を食べない理由－性別、年齢別

		時間がないから	食欲がわからないから	準備するのが面倒だから	以前から食べる習慣がないから	その他	無回答	(%)
全	体 ( 416)	27.2	23.6	10.6	27.6	10.3	0.7	
<b>&lt;性別&gt;</b>								
男	性 ( 190)	23.7	22.6	12.6	30.5	10.0	0.5	
女	性 ( 213)	30.5	23.9	8.9	25.4	10.8	0.5	
<b>&lt;年齢別&gt;</b>								
18	～ 29 歳 ( 62)	46.8	17.7	16.1	14.5	4.8	0	
30	代 ( 70)	32.9	20.0	15.7	22.9	8.6	0	
40	代 ( 98)	25.5	25.5	11.2	23.5	14.3	0	
50	代 ( 93)	24.7	22.6	4.3	37.6	9.7	1.1	
60	代 ( 55)	16.4	25.5	10.9	36.4	10.9	0	
70	代 ( 32)	6.3	37.5	6.3	31.3	15.6	3.1	

職業別にみると、勤め（計）では「時間がないから」が3割を超えている一方、自営・家族従業（計）では「以前から食べる習慣がないから」が5割近くと多くなっている。（図5-2-4）

図5-2-4 朝食を食べない理由－職業別

職業別	n	理由					その他	無回答 (%)
		時間がないから	食欲がわかないから	準備するのが面倒だから	以前から食べる習慣がないから	その他		
全体	(416)	27.2	23.6	10.6	27.6	10.3	0.7	
＜ 職 業 別 ＞								
自営・家族従業（計）	(34)	11.8	26.5	11.8	47.1	2.9	0	
勤め（計）	(295)	33.2	20.7	9.8	24.7	10.8	0.7	
経営・管理職	(41)	29.3	17.1	9.8	36.6	7.3	0	
専門・技術職	(90)	31.1	22.2	12.2	20.0	13.3	1.1	
事務職	(82)	37.8	17.1	7.3	26.8	11.0	0	
労務・技能職	(30)	33.3	26.7	16.7	10.0	13.3	0	
販売・サービス職	(47)	31.9	23.4	4.3	29.8	8.5	2.1	
無職の主婦・主夫	(36)	8.3	30.6	11.1	33.3	16.7	0	
学生	(9)	33.3	0	33.3	22.2	11.1	0	
その他の無職	(31)	6.5	41.9	12.9	29.0	9.7	0	

※5-3 家族との食事の頻度

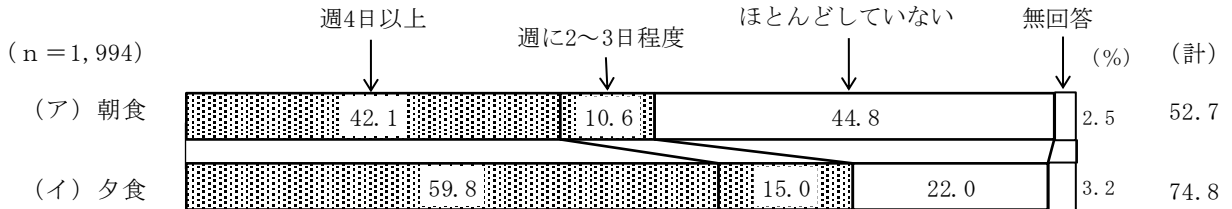
図 5-3-1

(全員の方に)

問 15 あなたは、1 週間のうち、どれくらいご家族と一緒に食事をしていきますか。

朝食、夕食について、それぞれ1つずつお選びください。(○はそれぞれ1つ)

し家  
族  
い  
と  
る  
食  
事  
を

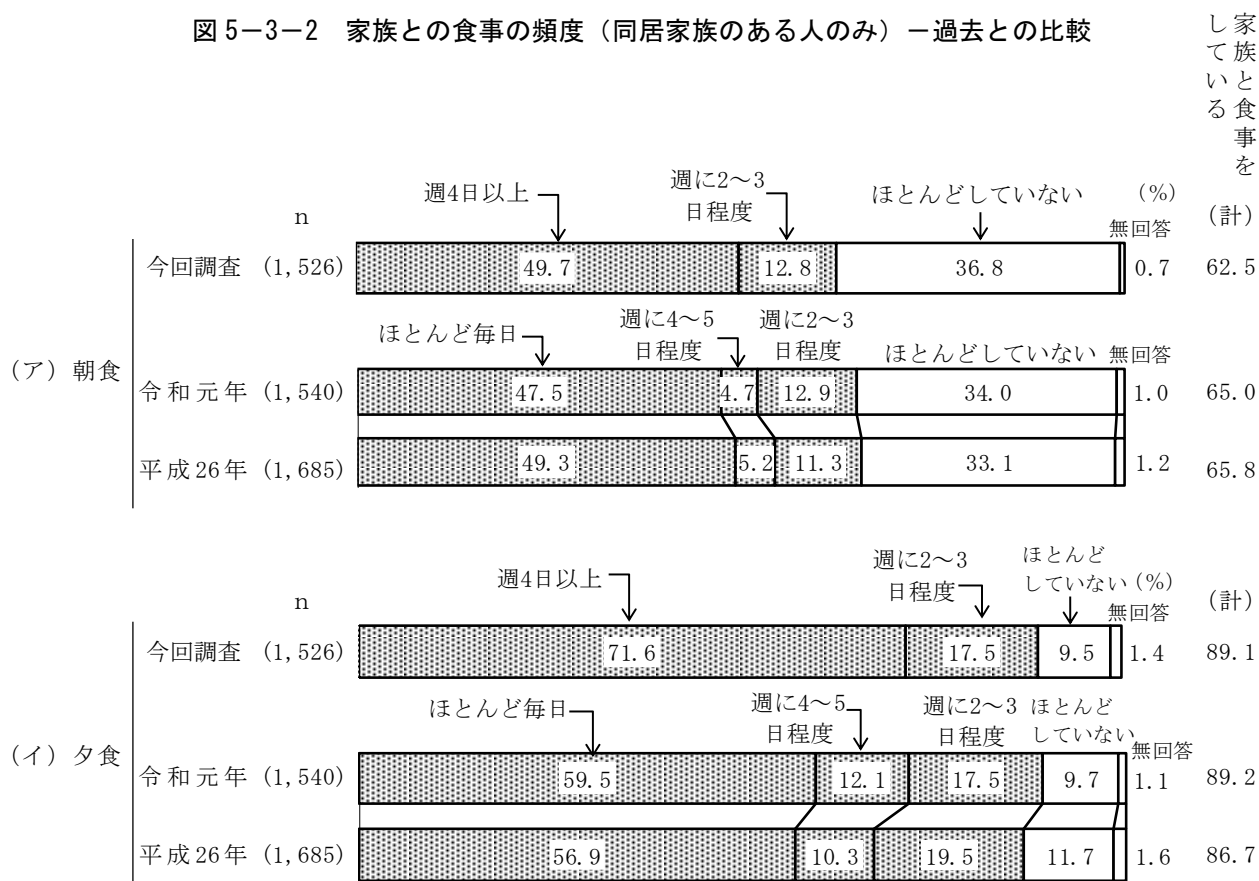


(注) 『家族と食事をしている (計)』は「週に4日以上」、「週に2~3日程度」の合計

1 週間のうち、どれくらい家族と一緒に食事をしているか聞いたところ、『家族と食事をしている (計)』は、“朝食” で 53%、“夕食” で 75%となっている。一方、「ほとんどしていない」は“朝食” で 45%、“夕食” で 22%となっている。(図 5-3-1)

家族との食事の頻度は、令和元年調査までは同居家族のある人にものみ質問していた。そこで今回調査の結果についても、同居家族のある人 (F6 世帯構成で「夫婦のみ (1 世代世帯)」「親と子 (2 世代世帯)」「親と子と孫 (3 世代世帯)」「その他の世帯」と答えた人、1,526 人) に回答を絞って、家族との食事の頻度を過去との比較でみると、『家族と食事をしている (計)』は“朝食”で3ポイント減少し、“夕食”では変化は見られなかった。(図 5-3-2)

図 5-3-2 家族との食事の頻度 (同居家族のある人のみ) - 過去との比較



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査 (令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査 (平成26年7月調査)」

(注2) 『家族と食事をしている (計)』は、今回調査については「週に4日以上」、「週に2~3日程度」の合計、令和元年と平成26年については「ほとんど毎日」、「週に4~5日程度」、「週に2~3日程度」の合計

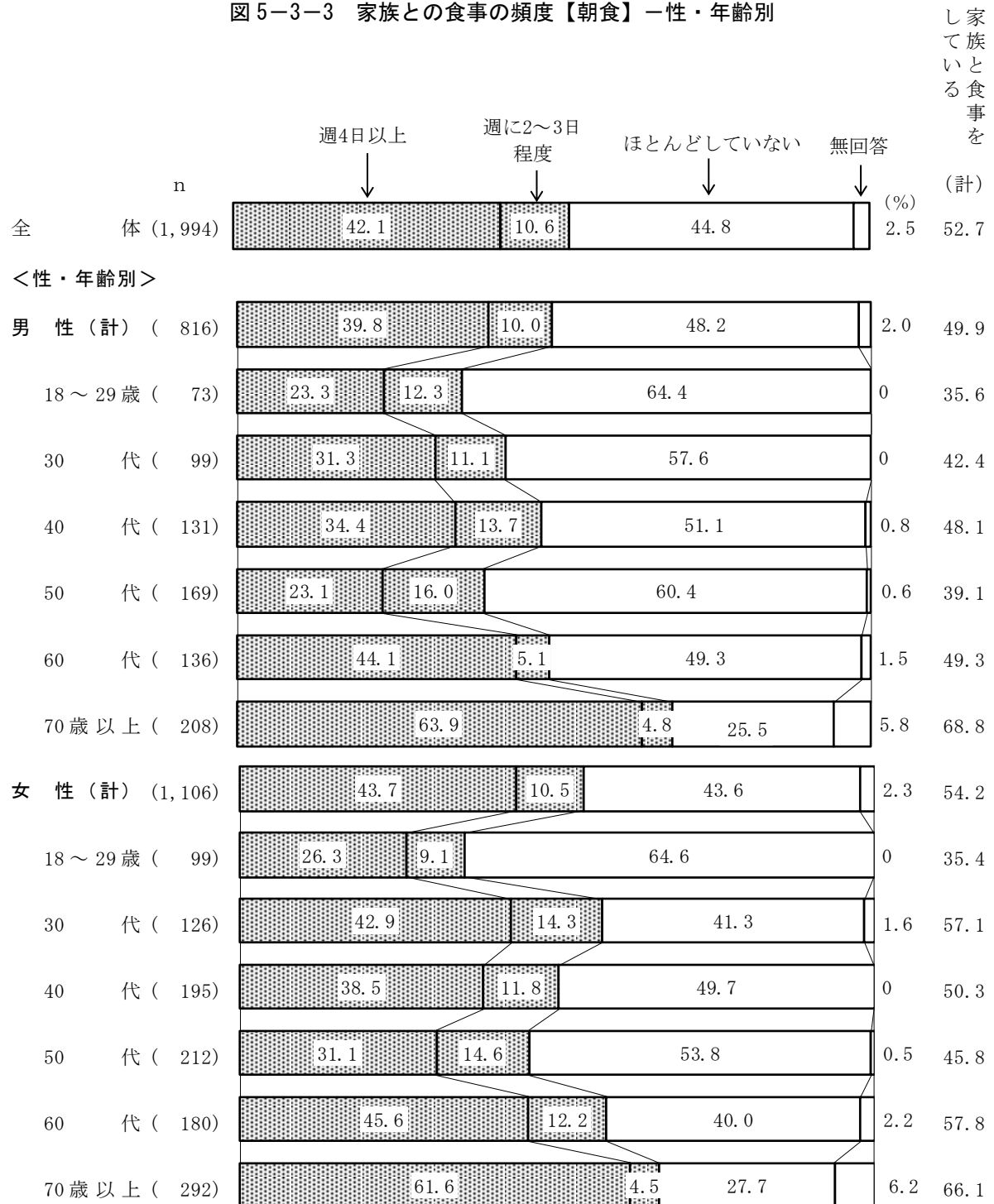
(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

(ア) 朝食

【朝食】について性・年齢別にみると、『家族と食事をしている（計）』は男性の70歳以上で7割近く、女性の70歳以上で6割半ばと多くなっている。一方、「ほとんどしていない」は18～29歳で男女ともに6割半ばと多く、男性では30代と50代で6割近く、女性では50代で5割半ばとなっている。

(図5-3-3)

図5-3-3 家族との食事の頻度【朝食】－性・年齢別



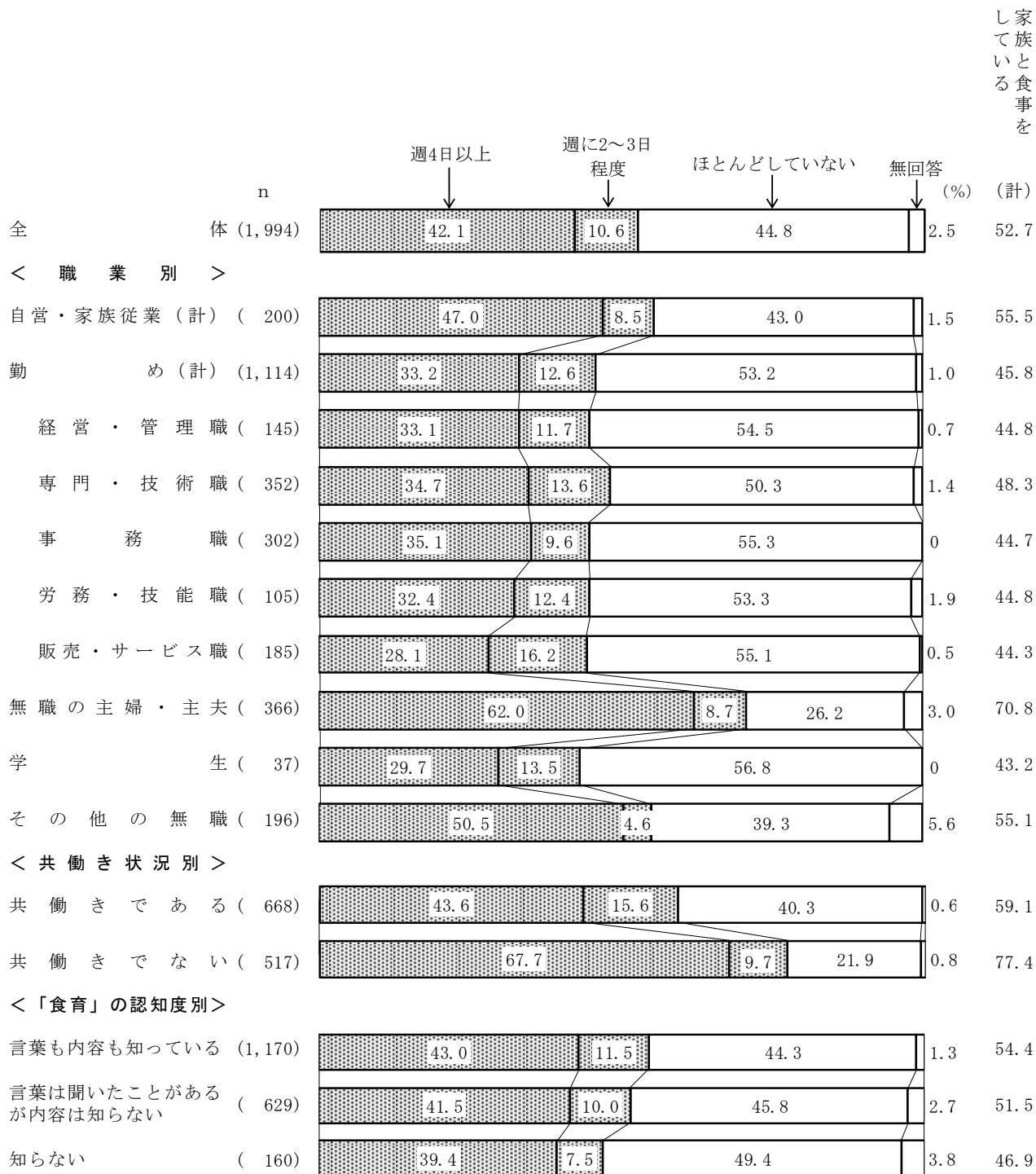


職業別にみると、『家族と食事をしている（計）』は無職の主婦・主夫で7割を超えて多い。一方、「ほとんどしていない」は勤め（計）で5割を超えて多くなっている。

共働き状況別にみると、『家族と食事をしている（計）』は“共働きでない”で8割近くとなっている。

「食育」の認知度別（問21 P127）にみると、大きな違いは見られない。（図5-3-4）

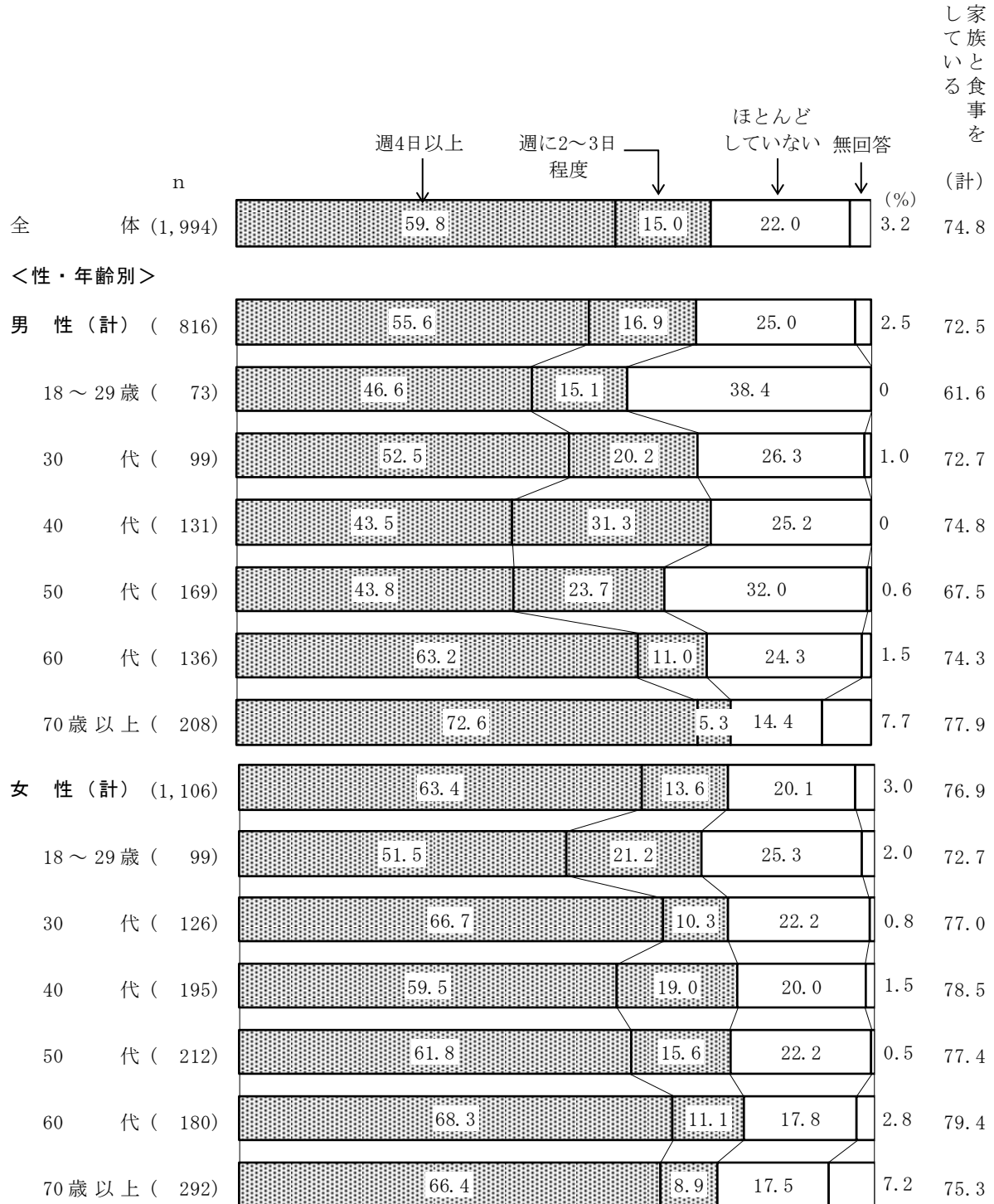
図5-3-4 家族との食事の頻度【朝食】－職業別、共働き状況別、「食育」の認知度別



(イ) 夕食

【夕食】について性・年齢別にみると、「週4日以上」は、女性が6割を超えており男性よりも8ポイント高くなっている。「ほとんどしていない」は男性の18～29歳で4割近く、50代で3割を超えて多くなっている。(図5-3-5)

図5-3-5 家族との食事の頻度【夕食】－性・年齢別

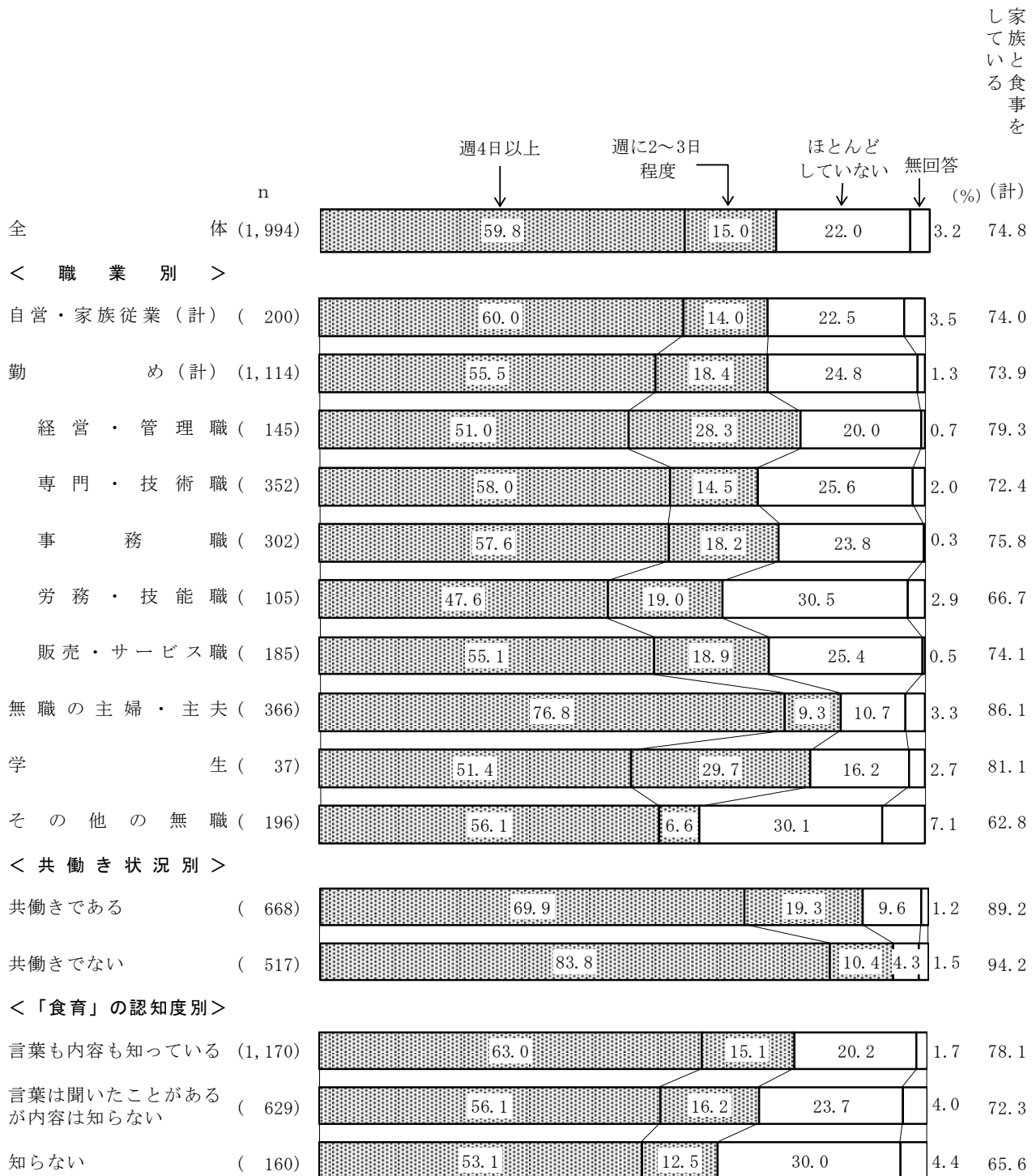


職業別にみると、「週4日以上」は無職の主婦・主夫で8割近くと多く、一方「ほとんどしていない」はその他の無職で約3割、勤め（計）で2割半ばと多くなっている。

共働き状況別にみると、『家族と食事をしている（計）』は“共働きでない”で9割半ばとなっているが、“共働きである”でも『家族と食事をしている（計）』は9割近くとなっている。

「食育」の認知度別（問21 P127）にみると、“言葉も内容も知っている”で「週4日以上」が6割を超えている。（図5-3-6）

図5-3-6 家族との食事の頻度【夕食】－職業別、共働き状況別、「食育」の認知度別

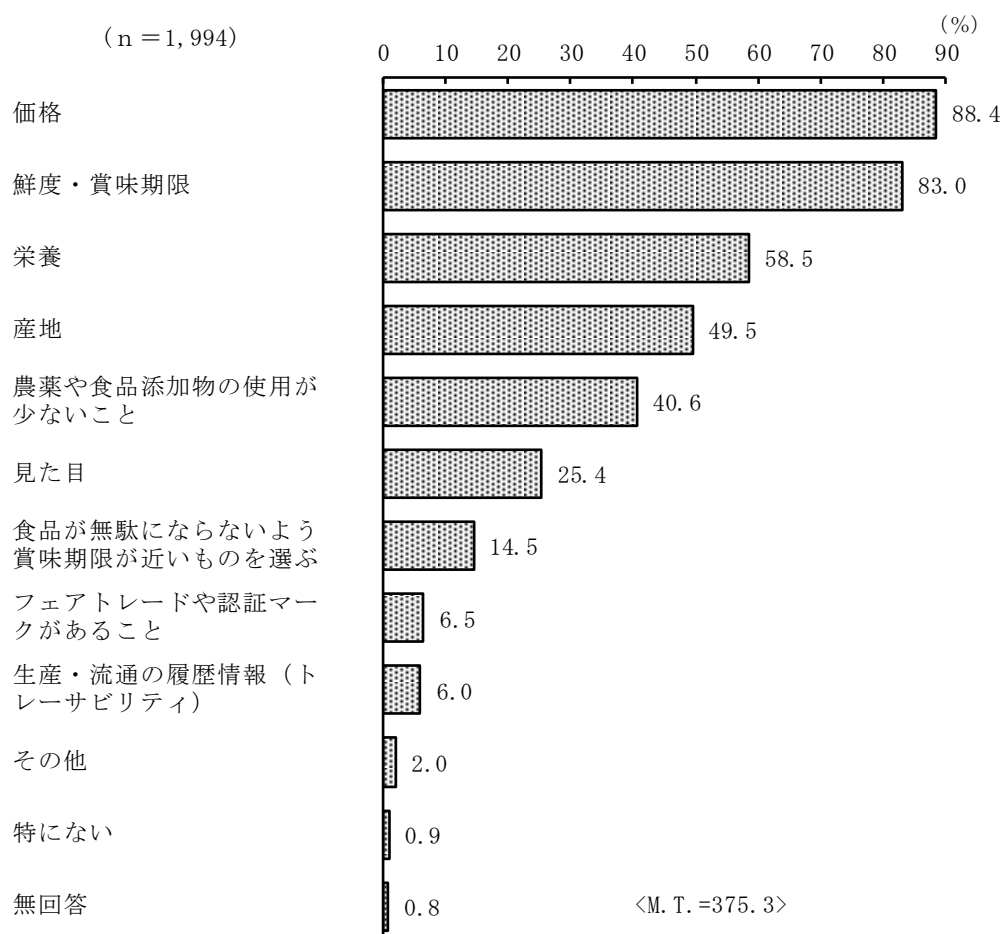


※5-4 食品を選ぶときに重視すること

図 5-4-1

(全員の方に)

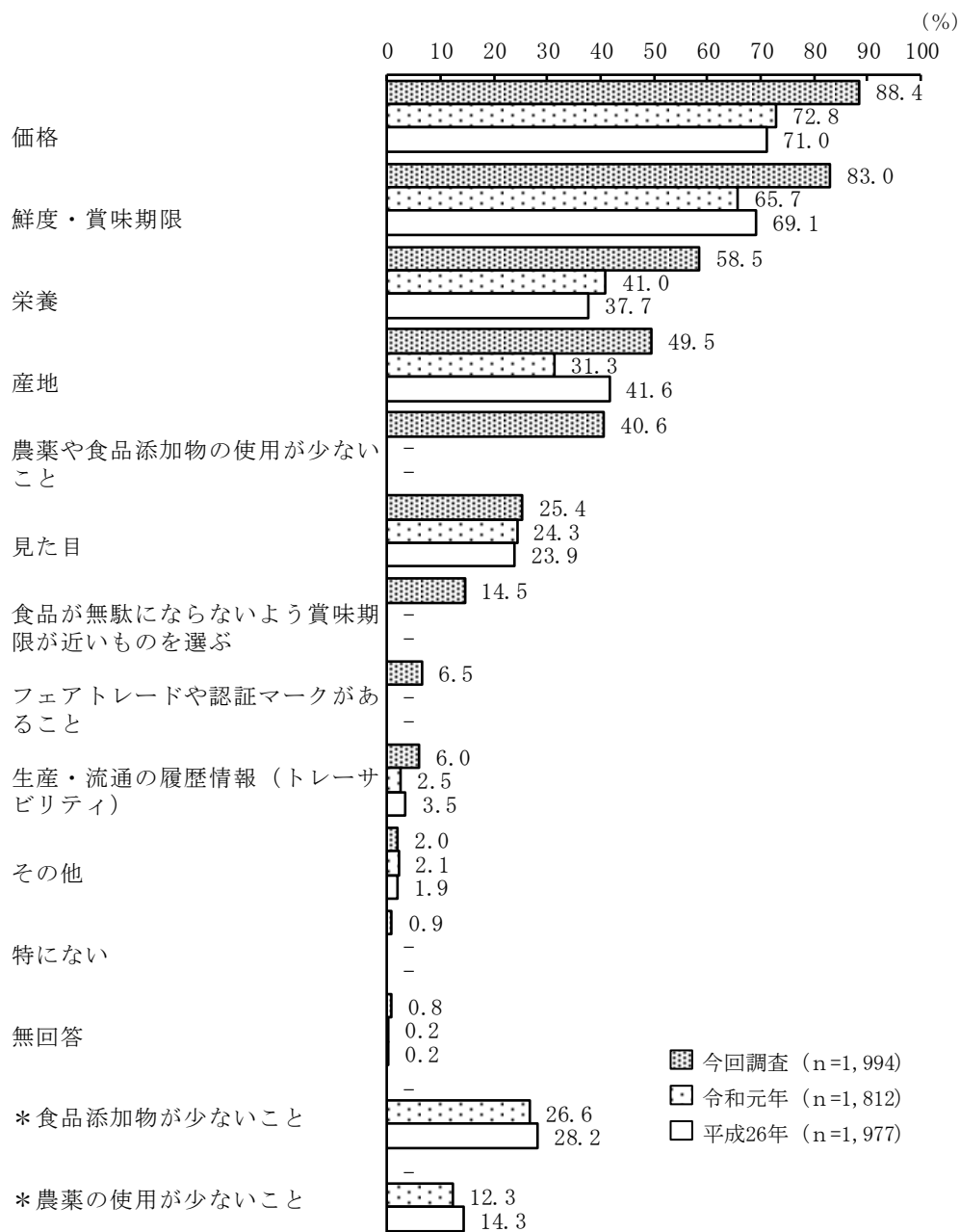
問 16 あなたは、食品（生鮮食品、加工食品を含む）を選ぶとき、何を重視しますか。  
次の中から5つまでお選びください。(○は5つまで) (5M. A.)



食品（生鮮食品、加工食品を含む）を選ぶときに重視することを聞いたところ、「価格」が 88%で最も多く、次いで「鮮度・賞味期限」83%、「栄養」59%、「産地」50%、「農薬や食品添加物の使用が少ないこと」41%、「見た目」25%などの順となっている。(図 5-4-1)

食品（生鮮食品、加工食品を含む）を選ぶときに重視することを過去との比較でみると、選択肢を今回調査から変更したため単純に比較はできないが、「価格」を選択する人が最も多く、次いで「鮮度・賞味期限」が多い点は変わらない。（図5-4-2）

図5-4-2 食品を選ぶときに重視することー過去との比較



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査（令和元年9月調査）」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査（平成26年7月調査）」

(注2) 「農薬や食品添加物の使用が少ないこと」、「食品が無駄にならないよう賞味期限が近いものを選ぶ」、「フェアトレードや認証マークがあること」、「特にない」は今回調査からの選択肢

(注3) \*印の「食品添加物が少ないこと」、「農薬の使用が少ないこと」は令和元年、平成26年の選択肢

(注4) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「価格」は女性の60代、70歳以上以外のすべての性・年齢で最も多く選ばれている。「鮮度・賞味期限」は女性の60代で約9割、70歳以上で9割近くと多かった。「栄養」は女性が男性よりも7ポイント高く、特に女性の30代、40代、50代では6割半ばを超えている。

職業別にみると、「価格」は勤め(計)で約9割と多く、「鮮度・賞味期限」は無職の主婦・主夫で9割を超えている。(表5-4-1)

表5-4-1 食品を選ぶときに重視すること—性・年齢別、職業別

		(%)													
	n	価格	鮮度・賞味期限	栄養	産地	少ないこと	農薬や食品添加物の使用が	見た目	賞味期限が近いものを選び	食品が無駄にならないよう	クエアトレッドや認証マークがあること	生産・流通の履歴情報(トレーサビリティ)	その他	特にない	無回答
全 体	1,994	88.4	83.0	58.5	49.5	40.6	25.4	14.5	6.5	6.0	2.0	0.9	0.8		
＜性・年齢別＞															
男 性 (計)	816	88.8	80.0	54.8	45.2	31.5	30.4	14.0	4.9	6.0	1.6	1.0	0.4		
18 ～ 29 歳	73	84.9	68.5	52.1	32.9	17.8	35.6	17.8	1.4	2.7	1.4	2.7	-		
30 代	99	85.9	74.7	64.6	32.3	27.3	34.3	10.1	6.1	5.1	2.0	2.0	-		
40 代	131	87.8	82.4	53.4	53.4	29.8	44.3	13.7	1.5	3.1	0.8	0.8	-		
50 代	169	92.9	78.7	57.4	52.1	29.0	26.0	12.4	5.3	4.1	3.0	-	-		
60 代	136	91.2	84.6	50.0	47.8	35.3	31.6	14.0	2.9	7.4	1.5	1.5	0.7		
70 歳 以上	208	87.5	83.2	52.9	43.3	38.9	20.7	15.9	8.7	10.1	1.0	0.5	1.0		
女 性 (計)	1,106	89.1	86.1	62.2	53.1	47.5	21.7	15.0	7.9	6.1	2.4	0.6	0.3		
18 ～ 29 歳	99	88.9	74.7	54.5	33.3	22.2	41.4	9.1	5.1	4.0	-	-	-		
30 代	126	88.1	81.7	67.5	53.2	30.2	38.1	7.9	4.8	4.0	0.8	2.4	-		
40 代	195	92.3	85.6	65.1	61.0	44.1	23.6	12.3	5.6	9.2	2.6	0.5	-		
50 代	212	92.5	85.8	67.5	60.4	52.4	15.1	14.6	4.7	4.2	3.3	-	-		
60 代	180	90.6	91.1	61.1	54.4	59.4	17.2	13.3	5.0	5.6	1.7	-	0.6		
70 歳 以上	292	84.2	89.0	57.5	47.9	54.5	14.0	23.3	15.4	7.5	3.4	1.0	0.7		
＜職業別＞															
自営・家族従業(計)	200	83.0	78.5	57.0	46.5	49.5	25.0	14.0	7.0	4.5	3.0	-	-		
勤 め (計)	1,114	90.1	81.4	59.7	50.7	36.1	28.7	13.7	5.3	5.4	1.6	0.9	0.3		
経営・管理職	145	88.3	77.9	56.6	57.2	34.5	26.9	7.6	6.2	2.1	2.1	0.7	-		
専門・技術職	352	87.8	81.5	63.4	49.4	35.2	31.0	13.9	6.0	6.8	1.7	1.1	0.3		
事務職	302	91.4	85.4	62.3	55.3	41.7	27.2	14.2	4.0	6.3	1.3	0.3	-		
労務・技能職	105	95.2	78.1	47.6	39.0	31.4	26.7	25.7	7.6	5.7	2.9	1.0	-		
販売・サービス職	185	90.3	80.0	59.5	47.0	33.0	30.3	10.8	3.8	3.8	1.1	1.6	0.5		
無職の主婦・主夫	366	89.6	90.7	62.0	53.6	50.8	15.3	17.8	10.9	8.5	2.5	1.1	-		
学 生	37	86.5	78.4	59.5	35.1	24.3	51.4	8.1	2.7	8.1	-	2.7	-		
その他の無職	196	89.3	86.7	53.6	45.9	42.9	21.4	13.8	5.6	5.6	1.5	1.0	1.0		

東京産の食材の優先的な購入有無別（問 18-1 P114）にみると、「価格」は“購入していない”で9割を超えている。「農薬や食品添加物の使用が少ないこと」は“購入している”で5割半ばと多くなっている。

「食育」の認知度別（問 21 P127）にみると、「栄養」は“言葉も内容も知っている”で6割半ば、「産地」は“言葉も内容も知っている”で5割半ばと多くなっている。（表 5-4-2）

表 5-4-2 食品を選ぶときに重視すること－東京産の食材の優先的な購入有無別、  
「食育」の認知度別

		価格	鮮度・賞味期限	栄養	産地	農薬や食品添加物の使用が少ないこと	見た目	賞味期限が無駄にならないものを選ぶ	食品が無駄にならないものを選ぶ	クがあること	フェアトレードや認証マーク	生産・流通の履歴情報（トレーサビリティ）	その他	特になし	無回答
	n														(%)
全 体	1,994	88.4	83.0	58.5	49.5	40.6	25.4	14.5	6.5	6.0	2.0	0.9	0.8		
＜東京産の食材の優先的な購入有無別＞															
購入している	387	86.3	85.8	64.1	57.9	54.5	17.3	23.5	12.4	10.9	0.8	0.3	0.5		
購入していない	995	91.3	87.0	62.1	57.0	43.7	25.5	13.0	5.8	5.8	1.5	0.1	-		
＜「食育」の認知度別＞															
言葉も内容も知っている	1,170	88.9	84.7	63.8	53.8	46.3	23.7	14.3	6.9	6.9	2.1	0.3	0.1		
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	629	89.7	83.8	54.2	46.3	33.5	28.8	15.3	5.2	4.3	1.9	1.3	0.5		
知らない	160	84.4	75.0	41.3	35.6	29.4	30.0	13.8	7.5	3.8	1.3	3.8	0.6		

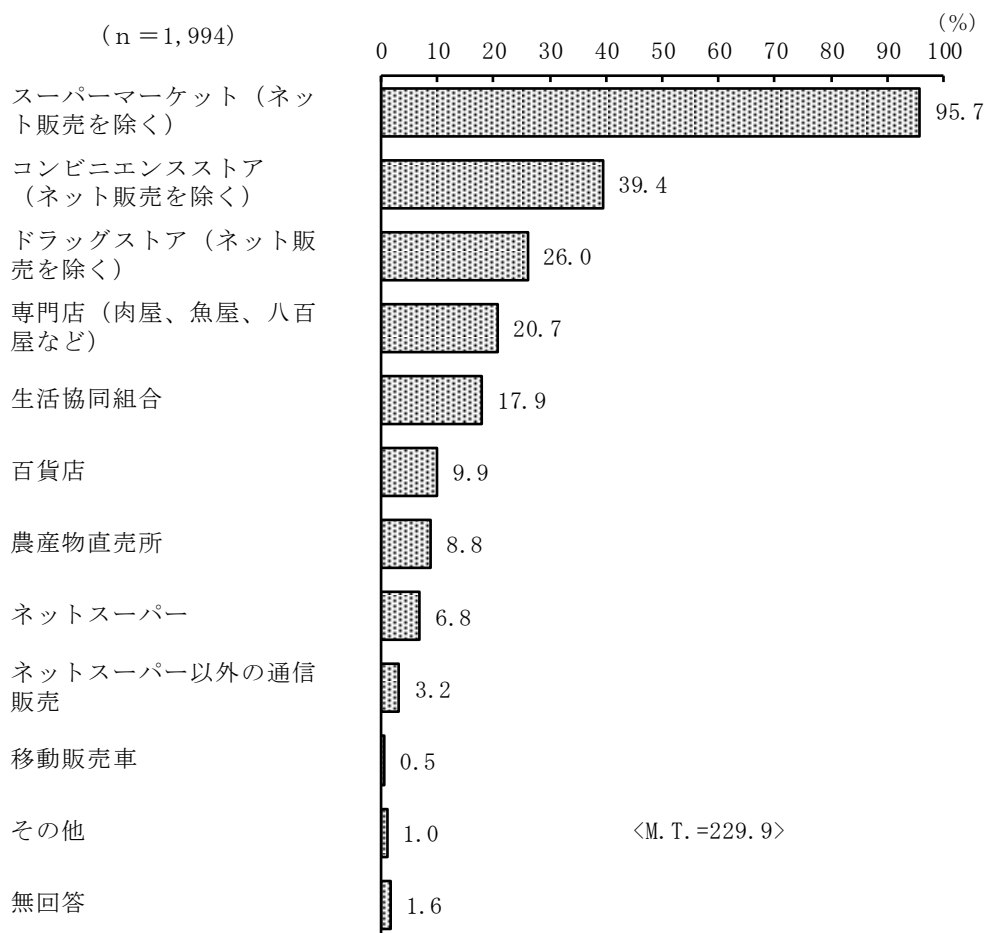
5-5 食品を購入している場所

図 5-5-1

(全員の方に)

問 17 あなたは、ふだん、どこで食品を購入していますか。次の中から 3 つまでお選びください。

(○は3つまで) (3M. A.)



食品を購入している場所について聞いたところ、「スーパーマーケット (ネット販売を除く)」が 96% で最も多く、次いで「コンビニエンスストア (ネット販売を除く)」39%、「ドラッグストア (ネット販売を除く)」26%、「専門店 (肉屋、魚屋、八百屋など)」21%、「生活協同組合」18%などの順となっている。(図 5-5-1)



性・年齢別にみると、「コンビニエンスストア（ネット販売を除く）」は男性の方が女性よりも15ポイント高いが、女性の中でも18～29歳は6割を超えて多くなっている。「専門店（肉屋、魚屋、八百屋など）」は男性の70歳以上で約3割と多くなっている。

職業別にみると、「コンビニエンスストア（ネット販売を除く）」は学生が6割近く、勤め（計）が4割半ばで多くなっている。「ドラッグストア（ネット販売を除く）」は労務・技能職と販売・サービス職で4割を超えている。

雇用形態別にみると、「コンビニエンスストア（ネット販売を除く）」は正社員、正規職員が約5割と多い一方、「ドラッグストア（ネット販売を除く）」は派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトで3割を超えている。（表5-5-1）

表5-5-1 食品を購入している場所－性・年齢別、職業別、雇用形態別 (%)

	n	（ネットスーパー販売を除く）	（コンビニエンスストアを除く）	（ドラッグストアを除く）	八百屋など）	専門店（肉屋、魚屋、	生活協同組合	百貨店	農産物直売所	ネットスーパー	ネットスーパー以外の	移動販売車	その他	無回答
全体	1,994	95.7	39.4	26.0	20.7	17.9	9.9	8.8	6.8	3.2	0.5	1.0	1.6	
＜性・年齢別＞														
男性（計）	816	96.3	48.2	25.1	18.8	15.9	7.0	6.3	6.0	3.6	0.2	1.0	1.2	
18～29歳	73	97.3	58.9	21.9	17.8	5.5	2.7	-	5.5	5.5	-	-	-	
30代	99	99.0	59.6	29.3	13.1	8.1	6.1	1.0	15.2	3.0	-	2.0	-	
40代	131	96.9	52.7	29.0	16.0	23.7	4.6	3.8	8.4	1.5	-	1.5	-	
50代	169	94.7	50.3	27.8	13.0	11.8	7.1	7.1	6.5	3.6	0.6	1.2	0.6	
60代	136	98.5	44.9	19.9	17.6	22.1	9.6	11.8	3.7	4.4	-	-	0.7	
70歳以上	208	94.2	36.5	23.1	28.8	17.8	8.7	8.2	1.4	3.8	0.5	1.0	3.8	
女性（計）	1,106	96.1	33.1	26.7	21.9	19.8	12.1	10.6	7.1	3.2	0.6	1.0	1.1	
18～29歳	99	99.0	62.6	33.3	13.1	11.1	6.1	2.0	7.1	-	1.0	-	-	
30代	126	94.4	40.5	30.2	16.7	11.9	7.1	4.8	14.3	4.0	-	0.8	-	
40代	195	98.5	31.3	29.7	24.6	16.9	8.2	8.2	13.3	4.6	-	0.5	1.0	
50代	212	97.2	26.4	23.1	24.1	21.7	10.8	13.7	8.0	3.8	0.5	1.4	-	
60代	180	96.7	28.3	23.3	20.0	25.0	14.4	13.9	3.3	3.3	0.6	0.6	2.2	
70歳以上	292	93.2	29.1	25.7	25.0	23.3	18.2	13.4	1.7	2.4	1.4	1.7	2.1	
＜職業別＞														
自営・家族従業(計)	200	97.0	38.5	17.0	26.5	16.5	11.5	7.5	8.0	5.5	1.0	1.0	1.0	
勤め(計)	1,114	96.8	45.3	29.0	17.1	17.0	8.2	8.0	7.7	3.1	0.2	0.8	0.5	
経営・管理職	145	95.2	46.2	18.6	17.2	20.7	8.3	9.7	9.0	0.7	-	2.1	0.7	
専門・技術職	352	97.4	46.0	26.1	16.8	16.8	8.8	8.8	7.7	4.8	0.3	0.9	0.6	
事務職	302	96.7	44.7	26.5	17.5	19.9	10.3	7.0	11.3	4.0	-	0.3	-	
労務・技能職	105	98.1	50.5	40.0	9.5	9.5	3.8	5.7	1.0	1.9	-	1.0	1.0	
販売・サービス職	185	96.8	41.1	41.6	22.2	14.6	6.5	7.6	4.3	1.1	0.5	0.5	0.5	
無職の主婦・主夫	366	94.8	25.7	25.4	25.4	23.2	14.8	13.7	6.6	3.3	0.8	0.8	2.2	
学生	37	100.0	56.8	29.7	18.9	5.4	-	-	5.4	-	-	-	-	
その他の無職	196	94.9	32.7	23.0	24.5	17.9	10.2	7.7	2.0	3.1	0.5	1.0	2.6	
＜雇用形態別＞														
正社員、正規職員	730	96.4	49.6	27.0	16.7	14.9	8.5	7.3	9.2	3.3	0.1	1.2	0.4	
派遣、契約・嘱託・パート・アルバイト	384	97.4	37.2	32.8	18.0	20.8	7.6	9.4	4.9	2.9	0.3	-	0.8	

共働き状況別にみると、「コンビニエンスストア（ネット販売を除く）」は“共働きでない”で約3割と少ない一方、「専門店（肉屋、魚屋、八百屋など）」は“共働きでない”が2割半ばと多かった。

東京産の食材の優先的な購入有無別（問 18-1 P114）にみると、「専門店（肉屋、魚屋、八百屋など）」と「生活協同組合」は“購入している”でともに2割半ばと多くなっている。

「食育」の認知度別（問 21 P127）にみると、「専門店（肉屋、魚屋、八百屋など）」と「生活協同組合」は“言葉も内容も知っている”でともに2割を超えて多くなっている。一方、「コンビニエンスストア（ネット販売を除く）」は“言葉は聞いたことがあるが内容は知らない”で4割半ばと多い。

（表 5-5-2）

表 5-5-2 食品を購入している場所－共働き状況別、東京産の食材の優先的な購入有無別、「食育」の認知度別

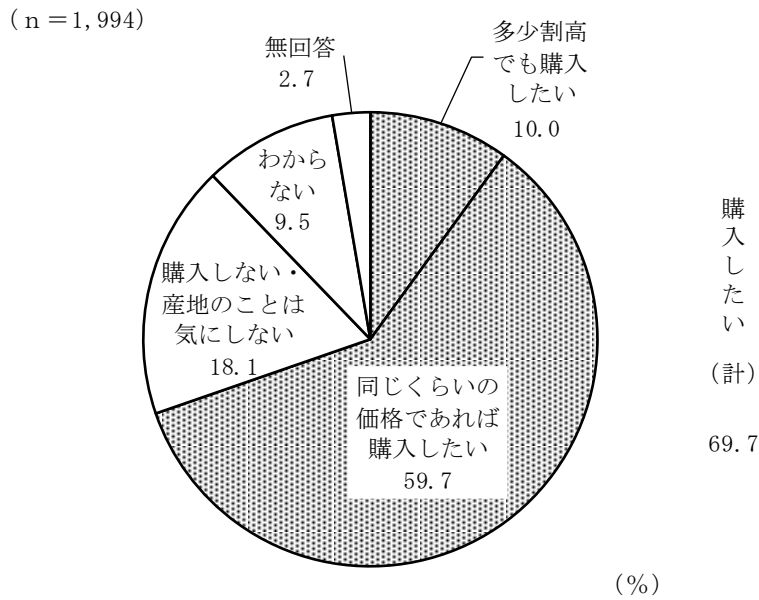
	n	（％）											
		（ネット販売を除く） スーパーマーケット	（ネット販売を除く） コンビニエンスストア	（ネット販売を除く） ドラッグストア	専門店（肉屋、魚屋、八百屋など）	生活協同組合	百貨店	農産物直売所	ネットスーパー	ネット販売	ネットスーパー以外の通信販売	移動販売車	その他
全 体	1,994	95.7	39.4	26.0	20.7	17.9	9.9	8.8	6.8	3.2	0.5	1.0	1.6
＜共働き状況別＞													
共働きである	668	97.0	37.6	27.1	20.2	21.6	7.8	9.9	10.8	4.0	0.1	1.0	0.3
共働きでない	517	96.1	29.4	24.4	24.6	22.8	12.8	12.6	6.0	3.7	0.2	0.6	2.3
＜東京産の食材の優先的な購入有無別＞													
購入している	387	97.7	32.0	26.6	26.1	26.1	10.3	22.2	4.7	3.9	0.8	1.0	0.3
購入していない	995	97.8	39.0	26.4	22.0	17.8	10.3	7.4	7.8	3.4	0.1	0.7	-
＜「食育」の認知度別＞													
言葉も内容も知っている	1,170	96.9	35.4	25.1	23.2	21.2	10.5	9.4	8.3	4.2	0.5	0.9	0.2
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	629	97.8	46.4	28.3	17.8	13.5	10.0	8.7	4.9	1.9	0.3	1.4	0.3
知らない	160	95.0	45.0	28.8	16.9	13.8	6.9	6.3	4.4	1.9	0.6	0.6	0.6

※5-6 地元や東京の産物の購入意向

図 5-6-1

(全員の方に)

問 18 あなたは、地元や東京の産物とわかる食材であれば、購入したいと思いますか。(○は1つ)

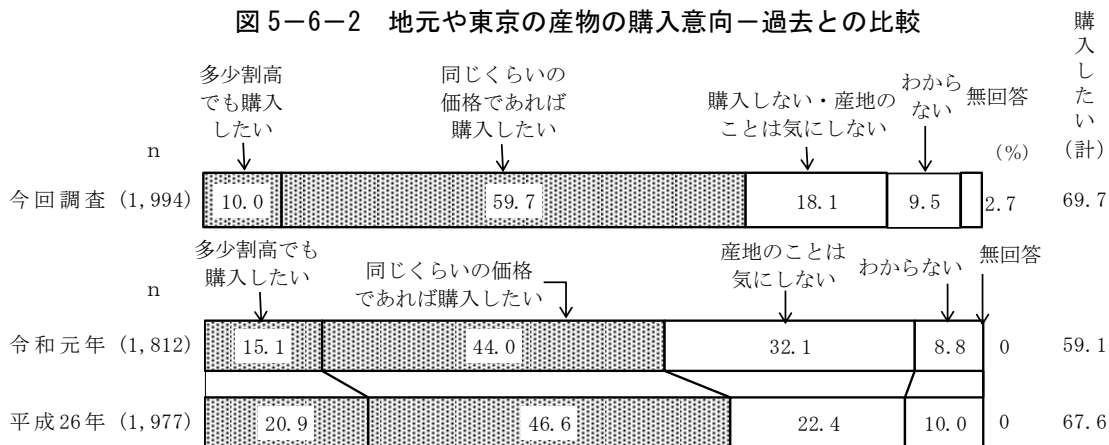


(注) 『購入したい (計)』は「多少割高でも購入したい」、「同じくらいの価格であれば購入したい」の合計

地元や東京の産物の購入意向について聞いたところ、『購入したい (計)』は 70%、「購入しない・産地のことは気にしない」は 18%、「わからない」は 10%となっている。(図 5-6-1)

地元や東京の産物の購入意向を過去との比較でみると、選択肢を今回調査から変更したため単純に比較はできないが、『購入したい (計)』が増加している。(図 5-6-2)

図 5-6-2 地元や東京の産物の購入意向—過去との比較



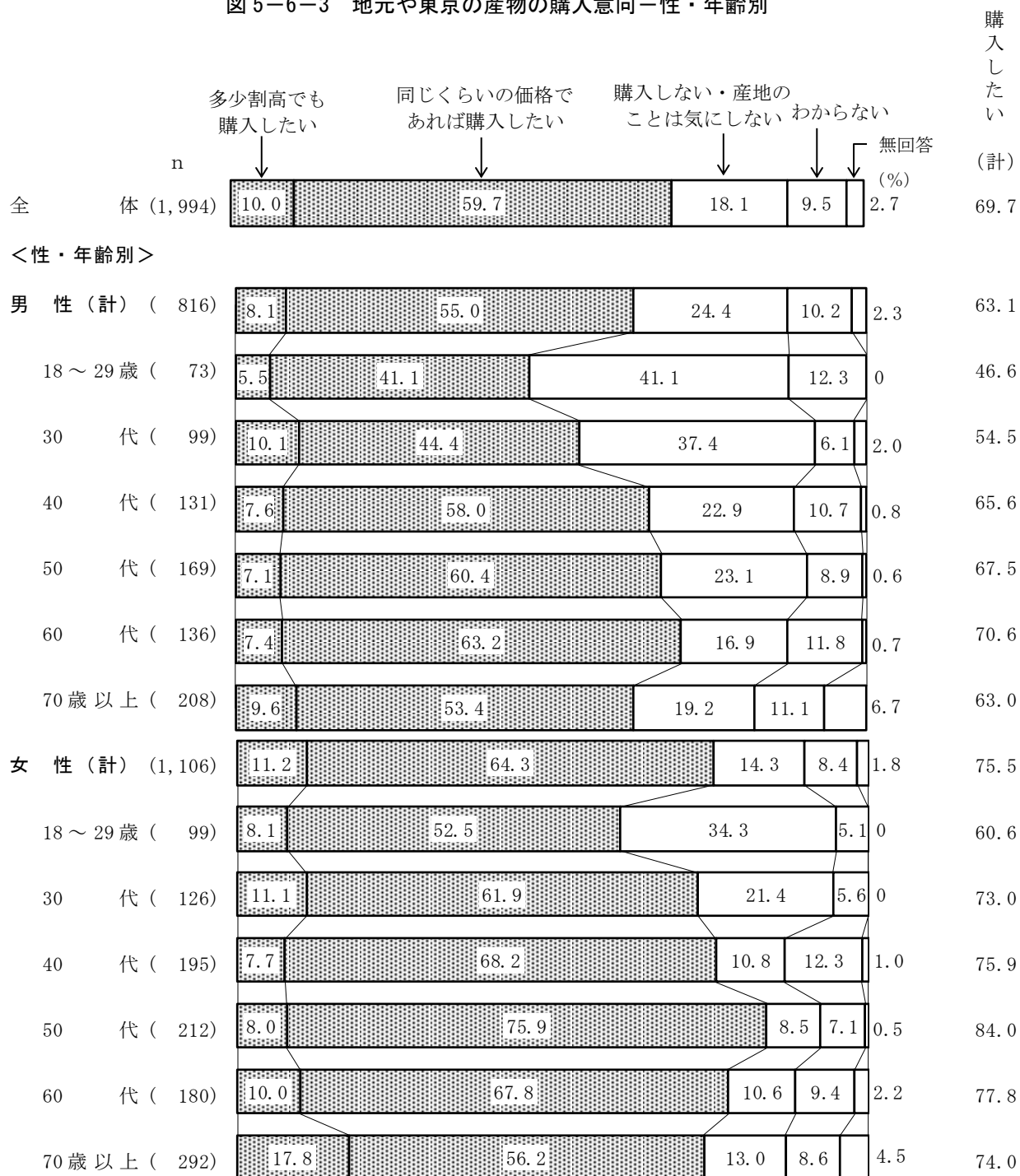
(注 1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査 (令和元年 9 月調査)」、平成 26 年は「食生活と食育に関する世論調査 (平成 26 年 7 月調査)」

(注 2) 『購入したい (計)』は「多少割高でも購入したい」、「同じくらいの価格であれば購入したい」の合計

(注 3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、『購入したい（計）』は女性が男性より12ポイント高くなっており、特に女性の50代で8割半ばと多くなっている。一方、「購入しない・産地のことは気にしない」は男性の18～29歳で4割を超えて、男性の30代で4割近くと多くなってる。（図5-6-3）

図5-6-3 地元や東京の産物の購入意向－性・年齢別



職業別にみると、『購入したい (計)』は無職の主婦・主夫で8割近くと多くなっている。一方、「購入しない・産地のことは気にしない」は労務・技能職で3割近くと多くなっている。

「食育」の認知度別(問 21 P127) にみると、『購入したい (計)』は“言葉も内容も知っている”で7割半ばと多くなっている。一方、「購入しない・産地のことは気にしない」は“知らない”で2割半ばと多くなっている。(図 5-6-4)

図 5-6-4 地元や東京の産物の購入意向－職業別、「食育」の認知度別

n	購入意向					購入したい (計)
	多少割高でも購入したい	同じくらいの価格であれば購入したい	購入しない・産地のことは気にしない	わからない	無回答 (%)	
全体 (1,994)	10.0	59.7	18.1	9.5	2.7	69.7
<b>&lt; 職業別 &gt;</b>						
自営・家族従業 (計) (200)	10.5	62.5	14.5	10.0	2.5	73.0
勤め (計) (1,114)	8.9	60.3	20.9	8.7	1.2	69.2
経営・管理職 (145)	9.0	57.2	21.4	11.7	0.7	66.2
専門・技術職 (352)	12.8	57.7	21.0	7.4	1.1	70.5
事務職 (302)	7.0	65.9	20.2	6.6	0.3	72.8
労務・技能職 (105)	6.7	54.3	26.7	9.5	2.9	61.0
販売・サービス職 (185)	6.5	61.6	18.9	11.9	1.1	68.1
無職の主婦・主夫 (366)	12.6	65.0	10.1	9.6	2.7	77.6
学生 (37)	10.8	59.5	21.6	8.1	0	70.3
その他の無職 (196)	10.7	51.0	22.4	12.2	3.6	61.7
<b>&lt; 「食育」の認知度別 &gt;</b>						
言葉も内容も知っている (1,170)	12.0	63.4	16.2	7.2	1.2	75.4
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない (629)	7.6	60.1	20.7	10.3	1.3	67.7
知らない (160)	6.9	42.5	25.0	23.1	2.5	49.4

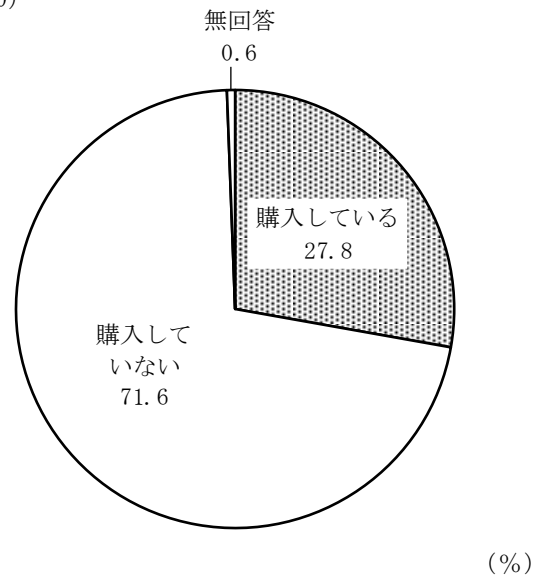
## 5-7 東京産の食材の優先的な購入有無

図 5-7-1

(問 18 で「多少割高でも購入したい」「同じくらいの価格であれば購入したい」と答えた方に)

問 18-1 あなたは、実際に東京産の食材を優先して購入していますか。(○は1つ)

(n = 1,390)

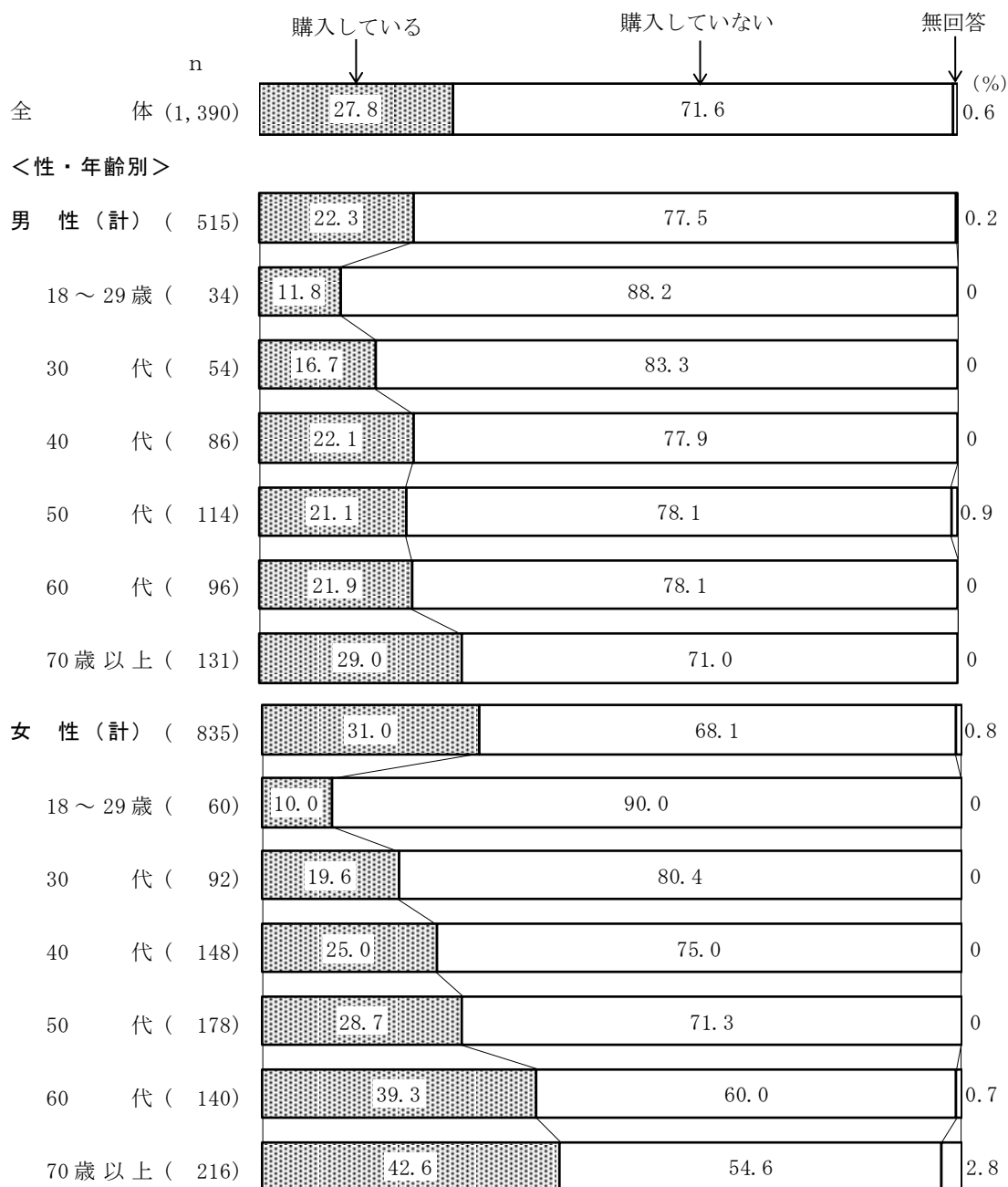


地元や東京の産物を『購入したい (計)』と答えた人 (1,390 人) に、実際に東京産の食材を優先的に購入しているか聞いたところ、「購入している」は 28%、「購入していない」は 72%となっている。

(図 5-7-1)

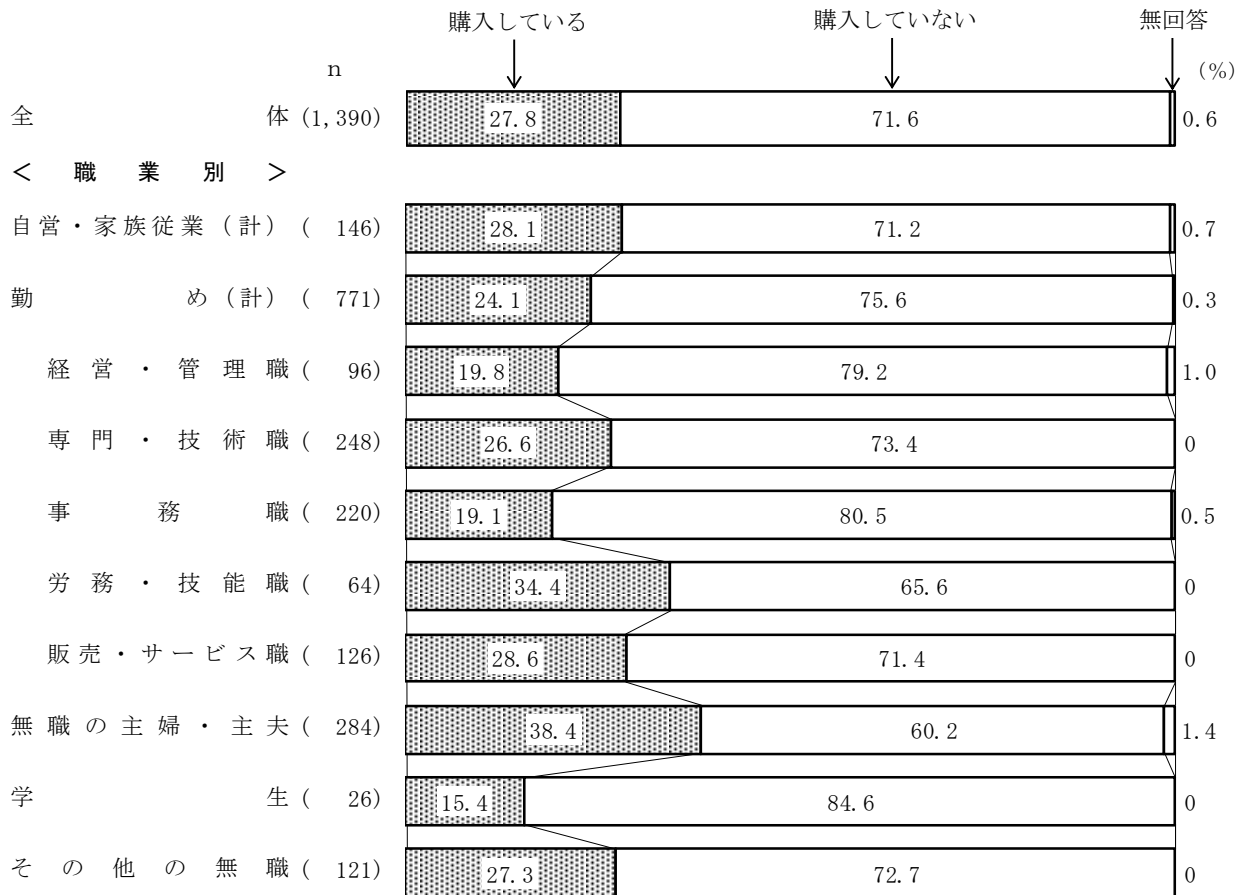
性・年齢別にみると、「購入している」は女性が男性より9ポイント高くなっており、女性の60代で約4割、女性の70歳以上で4割を超えて多くなっている。一方、「購入していない」は、男性の18～29歳で9割近く、女性の18～29歳で約9割と若い世代が多くなっている。(図5-7-2)

図5-7-2 東京産の食材の優先的な購入有無－性・年齢別



職業別にみると、「購入している」は無職の主婦・主夫で4割近くと多くなっている。一方、「購入していない」は勤め（計）で7割半ばと多くなっている。（図5-7-3）

図5-7-3 東京産の食材の優先的な購入有無－職業別



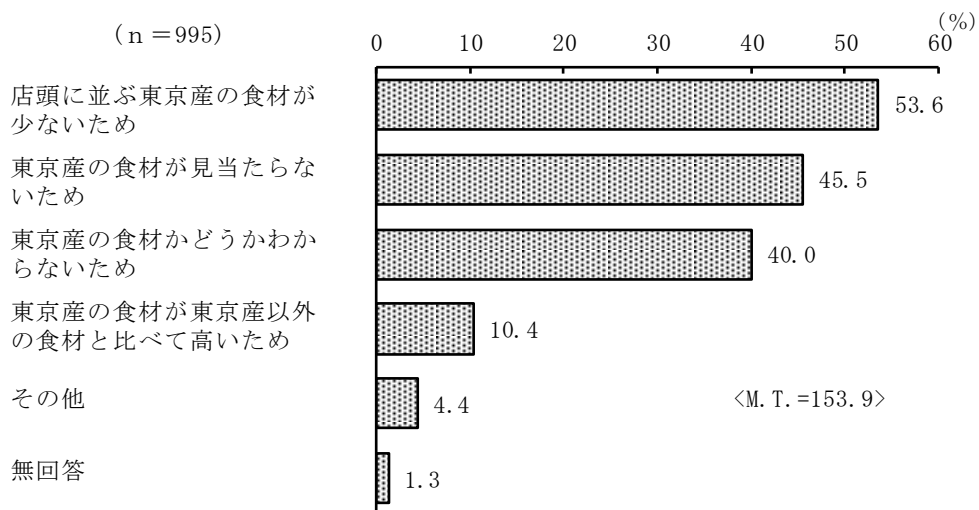


## 5-8 東京産の食材を購入していない理由

図 5-8-1

(問 18-1 で「購入していない」と答えた方に)

問 18-2 あなたが、東京産の食材を購入していない理由は何ですか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)



東京産の食材を「購入していない」と答えた人(995人)に、購入していない理由を聞いたところ、「店頭に並ぶ東京産の食材が少ないため」が54%で最も多く、次いで「東京産の食材が見当たらないため」46%、「東京産の食材かどうか分からないため」40%、「東京産の食材が東京産以外の食材と比べて高いため」10%などの順となっている。(図 5-8-1)

性・年齢別にみると、「店頭に並ぶ東京産の食材が少ないため」は男性よりも女性が8ポイント高く、特に女性の70歳以上で6割半ばと多くなっている。「東京産の食材が見当たらないため」は男性の30代で6割半ばと多かった。「東京産の食材かどうか分からないため」は女性よりも男性が10ポイント高く、特に男性の70歳以上で6割近い。(表5-8-1)

表5-8-1 東京産の食材を購入していない理由－性・年齢別、職業別

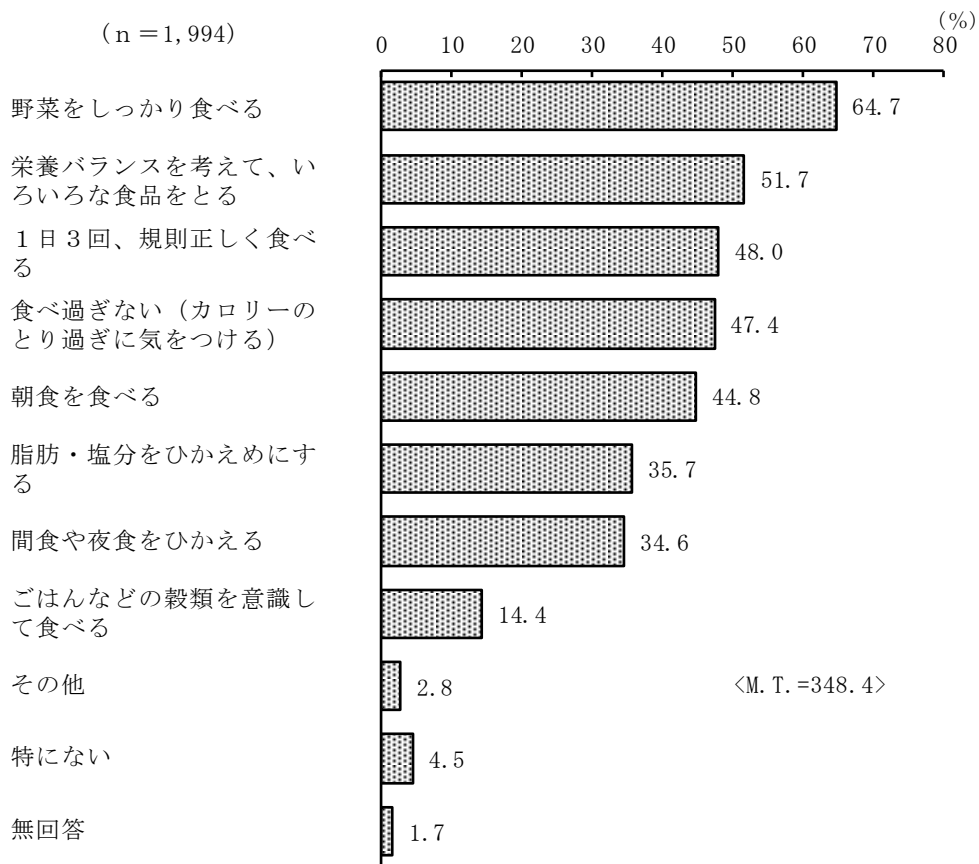
		(%)					
	n	店頭に並ぶ東京産の食材が少ないため	東京産の食材が見当たらないため	東京産の食材かどうか分からないため	東京産の食材と比べて高いため	その他	無回答
全体	995	53.6	45.5	40.0	10.4	4.4	1.3
＜性・年齢別＞							
男性(計)	399	48.9	45.6	45.6	8.3	4.0	1.3
18～29歳	30	23.3	40.0	30.0	13.3	13.3	-
30代	45	42.2	64.4	33.3	11.1	4.4	-
40代	67	52.2	49.3	40.3	10.4	-	-
50代	89	50.6	46.1	43.8	7.9	4.5	1.1
60代	75	54.7	38.7	50.7	6.7	2.7	1.3
70歳以上	93	51.6	40.9	58.1	5.4	4.3	3.2
女性(計)	569	56.6	45.5	35.5	12.1	4.9	1.4
18～29歳	54	40.7	33.3	24.1	16.7	9.3	-
30代	74	55.4	37.8	21.6	12.2	9.5	1.4
40代	111	57.7	41.4	26.1	14.4	5.4	1.8
50代	127	57.5	53.5	39.4	9.4	3.1	0.8
60代	84	54.8	51.2	41.7	14.3	3.6	-
70歳以上	118	63.6	47.5	49.2	9.3	2.5	3.4
＜職業別＞							
自営・家族従業(計)	104	52.9	47.1	49.0	4.8	8.7	-
勤め(計)	583	53.7	45.6	35.3	11.5	3.9	1.4
経営・管理職	76	55.3	53.9	35.5	3.9	3.9	-
専門・技術職	182	53.3	39.6	34.1	14.3	5.5	2.2
事務職	177	51.4	52.0	34.5	12.4	3.4	-
労務・技能職	42	54.8	45.2	54.8	7.1	-	4.8
販売・サービス職	90	55.6	40.0	31.1	12.2	4.4	2.2
無職の主婦・主夫	171	56.1	46.2	42.1	12.3	4.7	2.3
学生	22	36.4	40.9	22.7	9.1	9.1	-
その他の無職	88	55.7	40.9	56.8	5.7	2.3	-

※5-9 食事のとり方で気をつけていること

図 5-9-1

(全員の方に)

問 19 あなたは、食事のとり方でどのようなことに気をつけていますか。次の中から当てはまるものをいくつかでもお選びください。(〇はいくつでも)(M. A.)

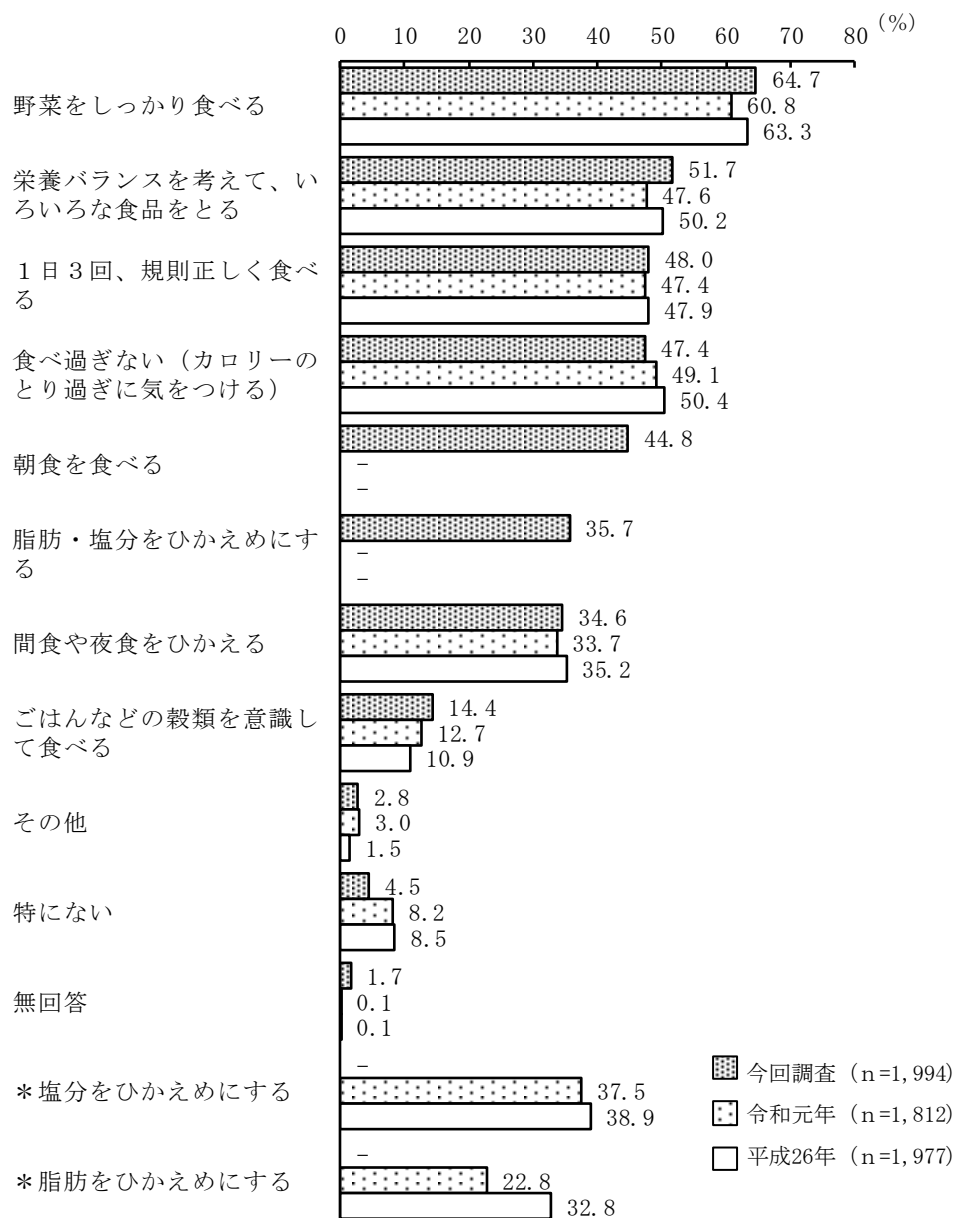


食事のとり方で気をつけていることについて聞いたところ、「野菜をしっかり食べる」が65%で最も多く、次いで「栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる」52%、「1日3回、規則正しく食べる」48%、「食べ過ぎない(カロリーのとり過ぎに気をつける)」47%、「朝食を食べる」45%などの順となっている。(図5-9-1)

今回は、前回の調査と調査方法が異なるため、食事のとり方で気をつけていることを前回の調査結果と単純に比較することはできないが、「野菜をしっかり食べる」が6割を超えている点は変わらない。

(図 5-9-2)

図 5-9-2 食事のとり方で気をつけていることー過去との比較



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査(令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査(平成26年7月調査)」

(注2) 「朝食を食べる」、「脂肪・塩分をひかえめにする」は今回調査からの選択肢

(注3) \*印の「塩分をひかえめにする」、「脂肪をひかえめにする」は令和元年、平成26年の選択肢

(注4) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「野菜をしっかり食べる」は女性が男性よりも8ポイント高く、特に女性の50代で7割半ば、女性の70歳以上で7割を超えて多くなっている。「栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる」も女性が男性よりも15ポイント高く、特に女性の40代と50代と70歳以上ではいずれも6割を超える。「1日3回、規則正しく食べる」は男性の60代と男性の70歳以上でいずれも6割を超えており、女性の70歳以上でも7割半ばと多くなっている。

職業別にみると、無職の主婦・主夫では各項目とも多くなっており、「野菜をしっかり食べる」が7割半ば、「栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる」「1日3回、規則正しく食べる」がいずれも6割台であった。一方、「1日3回、規則正しく食べる」は勤め（計）で約4割と少なくなっている。

(表5-9-1)

表5-9-1 食事のとり方で気をつけていること—性・年齢別、職業別

	n	野菜をしっかりと食べる	栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる	1日3回、規則正しく食べる	とり過ぎに気をつける(カロリーの過ぎない)	朝食を食べる	脂肪・塩分をひかえめにする	間食や夜食をひかえる	ごはんなどの穀類を意識して食べる	その他	特にない	無回答
全体	1,994	64.7	51.7	48.0	47.4	44.8	35.7	34.6	14.4	2.8	4.5	1.7
<性・年齢別>												
男性(計)	816	60.4	43.6	46.0	44.4	42.3	32.1	36.2	13.5	2.3	5.1	1.2
18～29歳	73	52.1	45.2	28.8	31.5	38.4	15.1	20.5	12.3	4.1	6.8	-
30代	99	51.5	42.4	33.3	38.4	36.4	22.2	28.3	12.1	5.1	12.1	-
40代	131	61.1	45.0	34.4	40.5	40.5	30.5	31.3	6.9	3.1	8.4	-
50代	169	58.6	40.8	39.1	53.3	43.2	34.3	35.5	14.2	2.4	3.0	0.6
60代	136	61.8	47.8	59.6	50.0	44.1	32.4	40.4	11.8	-	3.7	-
70歳以上	208	67.8	42.3	62.0	43.3	45.7	41.8	46.2	19.2	1.4	1.9	4.3
女性(計)	1,106	68.8	58.7	50.0	50.4	47.1	39.1	34.1	15.3	3.1	3.8	1.4
18～29歳	99	50.5	34.3	28.3	43.4	35.4	20.2	34.3	10.1	1.0	8.1	1.0
30代	126	62.7	54.0	42.1	47.6	43.7	24.6	23.0	20.6	1.6	9.5	-
40代	195	70.8	62.6	37.4	52.3	42.6	32.8	32.8	15.4	3.6	3.1	0.5
50代	212	75.0	61.3	39.6	55.2	43.9	37.3	34.0	12.7	6.1	1.9	0.5
60代	180	68.3	56.1	53.9	54.4	44.4	44.4	28.9	8.3	2.2	3.3	2.2
70歳以上	292	71.9	65.8	74.3	46.6	59.6	53.8	42.8	20.9	2.4	2.1	2.7
<職業別>												
自営・家族従業(計)	200	64.5	52.0	50.0	54.0	42.5	40.5	38.5	12.5	3.5	2.5	0.5
勤め(計)	1,114	63.1	50.4	40.9	48.2	44.3	30.3	31.4	13.1	2.3	5.4	0.6
経営・管理職	145	64.8	51.7	41.4	53.1	38.6	35.2	38.6	6.9	2.1	2.8	-
専門・技術職	352	63.9	52.3	38.9	50.0	43.5	29.5	28.4	14.2	3.4	4.8	0.6
事務職	302	62.6	55.0	42.7	50.3	45.0	30.5	31.8	12.9	1.7	4.6	0.3
労務・技能職	105	59.0	36.2	43.8	42.9	48.6	32.4	30.5	19.0	2.9	5.7	1.0
販売・サービス職	185	65.4	48.1	38.9	42.2	47.0	27.0	31.4	14.6	1.6	8.6	0.5
無職の主婦・主夫	366	74.0	62.8	63.9	45.9	50.0	45.6	37.7	19.1	4.4	2.5	2.7
学生	37	64.9	45.9	40.5	48.6	35.1	21.6	37.8	13.5	-	2.7	-
その他の無職	196	63.3	44.4	56.6	41.8	43.9	41.3	40.3	14.3	2.6	5.6	2.0

朝食の摂取状況別(問 14 P92) にみると、“週に 4 日以上食べる” でほとんどの項目が高くなっている。一方、“ほとんど食べない” では「特にない」が 1 割半ばと多くなっている。

地元や東京の産物の購入意向別(問 18 P111) にみると、“購入したい(計)” でほとんどの項目が高くなっており、特に「野菜をしっかりと食べる」は約 7 割と多い。

東京産の食材の優先的な購入有無別(問 18-1 P114) にみると、“購入している” でほとんどの項目が高くなっており、特に「野菜をしっかりと食べる」は約 8 割、「栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる」は約 7 割と多い。

「食育」の認知度別(問 21 P127) にみると、“言葉も内容も知っている” でほとんどの項目が高くなっている。

食育活動への参加経験の有無別(問 22 P131) にみると、“参加したことがある” でほとんどの項目が高くなっており、「野菜をしっかりと食べる」は 7 割を超え、「栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる」は 6 割を超えている。(表 5-9-2)

表 5-9-2 食事のとり方で気をつけていること－朝食の摂取状況別、地元や東京の産物の購入意向別、東京産の食材の優先的な購入有無別、「食育」の認知度別、食育活動への参加経験の有無別

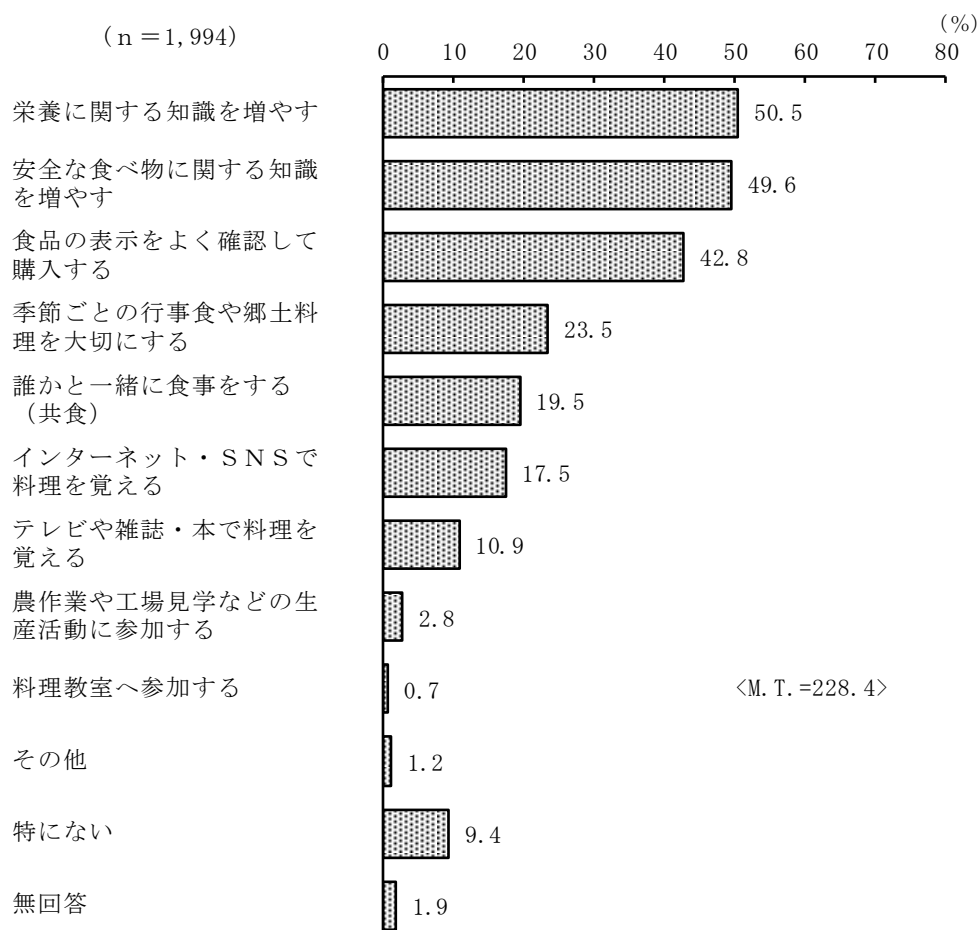
	n	野菜をしっかりと食べる	栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる	1 日 3 回、規則正しく食べる	食べ過ぎない(カロリーのとり過ぎに気をつける)	朝食を食べる	脂肪・塩分をひかえめにする	間食や夜食をひかえる	ごはんなどの穀類を意識して食べる	その他	特にない	無回答
全 体	1,994	64.7	51.7	48.0	47.4	44.8	35.7	34.6	14.4	2.8	4.5	1.7
<朝食の摂取状況別>												
食べる(計)	1,714	66.2	53.9	55.0	48.0	51.6	36.7	35.8	15.1	2.6	2.9	1.5
週に4日以上食べる	1,550	67.5	55.3	60.5	48.3	56.4	37.5	36.3	15.5	2.3	2.2	1.4
週に2~3日程度食べる	164	53.7	40.2	3.7	44.5	6.1	28.7	30.5	11.0	5.5	9.8	1.8
ほとんど食べない	252	57.1	40.1	1.2	45.6	-	29.8	27.0	10.7	4.0	15.1	-
<地元や東京の産物の購入意向別>												
購入したい(計)	1,390	70.2	57.4	52.2	49.1	48.0	38.6	35.1	15.5	2.4	2.7	0.4
多少割高でも購入したい	199	76.9	64.3	57.3	44.7	51.3	44.7	40.7	23.1	2.0	2.0	1.0
同じくらいの価格であれば購入したい	1,191	69.1	56.3	51.3	49.8	47.4	37.5	34.2	14.3	2.4	2.8	0.3
購入しない・産地のことは気にしない	361	52.9	37.7	39.3	46.3	41.0	27.7	34.1	11.4	3.3	9.4	0.3
<東京産の食材の優先的な購入有無別>												
購入している	387	78.3	67.7	58.7	51.4	55.3	45.7	38.5	16.8	2.8	1.0	0.3
購入していない	995	67.1	53.4	49.4	48.2	44.9	35.8	33.8	15.1	2.2	3.3	0.4
<「食育」の認知度別>												
言葉も内容も知っている	1,170	69.9	59.9	49.9	50.9	46.1	36.8	36.0	15.1	3.3	3.4	0.3
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	629	62.2	44.8	47.9	44.5	45.0	35.3	33.1	14.5	1.7	5.9	0.3
知らない	160	48.8	28.8	43.8	41.3	43.1	33.8	36.9	11.3	3.1	6.9	-
<食育活動への参加経験の有無別>												
参加したことがある	632	72.5	63.3	51.9	48.1	46.7	41.5	36.2	19.0	3.6	2.8	0.6
参加したことはない	1,307	62.7	47.3	46.9	48.1	44.7	33.4	34.4	12.4	2.4	5.4	0.2

※5-10 健全で豊かな食生活のための取組意向

図5-10-1

(全員の方に)

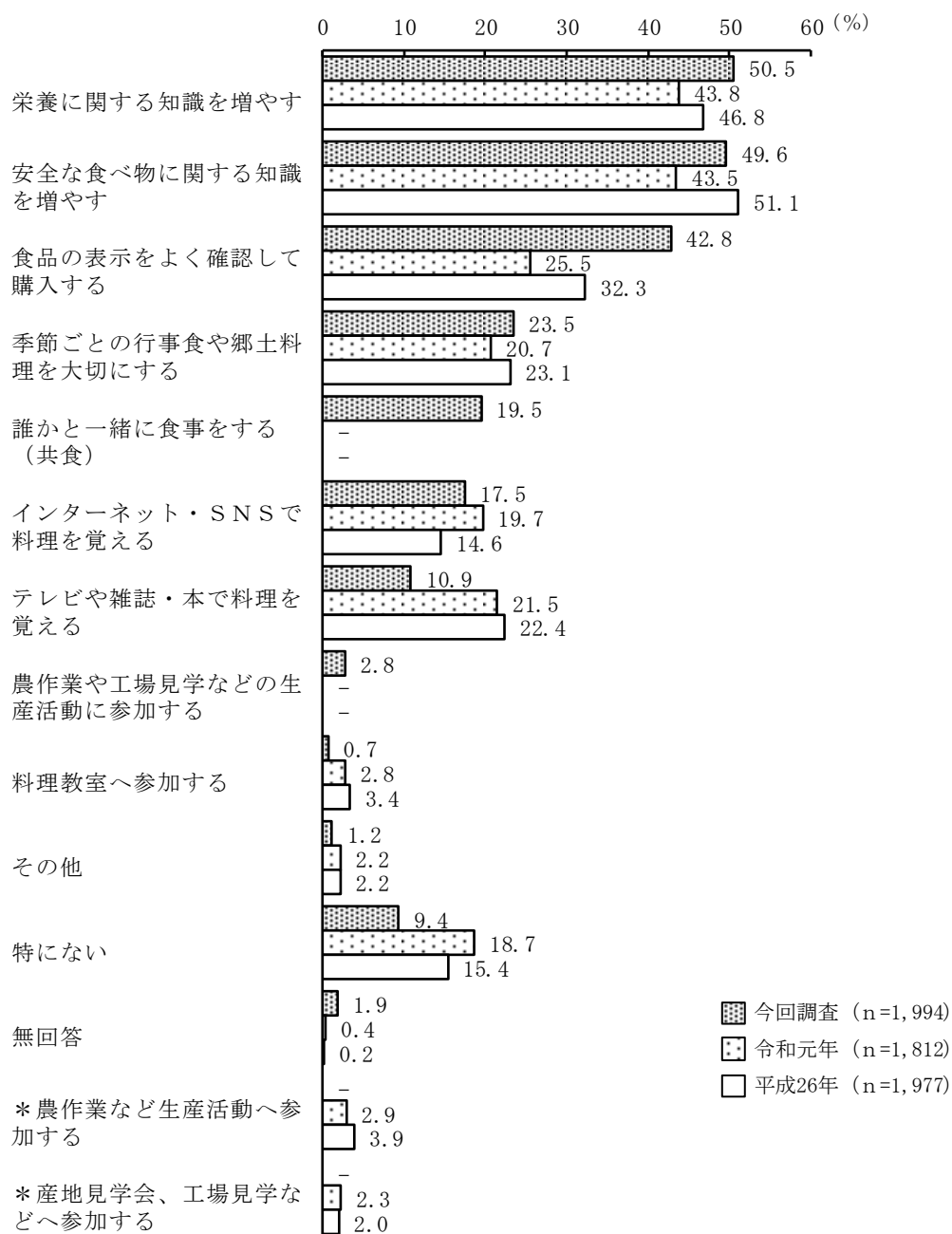
問20 あなたは、食生活を健全で豊かなものにするために、今後どのようなことをしていきたいですか。次の中から3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)



食生活を健全で豊かなものにするために、今後どのようなことをしていきたいか聞いたところ、「栄養に関する知識を増やす」が51%で最も多く、次いで「安全な食べ物に関する知識を増やす」50%、「食品の表示をよく確認して購入する」43%、「季節ごとの行事食や郷土料理を大切にする」24%、「誰かと一緒に食事をする (共食)」20%、「インターネット・SNSで料理を覚える」18%などの順となっている。(図5-10-1)

健全で豊かな食生活のための取組意向を過去との比較で見ると、選択肢を今回調査から変更したため単純に比較はできないが、「食品の表示をよく確認して購入する」が増加している。(図5-10-2)

図5-10-2 健全で豊かな食生活のための取組意向—過去との比較



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査(令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査(平成26年7月調査)」

(注2) 「誰かと一緒に食事をする(共食)」は今回からの選択肢

(注3) 「インターネット・SNSで料理を覚える」は、令和元年と平成26年では「インターネットで情報を収集する」

(注4) \*印の「農作業など生産活動へ参加する」、「産地見学会、工場見学などへ参加する」は令和元年、平成26年の選択肢

(注5) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要



性・年齢別にみると、「栄養に関する知識を増やす」は男性の30代が約6割、女性の18～29歳が6割半ばと多くなっている。「安全な食べ物に関する知識を増やす」は女性の70歳以上で6割近くと多くなっている。「食品の表示をよく確認して購入する」は、男性の70歳以上と女性の60代、70歳以上で5割を超えて多くなっている。「季節ごとの行事食や郷土料理を大切にする」は女性の30代と40代と50代でいずれも3割半ばと多くなっている。

職業別にみると、「栄養に関する知識を増やす」は専門・技術職で、「安全な食べ物に関する知識を増やす」は無職の主婦・主夫とともに6割近くと多くなっている。「食品の表示をよく確認して購入する」は無職の主婦・主夫とその他の無職で5割台となっている。(表5-10-1)

表5-10-1 健全で豊かな食生活のための取組意向－性・年齢別、職業別

		(%)												
	n	栄養に関する知識を増やす	安全な食べ物に関する知識を増やす	食品の表示をよく確認して購入する	季節ごとの行事食や郷土料理を大切にする	誰かと一緒に食事をする(共食)	料理を覚える	インターネット・SNSで覚える	テレビや雑誌・本で料理を覚える	農作業や工場見学などの生産活動に参加する	料理教室へ参加する	その他	特にない	無回答
全体	1,994	50.5	49.6	42.8	23.5	19.5	17.5	10.9	2.8	0.7	1.2	9.4	1.9	
＜性・年齢別＞														
男性(計)	816	50.5	47.8	40.0	17.6	18.8	15.3	8.5	3.2	0.7	1.5	11.5	1.7	
18～29歳	73	53.4	35.6	28.8	13.7	27.4	28.8	13.7	2.7	1.4	-	11.0	-	
30代	99	60.6	35.4	35.4	17.2	21.2	16.2	4.0	8.1	-	3.0	15.2	-	
40代	131	53.4	49.6	29.0	26.0	26.7	21.4	12.2	3.1	1.5	3.1	6.1	0.8	
50代	169	52.1	52.7	37.9	17.8	18.3	18.3	5.9	1.8	1.8	1.8	8.3	0.6	
60代	136	44.9	52.9	40.4	17.6	10.3	14.0	7.4	5.1	-	0.7	16.9	0.7	
70歳以上	208	45.2	49.5	54.3	13.9	15.4	4.8	9.1	1.0	-	0.5	12.5	5.3	
女性(計)	1,106	50.9	51.4	45.6	28.1	20.0	19.6	12.6	2.4	0.7	1.1	7.7	1.0	
18～29歳	99	65.7	35.4	26.3	19.2	30.3	30.3	13.1	1.0	5.1	-	6.1	-	
30代	126	55.6	44.4	38.9	35.7	22.2	30.2	8.7	4.8	1.6	0.8	7.1	-	
40代	195	55.4	48.2	38.5	36.4	25.6	25.1	4.1	1.5	0.5	2.6	7.2	0.5	
50代	212	54.2	52.8	41.5	36.3	18.4	22.6	8.0	5.2	-	1.4	8.0	-	
60代	180	48.3	56.1	53.9	23.9	11.7	16.7	15.6	2.8	-	0.6	9.4	1.7	
70歳以上	292	40.4	57.9	57.2	18.8	18.2	7.5	21.2	0.3	-	0.7	7.5	2.4	
＜職業別＞														
自営・家族従業(計)	200	50.0	49.5	39.5	24.0	18.0	15.0	10.0	1.5	-	1.5	10.5	0.5	
勤め(計)	1,114	54.0	48.6	39.4	25.8	21.1	21.5	8.7	3.9	1.1	1.5	8.6	0.6	
経営・管理職	145	50.3	43.4	33.1	24.8	24.8	16.6	6.2	3.4	2.1	2.1	9.7	-	
専門・技術職	352	57.4	48.0	44.0	27.8	20.5	21.0	8.0	4.8	0.9	2.3	7.1	0.3	
事務職	302	55.6	53.0	39.4	26.2	20.9	26.5	8.9	3.0	1.0	0.3	6.6	-	
労務・技能職	105	46.7	43.8	41.9	14.3	21.0	15.2	10.5	1.9	-	1.0	12.4	3.8	
販売・サービス職	185	54.6	50.8	35.7	27.6	21.6	23.2	10.8	4.9	0.5	1.6	9.2	0.5	
無職の主婦・主夫	366	45.9	57.7	53.0	26.0	19.4	12.3	15.6	1.1	-	0.8	7.1	2.7	
学生	37	56.8	37.8	27.0	16.2	27.0	32.4	8.1	2.7	5.4	-	10.8	-	
その他の無職	196	44.4	45.4	50.0	9.7	10.7	9.7	14.8	0.5	-	0.5	17.9	2.0	

朝食の摂取状況別(問 14 P92) にみると、“週に4日以上食べる”で「栄養に関する知識を増やす」と「安全な食べ物に関する知識を増やす」が5割を超えて多くなっている。

地元や東京の産物の購入意向別(問 18 P111) にみると、「栄養に関する知識を増やす」と「安全な食べ物に関する知識を増やす」が“購入したい(計)”でそれぞれ5割半ばと多くなっている。

「食育」の認知度別(問 21 P127) にみると、“言葉も内容も知っている”でほとんどの項目が高く、特に「季節ごとの行事食や郷土料理を大切にする」が約3割と多くなっている。

食育活動への参加経験の有無別(問 22 P131) にみると、“参加したことがある”でほとんどの項目が高くなっており、特に「季節ごとの行事食や郷土料理を大切にする」が3割半ば、「誰かと一緒に食事をする(共食)」が3割近くと多くなっている。(表5-10-2)

表5-10-2 健全で豊かな食生活のための取組意向－朝食の摂取状況別、地元や東京の産物の購入意向別、「食育」の認知度別、食育活動への参加経験の有無別

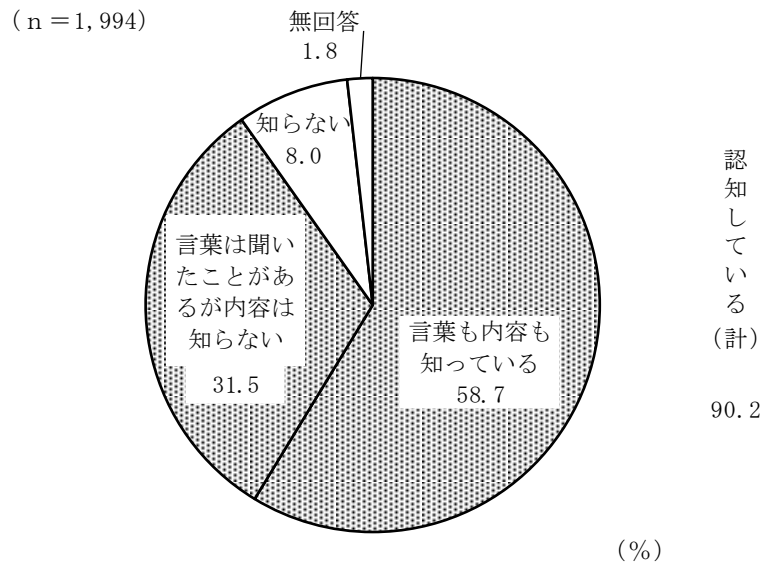
	n	栄養に関する知識を増やす	安全な食べ物に関する知識を増やす	購入する食品の表示をよく確認して	季節ごとの行事食や郷土料理を大切に	誰かと一緒に食事をする(共食)	料理を覚える	インターネット・SNSで	覚える	テレビや雑誌・本で料理を	産活動に参加する	農作業や工場見学などの生	料理教室へ参加する	その他	特にな	無回答
全 体	1,994	50.5	49.6	42.8	23.5	19.5	17.5	10.9	2.8	0.7	1.2	9.4	1.9			
<朝食の摂取状況別>																
食べる(計)	1,714	51.3	51.5	44.3	23.7	19.1	17.2	11.0	2.9	0.7	1.1	9.0	1.5			
週に4日以上食べる	1,550	52.1	52.6	45.1	24.1	18.9	16.8	11.6	2.7	0.7	1.0	8.4	1.4			
週に2~3日程度食べる	164	43.9	40.2	36.6	20.1	21.3	20.7	5.5	4.9	0.6	2.4	14.6	3.0			
ほとんど食べない	252	47.6	38.9	34.5	22.6	23.0	21.0	10.3	2.0	0.8	2.0	12.7	0.4			
<地元や東京の産物の購入意向別>																
購入したい(計)	1,390	54.7	56.2	48.3	26.5	21.0	17.6	11.3	3.2	0.6	1.1	5.3	0.3			
多少割高でも購入したい	199	49.7	60.8	51.8	35.7	22.6	12.6	14.6	2.5	2.0	2.0	3.0	0.5			
同じくらいの価格であれば購入したい	1,191	55.5	55.4	47.7	24.9	20.7	18.4	10.7	3.4	0.4	0.9	5.6	0.3			
購入しない・産地のことは気にしない	361	48.5	33.5	29.4	17.2	16.3	21.3	11.6	1.4	1.1	1.9	16.9	0.6			
<「食育」の認知度別>																
言葉も内容も知っている	1,170	54.1	51.4	45.6	29.7	21.5	19.3	10.2	3.0	0.8	1.5	6.5	0.1			
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	629	49.3	50.9	41.8	17.3	17.0	16.9	13.7	2.5	0.8	0.8	11.3	0.2			
知らない	160	39.4	42.5	36.3	7.5	18.1	10.0	7.5	2.5	-	1.3	25.6	0.6			
<食育活動への参加経験の有無別>																
参加したことがある	632	53.8	52.1	45.1	35.4	26.7	20.7	10.6	5.9	0.9	1.6	3.3	-			
参加したことはない	1,307	50.1	49.7	43.1	18.4	16.4	16.5	11.2	1.4	0.6	1.1	12.7	0.2			

※5-11 「食育」の認知度

図5-11-1

(全員の方に)

問21 「食育」とは、心身の健康の基本となる、食生活に関するさまざまな教育を行うことです。栄養のバランス、調理法、食べ物の安全性に関する知識などを身につけることや、豊かな食生活を楽しむ力を育むことなどを目指します。  
あなたは、「食育」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

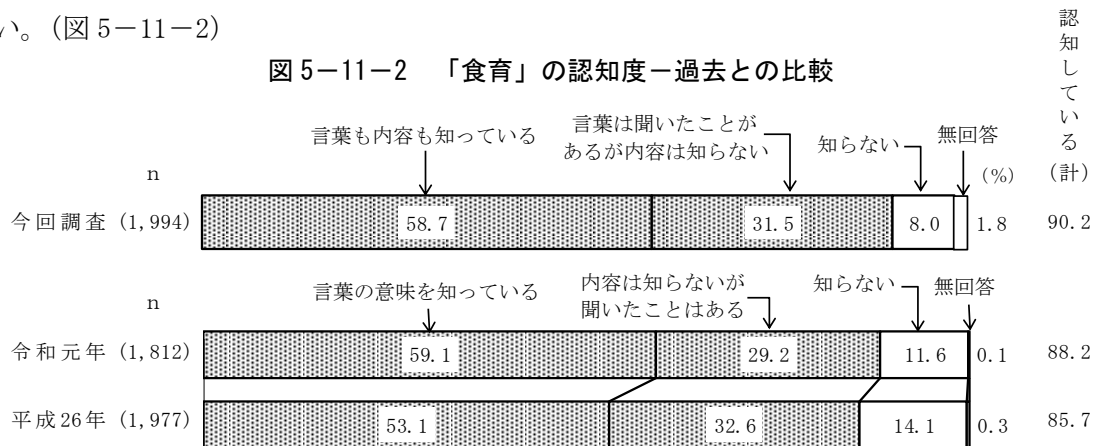


(注) 『認知している (計)』は「言葉も内容も知っている」、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の合計

「食育」という言葉を知っているか聞いたところ、『認知している (計)』は90%、「知らない」は8%となっている。(図5-11-1)

「食育」の認知度を過去との比較でみると、『認知している (計)』は前回令和元年調査から大きな変化はない。(図5-11-2)

図5-11-2 「食育」の認知度—過去との比較



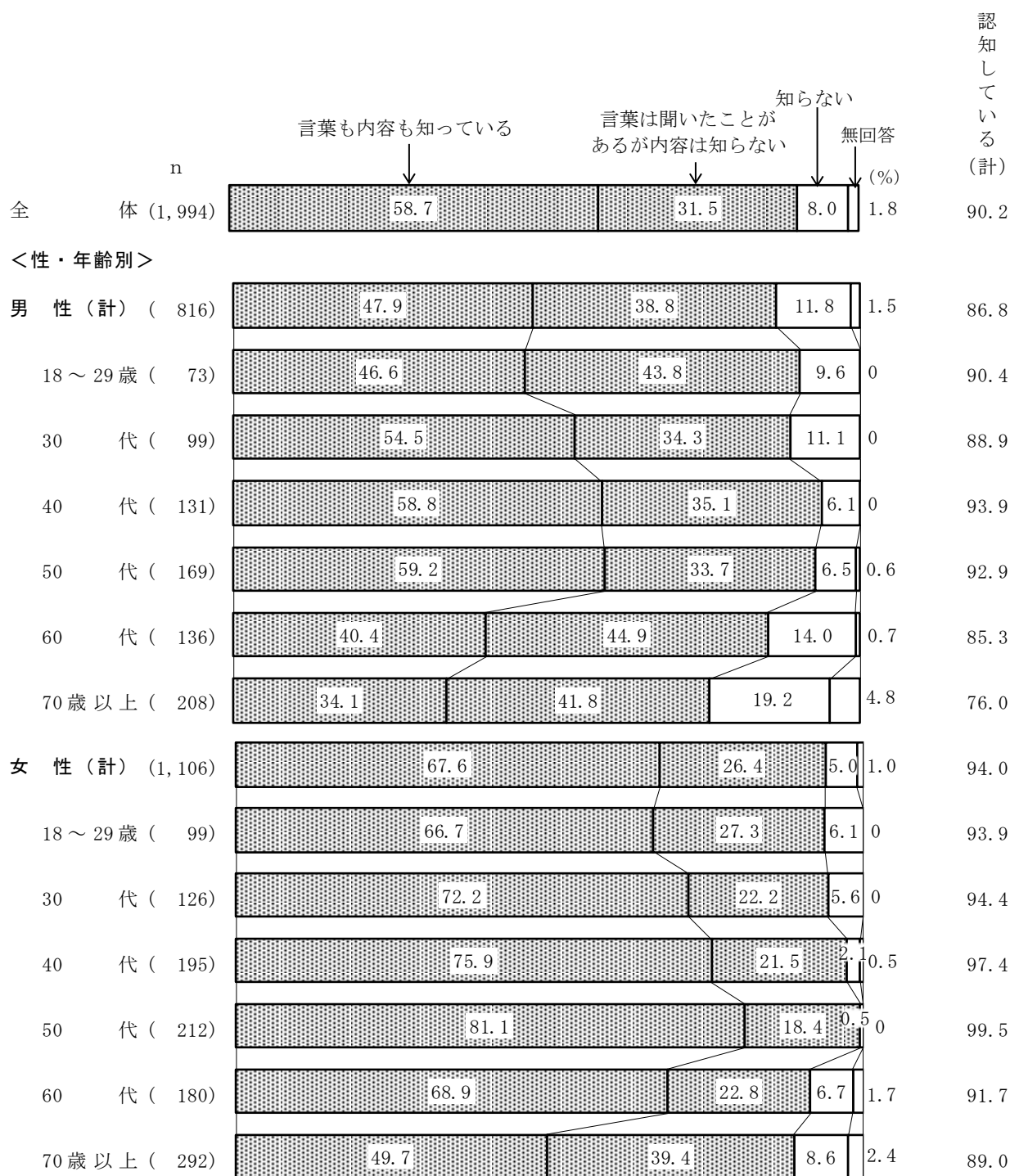
(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査 (令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査 (平成26年7月調査)」

(注2) 『認知している (計)』は、今回調査については「言葉も内容も知っている」、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の合計、令和元年と平成26年については「言葉の意味を知っている」、「内容は知らないが聞いたことはある」の合計

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要

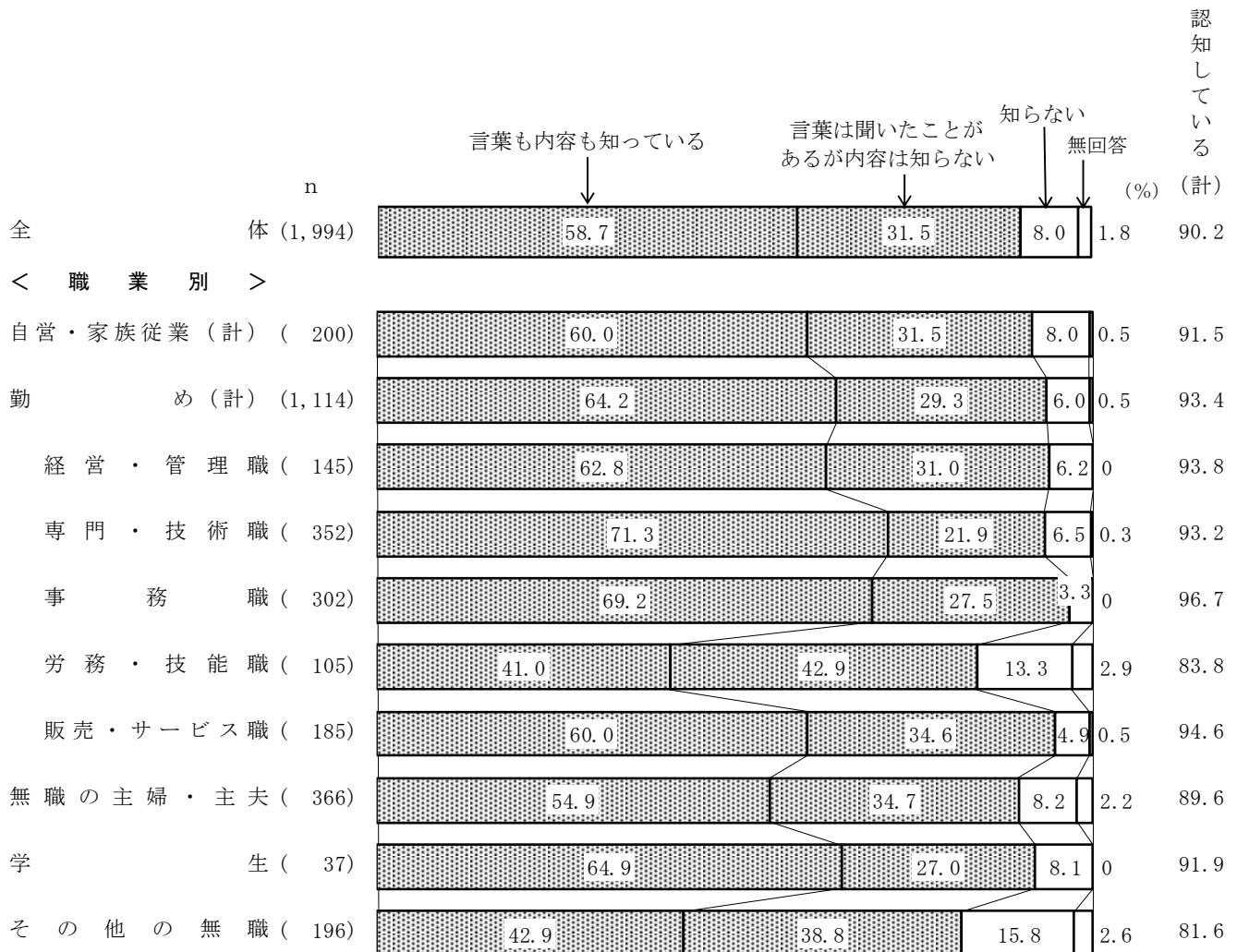
性・年齢別にみると、『認知している（計）』は女性が男性より7ポイント高くなっており、女性の40代と50代では10割近くと多くなっている。一方、「知らない」は男性が女性より7ポイント高くなっており、男性70歳以上で2割近くとなっている。（図5-11-3）

図5-11-3 「食育」の認知度－性・年齢別



職業別にみると、「言葉も内容も知っている」は、専門・技術職と事務職で7割前後と多くなっている。一方、「知らない」はその他の無職で1割半ば、労務・技能職で1割を超えている。(図5-11-4)

図5-11-4 「食育」の認知度－職業別



朝食の摂取状況別(問 14 P92) にみると、大きな違いは見られない。

地元や東京の産物の購入意向別(問 18 P111) にみると、「知らない」は“購入しない・産地のことは気にしない”で1割を超えていた。

食育活動への参加経験の有無別(問 22 P131) にみると、「言葉も内容も知っている」は“参加したことがある”では8割を超えているが、“参加したことはない”では5割に留まる。(図 5-11-5)

図 5-11-5 「食育」の認知度—朝食の摂取状況別、地元や東京の産物の購入意向別、食育活動への参加経験の有無別

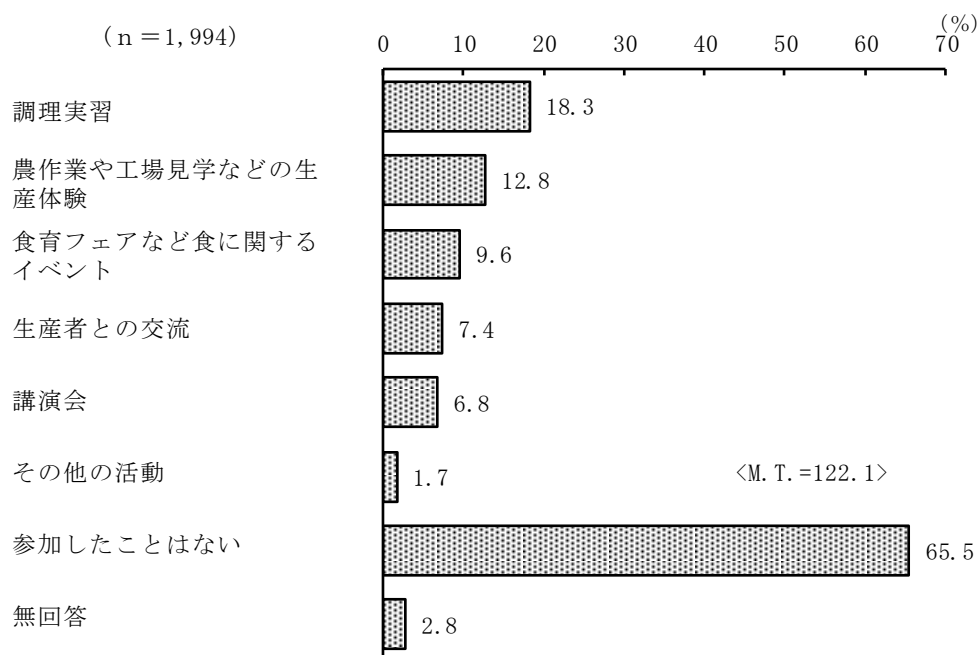
	n	認知している (計)			無回答 (%)	認知している (計)
		言葉も内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	知らない		
全体	(1,994)	58.7	31.5	8.0	1.8	90.2
<b>&lt;朝食の摂取状況別&gt;</b>						
食べる (計)	(1,714)	59.5	31.4	7.8	1.4	90.8
週に4日以上食べる	(1,550)	59.5	31.5	7.7	1.3	91.0
週に2~3日程度食べる	( 164)	58.5	30.5	8.5	2.4	89.0
ほとんど食べない	( 252)	56.0	33.7	9.9	0.4	89.7
<b>&lt;地元や東京の産物の購入意向別&gt;</b>						
購入したい (計)	(1,390)	63.5	30.6	5.7	0.2	94.1
多少割高でも購入したい	( 199)	70.4	24.1	5.5	0	94.5
同じくらいの価格であれば購入したい	(1,191)	62.3	31.7	5.7	0.3	94.0
購入しない・産地のことは気にしない	( 361)	52.6	36.0	11.1	0.3	88.6
<b>&lt;食育活動への参加経験の有無別&gt;</b>						
参加したことがある	( 632)	80.5	17.4	1.9	0.2	97.9
参加したことはない	(1,307)	49.8	39.1	11.1	0	88.9

※5-12 食育活動への参加経験

図 5-12-1

(全員の方に)

問 22 あなたは、次の食育活動に参加したことがありますか。参加したことがあるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも) (M. A.)

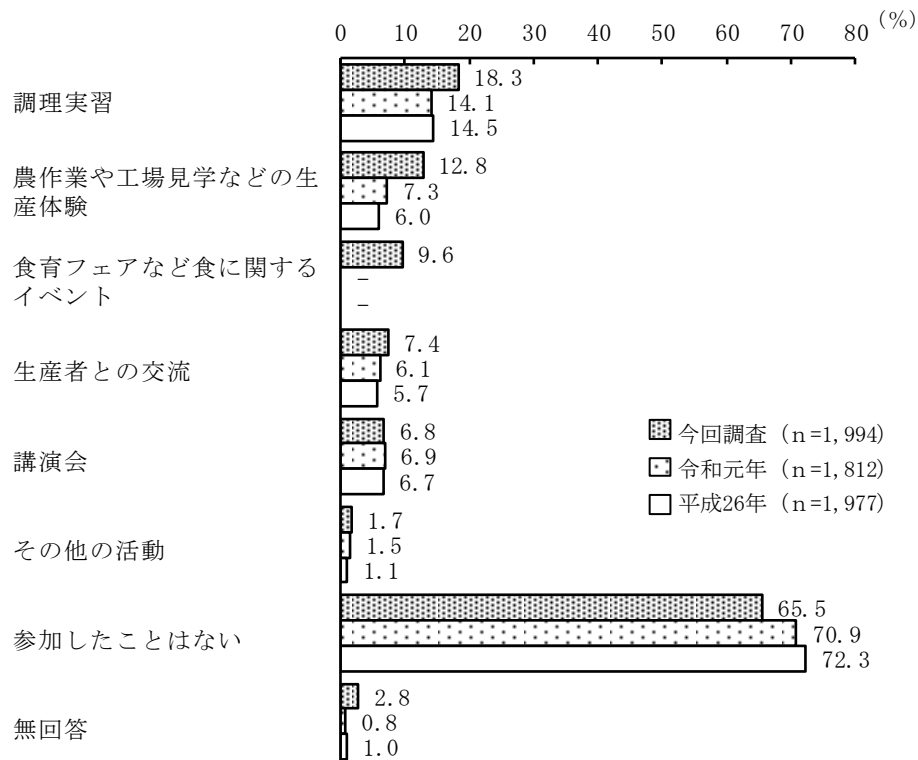


食育活動に参加したことがあるか聞いたところ、参加したことがある食育活動の中では、「調理実習」が 18%で最も多く、次いで「農作業や工場見学などの生産体験」13%、「食育フェアなど食に関するイベント」10%、「生産者との交流」7%、「講演会」7%などの順となっている。

「参加したことはない」は 66%となっている。(図 5-12-1)

食育活動への参加経験を過去との比較でみると、「調理実習」が令和元年調査よりも増え、「参加したことはない」が減っている。(図5-12-2)

図5-12-2 食育活動への参加経験—過去との比較



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査(令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査(平成26年7月調査)」

(注2) 「食育フェアなど食に関するイベント」は今回からの選択肢

(注3) 「農作業や工場見学などの生産体験」は令和元年と平成26年では「農作業等の生産体験」、「参加したことはない」は令和元年と平成26年では「食育活動に参加したことはない」

(注4) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要



性・年齢別にみると、「調理実習」は女性が男性より16ポイント高くなっており、女性の18～29歳で5割近くと多くなっている。「農作業や工場見学などの生産体験」は女性の30代で2割半ば、女性の40代で2割を超えて多くなっている。一方、「参加したことはない」は男性が女性より17ポイント高くなっており、男性の30代以上ではいずれも7割を超えている。(表5-12-1)

表5-12-1 食育活動への参加経験－性・年齢別

		(%)								
		n	調理実習	農作業や工場見学などの生産体験	食育フェアなど食に関するイベント	生産者との交流	講演会	その他の活動	参加したことはない	無回答
全	体	1,994	18.3	12.8	9.6	7.4	6.8	1.7	65.5	2.8
< 性・年齢別 >										
男	性 (計)	816	9.1	9.2	7.2	6.3	4.2	1.0	76.0	2.2
18	～ 29 歳	73	24.7	13.7	4.1	8.2	6.8	-	68.5	-
30	代	99	9.1	14.1	9.1	7.1	4.0	2.0	76.8	-
40	代	131	11.5	14.5	14.5	6.9	5.3	0.8	71.0	-
50	代	169	7.1	10.1	6.5	4.1	3.6	0.6	75.7	1.8
60	代	136	6.6	7.4	5.9	8.8	5.9	1.5	77.2	0.7
70	歳以上	208	5.3	2.4	4.3	4.8	1.9	1.0	80.8	6.7
女	性 (計)	1,106	25.3	15.4	11.5	8.4	8.8	2.1	59.0	2.1
18	～ 29 歳	99	48.5	18.2	6.1	3.0	4.0	-	45.5	-
30	代	126	29.4	26.2	10.3	11.1	4.8	5.6	50.8	-
40	代	195	30.8	20.5	16.4	9.2	11.8	3.1	55.4	1.0
50	代	212	28.3	16.5	17.0	9.9	10.8	1.4	56.1	-
60	代	180	13.9	11.1	10.0	5.6	8.3	2.2	70.0	2.8
70	歳以上	292	17.1	8.2	7.5	9.2	8.9	1.0	64.4	5.5

職業別にみると、「調理実習」は学生で5割半ば、販売・サービス職で3割近く、専門・技術職で2割を超えて多くなっている。「農作業や工場見学などの生産体験」は販売・サービス職で約2割、事務職で2割近くと多くなっている。一方、「参加したことはない」は労務・技能職で8割を超え、その他無職で7割半ばと多くなっている。

「食育」の認知度別(問21 P127)にみると、「言葉も内容も知っている」でほとんどの項目が高く、「調理実習」は2割半ば、「農作業や工場見学などの生産体験」と「食育フェアなど食に関するイベント」、「生産者との交流」、「講演会」はいずれも1割を超えている。(表5-12-2)

表5-12-2 食育活動への参加経験－職業別、「食育」の認知度別

		(%)								
	n	調理実習	生産体験 農作業や工場見学などの生	イベント 食育フェアなど食に関する	生産者との交流	講演会	その他の活動	参加したことはない	無回答	
全体	1,994	18.3	12.8	9.6	7.4	6.8	1.7	65.5	2.8	
< 職業別 >										
自営・家族従業(計)	200	15.0	12.0	10.0	9.0	9.0	2.0	66.0	0.5	
勤め(計)	1,114	19.9	15.0	11.3	7.7	6.2	2.1	65.6	1.3	
経営・管理職	145	11.0	13.1	9.7	9.7	4.1	-	75.2	0.7	
専門・技術職	352	23.3	13.6	9.4	7.4	7.7	4.5	62.5	0.9	
事務職	302	21.2	18.2	15.9	9.9	7.6	1.0	62.3	-	
労務・技能職	105	7.6	3.8	5.7	1.9	-	-	81.9	4.8	
販売・サービス職	185	28.1	20.0	12.4	7.0	6.5	1.6	59.5	1.6	
無職の主婦・主夫	366	15.6	11.2	7.9	7.1	8.2	1.4	65.8	3.0	
学生	37	54.1	18.9	2.7	5.4	8.1	-	40.5	-	
その他の無職	196	12.8	5.6	5.6	5.6	6.6	0.5	74.0	5.6	
< 「食育」の認知度別 >										
言葉も内容も知っている	1,170	24.5	17.8	13.7	10.3	10.1	2.6	55.6	0.9	
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	629	11.1	6.7	4.3	4.0	2.4	0.2	81.2	1.3	
知らない	160	3.8	2.5	3.1	0.6	1.9	0.6	90.6	1.9	

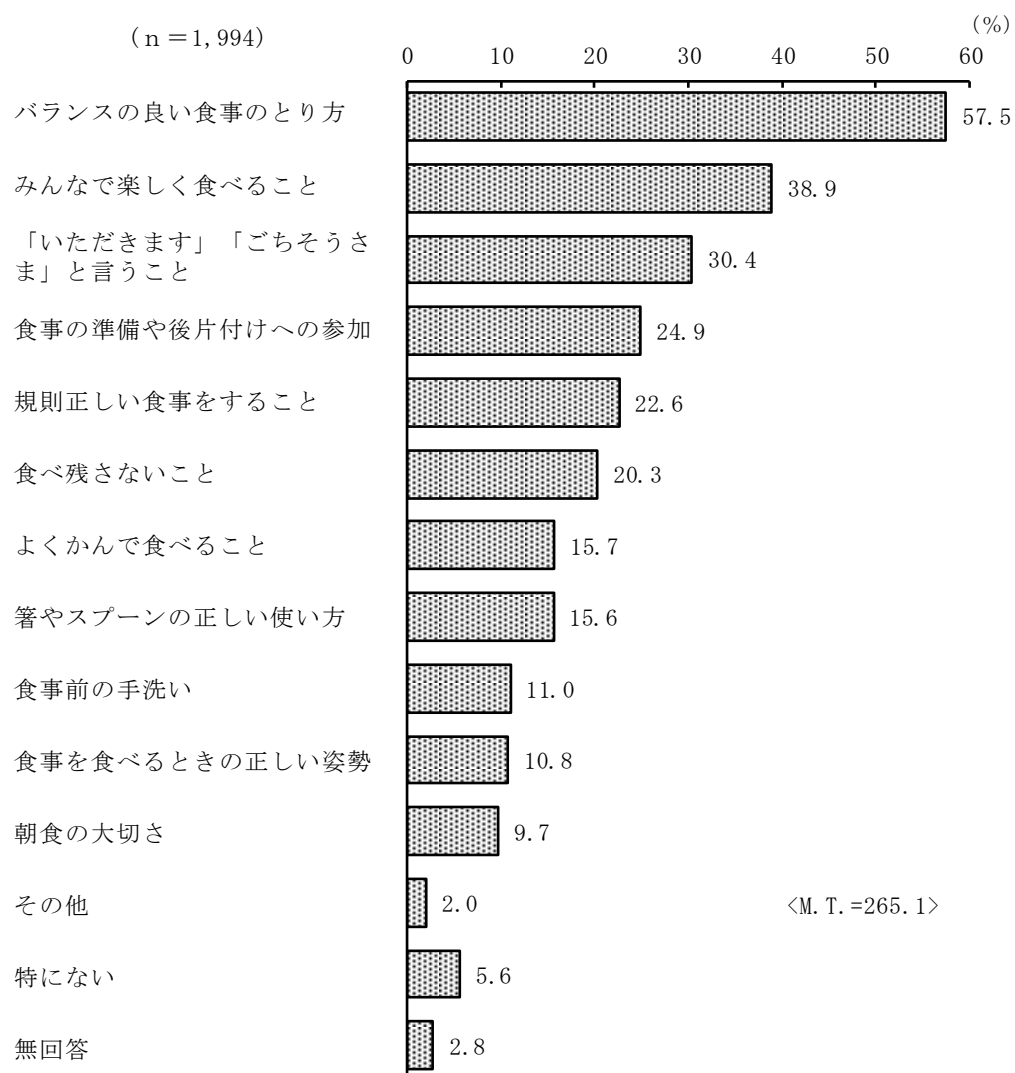
## 6 学校、地域での食育

### ※6-1 保育園・幼稚園・小学校及び地域に望む取組

図 6-1-1

(全員の方に)

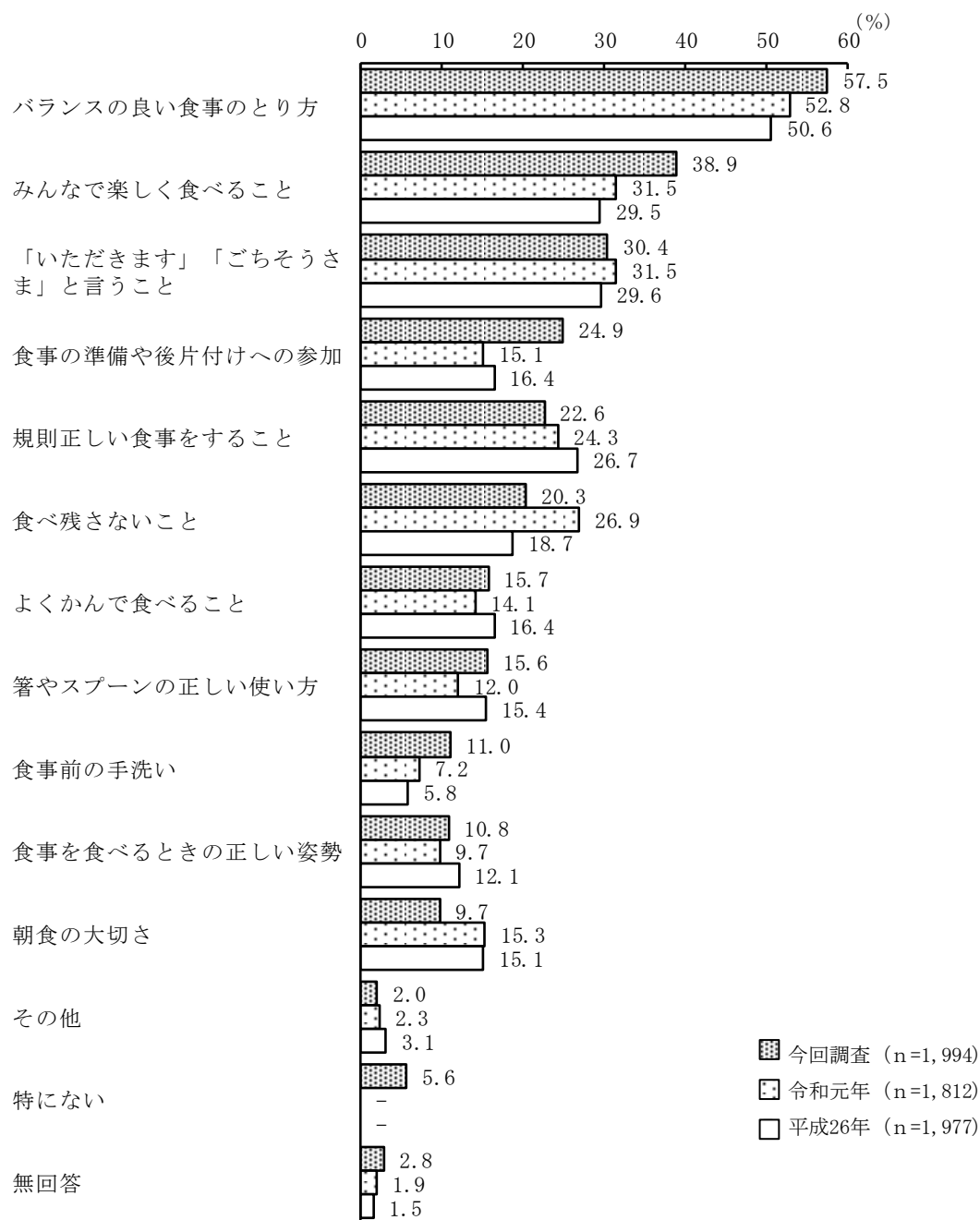
問 23 保育園や幼稚園、小学校の給食や地域で行う食育において、あなたが力を入れてほしいと思うことはなんですか。次の中から3つまでお選びください。(〇は3つまで) (3M. A.)



保育園・幼稚園・小学校及び地域で行う食育に望む取組について聞いたところ、「バランスの良い食事のとり方」が58%で最も多く、次いで「みんなで楽しく食べること」39%、「『いただきます』『ごちそうさま』と言うこと」30%、「食事の準備や後片付けへの参加」25%、「規則正しい食事をする」23%、「食べ残さないこと」20%などの順となっている。(図 6-1-1)

保育園・幼稚園・小学校及び地域に望む取組を過去との比較で見ると、選択肢を今回調査から変更したため単純に比較はできないが、「バランスの良い食事のとり方」が最も多いのは変わりなく、「みんなで楽しく食べること」は令和元年と比較すると増加している。(図6-1-2)

図6-1-2 保育園・幼稚園・小学校及び地域に望む取組－過去との比較



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査(令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査(平成26年7月調査)」

(注2) 「特になし」は今回からの選択肢

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

性・年齢別にみると、「バランスの良い食事のとり方」は女性の方が男性より6ポイント高く、「みんなで楽しく食べることも」女性の方が男性より5ポイント高い。「食べ残さないこと」は男性の18～29歳で3割半ばと多くなっている。

職業別にみると、勤め(計)は「バランスの良い食事のとり方」が約6割、「みんなで楽しく食べること」が約4割と多くなっている。「『いただきます』『ごちそうさま』とすること」は販売・サービス職で4割を超えて多くなっている。(表6-1-1)

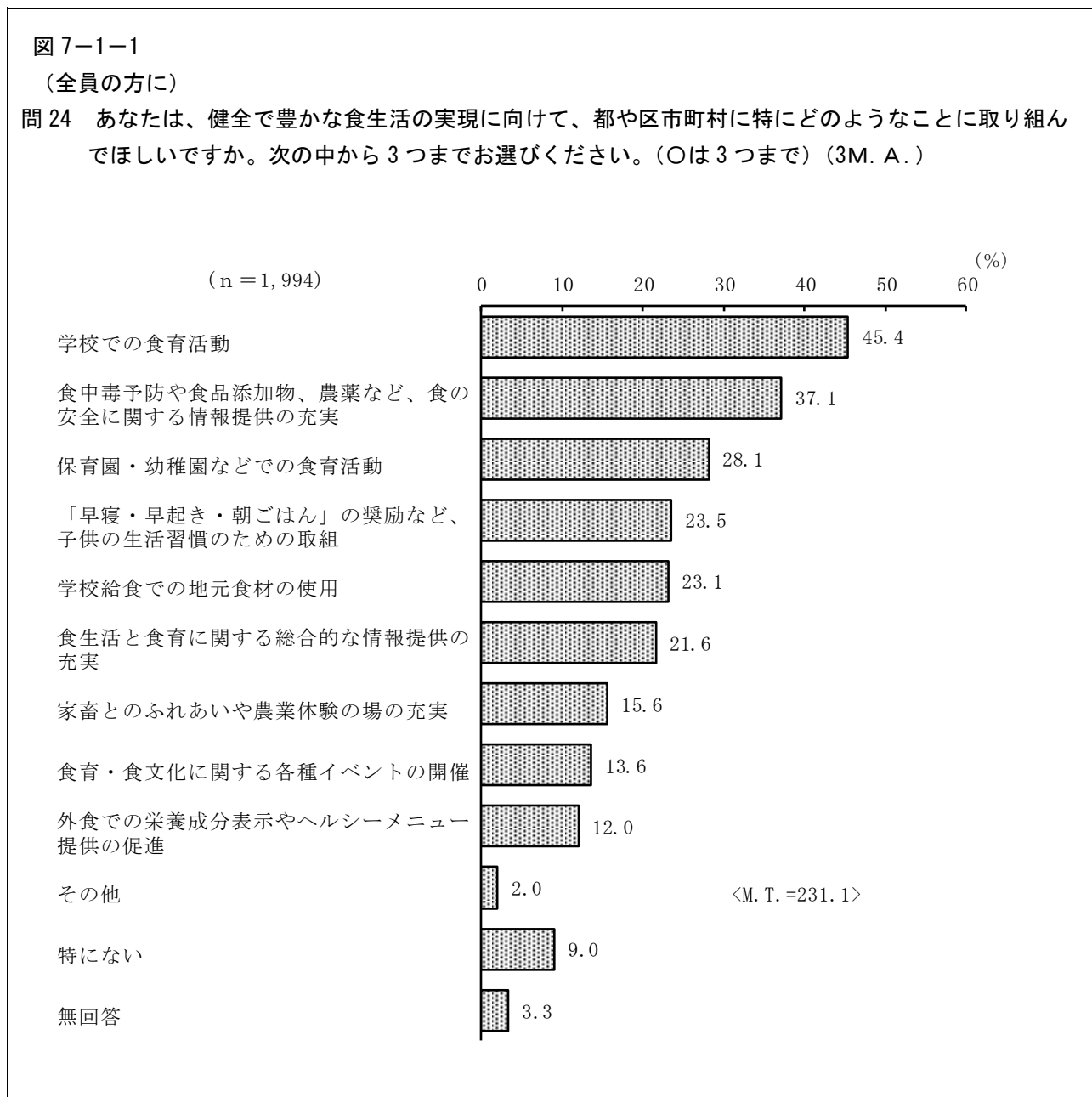
表6-1-1 保育園・幼稚園・小学校及び地域に望む取組一性・年齢別、職業別

		(%)														
	n	バランスの良い食事のとり方	みんなで楽しく食べること	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	「いただきます」「ごちそうさま」ということ	
全 体	1,994	57.5	38.9	30.4	24.9	22.6	20.3	15.7	15.6	11.0	10.8	9.7	2.0	5.6	2.8	
<b>&lt; 性・年齢別 &gt;</b>																
男 性 (計)	816	55.8	36.8	31.5	23.2	25.5	23.9	14.5	15.3	11.4	11.0	7.8	2.0	7.2	1.1	
18 ～ 29 歳	73	58.9	32.9	38.4	23.3	30.1	35.6	8.2	15.1	8.2	6.8	5.5	1.4	4.1	-	
30 代	99	60.6	35.4	32.3	21.2	27.3	25.3	21.2	12.1	6.1	15.2	6.1	3.0	4.0	-	
40 代	131	61.1	35.9	38.2	26.0	21.4	22.1	14.5	18.3	15.3	15.3	7.6	3.8	2.3	-	
50 代	169	63.3	36.1	32.0	25.4	23.1	26.0	12.4	17.2	6.5	10.1	4.7	3.0	6.5	-	
60 代	136	44.9	41.2	29.4	30.9	23.5	22.8	14.7	14.7	12.5	7.4	6.6	1.5	11.0	-	
70 歳 以 上	208	50.0	37.0	25.5	15.4	28.8	19.2	14.9	13.9	15.9	11.1	13.0	-	11.1	4.3	
女 性 (計)	1,106	61.4	42.0	30.7	27.0	21.2	18.2	17.0	16.5	11.0	11.1	11.6	2.0	4.4	0.8	
18 ～ 29 歳	99	57.6	27.3	38.4	25.3	30.3	23.2	17.2	29.3	7.1	9.1	7.1	1.0	4.0	-	
30 代	126	57.1	42.1	34.1	30.2	17.5	15.9	23.0	15.9	12.7	15.9	11.1	2.4	3.2	-	
40 代	195	65.1	46.7	29.2	32.8	18.5	17.4	19.0	15.4	7.2	14.4	4.6	3.1	4.1	-	
50 代	212	61.3	44.3	39.6	31.1	19.3	18.9	11.3	17.5	9.4	9.0	9.9	3.3	4.2	-	
60 代	180	63.3	46.1	26.1	27.8	22.8	20.0	13.9	15.0	13.3	7.8	13.9	1.7	3.3	-	
70 歳 以 上	292	61.0	40.1	23.3	18.8	22.3	16.1	19.2	13.4	14.0	11.3	17.8	0.7	6.2	3.1	
<b>&lt; 職 業 別 &gt;</b>																
自営・家族従業(計)	200	59.0	39.0	35.0	28.0	21.0	21.5	14.0	17.5	7.5	15.5	8.0	3.0	4.5	-	
勤 め (計)	1,114	60.2	41.0	33.8	26.8	23.4	20.1	16.1	16.5	11.0	10.8	8.8	2.4	4.2	0.2	
経 営 ・ 管 理 職	145	58.6	42.8	33.8	26.2	16.6	27.6	14.5	17.2	10.3	10.3	5.5	1.4	6.9	-	
専 門 ・ 技 術 職	352	59.1	42.6	33.5	23.9	25.6	20.7	14.8	16.2	11.4	9.7	9.1	4.3	3.7	-	
事 務 職	302	62.9	41.1	31.8	31.8	21.5	16.6	18.9	16.9	9.3	11.9	7.3	2.3	3.6	-	
労 務 ・ 技 能 職	105	57.1	38.1	25.7	22.9	33.3	22.9	13.3	16.2	11.4	11.4	16.2	1.9	2.9	1.9	
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	185	62.7	37.3	42.2	28.1	21.6	18.4	16.2	15.1	14.6	11.9	10.3	0.5	3.8	-	
無職の主婦・主夫	366	60.4	42.6	25.4	23.2	21.9	19.9	15.8	12.8	12.6	11.5	13.9	0.5	7.7	1.4	
学 生	37	48.6	29.7	29.7	29.7	35.1	35.1	5.4	21.6	2.7	10.8	5.4	2.7	8.1	-	
そ の 他 の 無 職	196	51.0	30.6	24.5	19.9	24.5	20.9	18.4	15.3	13.8	7.7	10.7	1.5	12.2	2.0	



## 7 行政への要望

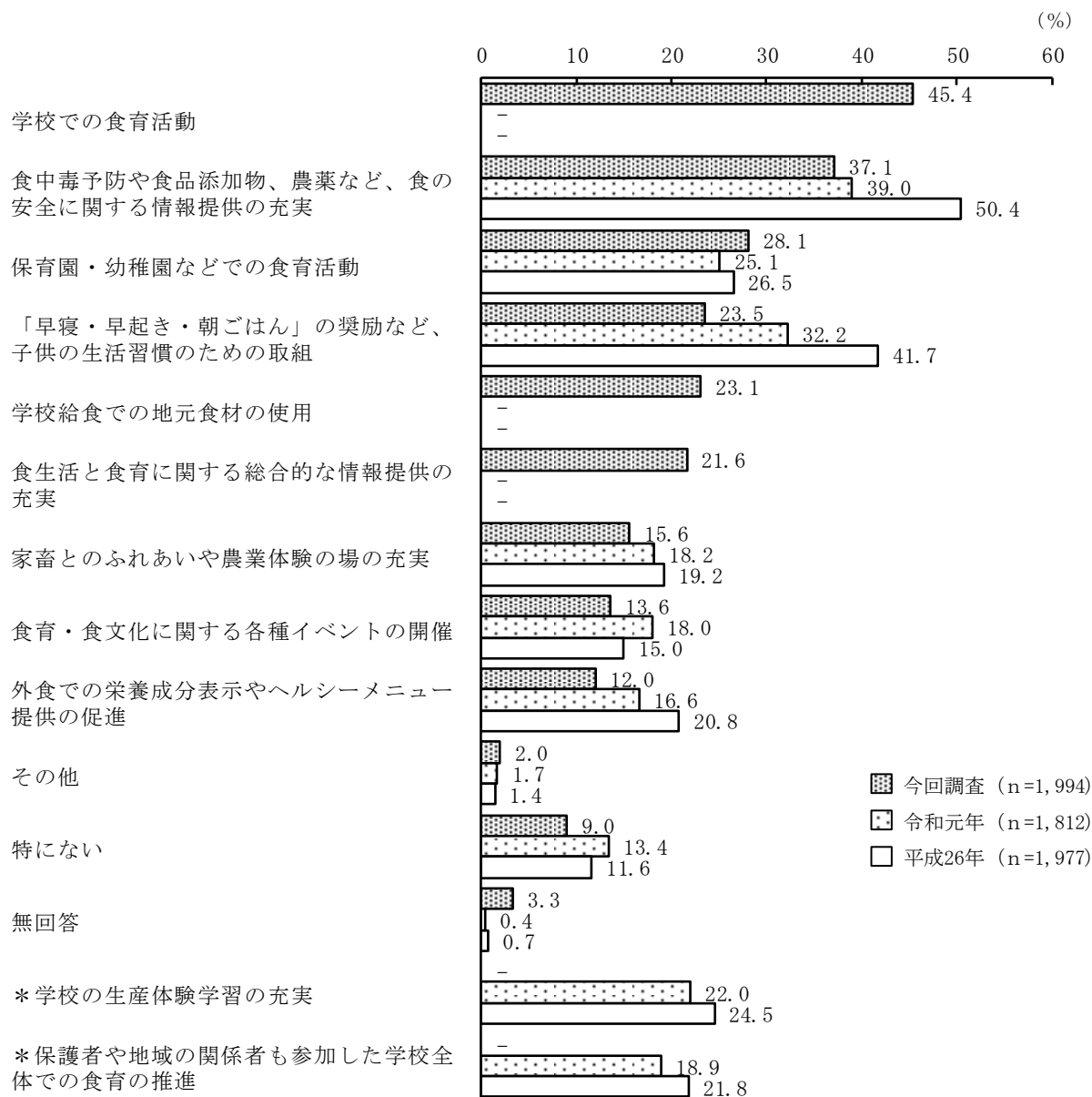
### ※7-1 都や区市町村が重点的に推進すべき取組



食育を推進するために、都や区市町村にどのようなことに重点的に取り組んでほしいか聞いたところ、「学校での食育活動」が45%で最も多く、次いで「食中毒予防や食品添加物、農薬など、食の安全に関する情報提供の充実」37%、「保育園・幼稚園などでの食育活動」28%、「『早寝・早起き・朝ごはん』の奨励など、子供の生活習慣のための取組」24%、「学校給食での地元食材の使用」23%、「食生活と食育に関する総合的な情報提供の充実」22%などの順となっている。(図 7-1-1)

都や区市町村が重点的に推進すべき取組を過去との比較で見ると、今回調査から追加した「学校での食育活動」と「保育園・幼稚園などでの食育活動」を選択した人が多かったため、過去調査と共通の選択肢はいずれも比率が少なくなっている。(図7-1-2)

図7-1-2 都や区市町村が重点的に推進すべき取組—過去との比較



(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査 (令和元年9月調査)」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査 (平成26年7月調査)」

(注2) 「学校での食育活動」、「食生活と食育に関する総合的な情報提供の充実」は今回調査からの選択肢

(注3) 「保育園・幼稚園での食育活動」は令和元年と平成26年では「幼稚園・保育園などでの親子食育教室の開催」、「外食での栄養成分表示やヘルシーメニュー提供の促進」は令和元年と平成26年では「外食産業での栄養成分表示や食事バランスガイドによる表示、ヘルシーメニュー提供の促進」

(注4) \*印の「学校の生産体験学習の充実」「保護者や地域の関係者も参加した学校全体での食育の推進」は令和元年、平成26年の選択肢

(注5) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、今回調査は郵送法 (インターネット回答併用) で実施したため留意が必要



性・年齢別にみると、「学校での食育活動」は男女ともに70歳以上で3割半ばと少なくなっている。「食中毒予防や食品添加物、農薬など、食の安全に関する情報提供の充実」は女性の60代で5割を超えて、女性の70歳以上で5割近くと多くなっている。「保育園・幼稚園などでの食育活動」は女性の18～29歳で5割近くと多くなっている。

職業別にみると、「学校での食育活動」は事務職で5割を超えて、労務・技能職で5割半ばと多くなっている。「食中毒予防や食品添加物、農薬など、食の安全に関する情報提供の充実」は無職の主婦・主夫で5割近くと多くなっている。「保育園・幼稚園などでの食育活動」は専門・技術職で4割近くと多くなっている。(表7-1-1)

表7-1-1 都や区市町村が重点的に推進すべき取組一性・年齢別、職業別

		(%)												
	n	学校での食育活動	農薬など、食の安全に関する情報提供の充実	食中毒予防や食品添加物、	保育園・幼稚園などでの食育活動	「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励など、子供の生活習慣のための取組	学校給食での地元食材の使用	食生活と食育に関する総合的な情報提供の充実	家畜とのふれあいや農業体験の場の充実	食育・食文化に関する各種イベントの開催	外食での栄養成分表示やヘルシーメニュー提供の促進	その他	特になし	無回答
全 体	1,994	45.4	37.1	28.1	23.5	23.1	21.6	15.6	13.6	12.0	2.0	9.0	3.3	
<b>&lt; 性・年齢別 &gt;</b>														
男 性 (計)	816	47.9	32.8	28.4	24.8	18.8	22.8	14.1	12.4	11.0	2.1	11.0	1.2	
18 ～ 29 歳	73	38.4	42.5	28.8	27.4	24.7	6.8	13.7	9.6	15.1	-	11.0	-	
30 代	99	53.5	24.2	38.4	24.2	13.1	20.2	24.2	9.1	14.1	4.0	11.1	-	
40 代	131	55.7	30.5	31.3	20.6	27.5	21.4	24.4	22.9	11.5	4.6	5.3	-	
50 代	169	53.3	30.2	29.0	18.3	16.0	27.8	10.1	10.7	15.4	3.0	10.7	-	
60 代	136	55.1	29.4	28.7	29.4	16.9	21.3	9.6	11.8	7.4	0.7	14.0	-	
70 歳 以上	208	34.6	39.4	21.2	28.8	17.3	27.4	9.1	10.1	6.7	0.5	13.0	4.8	
女 性 (計)	1,106	45.4	41.4	29.1	23.7	27.1	21.3	17.2	15.0	13.1	2.0	7.7	1.4	
18 ～ 29 歳	99	49.5	31.3	47.5	20.2	23.2	18.2	17.2	10.1	21.2	1.0	9.1	-	
30 代	126	50.0	40.5	38.1	16.7	27.0	19.8	33.3	15.9	7.9	3.2	7.9	-	
40 代	195	53.8	30.3	27.7	14.4	29.2	21.5	26.7	17.9	15.9	3.1	7.2	0.5	
50 代	212	48.6	40.6	30.7	18.4	30.7	24.1	15.6	20.3	13.7	1.4	6.1	-	
60 代	180	44.4	51.1	30.0	28.3	28.9	21.1	10.0	13.9	14.4	0.6	6.7	-	
70 歳 以上	292	34.6	47.3	18.2	35.3	23.6	21.2	9.2	11.3	9.2	2.4	9.2	4.8	
<b>&lt; 職 業 別 &gt;</b>														
自営・家族従業(計)	200	53.0	35.0	30.5	20.0	21.5	20.0	11.0	8.5	10.0	5.5	9.5	-	
勤 め (計)	1,114	50.2	34.0	31.9	22.2	25.5	21.6	19.8	16.0	12.4	1.8	8.4	0.4	
経営・管理職	145	52.4	24.8	31.7	19.3	20.0	22.8	15.9	13.1	13.8	2.8	11.7	-	
専門・技術職	352	49.1	33.8	38.1	21.9	29.0	21.6	20.7	15.1	12.8	2.0	6.3	-	
事務職	302	52.6	37.1	29.1	19.9	25.5	21.2	20.9	19.2	12.9	1.0	6.6	0.3	
労務・技能職	105	55.2	28.6	25.7	31.4	21.9	17.1	12.4	13.3	10.5	2.9	11.4	2.9	
販売・サービス職	185	45.9	38.4	27.6	23.2	25.4	25.4	21.1	17.8	12.4	1.1	10.3	-	
無職の主婦・主夫	366	40.4	47.8	24.6	30.1	21.6	23.2	11.2	13.4	13.1	2.2	8.5	1.4	
学 生	37	40.5	45.9	29.7	27.0	32.4	13.5	10.8	5.4	24.3	2.7	8.1	-	
そ の 他 の 無 職	196	35.2	41.8	18.9	25.0	18.4	27.6	11.2	11.2	10.2	-	14.8	3.6	

朝食の摂取状況別(問 14 P92) にみると、『早寝・早起き・朝ごはん』の奨励など、子供の生活習慣のための取組は“週に4日以上食べる”で3割近くと多くなっている。

地元や東京の産物の購入意向別(問 18 P111) にみると、「学校給食での地元食材の使用」は“多少割高でも購入したい”で約4割と多くなっている。

「食育」の認知度別(問 21 P127) にみると、“言葉も内容も知っている”で、「学校での食育活動」が5割を超えて、「保育園・幼稚園などでの食育活動」が3割を超えて、「学校給食での地元食材の使用」3割近くと多くなっている。

食育活動への参加経験の有無別(問 22 P131) にみると、“参加したことがある”で、「保育園・幼稚園などでの食育活動」が3割を超えて、「学校給食での地元食材の使用」が3割近く、「家畜とのふれあいや農業体験の場の充実」が2割を超えて多くなっている。(表7-1-2)

表7-1-2 都や区市町村が重点的に推進すべき取組—朝食の摂取状況別、地元や東京の産物の購入意向別、「食育」の認知度別、食育活動への参加経験の有無別

(%)

	n	学校での食育活動	食中毒予防や食品添加物、農薬など、食の安全に関する情報提供の充実	保育園・幼稚園などでの食育活動	「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励など、子供の生活習慣のための取組	学校給食での地元食材の使用	食生活と食育に関する総合的な情報提供の充実	家畜とのふれあいや農業体験の場の充実	食育・食文化に関する各種イベントの開催	食育・食文化に関する各種イベントの開催	外食での栄養成分表示やヘルシーメニュー提供の促進	その他	特になし	無回答
全 体	1,994	45.4	37.1	28.1	23.5	23.1	21.6	15.6	13.6	12.0	2.0	9.0	3.3	
<b>&lt;朝食の摂取状況別&gt;</b>														
食べる(計)	1,714	45.8	37.8	27.4	25.1	23.3	21.1	15.5	13.5	12.1	2.0	8.7	3.0	
週に4日以上食べる	1,550	45.5	38.1	26.9	26.9	23.9	21.3	14.9	13.6	12.1	1.7	8.5	3.0	
週に2~3日程度食べる	164	48.2	35.4	32.3	8.5	18.3	19.5	21.3	12.2	12.2	4.9	11.0	3.0	
ほとんど食べない	252	45.2	34.5	33.3	13.5	22.6	24.2	17.5	15.5	13.1	2.0	11.1	1.2	
<b>&lt;地元や東京の産物の購入意向別&gt;</b>														
購入したい(計)	1,390	47.4	39.6	29.4	25.2	28.1	23.1	15.8	15.3	13.0	1.9	5.3	2.2	
多少割高でも購入したい	199	44.2	36.2	31.7	24.1	39.2	21.1	14.1	15.6	9.0	4.5	4.5	4.5	
同じくらいの価格であれば購入したい	1,191	47.9	40.1	29.1	25.4	26.3	23.4	16.0	15.2	13.7	1.5	5.5	1.8	
購入しない・産地のことは気にしない	361	44.0	32.1	25.5	20.8	12.5	19.9	16.3	9.7	10.5	3.0	16.9	1.7	
<b>&lt;「食育」の認知度別&gt;</b>														
言葉も内容も知っている	1,170	50.9	36.9	32.2	24.1	27.0	22.5	17.5	15.1	13.0	2.7	4.9	1.6	
言葉は聞いたことがあるが内容は知らない	629	41.7	39.0	24.8	23.4	20.0	21.6	14.3	12.6	11.1	1.0	11.4	3.3	
知らない	160	25.0	31.9	13.1	20.0	10.6	16.3	8.1	9.4	10.0	1.3	30.0	6.3	
<b>&lt;食育活動への参加経験の有無別&gt;</b>														
参加したことがある	632	48.6	38.6	32.3	25.2	28.8	23.9	22.8	19.1	13.4	2.7	2.4	2.4	
参加したことはない	1,307	45.1	36.5	26.5	22.7	21.1	20.7	12.5	11.5	11.6	1.8	12.3	2.3	

## 調査票及び単純集計結果



# 東京都『都民生活に関する世論調査』調査票

## 【暮らし】

(全員の方に)

問1 さっそくですが、お宅さまの暮らしは、去年の今ごろと比べて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |        |       |      |   |       |         |
|------|---|--------|-------|------|---|-------|---------|
| 3.9  | 1 | 楽になった  | → 問2へ | 46.6 | 3 | 変わらない | } → 問2へ |
| 46.4 | 2 | 苦しくなった |       | 2.6  | 4 | わからない |         |
|      |   |        |       | 0.5  |   | 無回答   |         |

(問1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

問1-1 暮らしが苦しくなったのはなぜでしょうか。次の中から当てはまるものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも) <n = 926>

- |      |    |                          |
|------|----|--------------------------|
| 23.9 | 1  | 営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った  |
| 12.3 | 2  | 失業、退職、病気などで働き手が減った       |
| 9.5  | 3  | 利率の低下などにより預貯金が目減りした      |
| 72.1 | 4  | 家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた |
| 15.6 | 5  | 結婚、出産、病気など特別の出費があった      |
| 15.7 | 6  | 教育費が増えた                  |
| 17.9 | 7  | 家や自動車、家電などの支出が増えた        |
| 38.0 | 8  | 税金や保険料の支払いが増えた           |
| 2.8  | 9  | 営業経費が増えた                 |
| 6.0  | 10 | その他(具体的に )               |
| 0.5  | 11 | 特に理由はない、わからない            |
| 0.2  |    | 無回答                      |
- M. T. = 214.4

(全員の方に)

問2 お宅さまの暮らしは、次のうちどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけお選びください。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |                |      |   |                  |
|------|---|----------------|------|---|------------------|
| 6.2  | 1 | 今の暮らしで十分余裕がある  | 39.0 | 3 | 今の暮らしではまだまだ余裕がない |
| 44.7 | 2 | 今の暮らしであればまあまあだ | 9.3  | 4 | 今の暮らしではとてもやりきれない |
|      |   |                | 0.8  |   | 無回答              |

(全員の方に)

問3 お宅さまの生活程度は、世間一般からみて、次のうちどれに入りますか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |     |      |   |     |      |   |       |
|------|---|-----|------|---|-----|------|---|-------|
| 1.7  | 1 | 上   | 36.2 | 3 | 中の中 | 10.7 | 5 | 下     |
| 17.7 | 2 | 中の上 | 27.9 | 4 | 中の下 | 5.4  | 6 | わからない |
|      |   |     |      |   |     | 0.4  |   | 無回答   |

(全員の方向に)

問4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますが、苦しくなると思いますが。それとも変わらないと思いませんか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |         |         |      |   |          |         |
|------|---|---------|---------|------|---|----------|---------|
| 0.7  | 1 | かなり楽になる | } → 問5へ | 37.2 | 4 | やや苦しくなる  | } → 問5へ |
| 2.8  | 2 | やや楽になる  |         | 13.5 | 5 | かなり苦しくなる |         |
| 40.1 | 3 | 変わらない   |         | 5.3  | 6 | わからない    | → 問5へ   |
|      |   |         |         | 0.5  |   | 無回答      |         |

(問4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

問4-1 では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。次の中から当てはまるものをいくつかお選びください。(〇はいくつでも) <n = 1,011>

- |      |   |                     |      |    |            |               |
|------|---|---------------------|------|----|------------|---------------|
| 57.9 | 1 | 食費                  | 19.8 | 10 | 保健、医療費     |               |
| 26.5 | 2 | 嗜好品費(酒、タバコなど)       | 31.3 | 11 | 理・美容、化粧品費  |               |
| 35.5 | 3 | 住居費(光熱水費を含む)        | 37.9 | 12 | 趣味、教養・娯楽費  |               |
| 50.8 | 4 | 被服費(身の回り品を含む)       | 36.7 | 13 | 旅行         |               |
| 25.4 | 5 | 装飾品費(宝石、貴金属類など)     | 51.7 | 14 | 外食費        |               |
| 28.0 | 6 | 家具、家電製品、車などの購入費     | 11.6 | 15 | 家族のこづかい    |               |
| 16.4 | 7 | 交通費(車の燃料・経費を含む)     | 13.9 | 16 | 冠婚葬祭、交際費   |               |
| 19.6 | 8 | 通信費(電話、インターネット接続など) | 1.6  | 17 | その他(具体的に ) |               |
| 4.9  | 9 | 教育費(塾を含む)           | 2.8  | 18 | 特にない       |               |
|      |   |                     | 2.5  |    | 無回答        | M. T. = 472.3 |

(全員の方向に)

問5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |          |      |   |                  |     |   |       |                    |
|------|---|----------|------|---|------------------|-----|---|-------|--------------------|
| 3.6  | 1 | 大変満足している | 34.9 | 3 | やや不満である          | 4.1 | 5 | わからない | } → 問6へ<br>(次のページ) |
| 47.0 | 2 | まあ満足している | 9.0  | 4 | 大変不満である          | 1.4 |   | 無回答   |                    |
|      |   |          |      |   | 問5-2へ<br>(次のページ) |     |   |       |                    |

(問5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

問5-1 どのような理由で満足されていますか。次の中から当てはまるものをいくつかお選びください。(〇はいくつでも) <n = 1,009>

- |      |   |                             |      |    |                        |               |
|------|---|-----------------------------|------|----|------------------------|---------------|
| 71.2 | 1 | 健康であるから                     | 16.1 | 8  | スポーツやレジャー活動が充実しているから   |               |
| 20.2 | 2 | 衣生活が豊かだから                   | 19.8 | 9  | 仕事や勉強がうまくいっているから       |               |
| 36.5 | 3 | 食生活が豊かだから                   | 29.4 | 10 | 趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから |               |
| 32.2 | 4 | 住生活が豊かだから                   | 14.8 | 11 | 家具、車など耐久消費財がそろっているから   |               |
| 57.8 | 5 | 家族との生活が充実しているから             | 10.4 | 12 | 十分な貯蓄があるから             |               |
| 41.8 | 6 | 友人、知人との人間関係が充実しているから        | 9.6  | 13 | 悩みや心配ごとがないから           |               |
| 6.0  | 7 | 地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから | 4.4  | 14 | その他(具体的に )             |               |
|      |   |                             | 0.1  |    | 無回答                    | M. T. = 370.2 |

**(問5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)**

**問5-2** どのような理由で不満であると感じていますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n=876>

- |      |          |                         |      |           |                         |
|------|----------|-------------------------|------|-----------|-------------------------|
| 30.3 | <b>1</b> | 健康でないから                 | 23.2 | <b>8</b>  | スポーツやレジャー活動が思うようにできないから |
| 10.7 | <b>2</b> | 衣生活が不十分だから              | 14.2 | <b>9</b>  | 仕事や勉強がうまくいっていないから       |
| 23.1 | <b>3</b> | 食生活が不十分だから              | 25.3 | <b>10</b> | 趣味、教養の時間が十分とれないから       |
| 22.3 | <b>4</b> | 住生活が不十分だから              | 29.5 | <b>11</b> | 家具、車など、欲しいものが買えないから     |
| 9.0  | <b>5</b> | 家族との生活がうまくいっていないから      | 71.5 | <b>12</b> | 貯蓄が十分でないから              |
| 3.9  | <b>6</b> | 友人、知人との人間関係がうまくいっていないから | 38.6 | <b>13</b> | 悩みや心配ごとがあるから            |
| 11.5 | <b>7</b> | 社会に貢献しているという充実感がないから    | 6.4  | <b>14</b> | その他(具体的に )              |
|      |          |                         | 0.5  | 無回答       | M. T. =319.3            |

**(全員の方に)**

**問6** あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n=1,994>

- |      |          |               |      |           |              |
|------|----------|---------------|------|-----------|--------------|
| 75.1 | <b>1</b> | 自分の健康・病気      | 37.9 | <b>9</b>  | 親などの介護       |
| 65.9 | <b>2</b> | 家族の健康・病気      | 61.7 | <b>10</b> | 老後の生活        |
| 12.5 | <b>3</b> | 自分の就職、結婚などの問題 | 10.2 | <b>11</b> | 家族・親族間の人間関係  |
| 11.7 | <b>4</b> | 家族の就職、結婚などの問題 | 4.6  | <b>12</b> | 近隣・地域の人間関係   |
| 18.5 | <b>5</b> | 子育て、子供の教育     | 20.3 | <b>13</b> | 仕事や職場のこと     |
| 52.3 | <b>6</b> | 今後の収入         | 2.2  | <b>14</b> | その他(具体的に )   |
| 36.4 | <b>7</b> | 貯蓄や資産(借金や負債)  | 1.2  | <b>15</b> | 不安に感じることはない  |
| 44.6 | <b>8</b> | 税金や保険料(などの負担) | 0.5  | 無回答       | M. T. =455.0 |

**(全員の方に)**

**問7** あなたは、税金について関心がありますか。(○は1つ) <n=1,994>

- |      |          |          |     |          |       |
|------|----------|----------|-----|----------|-------|
| 39.6 | <b>1</b> | 大いに関心がある | 7.5 | <b>3</b> | 関心がない |
| 43.1 | <b>2</b> | 少し関心がある  | 8.1 | <b>4</b> | わからない |
|      |          |          | 1.8 | 無回答      |       |
- 問8へ  
(次のページ)

**(問7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)**

**問7-1** では、今、あなたが関心をもっているのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n=1,648>

- |      |          |           |      |          |              |
|------|----------|-----------|------|----------|--------------|
| 66.1 | <b>1</b> | 自分の納める税額  | 16.7 | <b>5</b> | 隠し所得や脱税の摘発   |
| 21.7 | <b>2</b> | 申告・納税のしかた | 53.2 | <b>6</b> | 所得税や住民税などの減税 |
| 68.1 | <b>3</b> | 税金の使われ方   | 39.4 | <b>7</b> | 新税の導入や増税     |
| 43.4 | <b>4</b> | 税負担の不公平さ  | 2.4  | <b>8</b> | その他(具体的に )   |
|      |          |           | 0.1  | 無回答      | M. T. =311.1 |

## 【住んでいる地域】

(全員の方に)

問8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。(○は1つ) <n=1,994>

- |      |   |                |     |   |       |
|------|---|----------------|-----|---|-------|
| 81.3 | 1 | 住みよいところだと思う    | 8.9 | 3 | わからない |
| 9.4  | 2 | 住みよいところだとは思わない | 0.4 |   | 無回答   |

(全員の方に)

問9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。(○は1つ) <n=1,994>

- |      |   |      |      |   |        |      |   |       |         |
|------|---|------|------|---|--------|------|---|-------|---------|
| 70.6 | 1 | 住みたい | 10.7 | 2 | 住みたくない | 18.3 | 3 | わからない | → 問10へ  |
|      |   |      |      |   |        | 0.5  |   | 無回答   | (次のページ) |

(問9で「1 住みたい」と答えた方に)

問9-1 住みたいと思うのはなぜですか。  
次の中から3つまでお答えください。  
(○は3つまで) <n=1,407>

- |      |    |                              |
|------|----|------------------------------|
| 34.9 | 1  | 通勤・通学に便利なところだから              |
| 57.5 | 2  | 買物など日常の生活環境が整っているから          |
| 36.5 | 3  | 地域に愛着を感じているから<br>(住み慣れているから) |
| 39.0 | 4  | 自分の土地や家があるから                 |
| 15.3 | 5  | 親や子供、親類が近くにいるから              |
| 4.7  | 6  | 仕事や商売に都合がよいから                |
| 27.2 | 7  | 静かで住環境がよいから                  |
| 17.9 | 8  | 緑などの自然環境がよいから                |
| 6.4  | 9  | 文化や教育の面で環境がよいから              |
| 3.6  | 10 | 福祉サービスが充実しているから              |
| 8.2  | 11 | 防災の面で安心だから                   |
| 17.8 | 12 | 治安の面で安心だから                   |
| 1.8  | 13 | その他(具体的に )                   |
| 0.2  | 14 | わからない                        |

M. T. =271.2

(問9で「2 住みたくない」と答えた方に)

問9-2 住みたくないと思うのはなぜですか。  
次の中から3つまでお答えください。  
(○は3つまで) <n=213>

- |      |    |                             |
|------|----|-----------------------------|
| 22.1 | 1  | 通勤・通学に不便なところだから             |
| 18.3 | 2  | 買物など日常の生活環境が整っていないから        |
| 25.8 | 3  | 地域に愛着を感じないから                |
| 27.2 | 4  | 家賃など住居費が高いから                |
| 11.7 | 5  | 親や子供、親類が近くにいないから            |
| 16.9 | 6  | 騒音・振動・大気汚染など周辺環境が<br>よくないから |
| 13.6 | 7  | 緑などの自然環境がよくないから             |
| 3.3  | 8  | 文化や教育の面で環境がよくないから           |
| 8.0  | 9  | 福祉サービスが充実していないから            |
| 25.4 | 10 | 防災の面で不安だから                  |
| 14.1 | 11 | 治安の面で不安だから                  |
| 16.4 | 12 | その他(具体的に )                  |
| 0.9  | 13 | わからない                       |

M. T. =203.8



【東京】

(全員の方に)

問10 あなたにとって東京は、全般的にみて住みよいところですか、それとも住みにくいところですか。  
(○は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |       |      |   |           |
|------|---|-------|------|---|-----------|
| 57.1 | 1 | 住みよい  | 31.7 | 3 | どちらともいえない |
| 7.9  | 2 | 住みにくい | 2.0  | 4 | わからない     |
|      |   |       | 1.3  |   | 無回答       |

(全員の方に)

問11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの  
今のお気持ちをお答えください。(○は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |      |     |   |        |      |   |       |   |         |
|------|---|------|-----|---|--------|------|---|-------|---|---------|
| 67.6 | 1 | 住みたい | 9.7 | 2 | 住みたくない | 21.2 | 3 | わからない | → | 問12へ    |
|      |   |      |     |   |        | 1.6  |   | 無回答   |   | (次のページ) |

(問11で「1 住みたい」と答えた方に)

問11-1 住みたいと思うのはなぜですか。  
次の中から3つまでお答えください。  
(○は3つまで) <n = 1,347>

- |      |    |                              |
|------|----|------------------------------|
| 76.7 | 1  | 交通網が発達していて便利だから              |
| 24.9 | 2  | 文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから  |
| 9.1  | 3  | 最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから |
| 14.6 | 4  | 仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから        |
| 12.2 | 5  | 教育や学習の機会や場が充実しているから          |
| 37.0 | 6  | 医療や福祉などの質が高いから               |
| 10.5 | 7  | 治安の面で安心だから                   |
| 12.6 | 8  | 東京が好きだから                     |
| 49.3 | 9  | 東京に長く暮らしているから                |
| 14.3 | 10 | 人間関係がわずらわしくないから              |
| 3.2  | 11 | その他 (具体的に )                  |
| 0.2  | 12 | わからない                        |
| 0.1  |    | 無回答                          |
- M. T. = 264.7

(問11で「2 住みたくない」と答えた方に)

問11-2 住みたくないと思うのはなぜですか。  
次の中から3つまでお答えください。  
(○は3つまで) <n = 193>

- |      |    |                         |
|------|----|-------------------------|
| 65.8 | 1  | 人や車が多過ぎるから              |
| 31.6 | 2  | 通勤・通学ラッシュがひどいから         |
| 66.3 | 3  | 生活費が高いから                |
| 38.3 | 4  | 住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから |
| 18.1 | 5  | 緑や公園などの自然が少ないから         |
| 8.8  | 6  | 大気汚染や騒音などの公害がひどいから      |
| 8.8  | 7  | 治安の面で不安だから              |
| 10.4 | 8  | 人間関係が希薄だから              |
| 7.3  | 9  | 街並みが雑然として景観がよくないから      |
| 9.3  | 10 | その他 (具体的に )             |
| 0.5  | 11 | わからない                   |

M. T. = 265.3

## 【都政への要望】

---

---

(全員の方に)

問12 あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。次の中から特に望むことを3つまでお選びください。(○は3つまで) <n = 1,994>

- 40.3 **1** 都政情報をわかりやすく提供する
- 33.2 **2** 情報公開を積極的に進める
- 42.1 **3** 都民の意見や要望をよく知る
- 27.1 **4** 行政手続のデジタル化・簡素化を進める
- 10.5 **5** 都庁の組織を簡素化する
- 10.6 **6** 職員の意識改革を進める
- 37.6 **7** 予算を効率的に執行する
- 11.9 **8** 住民に身近な事務は区市町村に任せる
- 5.6 **9** 国に対してさらに地方分権を働きかける
- 4.2 **10** ボランティア活動や市民活動と協働する
- 6.0 **11** その他 (具体的に )
- 5.3 **12** 特にない
- 3.9 **13** わからない
- 1.6 無回答

M. T. =238.2

(全員の方向に)

問13 これからの都政全体について考えた場合、次にあげたことのどれに力を入れてほしいと思いますか。

特に都に力を入れて取り組んでもらいたいことを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

なお、次の〔問13-1 分野別要望〕に、具体的な要望内容を記載していますので、参考にしてください。

<n = 1,994>

22.3	1	行財政	25.3	16	少子化・虐待防止などの子供対策
2.2	2	都市外交の推進	34.1	17	医療・衛生対策
37.2	3	治安対策	7.3	18	まちづくりの推進
14.8	4	交通安全対策	12.1	19	公園・緑地・水辺の整備
50.5	5	防災対策	15.6	20	水道・下水道の整備・維持
8.4	6	中小企業対策	8.0	21	道路交通網の整備
13.7	7	雇用就業対策	6.6	22	都営交通の整備
2.8	8	観光振興対策	12.7	23	土地・住宅対策
26.8	9	消費生活対策	15.8	24	学校教育の充実
5.2	10	男女平等参画の推進	4.7	25	生涯学習、社会教育の振興
2.5	11	地域活動の推進	5.5	26	文化・芸術の振興
5.9	12	青少年健全育成の推進	3.7	27	スポーツ・レクリエーションの振興
17.4	13	環境対策	3.1	28	多文化共生社会の推進
40.8	14	高齢者対策	1.8	29	その他
8.4	15	障害者(児)対策	3.1	30	わからない → 問14へ (12ページ)
			0.6		無回答

M. T. = 418.4

(問13で「1 行財政」～「29 その他」を選んだ方に)

問13-1 それでは、問13で(5つまで)選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」について、それぞれ具体的にどのようなことを望まれますか。次の表の左側のあなたが選ばれた項目に対応する右側の〔問13-1 分野別要望〕の中から該当するものについて、それぞれ1つずつお選びください。(〇はそれぞれ1つ) ※11ページまであります。

問13で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問13-1 分野別要望〕(〇はそれぞれ1つ)
「1 行財政」 を選んだ方 <n = 444>	21.4 1 行政手続のデジタル化の推進 11.7 2 業務の効率化の推進など業務改革の推進 5.9 3 行政と民間との協働の推進や行政分野の民間開放 2.9 4 組織、人事制度など執行体制の整備 53.2 5 都税の適正な徴収と使用など財政の健全化 2.5 6 都区制度を含む自治制度の見直し 2.0 7 その他(具体的に ) 0.5 無回答
「2 都市外交の推進」 を選んだ方 <n = 44>	59.1 1 都市間交流の推進 34.1 2 国際交流・協力活動への支援 4.5 3 その他(具体的に ) 2.3 無回答

問13で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問13-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「3 治安対策」 を選んだ方 < n = 741 >	13.4 <b>1</b> 警察官によるパトロールの強化 18.2 <b>2</b> 子供等に対する犯罪が起こりにくい環境の整備 3.6 <b>3</b> 少年犯罪・少年非行の防止 10.5 <b>4</b> 防犯設備の設置等に対する支援 27.1 <b>5</b> 外国人による犯罪の防止 11.7 <b>6</b> オレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺被害の防止 1.8 <b>7</b> テロ対策等新たな犯罪への取組 11.1 <b>8</b> 不正アクセスなどインターネットを利用した犯罪の防止 0.8 <b>9</b> その他(具体的に ) 1.8 無回答
「4 交通安全対策」 を選んだ方 < n = 296 >	16.6 <b>1</b> 交通渋滞の緩和・交通量の抑制 6.4 <b>2</b> 違法駐車対策 8.1 <b>3</b> 車の規制・取締り 9.8 <b>4</b> 交通安全教育の推進 36.1 <b>5</b> 自転車通行空間(自転車道等)の整備 16.9 <b>6</b> 自転車安全利用の促進 5.1 <b>7</b> その他(具体的に ) 1.0 無回答
「5 防災対策」 を選んだ方 < n = 1,006 >	40.2 <b>1</b> 防災都市づくり(無電柱化、道路の整備や建築物の耐震化・不燃化等) 28.1 <b>2</b> 災害時の活動体制の充実 4.7 <b>3</b> 防災対策に関する普及・啓発活動の充実 23.9 <b>4</b> 風水害対策(台風・集中豪雨による災害の予防・復旧等) 1.3 <b>5</b> その他(具体的に ) 1.9 無回答
「6 中小企業対策」 を選んだ方 < n = 168 >	11.3 <b>1</b> 地域商工業の振興 22.0 <b>2</b> 融資制度等の充実 8.3 <b>3</b> 創業支援 14.3 <b>4</b> 技術の開発・向上支援 35.7 <b>5</b> 経営革新・経営安定の支援 6.5 <b>6</b> その他(具体的に ) 1.8 無回答
「7 雇用就業対策」 を選んだ方 < n = 274 >	56.9 <b>1</b> 雇用・就業の促進 6.9 <b>2</b> 職業能力開発・向上 6.6 <b>3</b> 労働相談・指導の充実 25.2 <b>4</b> 働き方改革の推進 2.2 <b>5</b> その他(具体的に ) 2.2 無回答
「8 観光振興対策」 を選んだ方 < n = 56 >	30.4 <b>1</b> 外国人旅行者の誘致のための取組 8.9 <b>2</b> 観光案内の充実 7.1 <b>3</b> 多摩・島しょ地域の観光振興 39.3 <b>4</b> 観光資源を活かしたまちづくりの推進 10.7 <b>5</b> その他(具体的に ) 3.6 無回答
「9 消費生活対策」 を選んだ方 < n = 534 >	15.9 <b>1</b> 悪質商法などによる消費者トラブルの相談、救済 35.8 <b>2</b> 悪質な事業者の指導・処分 23.6 <b>3</b> 食品や生活用品などの表示の適正化の推進 10.1 <b>4</b> 商品・サービスに係る危害・危険の防止対策 7.9 <b>5</b> 消費者教育など消費者の自立支援策の充実 3.0 <b>6</b> その他(具体的に ) 3.7 無回答

問13で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問13-1 分野別要望〕(〇はそれぞれ1つ)
「10 男女平等参画の推進」 を選んだ方 < n = 103 >	57.3 <b>1</b> 働く場での男女の均等な機会・待遇の確保、女性が活躍できる環境の整備 28.2 <b>2</b> 仕事と家庭・地域生活の両立の支援 4.9 <b>3</b> 配偶者等からの暴力(DV)の防止 5.8 <b>4</b> 男女平等の普及啓発 1.9 <b>5</b> その他(具体的に ) 1.9 無回答
「11 地域活動の推進」 を選んだ方 < n = 50 >	16.0 <b>1</b> NPO等の市民活動への支援 48.0 <b>2</b> 社会貢献活動を行う団体と行政との協働の推進 34.0 <b>3</b> ボランティア活動参加への支援 2.0 <b>4</b> その他(具体的に )
「12 青少年健全育成の推進」 を選んだ方 < n = 118 >	25.4 <b>1</b> 青少年の自立とボランティア活動など社会参加の促進 43.2 <b>2</b> 健全な成長を阻害する有害情報からの青少年の保護 6.8 <b>3</b> 健全育成の担い手である地区委員などの育成 15.3 <b>4</b> 非行からの立ち直り支援 5.9 <b>5</b> その他(具体的に ) 3.4 無回答
「13 環境対策」 を選んだ方 < n = 347 >	35.7 <b>1</b> 気候変動対策(省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用) 2.0 <b>2</b> ディーゼル車規制など自動車公害対策、大気汚染の改善 4.0 <b>3</b> 騒音・振動の防止対策 7.8 <b>4</b> 有害化学物質対策 23.3 <b>5</b> 豊かな自然や生物多様性の保全 4.0 <b>6</b> 東京湾や河川の水質改善 17.9 <b>7</b> ごみ減量・リサイクル、産業廃棄物の適正処理 1.4 <b>8</b> その他(具体的に ) 3.7 無回答
「14 高齢者対策」 を選んだ方 < n = 813 >	8.9 <b>1</b> 介護予防及び高齢期の健康づくり 15.3 <b>2</b> 介護保険サービスの質的向上 13.7 <b>3</b> 介護人材確保の推進 14.9 <b>4</b> サービス付き高齢者向け住宅等高齢者が自立するための住まいの確保 8.1 <b>5</b> 高齢者が活躍できる地域づくりの促進 13.9 <b>6</b> 特別養護老人ホーム等施設サービスの充実 9.5 <b>7</b> 訪問介護・通所介護等在宅サービスの充実 9.6 <b>8</b> 認知症の人と家族への支援 2.1 <b>9</b> その他(具体的に ) 4.2 無回答
「15 障害者(児)対策」 を選んだ方 < n = 168 >	6.0 <b>1</b> ショートステイ・通所等在宅サービスの充実 26.2 <b>2</b> 障害者支援施設等施設サービスの充実 16.1 <b>3</b> グループホーム等障害者が自立するための住まいの確保 23.2 <b>4</b> 障害者の社会参加・障害者への理解の促進 19.0 <b>5</b> 障害者の就労支援 6.5 <b>6</b> その他(具体的に ) 3.0 無回答

問13で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問13-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「16 少子化・虐待防止などの 子供対策」 を選んだ方 < n = 505 >	15.0 <b>1</b> 児童虐待防止対策の推進 9.9 <b>2</b> 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 8.7 <b>3</b> ひとり親家庭への支援 8.5 <b>4</b> 児童館、学童クラブなど放課後対策の充実 20.4 <b>5</b> 子育て家庭への支援や相談の充実 14.7 <b>6</b> 妊娠・出産に対する支援 13.5 <b>7</b> 子供を大切にする社会気運の醸成 2.4 <b>8</b> 子供の意見を政策に反映させる取組の充実 3.2 <b>9</b> その他（具体的に ) 3.8 無回答
「17 医療・衛生対策」 を選んだ方 < n = 680 >	16.6 <b>1</b> 医療施設の整備 18.4 <b>2</b> 救急医療体制の整備 6.8 <b>3</b> がん予防・医療対策 38.5 <b>4</b> 安心できる医療の確保 3.4 <b>5</b> 生活習慣病予防対策 4.6 <b>6</b> 感染症対策 3.1 <b>7</b> 花粉症などのアレルギー対策 2.1 <b>8</b> 食品の安全対策 3.1 <b>9</b> その他（具体的に ) 3.5 無回答
「18 まちづくりの推進」 を選んだ方 < n = 146 >	9.6 <b>1</b> まちのバリアフリー化 32.2 <b>2</b> 再開発などのまちづくり推進 15.1 <b>3</b> 良好な景観づくりの推進 24.7 <b>4</b> みどり豊かな都市空間への取組 10.3 <b>5</b> 道路空間の有効活用への取組（賑わいのある歩道への転換等） 2.7 <b>6</b> その他（具体的に ) 5.5 無回答
「19 公園・緑地・水辺の整備」 を選んだ方 < n = 241 >	21.2 <b>1</b> 道路・河川の緑化の推進 56.8 <b>2</b> 公園・緑地の整備 15.8 <b>3</b> 親しめる水辺空間の創造 3.7 <b>4</b> その他（具体的に ) 2.5 無回答
「20 水道・下水道の整備・維持」 を選んだ方 < n = 312 >	29.8 <b>1</b> 水道の安定供給 27.2 <b>2</b> 安全でおいしい水の供給 21.8 <b>3</b> 大雨による浸水被害対策 15.1 <b>4</b> 良好な水循環の確保 4.5 <b>5</b> その他（具体的に ) 1.6 無回答
「21 道路交通網の整備」 を選んだ方 < n = 159 >	13.8 <b>1</b> 幹線道路の整備 34.0 <b>2</b> 生活に密着した道路の整備 11.9 <b>3</b> 道路と鉄道との立体交差の推進 25.2 <b>4</b> 歩道の設置・拡幅 3.8 <b>5</b> 橋やトンネルなどの維持管理 8.2 <b>6</b> その他（具体的に ) 3.1 無回答
「22 都営交通の整備」 を選んだ方 < n = 132 >	21.2 <b>1</b> 利用者の安全・安心の確保 35.6 <b>2</b> 利用者サービスの向上 11.4 <b>3</b> 施設や車両のバリアフリー化 12.1 <b>4</b> 環境に配慮した車両や施設・設備の導入 17.4 <b>5</b> その他（具体的に ) 2.3 無回答

問13で選ばれた「都に力を入れて取り組んでほしいこと」	〔問13-1 分野別要望〕(○はそれぞれ1つ)
「23 土地・住宅対策」 を選んだ方 < n = 254 >	9.4 <b>1</b> 公共住宅の供給 13.0 <b>2</b> 子育て世帯への住宅支援 17.7 <b>3</b> 高齢者・障害者向け住宅対策 9.1 <b>4</b> 住宅の耐震性確保 28.7 <b>5</b> 住宅（持家・賃貸）の価格対策 2.4 <b>6</b> 住宅における省エネ化・CO <sub>2</sub> 削減対策 1.6 <b>7</b> 住宅の売買やリフォーム、賃貸借に関するトラブル対策 8.3 <b>8</b> マンションの管理等に対する支援（管理・改修・建替など） 6.3 <b>9</b> その他（具体的に ) 3.5 無回答
「24 学校教育の充実」 を選んだ方 < n = 315 >	22.9 <b>1</b> 個性を生かす学校教育の充実 14.9 <b>2</b> いじめ・不登校対策 11.7 <b>3</b> 学校施設の整備 40.3 <b>4</b> 教員の資質向上・職場環境の整備 7.9 <b>5</b> その他（具体的に ) 2.2 無回答
「25 生涯学習、社会教育の振興」 を選んだ方 < n = 94 >	46.8 <b>1</b> 学習機会の充実 22.3 <b>2</b> 施設の充実 21.3 <b>3</b> 情報提供の充実 8.5 <b>4</b> その他（具体的に ) 1.1 無回答
「26 文化・芸術の振興」 を選んだ方 < n = 109 >	10.1 <b>1</b> 都立文化施設の魅力の向上 40.4 <b>2</b> 文化・芸術活動の支援や人材育成 20.2 <b>3</b> 伝統文化の継承と発展 15.6 <b>4</b> 文化財・歴史的建築物の保存・整備 7.3 <b>5</b> 文化事業の実施 2.8 <b>6</b> その他（具体的に ) 3.7 無回答
「27 スポーツ・レクリエーションの振興」 を選んだ方 < n = 74 >	56.8 <b>1</b> 施設の充実 16.2 <b>2</b> スポーツ・レクリエーション活動への支援 4.1 <b>3</b> 競技スポーツの振興 9.5 <b>4</b> 国際スポーツ大会の誘致・開催 5.4 <b>5</b> スポーツを支える人材（ボランティアや指導者など）の育成 1.4 <b>6</b> パラスポーツの振興 6.8 <b>7</b> その他（具体的に )
「28 多文化共生社会の推進」 を選んだ方 < n = 62 >	35.5 <b>1</b> 在住外国人への生活サポート、情報提供、相談体制の充実 6.5 <b>2</b> やさしい日本語の普及啓発 48.4 <b>3</b> 多様な価値観を受け入れる意識の醸成 4.8 <b>4</b> 在住外国人に対する防災知識の普及 4.8 <b>5</b> その他（具体的に )
「29 その他」 を選んだ方 < n = 35 >	5.7 <b>1</b> 人権尊重 8.6 <b>2</b> 平和意識の高揚 5.7 <b>3</b> 農林水産業振興（地産地消、多摩の森林整備などを含む） 11.4 <b>4</b> 港湾整備 5.7 <b>5</b> 卸売市場の整備・運営 2.9 <b>6</b> 国際ビジネス環境の整備 51.4 <b>7</b> その他（具体的に ) 8.6 無回答

## 【食生活と食育】

(全員の方向に)

問14 あなたは、ふだん朝食を食べていますか。(〇は1つ) <n = 1,994>

77.7 1 週に4日以上食べる → 問15へ 12.6 3 ほとんど食べない  
8.2 2 週に2～3日程度食べる 1.4 無回答

(問14で「2 週に2～3日程度食べる」「3 ほとんど食べない」と答えた方に)

問14-1 朝食を食べない最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ) <n = 416>

27.2 1 時間がないから 27.6 4 以前から食べる習慣がないから  
23.6 2 食欲がわからないから 10.3 5 その他(具体的に )  
10.6 3 準備するのが面倒だから 0.7 無回答

(全員の方向に)

問15 あなたは、1週間のうち、どれくらいご家族と一緒に食事をしていきますか。朝食、夕食について、それぞれ1つずつお選びください。(〇はそれぞれ1つ)

(ア) 朝食 (〇は1つ) <n = 1,994>

42.1 1 週4日以上  
10.6 2 週に2～3日程度  
44.8 3 ほとんどしていない  
2.5 無回答

(イ) 夕食 (〇は1つ) <n = 1,994>

59.8 1 週4日以上  
15.0 2 週に2～3日程度  
22.0 3 ほとんどしていない  
3.2 無回答

(全員の方向に)

問16 あなたは、食品(生鮮食品、加工食品を含む)を選ぶとき、何を重視しますか。次の中から5つまでお選びください。(〇は5つまで) <n = 1,994>

88.4 1 価格 6.0 7 生産・流通の履歴情報(トレーサビリティ)  
58.5 2 栄養 14.5 8 食品が無駄にならないよう賞味期限が近いものを選ぶ  
25.4 3 見た目 6.5 9 フェアトレード※や認証マーク※があること  
83.0 4 鮮度・賞味期限 2.0 10 その他(具体的に )  
40.6 5 農薬や食品添加物の使用が少ないこと 0.9 11 特にない  
49.5 6 産地 0.8 無回答 M. T. = 375.3

※フェアトレード：製品を適正な価格で継続的に購入することにより、開発途上国など立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易の仕組みのこと

※認証マーク：農薬が少ないことを示す有機JASマークなど、国等から認証された事業者のみが表示できるマーク



(全員の方に)

問17 あなたは、ふだん、どこで食品を購入していますか。次の中から3つまでお選びください。(○は3つまで)

<n = 1,994>

- |      |   |                       |      |    |                   |
|------|---|-----------------------|------|----|-------------------|
| 95.7 | 1 | スーパーマーケット (ネット販売を除く)  | 0.5  | 7  | 移動販売車             |
| 26.0 | 2 | ドラッグストア (ネット販売を除く)    | 20.7 | 8  | 専門店 (肉屋、魚屋、八百屋など) |
| 39.4 | 3 | コンビニエンスストア (ネット販売を除く) | 8.8  | 9  | 農産物直売所            |
| 6.8  | 4 | ネットスーパー               | 9.9  | 10 | 百貨店               |
| 3.2  | 5 | ネットスーパー以外の通信販売        | 1.0  | 11 | その他 (具体的に )       |
| 17.9 | 6 | 生活協同組合                | 1.6  |    | 無回答               |
- M. T. = 229.9

(全員の方に)

問18 あなたは、地元や東京の産物とわかる食材であれば、購入したいと思いますか。(○は1つ)

<n = 1,994>

- |      |   |                   |      |   |                   |
|------|---|-------------------|------|---|-------------------|
| 10.0 | 1 | 多少割高でも購入したい       | 18.1 | 3 | 購入しない・産地のことは気にしない |
| 59.7 | 2 | 同じくらいの価格であれば購入したい | 9.5  | 4 | わからない             |
|      |   |                   | 2.7  |   | 無回答               |
- 問19へ

(問18で「1 多少割高でも購入したい」「2 同じくらいの価格であれば購入したい」と答えた方に)

問18-1 あなたは、実際に東京産の食材を優先して購入していますか。(○は1つ) <n = 1,390>

- |      |   |        |        |      |   |         |
|------|---|--------|--------|------|---|---------|
| 27.8 | 1 | 購入している | → 問19へ | 71.6 | 2 | 購入していない |
|      |   |        |        | 0.6  |   | 無回答     |

(問18-1で「2 購入していない」と答えた方に)

問18-2 あなたが、東京産の食材を購入していない理由は何ですか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n = 995>

- |      |   |                         |
|------|---|-------------------------|
| 45.5 | 1 | 東京産の食材が見当たらないため         |
| 53.6 | 2 | 店頭と並ぶ東京産の食材が少ないため       |
| 10.4 | 3 | 東京産の食材が東京産以外の食材と比べて高いため |
| 40.0 | 4 | 東京産の食材かどうかわからないため       |
| 4.4  | 5 | その他 (具体的に )             |
| 1.3  |   | 無回答                     |
- M. T. = 153.9

(全員の方に)

問19 あなたは、食事のとり方でどのようなことに気をつけていますか。次の中から当てはまるものをいくつかもお選びください。(○はいくつでも) <n = 1,994>

- |      |   |                          |      |    |               |
|------|---|--------------------------|------|----|---------------|
| 48.0 | 1 | 1日3回、規則正しく食べる            | 34.6 | 6  | 間食や夜食をひかえる    |
| 44.8 | 2 | 朝食を食べる                   | 35.7 | 7  | 脂肪・塩分をひかえめにする |
| 47.4 | 3 | 食べ過ぎない (カロリーのとりにぎに気をつける) | 64.7 | 8  | 野菜をしっかり食べる    |
| 51.7 | 4 | 栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる    | 2.8  | 9  | その他 (具体的に )   |
| 14.4 | 5 | ごはんなどの穀類を意識して食べる         | 4.5  | 10 | 特になし          |
|      |   |                          | 1.7  |    | 無回答           |
- M. T. = 348.4

(全員の方に)

問20 あなたは、食生活を健全で豊かなものにするために、今後どのようなことをしていきたいですか。

次の中から3つまでお選びください。(〇は3つまで) <n = 1,994>

- 50.5 1 栄養に関する知識を増やす
- 49.6 2 安全な食べ物に関する知識を増やす
- 42.8 3 食品の表示をよく確認して購入する
- 10.9 4 テレビや雑誌・本で料理を覚える
- 17.5 5 インターネット・SNSで料理を覚える
- 0.7 6 料理教室へ参加する
- 19.5 7 誰かと一緒に食事をする(共食)
- 2.8 8 農作業や工場見学などの生産活動に参加する
- 23.5 9 季節ごとの行事食や郷土料理を大切にする
- 1.2 10 その他(具体的に )
- 9.4 11 特にない
- 1.9 無回答 M. T. = 228.4

(全員の方に)

問21 「食育」とは、心身の健康の基本となる、食生活に関するさまざまな教育を行うことです。

栄養のバランス、調理法、食べ物の安全性に関する知識などを身につけることや、豊かな食生活を楽しむ力を育むことなどを目指します。

あなたは、「食育」という言葉を知っていますか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- 58.7 1 言葉も内容も知っている
- 31.5 2 言葉は聞いたことがあるが内容は知らない
- 8.0 3 知らない
- 1.8 無回答

(全員の方に)

問22 あなたは、次の食育活動に参加したことがありますか。参加したことがあるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも) <n = 1,994>

- 18.3 1 調理実習
- 6.8 2 講演会
- 12.8 3 農作業や工場見学などの生産体験
- 7.4 4 生産者との交流
- 9.6 5 食育フェアなど食に関するイベント
- 1.7 6 その他の活動(具体的に )
- 65.5 7 参加したことはない
- 2.8 無回答 M. T. = 122.1

## 【学校、地域での食育】

---

(全員の方に)

問23 保育園や幼稚園、小学校の給食や地域で行う食育において、あなたが力を入れてほしいと思うことは  
なんですか。次の中から3つまでお選びください。(○は3つまで) <n = 1,994>

- 57.5 1 バランスの良い食事のとり方
- 22.6 2 規則正しい食事をする事
- 30.4 3 「いただきます」「ごちそうさま」と言うこと
- 38.9 4 みんなで楽しく食べる事
- 24.9 5 食事の準備や後片付けへの参加
- 20.3 6 食べ残さないこと
- 15.7 7 よくかんで食べる事
- 10.8 8 食事を食べる時の正しい姿勢
- 9.7 9 朝食の大切さ
- 11.0 10 食事前の手洗い
- 15.6 11 箸やスプーンの正しい使い方
- 2.0 12 その他 (具体的に )
- 5.6 13 特にない
- 2.8 無回答

M. T. = 265.1

## 【行政への要望】

---

(全員の方に)

問24 あなたは、健全で豊かな食生活の実現に向けて、都や区市町村に特にどのようなことに取り組んでほ  
しいですか。次の中から3つまでお選びください。(○は3つまで) <n = 1,994>

- 28.1 1 保育園・幼稚園などでの食育活動
- 45.4 2 学校での食育活動
- 23.5 3 「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励など、子供の生活習慣のための取組
- 23.1 4 学校給食での地元食材の使用
- 21.6 5 食生活と食育に関する総合的な情報提供の充実
- 37.1 6 食中毒予防や食品添加物、農薬のことなど、食の安全に関する情報提供の充実
- 12.0 7 外食での栄養成分表示やヘルシーメニュー提供の促進
- 15.6 8 家畜とのふれあいや農業体験の場の充実
- 13.6 9 食育・食文化に関する各種イベントの開催
- 2.0 10 その他 (具体的に )
- 9.0 11 特にない
- 3.3 無回答

M. T. = 231.1

## 【フェイスシート】

ここでは、お答えを統計的に分析するために必要なことをおうかがいします。ご協力ください。

(全員の方に)

**F 1 <性 別>** 差し支えなければ、あなたの性別をお答えください。(〇は1つ) <n = 1,994>

40.9 1 男 性      55.5 2 女 性      3.6 無回答

(全員の方に)

**F 2 <年 齢>** あなたの年齢は、おいくつですか。(〇は1つ) <n = 1,994>

0.7 1 18・19歳      7.0 5 35～39歳      9.4 9 55～59歳      17.6 13 75歳以上  
3.5 2 20～24歳      7.5 6 40～44歳      9.1 10 60～64歳      2.2 無回答  
4.6 3 25～29歳      9.5 7 45～49歳      6.8 11 65～69歳  
4.7 4 30～34歳      9.8 8 50～54歳      7.8 12 70～74歳

(全員の方に)

**F 3 <職 業>** あなたのお仕事は次のうちどれですか。(〇は1つ) <n = 1,994>

8.6 1 自営業主 (個人で営む農林漁業、商業、工業、サービス業、自由業(開業医、芸術家等)の方)  
1.5 2 家族従業 (家業手伝い) (家族の方が営んでいる事業を継続的に手伝っている方)  
36.6 3 勤め (正社員、正規職員)  
19.3 4 勤め (派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど)  
18.4 5 無職の主婦・主夫  
1.9 6 学生  
9.8 7 その他の無職  
4.1 無回答

F 4へ  
(次のページ)

**(F 3で「3 勤め (正社員、正規職員)」「4 勤め (派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど)」と答えた方に)**

**F 3-1 お勤めの方にお聞きます。あなたの仕事の内容を次の中から1つお選びください。**  
(〇は1つ) <n = 1,114>

13.0 1 経営・管理職 (会社、団体、官公庁の役員・課長以上の管理職など)  
31.6 2 専門・技術職 (病院勤務医、弁護士、税理士、研究所研究員、教員、食品・機械・建築・情報処理・医療等の技術者、看護師、栄養士、保育士、新聞記者、デザイナーなど)  
27.1 3 事務職 (事務系・営業系事務員、事務機械オペレーターなど)  
9.4 4 労務・技能職 (工員・職人・大工、警察官、消防士、守衛、清掃員、運転手・車掌など)  
16.6 5 販売・サービス職 (店員、販売外交員、保険外交員、給仕、調理師、介護職員、理・美容師など)  
1.9 6 その他 (具体的に )  
0.4 無回答

(全員の方に)

**F 4 <住居>** 現在のお住まいは、次のうちのどれになりますか。当てはまるものを 1つ お選びください。

(○は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |                             |  |   |
|------|---|-----------------------------|--|---|
| 42.5 | 1 | 持家 (一戸建)                    |  |   |
| 20.4 | 2 | 持家 (分譲マンションなどの集合住宅)         |  |   |
| 1.7  | 3 | 民間の借家 (一戸建)                 |  |   |
| 23.2 | 4 | 民間の借家 (賃貸マンション・アパートなどの集合住宅) |  |   |
| 6.4  | 5 | UR都市機構・公社・公営の賃貸住宅・アパート      |  |   |
| 2.6  | 6 | 社宅・公務員住宅などの給与住宅             |  |   |
| 0.3  | 7 | 住み込み・寮・寄宿舎など                |  |   |
| 1.8  | 8 | その他 (具体的に                   |  | ) |
| 1.3  |   | 無回答                         |  |   |

(全員の方に)

**F 5 <未既婚>** あなたは、結婚していらっしゃいますか。(○は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |            |        |      |   |            |        |
|------|---|------------|--------|------|---|------------|--------|
| 22.8 | 1 | 未婚         | → F 6へ | 15.7 | 3 | 既婚 (離別・死別) | → F 6へ |
| 59.7 | 2 | 既婚 (配偶者あり) | -----  | 1.9  |   | 無回答        |        |

(F 5で「2 既婚 (配偶者あり)」と答えた方に)

**F 5-1** ご夫婦ともに働いていらっしゃいますか。(○は1つ) <n = 1,190>

- |      |   |    |      |   |     |     |     |
|------|---|----|------|---|-----|-----|-----|
| 56.1 | 1 | はい | 43.4 | 2 | いいえ | 0.4 | 無回答 |
|------|---|----|------|---|-----|-----|-----|

(全員の方に)

**F 6 <世帯構成 (同居家族)>** あなたと同居されているご家族はいらっしゃいますか。(○は1つ)  
<n = 1,994>

- |      |   |              |     |   |               |
|------|---|--------------|-----|---|---------------|
| 21.7 | 1 | 単身 (本人のみ)    | 4.5 | 4 | 親と子と孫 (3世代世帯) |
| 24.6 | 2 | 夫婦のみ (1世代世帯) | 4.0 | 5 | その他の世帯        |
| 43.5 | 3 | 親と子 (2世代世帯)  | 1.8 |   | 無回答           |

(全員の方に)

**F 7 <居住地域生まれ>** あなたは、生まれてからずっとこの地域にお住まいですか。それとも他の地域からいらしたのですか。(○は1つ) <n = 1,994>

- |      |   |                     |      |   |          |
|------|---|---------------------|------|---|----------|
| 23.7 | 1 | 生まれてからずっとこの地域に住んでいる | 74.8 | 2 | 他の地域からきた |
|      |   | (一時的にこの地域を離れた人も含む)  | 1.5  |   | 無回答      |

(全員の方に)

**F 8 <地域居住年数>** あなたは、この地域にお住まいになってから何年になりますか。(○は1つ)  
<n = 1,994>

- |     |   |         |      |   |          |
|-----|---|---------|------|---|----------|
| 2.7 | 1 | 1年未満    | 9.3  | 5 | 10～15年未満 |
| 5.9 | 2 | 1～3年未満  | 7.6  | 6 | 15～20年未満 |
| 5.7 | 3 | 3～5年未満  | 14.8 | 7 | 20～30年未満 |
| 9.8 | 4 | 5～10年未満 | 42.8 | 8 | 30年以上    |
|     |   |         | 1.4  |   | 無回答      |

(全員の方向に)

**F 9 <東京生まれ>** あなたは、生まれてからずっと東京にお住まいですか。それとも、東京以外からいらしたのですか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |          |                                       |      |          |          |
|------|----------|---------------------------------------|------|----------|----------|
| 43.0 | <b>1</b> | 生まれてからずっと東京に住んでいる<br>(一時的に東京を離れた人も含む) | 55.4 | <b>2</b> | 東京以外からきた |
|      |          |                                       | 1.6  |          | 無回答      |

(全員の方向に)

**F 10 <東京居住年数>** 東京都にお住まいになってから何年になりますか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |     |          |         |      |          |          |
|-----|----------|---------|------|----------|----------|
| 1.2 | <b>1</b> | 1年未満    | 5.8  | <b>5</b> | 10～15年未満 |
| 2.1 | <b>2</b> | 1～3年未満  | 6.5  | <b>6</b> | 15～20年未満 |
| 2.8 | <b>3</b> | 3～5年未満  | 12.5 | <b>7</b> | 20～30年未満 |
| 5.5 | <b>4</b> | 5～10年未満 | 62.2 | <b>8</b> | 30年以上    |
|     |          |         | 1.4  |          | 無回答      |

(全員の方向に)

**F 11 <世帯年収>** お宅さま全体の昨年1年間の収入(世帯年収)はおよそどのくらいでしたか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |          |             |     |           |                 |
|------|----------|-------------|-----|-----------|-----------------|
| 11.5 | <b>1</b> | 200万円未満     | 8.2 | <b>7</b>  | 900～1,100万円未満   |
| 11.4 | <b>2</b> | 200～300万円未満 | 4.2 | <b>8</b>  | 1,100～1,300万円未満 |
| 9.5  | <b>3</b> | 300～400万円未満 | 3.5 | <b>9</b>  | 1,300～1,500万円未満 |
| 7.9  | <b>4</b> | 400～500万円未満 | 4.0 | <b>10</b> | 1,500～2,000万円未満 |
| 12.6 | <b>5</b> | 500～700万円未満 | 3.6 | <b>11</b> | 2,000万円以上       |
| 11.4 | <b>6</b> | 700～900万円未満 | 9.7 | <b>12</b> | わからない           |
|      |          |             | 2.5 |           | 無回答             |

(全員の方向に)

**F 12 <インターネット利用>** あなたはインターネット(SNSを含む)を利用していますか。(〇は1つ) <n = 1,994>

- |      |          |            |      |          |            |
|------|----------|------------|------|----------|------------|
| 63.5 | <b>1</b> | よく利用している   | 7.4  | <b>3</b> | あまり利用していない |
| 15.3 | <b>2</b> | ときどき利用している | 12.1 | <b>4</b> | 利用していない    |
|      |          |            | 1.6  |          | 無回答        |

(全員の方向に)

**F 13 <SNS利用>** あなたはどのSNSを利用していますか。それとも、SNSは利用していませんか。(〇はいくつでも) <n = 1,994>

- |      |          |                    |      |          |                 |
|------|----------|--------------------|------|----------|-----------------|
| 30.2 | <b>1</b> | X(旧Twitter)(エックス)  | 54.6 | <b>5</b> | YouTube(ユーチューブ) |
| 73.4 | <b>2</b> | LINE(ライン)          | 11.2 | <b>6</b> | TikTok(ティックトック) |
| 17.9 | <b>3</b> | Facebook(フェイスブック)  | 0.6  | <b>7</b> | その他(具体的に )      |
| 34.6 | <b>4</b> | Instagram(インスタグラム) | 17.6 | <b>8</b> | 利用していない         |
|      |          |                    | 2.8  |          | 無回答             |
- M. T. = 240.0

**質問は以上で終わりです。**

**最後までご協力いただき、ありがとうございました。**

- 記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえで、同封の返信用封筒に調査票を入れて、**令和6年9月8日(日)まで**に、ご投函ください。

## 付 属 資 料

東京都では、世論調査を開始して以来、毎年様々な項目について世論調査を実施しているが、その一部については経年変化をみるため、同一項目を毎年継続調査している。

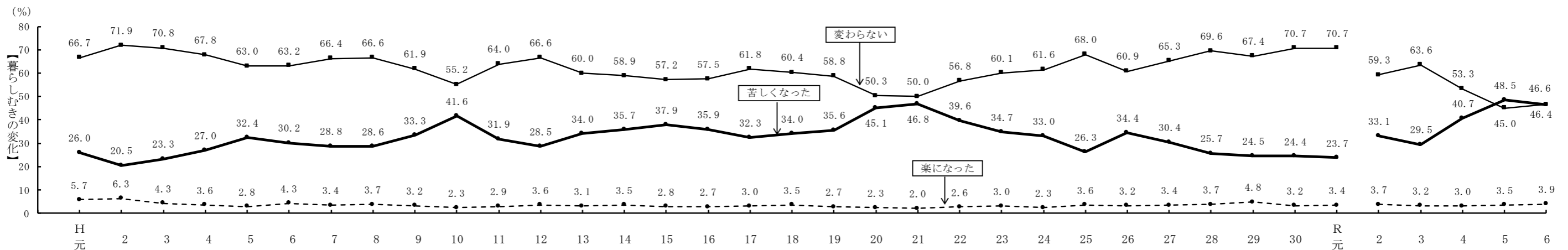
そこで、比較的長期にわたって調査している項目について、毎年変化を追えるように付属資料としてまとめた。

※「暮らしむきの変化」については、消費者物価上昇率、景気の動向など主な経済・社会の変化を合わせて掲載した。



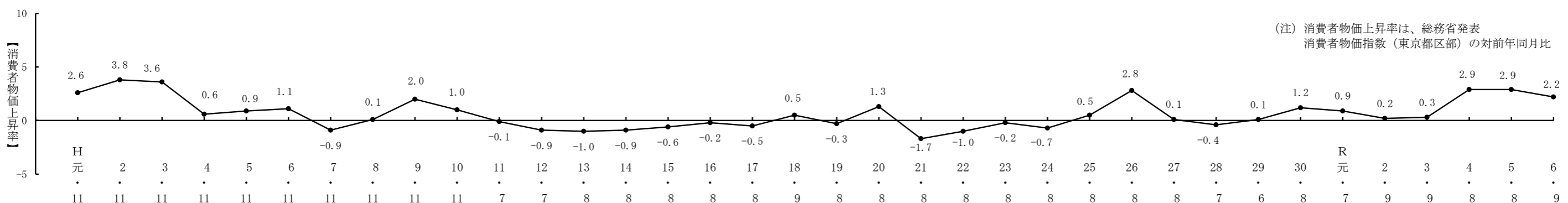


図1 暮らしむきの変化



(注) 令和2年より個別訪問面接聴取法から郵送法に変更

図2 消費者物価上昇率



(注) 消費者物価上昇率は、総務省発表  
消費者物価指数（東京都区部）の対前年同月比

図3 社会経済の年表

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
※「」は経済財政白書の副題	昭和三十九年四月 「平成経済の門出と日本経済の新しい潮流」 消費税率スタート（元年四月） 昭和天皇崩御「平成」に改元（元年一月）	「持続的拡大への道」 湾岸戦争（三年一月） 「長期拡大の条件と国際社会における役割」 バブル崩壊	「調整をこえて新たな展開をめざす日本経済」 PKO協力法案可決（四年六月）	「コメ不作で緊急輸入を決定（五年九月）」	「厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ」	「阪神・淡路大震災（七年一月）」	「改革が展望を切り開く」	「改革（本格起動する日本経済）」 山一証券自主廃業（九年十一月） 消費税率5%に引き上げ（九年四月）	「創造的発展への基礎固め」 緊急経済対策決定、総事業規模は過去最大の24兆円 完全失業率が初の4%台（十年四月）	「経済再生への挑戦」 改正男女雇用機会均等法施行（十一年四月）	「新しい世の中が始まる」 介護保険制度スタート（十二年四月） 地方分権一括法施行（十二年四月）	「改革なくして成長なし」 確定拠出年金法施行（十三年十月） 米同時多発テロ（十三年九月）	「改革なくして成長なしII」 サッカーワールドカップ日韓共催（十四年六月）	「改革なくして成長なしIII」 完全失業率が5.5%に（十五年一月）	「改革なくして成長なしIV」 年金改革関連法施行（十六年十月）	「改革なくして成長なしV」 道路関係四公団民営化（十七年十月） 原油価格高騰	「成長条件が復元し、新たな成長を目指す日本経済」 介護保険法改正施行（十八年四月）	「生産性向上に向けた挑戦」 郵政民営化（十九年十月）	「リスクに立ち向かう日本経済」 サブプライムローンに端を発した世界金融危機 後期高齢者医療制度施行（二十年四月）	「エコカー減税・エコカー補助金実施（二十一年十月）」 「エコカー減税・エコカー補助金実施（二十一年十月）」	「需要の創造による成長力の強化」	「東日本大震災（二十三年三月）」	「日本経済の復興から発展的創造へ」	「経済の好循環の確立に向けて」	「よみがえる日本経済、広がる可能性」 消費税8%に引き上げ（二十六年四月）	「四半世紀ぶりの成果と再生する日本経済」	「リスクを越えて好循環の確立へ」	「技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長」	「令和」新時代の日本経済 消費税率10%に引き上げ（元年十月）	「今、Society 5.0の経済へ」	「人への投資を原動力とする成長と分配の好循環実現へ」 ロシアによるウクライナ侵略（四年二月）	「レジリエントな日本経済へ…強さと柔軟性を持つ」 経済社会に向けた変革の加速（三年七月～九月） 東京オリンピック・パラリンピック開催	「コロナ危機・日本経済変革のラストチャンス」 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出ほか	「動き始めた物価と賃金」	「熱量あふれる新たな経済ステージへ」	
景気の動き	バブル景気			平成不況（失われた10年）										景気回復					景気悪化					緩やかな回復						景気悪化						
実質経済成長率 (%)	4.9	4.8	3.5	0.9	-0.5	1.1	2.6	3.1	1.0	-1.3	-0.3	2.8	0.4	0.0	1.5	2.2	1.8	1.4	1.5	-1.2	-5.7	4.1	0.0	1.4	2.0	0.3	1.6	0.8	1.7	0.6	-0.4	-4.2	2.7	1.2	1.8	6

(注) 実質経済成長率（暦年）は、令和5年度経済財政白書（内閣府）「国内総生産（GDP）実質前年比」

表1 暮らしの余裕

表2 これからの暮らしむき

表1 暮らしの余裕 (%)										表2 これからの暮らしむき (%)										
	n	余裕がある(計)	今の暮らし		余裕がない(計)	今の暮らし		わからない	無回答		n	楽になる(計)	楽になる		変わらない	苦しくなる(計)	苦しくなる		わからない	無回答
			十分余裕がある	余裕がある		余裕がない	余裕がない						かなり楽になる	やや楽になる			やや苦しくなる	かなり苦しくなる		
平成元年	(2,219)	57.1	5.5	51.6	41.9	37.6	4.3	0.9	-	平成元年	(2,106)	7.2	0.7	6.5	67.4	25.4	22.7	2.7	-	-
2	(2,230)	59.1	5.4	53.7	40.4	35.7	4.7	0.5	-	2	(2,157)	9.9	1.0	8.9	68.4	21.6	20.3	1.3	-	-
3	(2,106)	59.0	5.2	53.8	40.5	36.1	4.4	0.6	-	3	(2,207)	9.8	1.0	8.7	67.6	22.4	19.4	3.0	0.1	-
4	(2,107)	62.6	5.3	57.3	37.0	33.2	3.8	0.4	-	4	(2,132)	7.7	1.0	6.7	58.5	33.9	26.3	7.6	-	-
5	(2,111)	57.9	5.0	52.9	41.7	36.0	5.7	0.4	-	5	(2,117)	7.9	0.7	7.2	58.9	33.3	24.0	9.3	-	-
6	(2,136)	58.2	4.6	53.7	41.4	36.4	5.1	0.3	-	6	(2,123)	7.8	0.6	7.2	62.8	29.3	23.4	5.9	-	-
7	(2,190)	60.7	5.9	54.8	39.0	33.8	5.2	0.2	-	7	(2,190)	8.3	0.5	7.9	61.7	28.9	25.2	3.7	1.1	-
8	(2,115)	58.9	5.3	53.6	40.8	35.3	5.5	0.4	-	8	(2,115)	8.7	0.4	8.2	56.2	33.7	29.3	4.4	1.5	-
9	(2,165)	57.6	4.6	53.1	41.7	36.3	5.4	0.6	-	9	(2,165)	5.6	0.6	5.0	52.3	40.7	36.3	4.5	1.4	-
10	(2,132)	53.9	4.3	49.7	44.9	36.8	8.1	1.2	-	10	(2,132)	3.5	0.4	3.0	49.3	44.2	37.6	6.6	3.0	-
11	(2,074)	56.8	5.1	51.7	42.6	35.4	7.2	0.6	-	11	(2,074)	5.8	0.4	5.4	56.8	34.8	30.4	4.4	2.6	-
12	(2,115)	57.3	5.8	51.5	42.1	34.7	7.4	0.6	-	12	(2,115)	6.5	0.8	5.7	59.5	31.5	26.9	4.6	2.5	-
13	(2,124)	52.1	4.1	48.0	46.0	37.1	8.9	1.9	-	13	(2,124)	2.9	0.3	2.6	46.2	44.5	35.4	9.1	6.4	-
14	(2,132)	52.1	3.8	48.2	45.5	37.6	7.9	2.4	-	14	(2,132)	4.7	0.5	4.2	50.7	38.4	30.0	8.4	6.2	-
15	(1,873)	50.3	4.2	46.2	47.5	38.1	9.5	2.1	-	15	(1,873)	4.1	1.0	3.2	47.6	40.5	30.5	10.0	7.7	-
16	(1,857)	44.3	2.9	41.4	53.2	42.1	11.1	2.5	-	16	(1,857)	4.1	0.2	3.9	51.3	35.3	25.6	9.7	9.3	-
17	(2,031)	49.7	4.3	45.4	48.6	38.3	10.3	1.7	-	17	(2,031)	4.3	0.3	4.0	50.1	37.9	29.2	8.7	7.8	-
18	(2,081)	48.6	3.7	44.8	50.3	41.1	9.2	1.2	-	18	(2,081)	4.8	0.4	4.4	51.4	37.5	28.2	9.3	6.4	-
19	(2,084)	46.7	3.1	43.6	51.3	41.8	9.5	2.0	-	19	(2,084)	3.9	0.3	3.6	47.8	40.6	31.1	9.5	7.6	-
20	(2,030)	46.9	3.0	43.9	51.2	41.1	10.0	1.9	-	20	(2,030)	2.3	0.1	2.2	38.1	53.1	40.5	12.5	6.6	-
21	(2,025)	42.5	2.8	39.7	56.6	46.4	10.2	0.9	-	21	(2,025)	2.8	0.2	2.6	40.0	50.4	35.9	14.5	6.9	-
22	(2,013)	45.9	4.0	41.9	53.4	45.4	8.0	0.7	-	22	(2,013)	3.2	0.1	3.1	47.1	43.6	32.1	11.5	6.0	-
23	(2,009)	49.2	4.0	45.2	48.3	40.5	7.8	2.5	-	23	(2,009)	3.6	0.3	3.3	47.9	40.6	31.8	8.8	7.8	-
24	(2,002)	48.3	3.6	44.7	49.3	41.0	8.3	2.4	-	24	(2,002)	3.1	0.3	2.7	46.9	43.4	33.2	10.2	6.6	-
25	(2,010)	48.8	4.8	43.9	48.7	41.2	7.4	2.6	-	25	(2,010)	4.3	0.4	3.8	50.6	38.0	29.0	9.1	7.1	-
26	(1,850)	50.4	4.5	45.9	48.9	40.4	8.4	0.7	-	26	(1,850)	4.5	0.4	4.1	48.7	42.3	32.8	9.5	4.5	-
27	(1,900)	49.8	3.6	46.2	49.3	41.7	7.6	0.9	-	27	(1,900)	3.9	0.3	3.6	53.2	38.2	29.3	8.8	4.7	-
28	(1,805)	51.9	4.7	47.1	47.2	40.1	7.1	0.9	-	28	(1,805)	4.4	0.5	3.9	55.8	35.0	28.3	6.7	4.8	-
29	(1,810)	54.9	5.4	49.6	43.0	36.7	6.3	2.1	-	29	(1,810)	6.2	0.6	5.6	54.2	32.3	25.7	6.6	7.3	-
30	(1,856)	54.3	5.2	49.1	44.9	38.1	6.8	0.8	-	30	(1,856)	4.4	0.1	4.3	56.3	33.9	27.6	6.3	5.4	-
令和元年	(1,845)	53.7	5.9	47.9	45.6	39.6	6.0	0.7	-	令和元年	(1,845)	4.8	0.3	4.5	54.5	35.3	29.0	6.3	5.4	-
2	(2,273)	50.5	5.7	44.8	48.0	40.9	7.2	-	1.5	2	(2,273)	3.3	0.4	2.9	41.7	45.4	34.4	11.0	8.6	0.9
3	(1,849)	56.0	7.5	48.5	42.8	35.6	7.1	-	1.2	3	(1,849)	3.9	0.5	3.4	49.6	37.0	28.3	8.7	8.7	0.8
4	(1,883)	50.5	5.5	45.0	49.1	39.2	9.9	-	0.4	4	(1,883)	4.3	0.5	3.8	40.6	48.0	34.3	13.8	5.9	1.2
5	(1,784)	47.7	5.9	41.8	51.5	40.3	11.2	-	0.8	5	(1,784)	4.0	0.4	3.5	38.1	52.0	36.7	15.3	5.5	0.4
6	(1,994)	51.0	6.2	44.7	48.2	39.0	9.3	-	0.8	6	(1,994)	3.5	0.7	2.8	40.1	50.7	37.2	13.5	5.3	0.5

(注1)『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計、『余裕がない(計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計  
 (注2)平成9年までは「都市生活に関する世論調査」  
 (注3)令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

(注1)『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計、『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計  
 (注2)平成6年までは「都民要望に関する世論調査」、平成7年から平成9年は「都市生活に関する世論調査」  
 (注3)令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

表3 生活満足度

(%)

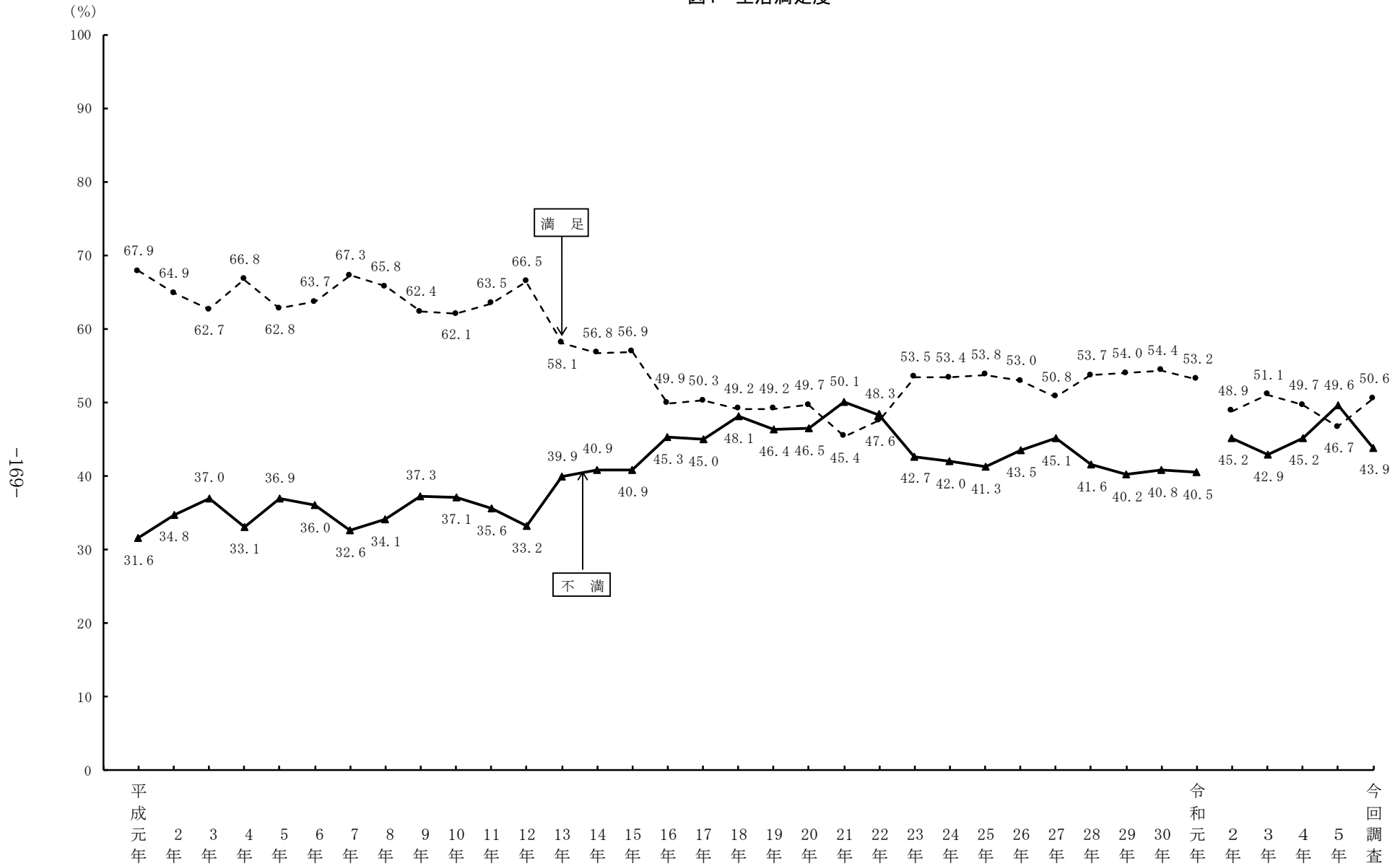
	n	満足 (計)	満足している		不満 (計)	不満である		わからない	無回答
			大変満足して	まあ満足して		やや不満である	大変不満である		
平成元年	(2, 219)	67.9	6.1	61.8	31.6	27.2	4.4	0.5	-
2	(2, 230)	64.9	5.2	59.7	34.8	29.1	5.7	0.3	-
3	(2, 106)	62.7	6.0	56.7	37.0	31.7	5.3	0.3	-
4	(2, 107)	66.8	6.3	60.5	33.1	28.6	4.5	0.1	-
5	(2, 111)	62.8	5.6	57.2	36.9	31.1	5.8	0.3	-
6	(2, 136)	63.7	6.0	57.6	36.0	30.9	5.1	0.3	-
7	(2, 190)	67.3	6.1	61.1	32.6	27.7	4.9	0.2	-
8	(2, 115)	65.8	6.5	59.3	34.1	29.0	5.1	0.1	-
9	(2, 165)	62.4	4.7	57.7	37.3	32.1	5.1	0.3	-
10	(2, 132)	62.1	3.4	58.6	37.1	29.9	7.2	0.8	-
11	(2, 074)	63.5	5.9	57.7	35.6	29.7	5.9	0.9	-
12	(2, 115)	66.5	4.5	61.9	33.2	27.0	6.1	0.3	-
13	(2, 124)	58.1	3.7	54.4	39.9	32.5	7.3	2.1	-
14	(2, 132)	56.8	3.4	53.4	40.9	32.5	8.4	2.3	-
15	(1, 873)	56.9	3.9	53.0	40.9	31.7	9.2	2.2	-
16	(1, 857)	49.9	2.0	47.9	45.3	34.0	11.3	4.7	-
17	(2, 031)	50.3	4.2	46.0	45.0	35.6	9.4	4.7	-
18	(2, 081)	49.2	3.7	45.6	48.1	37.4	10.6	2.7	-
19	(2, 084)	49.2	2.4	46.8	46.4	35.6	10.8	4.4	-
20	(2, 030)	49.7	3.2	46.5	46.5	37.0	9.5	3.8	-
21	(2, 025)	45.4	2.8	42.6	50.1	37.5	12.6	4.5	-
22	(2, 013)	47.6	2.9	44.8	48.3	36.8	11.5	4.1	-
23	(2, 009)	53.5	4.0	49.4	42.7	34.1	8.6	3.8	-
24	(2, 002)	53.4	3.6	49.9	42.0	33.9	8.0	4.6	-
25	(2, 010)	53.8	4.3	49.5	41.3	32.6	8.7	4.9	-
26	(1, 850)	53.0	3.6	49.4	43.5	34.0	9.5	3.6	-
27	(1, 900)	50.8	3.0	47.8	45.1	35.9	9.1	4.1	-
28	(1, 805)	53.7	4.4	49.3	41.6	33.1	8.4	4.8	-
29	(1, 810)	54.0	4.5	49.4	40.2	33.3	7.0	5.8	-
30	(1, 856)	54.4	4.5	49.9	40.8	33.6	7.2	4.7	-
令和元年	(1, 845)	53.2	4.4	48.8	40.5	33.2	7.3	6.3	-
2	(2, 273)	48.9	3.1	45.8	45.2	35.6	9.6	4.4	1.5
3	(1, 849)	51.1	3.7	47.4	42.9	34.2	8.7	4.9	1.0
4	(1, 883)	49.7	3.2	46.5	45.2	34.9	10.2	4.0	1.1
5	(1, 784)	46.7	3.1	43.6	49.6	38.2	11.3	3.6	0.2
6	(1, 994)	50.6	3.6	47.0	43.9	34.9	9.0	4.1	1.4

(注1) 『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計  
『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、  
令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要

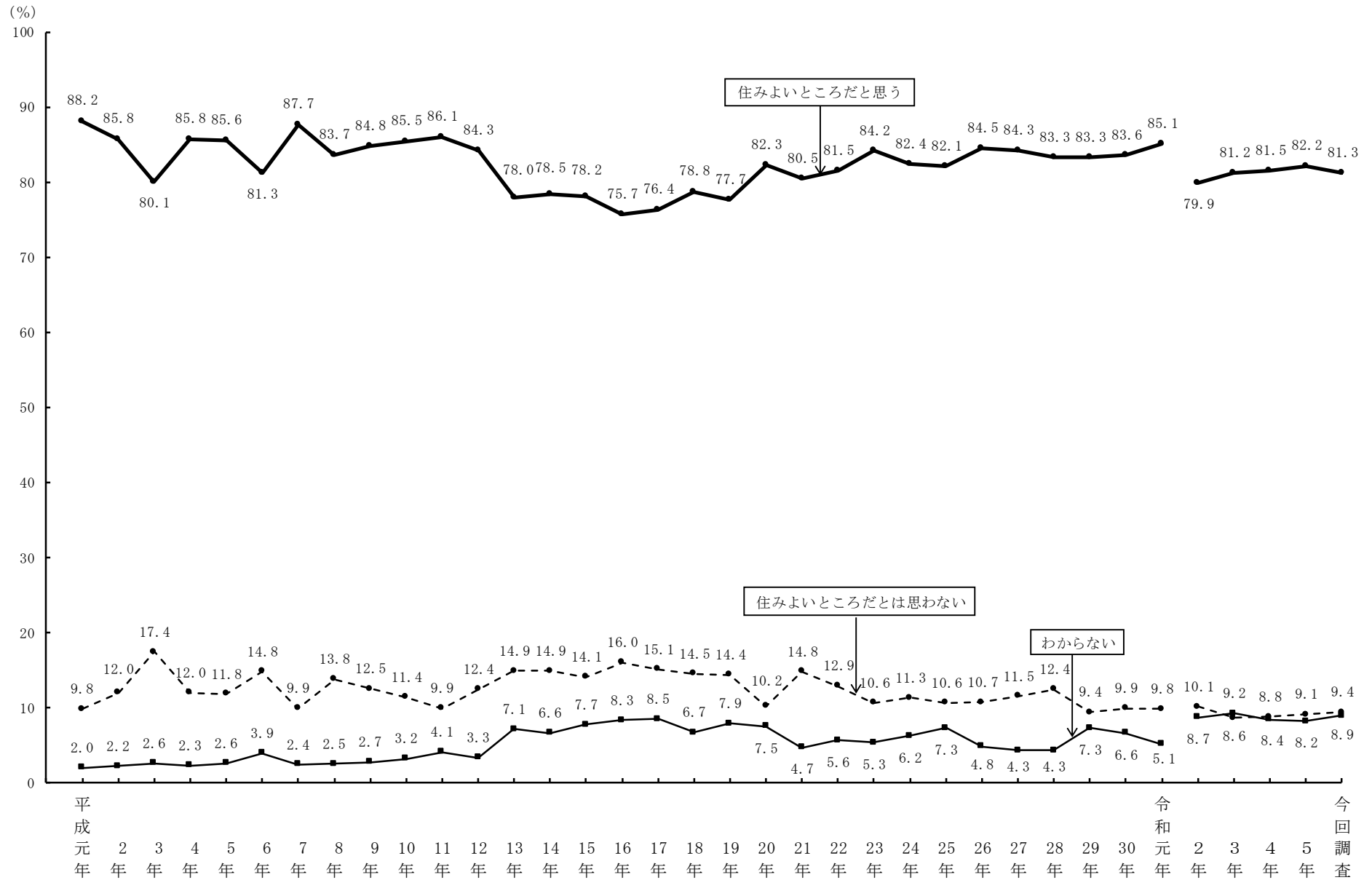
図4 生活満足度



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

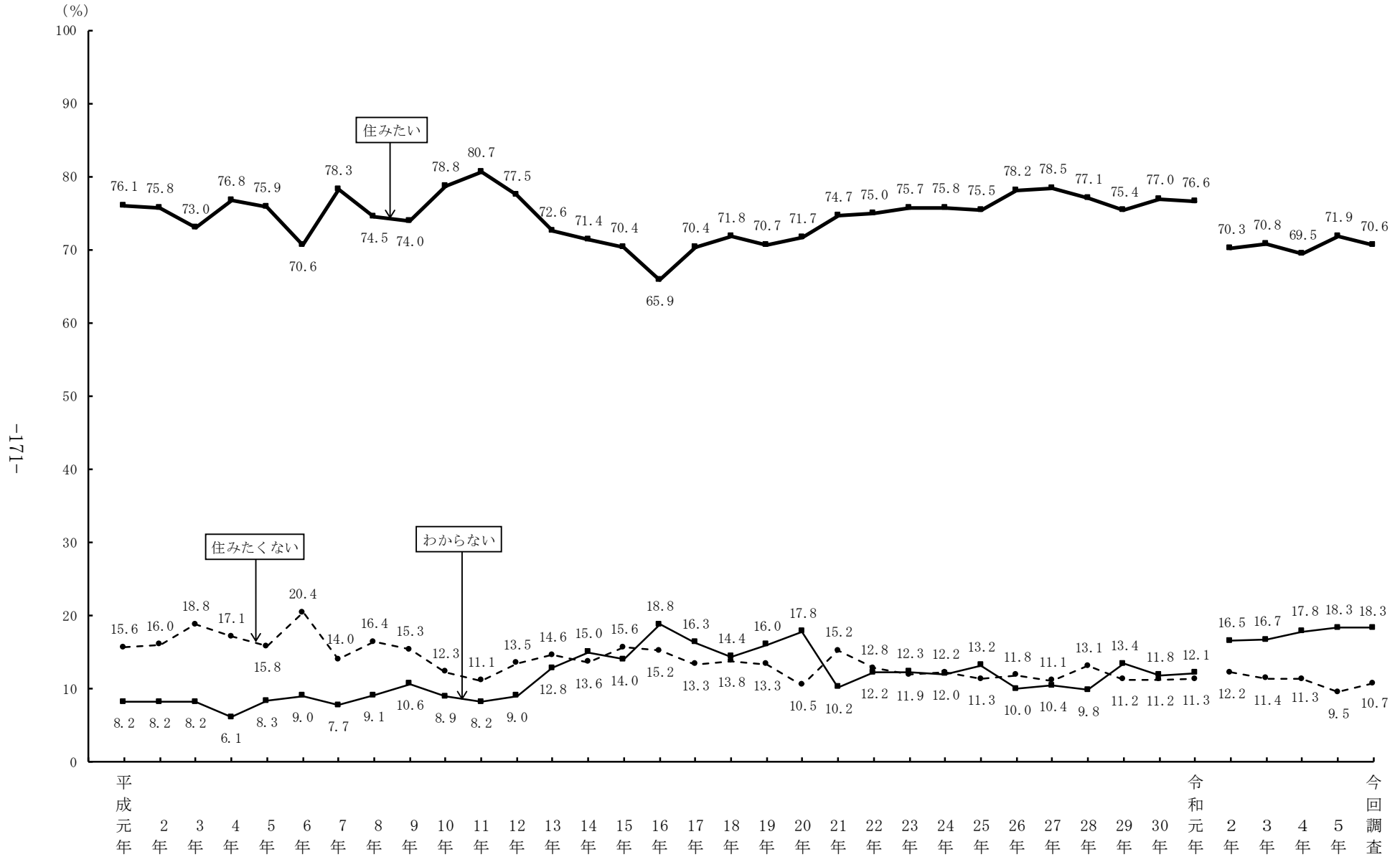
図5 地域の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

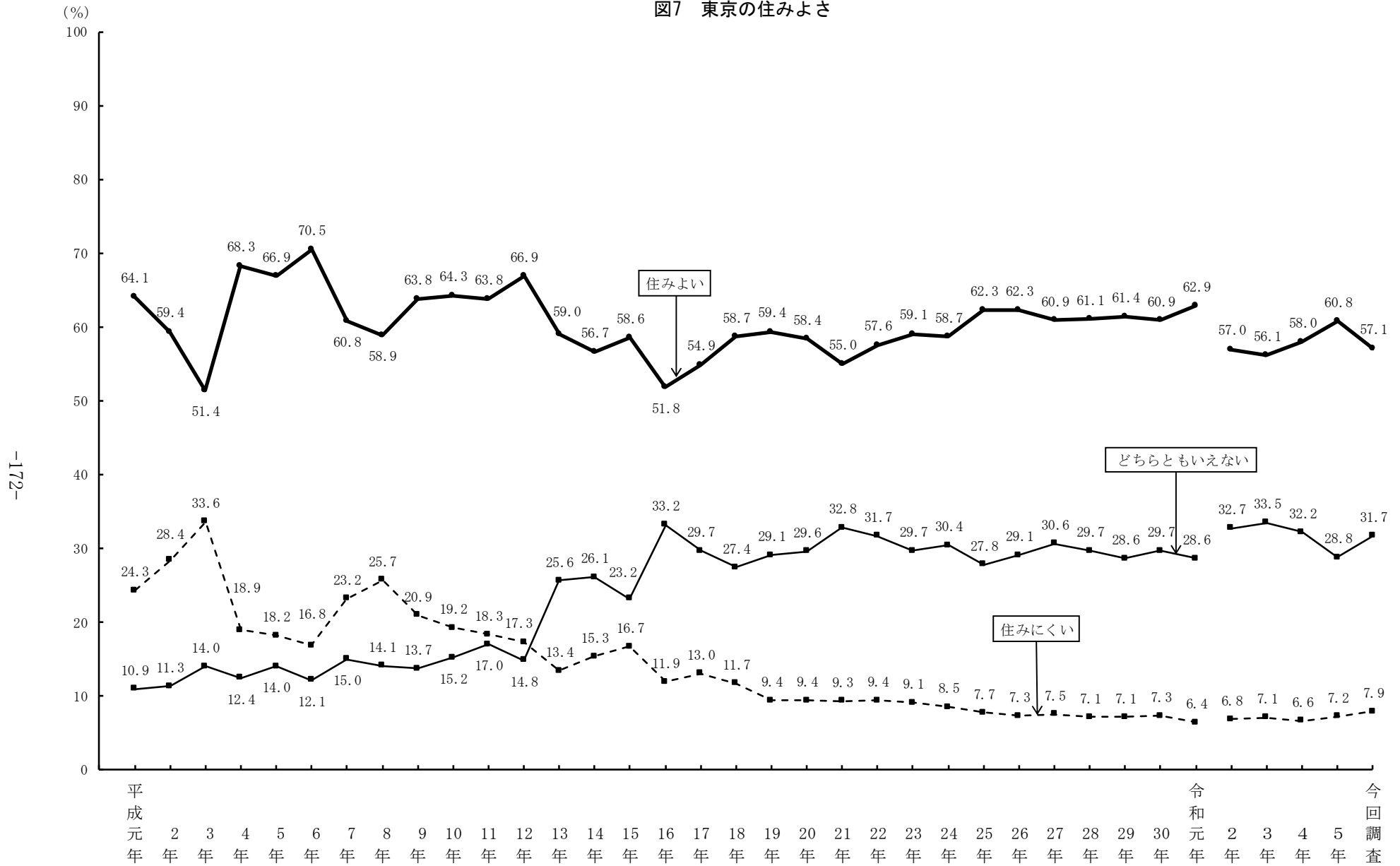
図6 地域定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

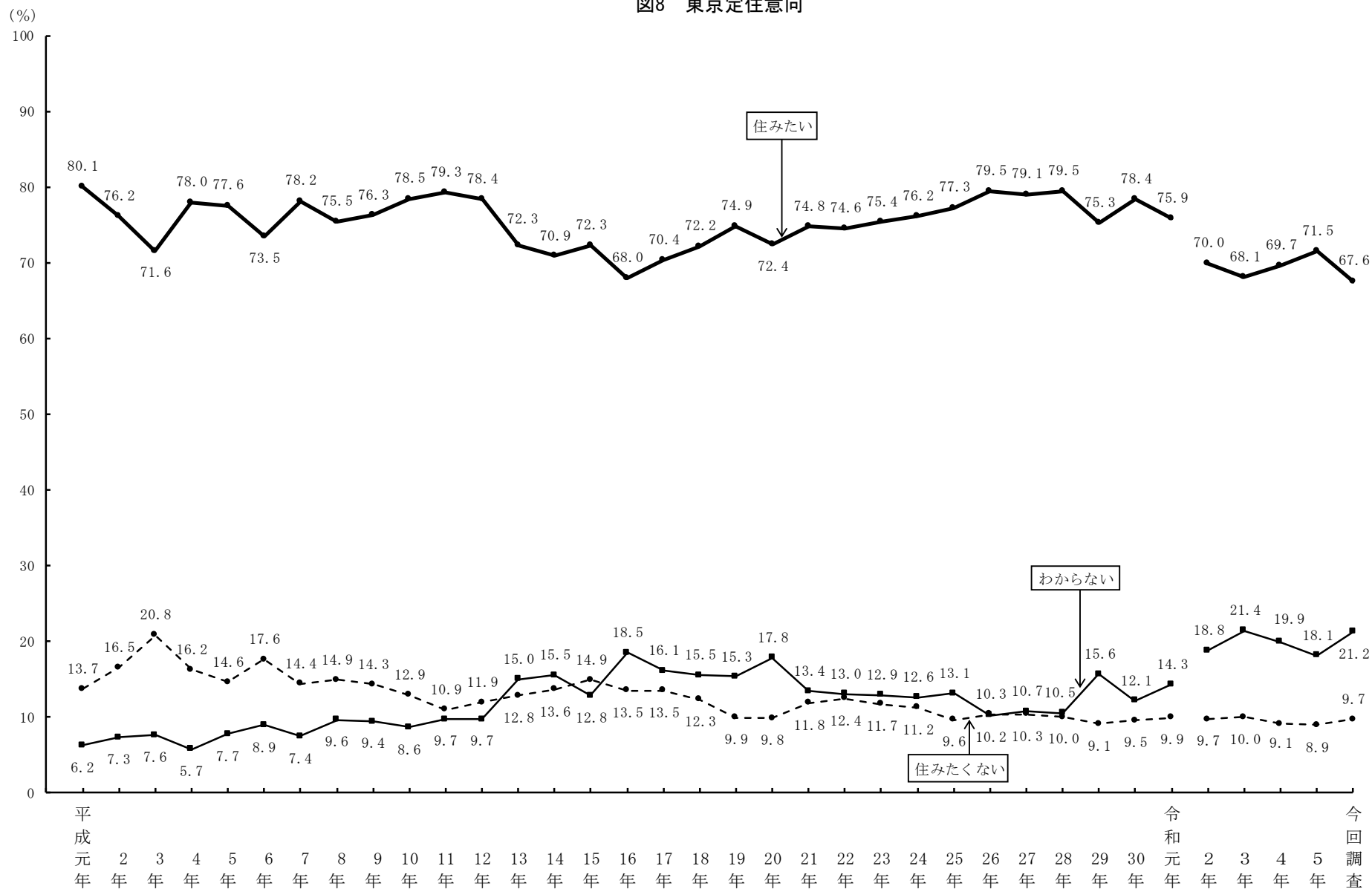
図7 東京の住みよさ



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

図8 東京定住意向



(注1) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注2) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要



表4 都政への要望（平成元年～令和6年）

(%)

順位	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
1	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者	高齢者
2	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生	医療・衛生
3	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	住み	医療・衛生	医療・衛生	物価・消費者	物価・消費者	物価・消費者	環境	環境	環境
4	住宅	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み
5	公害	道	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み	住み
6	公園・緑化	道	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
7	道路	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
8	学校教育	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
9	学校	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化
10	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者	心身障害者
11	防犯	交通災害	交通災害	心身障害者	防犯	学校教育	都市再開発	心身障害者	心身障害者	道	防犯	公園・緑化
12	防犯	生涯学習	都市再開発	交通災害	生涯学習	生涯学習	学校教育	交通災害	防犯	中小企業	自動車交通	土地・住宅
13	交通災害	都市再開発	上下水道	上下水道	交通災害	都市再開発	学校教育	交通災害	交通災害	自動車交通	公園・緑化	道
14	上下水道	防犯	生涯学習	生涯学習	防犯	防犯	心身障害者	生涯学習	青少年	障害者	職業・雇用	障害者(児)
15	都市再開発	上下水道	防犯	都市再開発	都市再開発	防犯	中小企業	都市再開発	都市再開発	公園・緑化	道	青少年
16	青少年	文化・芸術	文化・芸術	青少年	上下水道	中小企業	生涯学習	青少年	生涯学習	職業・雇用	中小企業	中小企業
17	生涯教育	青少年	防犯	防犯	文化・芸術	勤労者	勤労者	文化・芸術	文化・芸術	青少年	青少年	職業・雇用
18	中小企業	女性	青少年	中小企業	青少年	上下水道	文化・芸術	中小企業	中小企業	まちづくり	まちづくり	文化・芸術
19	文化・芸術	中小企業	中小企業	都営交通	中小企業	青少年	都営交通	勤労者	女性	生涯学習	生涯学習	生涯学習
20	都営交通	中防	中防	文化・芸術	文化・芸術	女性	交通災害	女性	勤労者	都営交通	文化・芸術	まちづくり
21	女性	勤労者	国際交流	女性	勤労者	都営交通	女性	都営交通	都営交通	文化・芸術	水道・下水道	国際交流
22	勤労者	都営交通	都営交通	勤労者	都営交通	文化・芸術	上下水道	上下水道	上下水道	水道・下水道	都営交通	都営交通
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
1	高齢者	医療・衛生	高齢者	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
2	医療・衛生	高齢者	医療・衛生	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安	治安
3	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境	環境
4	防犯	消費生活	防犯	環境	医療・衛生	医療・衛生	環境	消費生活	防犯	防犯	医療・衛生	医療・衛生
5	学校教育	学校教育	少子化・子ども	交通安全	環境	環境	環境	防犯	防犯	防犯	環境	環境
6	自動車交通	防犯	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	消費生活	環境	消費生活	行財政	消費生活	消費生活
7	消費生活	少子化・子ども	学校教育	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全	行財政	消費生活	行財政	行財政
8	少子化・子ども	廃棄物	廃棄物	学校教育	行財政	子ども	行財政	行財政	交通安全	交通安全	交通安全	交通安全
9	廃棄物	防犯	防犯	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	子	子	子	子
10	防犯	障害者(児)	交通安全	交通安全	土地・住宅	子ども	学校教育	子ども	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅
11	土地・住宅	公園・緑化	土地・住宅	子ども	学校教育	土地・住宅	土地・住宅	土地・住宅	学校教育	学校教育	学校教育	学校教育
12	公園・緑化	土地・住宅	障害者(児)	まちづくり	青少年	青少年	青少年	青少年	まちづくり	まちづくり	まちづくり	まちづくり
13	障害者(児)	道	公園・緑化	行財政	まちづくり	公園・緑化	公園・緑化	公園・緑化	青少年	青少年	青少年	青少年
14	職業・雇用	交通安全	道	道	公園・緑化	まちづくり	道	道	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用	職業・雇用
15	道	職業・雇用	職業・雇用	公園・緑化	道	職業・雇用	まちづくり	道	道	道	道	道
16	中小企業	生涯学習	青少年	中小企業	職業・雇用	道	道	道	道	道	道	道
17	青少年	青少年	青少年	職業・雇用	道	道	道	道	道	道	道	道
18	生涯学習	まちづくり	男女平等	障害者(児)	文化・芸術	障害者(児)	職業・雇用	職業・雇用	道	道	道	道
19	まちづくり	文化・芸術	生涯学習	水道・下水道	中小企業	中小企業	道	道	道	道	道	道
20	文化・芸術	中小企業	まちづくり	男女平等	生涯学習	文化・芸術	道	道	道	道	道	道
21	水道・下水道	水道・下水道	文化・芸術	都営交通	障害者(児)	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等	男女平等
22	男女平等	男女平等	水道・下水道	生涯学習	男女平等	生涯学習	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術	文化・芸術
23	国際交流	行政サービス	都営交通	文化・芸術	都営交通	都営交通	生涯学習	生涯学習	都営交通	都営交通	都営交通	都営交通
24	都営交通	国際交流	国際交流	都市外交	都市外交	都市外交	都営交通	都営交通	都市外交	都市外交	都市外交	都市外交
25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

位	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1	防災 53	防災 49	高齢者 50	高齢者 54	防災 49	高齢者 53	高齢者 49	防災 47	医療・衛生 44	防災 42	治安 40	防災 51
2	治安 48	治安 48	治安 49	防災 49	治安 48	防災 51	治安 43	医療・衛生 44	防災 41	高齢者 42	防災 40	高齢者 41
3	高齢者 44	高齢者 47	医療・衛生 42	医療・衛生 48	高齢者 47	治安 47	高齢者 39	高齢者 39	高齢者 40	医療・衛生 36	高齢者 40	治安 37
4	医療・衛生 38	医療・衛生 43	医療・衛生 42	医療・衛生 42	医療・衛生 42	医療・衛生 41	医療・衛生 38	治安 34	治安 33	治安 34	医療・衛生 37	医療・衛生 34
5	環境 27	消費生活 27	交通安全 23	行財政 27	行財政 31	行財政 27	交通安全 26	子供 28	行財政 30	子供 28	子供 34	消費生活 27
6	交通安全 23	交通安全 24	土地・住宅 22	交通安全 25	交通安全 25	環境 24	子供 23	行財政 23	子供 27	行財政 22	行財政 24	子供 25
7	消費生活 23	環境 24	子供 22	環境 22	環境 23	子供 21	環境 21	消費生活 19	環境 19	消費生活 22	学校教育 20	行財政 22
8	土地・住宅 21	土地・住宅 20	環境 21	子供 21	子供 23	交通安全 21	行財政 20	環境 18	交通安全 18	消費生活 20	消費生活 20	環境 17
9	行財政 20	子供 18	消費生活 20	消費生活 21	消費生活 20	消費生活 20	消費生活 20	学校教育 16	消費生活 17	交通安全 16	環境 16	学校教育 16
10	子供 19	行財政 17	学校教育 18	学校教育 16	学校教育 18	学校教育 15	交通安全 15	交通安全 15	学校教育 15	学校教育 15	水道・下水道 16	水道・下水道 16
11	学校教育 16	学校教育 16	行財政 16	土地・住宅 16	土地・住宅 12	土地・住宅 14	土地・住宅 12	公園・緑地・水辺 13	公園・緑地・水辺 17	雇用就業 14	交通安全 15	交通安全 15
12	まちづくり 11	まちづくり 14	まちづくり 13	職業・雇用 12	職業・雇用 12	職業・雇用 10	職業・雇用 11	水道・下水道 13	水道・下水道 13	水道・下水道 13	公園・緑地・水辺 14	雇用就業 14
13	青少年 9	公園・緑地・水辺 11	道路交通 10	中小企業 10	中小企業 9	障害者(児) 9	水道・下水道 9	職業・雇用 11	土地・住宅 11	土地・住宅 13	土地・住宅 12	土地・住宅 13
14	職業・雇用 9	道路交通 10	公園・緑地・水辺 9	公園・緑地・水辺 9	公園・緑地・水辺 9	中小企業 9	道路交通 8	土地・住宅 11	職業・雇用 11	公園・緑地・水辺 11	雇用就業 12	公園・緑地・水辺 12
15	公園・緑地・水辺 9	職業・雇用 8	青少年 9	道路交通 9	道路交通 8	公園・緑地・水辺 9	都営交通 8	中小企業 11	まちづくり 10	障害者(児) 10	まちづくり 11	中小企業 8
16	中小企業 7	水道・下水道 8	男女平等 8	障害者(児) 8	障害者(児) 8	道路交通 8	まちづくり 8	まちづくり 9	道路交通 10	まちづくり 9	障害者(児) 10	障害者(児) 8
17	文化・芸術 7	青少年 8	水道・下水道 7	まちづくり 8	まちづくり 8	水道・下水道 8	障害者(児) 8	文化・芸術 9	障害者(児) 9	男女平等 8	道路交通 10	道路交通 8
18	文化・芸術 7	男女平等 7	中小企業 7	水道・下水道 7	男女平等 6	男女平等 6	男女平等 8	障害者(児) 9	男女平等 8	中小企業 8	まちづくり 7	まちづくり 7
19	水道・下水道 7	中小企業 7	文化・芸術 7	男女平等 6	男女平等 7	まちづくり 6	中小企業 8	道路交通 8	文化・芸術 8	道路交通 7	都営交通 7	都営交通 7
20	都市外交 6	文化・芸術 6	職業・雇用 7	青少年 5	男女平等 6	青少年 5	公園・緑地・水辺 7	男女平等 6	中小企業 8	都営交通 7	文化・芸術 6	青少年 6
21	男女平等 6	スポーツ・レクリエーション 6	都営交通 6	都営交通 5	文化・芸術 5	スポーツ・レクリエーション 4	青少年 6	都営交通 6	生涯学習・社会教育 6	文化・芸術 6	生涯学習・社会教育 6	文化・芸術 6
22	障害者(児) 6	障害者(児) 5	都営交通 6	青少年 5	都営交通 4	青少年 5	都営交通 4	青少年 5	都営交通 6	生涯学習・社会教育 6	男女平等 6	男女平等 5
23	障害者(児) 5	生涯学習・社会教育 4	障害者(児) 6	生涯学習・社会教育 4	都市外交 5	文化・芸術 4	文化・芸術 5	生涯学習・社会教育 4	スポーツ・レクリエーション 5	観光振興 5	スポーツ・レクリエーション 6	生涯学習・社会教育 5
24	都営交通 4	都市外交 4	生涯学習・社会教育 4	文化・芸術 4	観光振興 4	生涯学習・社会教育 3	多文化共生 4	スポーツ・レクリエーション 4	青少年 5	青少年 5	青少年 5	多文化共生 4
25	生涯学習・社会教育 4	都営交通 4	都市外交 4	観光振興 3	都営交通 3	生涯学習・社会教育 3	多文化共生 3	多文化共生 4	観光振興 4	多文化共生 4	多文化共生 4	多文化共生 3
26	市民活動 3	市民活動 2	観光振興 3	都市外交 3	生涯学習・社会教育 3	地域活動 2	観光振興 3	地域活動 3	多文化共生 4	都市外交 3	観光振興 3	観光振興 3
27	観光振興 1	観光振興 2	市民活動 2	地域活動 3	多文化共生 3	多文化共生 2	地域活動 3	観光振興 3	地域活動 4	地域活動 4	地域活動 3	地域活動 3
28	—	—	—	—	地域活動 2	都市外交 2	都市外交 2	都市外交 2	都市外交 3	都市外交 1	観光振興 3	都市外交 2

(注1) 平成9年までは「都民要望に関する世論調査」

(注2) 平成2年から「生涯教育」を「生涯学習」に表現を変えている。

(注3) 平成3年から新たに「国際交流の推進」を追加した。

(注4) 平成10年から選択肢の表現を下記のとおり一部変更・追加した。

「ごみ対策」を「ごみ・産業廃棄物対策」、「公害対策」を「環境対策」、「住宅対策」を「土地・住宅対策」、「公園・緑化などの環境対策」を「公園・緑地・水辺の整備」、「心身障害者対策」を「障害者対策」、「交通災害対策」を「自動車交通対策」、「都市再開発などの市街地の整備」を「まちづくりの推進」、「女性の地位向上などの推進」を「男女平等の確立」、「上下水道の整備」を「水道・下水道の整備」、「職業訓練・雇用対策など勤労者対策」を「職業能力開発・雇用対策」に変更した。新たに、「少子化・子ども対策」を追加した。

(注5) 平成11年から「都営交通対策」を「都営交通の整備」に表現を変えている。

(注6) 平成12年から「障害者対策」を「障害者(児)対策」、「物価・消費者対策」を「消費生活対策」に表現を変えている。

(注7) 平成13年から「ごみ・産業廃棄物対策」を「廃棄物対策」に表現を変えている。

(注8) 平成14年から新たに、「行政サービスの電子化」を追加した。

(注9) 平成14年から「男女平等の確立」を「男女平等参画の推進」に、「自動車交通対策」を「交通安全対策」に表現を変えている。

(注10) 平成16年から「防犯対策」を「治安対策」に、「少子化・子ども対策」を「少子化・虐待防止などの子ども対策」に、「水道・下水道の整備」を「水道・下水道の整備・維持」に、「国際交流の推進」を「都市外交の推進」に、それぞれ表現を変えている。

(注11) 平成16年から「行政サービスの電子化」は、新たに追加した「行財政改革」に含めることとし、「廃棄物対策」は、「環境対策」に含めることとした。

(注12) 平成16年から選択可能な数を3つから5つに変更した。

(注13) 平成17年から新たに、「観光振興対策」を追加した。

(注14) 平成19年から「生涯学習、スポーツ・レクリエーションの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」と「生涯学習、社会教育の振興」に分け、新たに「市民活動の促進」を追加した。

(注15) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。

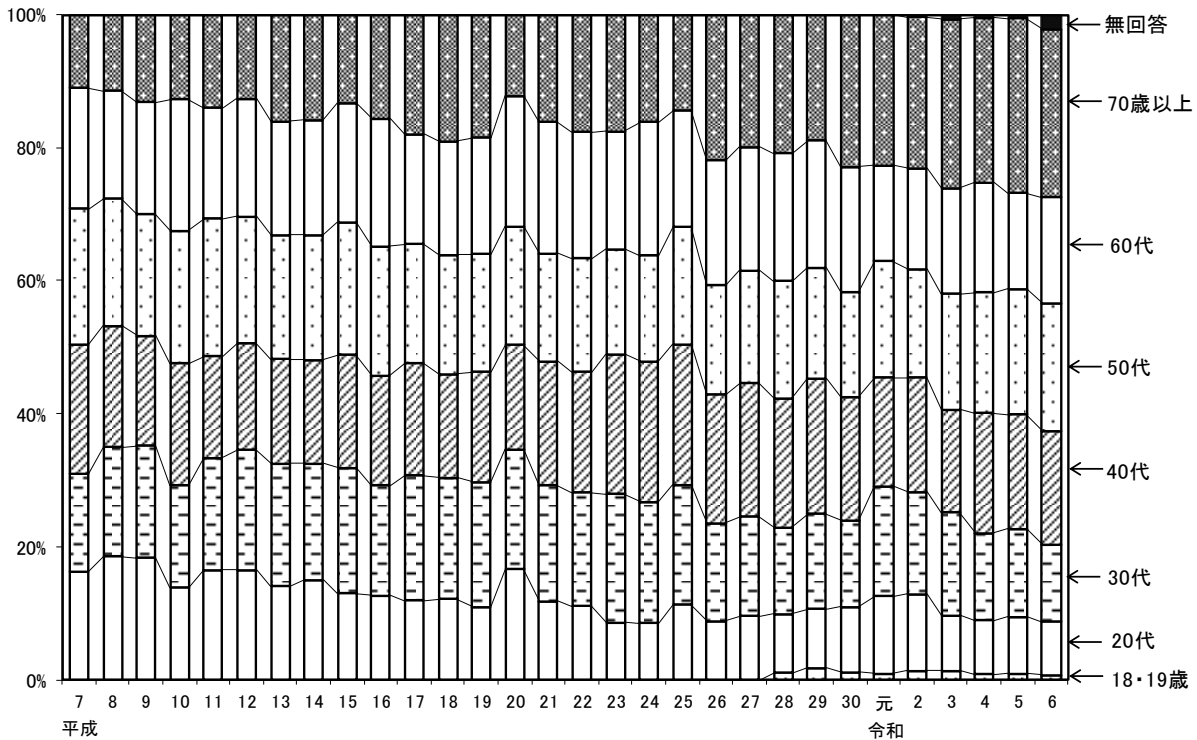
(注16) 平成29年から新たに、「多文化共生」を追加した。

(注17) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法(インターネット回答併用)で実施したため留意が必要。

(注18) 令和4年から「職業能力開発、雇用対策」を「雇用就業対策」に表現を変えている。

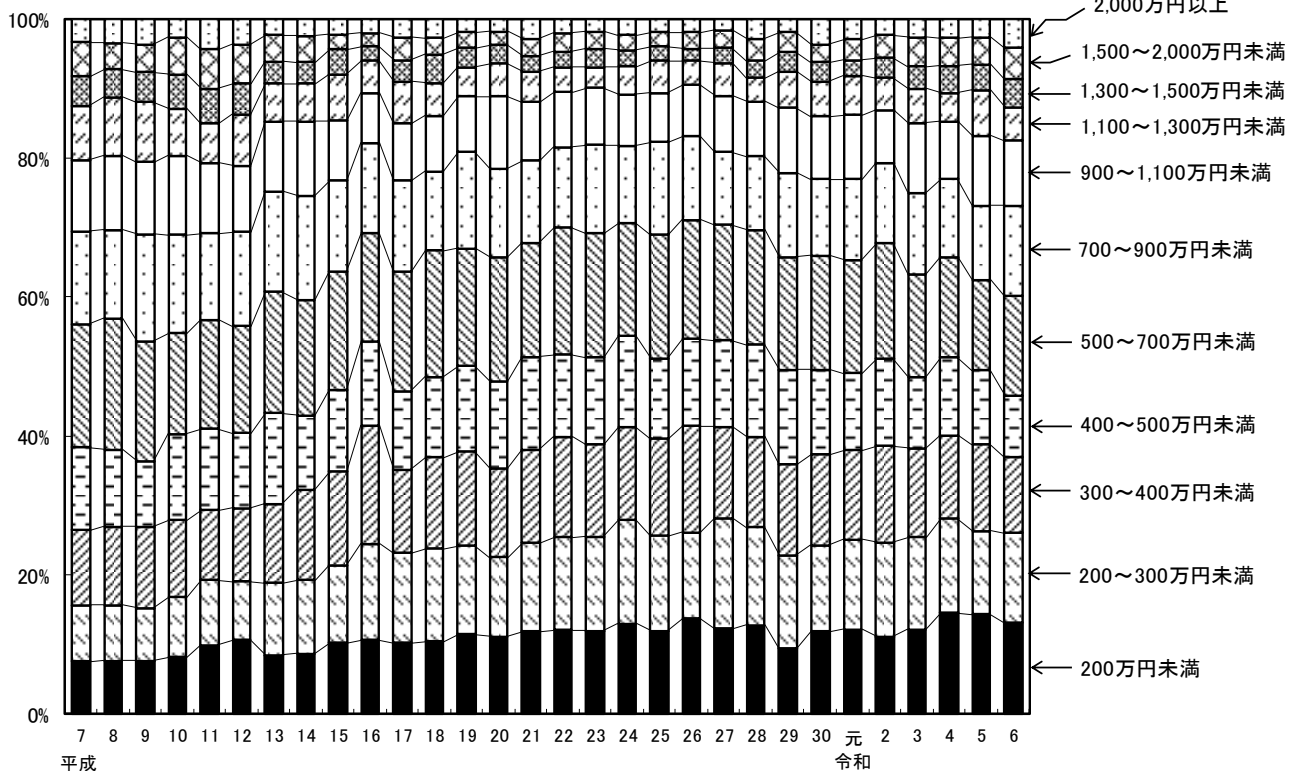
<参考：有効回収標本の年齢構成及び世帯年収の推移>

図9 年齢構成（平成7年～令和6年）



(注) 平成28年から「18・19歳」を追加した

図10 世帯年収（平成7年～令和6年）



(注1) 図9・10とも、各年の有効回収標本（回答者）の構成比を示す。図10は「わからない」「無回答」を除く。

(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

(注3) 令和元年までの調査方法は調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年からは郵送法（インターネット回答併用）で実施したため留意が必要

「都民生活に関する世論調査」

登録番号 (6)20

令和7年1月発行

編集・発行 東京都政策企画局戦略広報部企画調整課  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03(5388)3133

印刷 株式会社 三交社  
東京都新宿区市ヶ谷砂土原町三丁目4番  
電話 03(3267)3641



< お 願 い >

この報告書の内容を引用される場合、その旨を下記にご連絡ください。なお、印刷物の場合はその掲載部分の写しをお送りくだされば幸いです。

**東 京 都 政 策 企 画 局**  
**戦 略 広 報 部 企 画 調 整 課 調 査 担 当**

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電 話 03(5388)3133

E-mail : S0014904@section.metro.tokyo.jp